アクサ生命

健康経営優良法人2020 インタビュー

Voice Report

200th

The interview

ごあいさつ

1986年に男女ともに平均寿命世界一位を達成した長寿国・日本は、世界から“人生100年時代”のお手本として期待されています。高齢化率28%（2018年）の超高齢社会を迎え、私たちの目標は長寿を目指すことから健康寿命を延ばすことに変わり、内面的な豊かさを大事にする時代に生きています。

私は2015年から経済財政諮問会議・専門委員として、骨太方針などの政策立案および評価の過程に参加する中で、国民の「健康」を基盤に企業活動や地域社会の活性化を実現する方策の重要性を感じていました。その頃、全国の商工会議所と共に企業を支援されていたアクサ生命の皆さんとご一緒する機会があり、健康経営に取組む企業の社員が生き生きと仕事をされ、その職場を取り巻く顧客や地域社会にもその志が伝染していく様子を目の当たりにしました。それ以来、健康経営からは目が離せません。

今回拝見した「健康経営優良法人2020インタビュー」には、企業の経営理念そのものが表れていました。企業活動を通じて社会に貢献する、企業は人なり、といった経営者の想いが健康経営という取組を通じて形になっています。このような先進事例には共通の要素があります。

そのひとつは、取組を「実施」するだけでなく、その「過程」を大切にすることです。たとえば、取組む理由や目指すことを社員に伝えるのは健康経営の起点になります。自社の経営理念や企業文化と、新しく始める健康経営の考え方をマッチさせるのも、取組の受容性を高めるポイントです。また、職場の様子の変化は取組を進める目安になります。健康に関する話題が増えてきたり、リーダー以外のメンバーが参加する状況になったら、次のステップに移行できるサインです。生活習慣や健康状況の改善を捉えることも社員のモチベーションを上げる要素になります。有給休暇の取得率や社員の定着率にも、健康経営による職場のコミュニケーション、業務の円滑な調整、仕事に対するモチベーションアップといった効果が表れます。

また別の要素として、取組む際に、従来自社で取組んでいるプログラムを改善して使ったり、自治体や医療保険者、民間事業者のサービスを活用していることです。アクサ生命の「健康習慣アンケート」を使って社員の特徴を捉えたり、取組効果を前後で比較する企業もあります。他社の工夫を取入れるのも良いですね。

コロナ禍にあって、社員の人生に寄り添う健康経営が、会社と社会を変えていくことを応援しています。

東京大学 未来ビジョン研究センター
データヘルス研究ユニット 特任教授
古井 祐司

アクサ生命は、2014年より、企業様の健康経営実践を支援する取り組みをスタートし、働く社員様とそのご家族様お一人おひとりの健やかで幸せな人生と、企業様の永続的発展の実現を目指して取り組んでまいりました。

そして、今、人口動態など日本の社会構造が大きく変わっていくなか、さらには、コロナ禍によって日本人の意識と行動に大きな変革が起こっているなか、人生100年時代を健康で幸せに生き抜いていただくために、企業様の生産性向上、持続可能性向上のために、健康経営の取り組みの重要性は、より一層大きくなるものと確信しております。

私たちが実現を目指す健康は、心身の健康だけでなく夢や生きがいなど社会的な健康も含めた「本質的な健康」です。

人生における夢や目標、生きがいを持った方は、それらを持たない方に比べて、より健康行動を進めていることは、アクサ生命が実施する健康習慣アンケート（2019年度5万人調査）からも判明しています。

このような事実から、夢や目標を実現するために、そして、ご自身の人生を積極的に経営する視点を持っていただき、そのために健康でいなければならないという内発的動機付けがあってこそ、様々な健康づくりの取り組みが進み、健康経営が目指す企業様の生産性向上、持続可能性向上の実現につながるものと考えております。

また、健康経営の取り組みは、地方創生や持続可能な地域社会の実現につながるものです。
アクサ生命では、当社の考えと取り組みをご理解いただいた32の自治体様との連携協定、31の全国健康保険協会支部様との覚書、396の商工会議所様との連携協定を締結し（2020年7月現在）、地域のステークホルダーの皆様と連携・協力して健康経営を推進しています。
そして、これからも一社でも多くの企業様に健康経営を取り組んでいただくため、これらのステークホルダーの皆様との連携を強化し、この取り組みを進めて参ります。

この冊子では、企業様に新たに健康経営に取り組んでいただく、あるいは、より一層取り組みを深めていただくために、健康経営に取り組まれ素晴らしい成果を実現されている企業様の先進事例をご紹介させていただきます。
そして、健康経営を取り組まれる際には、また、現在の健康経営の取り組みを強化される際には、そのパートナーとして是非ともアクサ生命をご指名いただければ幸いです。

最後になりますが、本紙をご覧いただいた企業様の永続的発展と社員様およびそのご家族様の健やかで幸せな人生の実現を心よりご祈念申し上げます。

アクサ生命保険株式会社
代表取締役副社長兼チーフディストリビューションオフィサー
幸本 智彦

CONTENTS

東北・北海道

				P.
001	株式会社オープンソース	北海道	札幌営業所	6
002	アートシステム株式会社	北海道	札幌営業所	7
003	東日本自動車タイヤ株式会社	北海道	札幌営業所	8
004	オリンポス債権回収株式会社	北海道	札幌営業所	9
005	社会福祉法人岩見沢光明舎	北海道	岩見沢営業所	10
006	須藤建設株式会社	北海道	苫小牧営業所	11
007	株式会社川股設備工業	北海道	函館営業所	12
008	日成工機株式会社	北海道	旭川営業所	13
009	株式会社KT建業Constructor	北海道	旭川営業所	14
010	極東警備保障株式会社	北海道	旭川営業所	15
011	株式会社 南富自動車サービスエリア	北海道	旭川営業所	16
012	株式会社北見写真館	北海道	北見営業所	17
013	青木建設株式会社	北海道	帯広営業所	18
014	株式会社太平洋シルバーサービス北海道	北海道	釧路営業所	19
015	津軽警備保障株式会社	青森県	弘前営業所	20
016	隆伸工業株式会社	青森県	五所川原営業所	21
017	株式会社共栄薬品	岩手県	盛岡営業所	22
018	宇部建設株式会社	岩手県	一関営業所	23
019	株式会社プラザ企画ホテルプラザイン水沢	岩手県	奥州営業所	24
020	株式会社小田島組	岩手県	花巻営業所	25
021	株式会社菊池技研コンサルタント	岩手県	大船渡営業所	26
022	株式会社逢隈製作所	宮城県	仙台営業所	27
023	株式会社ニア	宮城県	仙台営業所	28
024	大信産業株式会社	宮城県	石巻営業所	29
025	株式会社美装社	宮城県	古川営業所	30
026	有限会社山藤運輸	宮城県	気仙沼営業所	31
027	株式会社介援隊	宮城県	気仙沼営業所	32
028	気仙沼商工会議所	宮城県	気仙沼営業所	33
029	有限会社相模産業	宮城県	気仙沼営業所	34
030	姉帯電気工業株式会社	秋田県	秋田営業所	35
031	千代田興業株式会社	秋田県	秋田営業所	36
032	ケイエス有限会社	秋田県	秋田営業所	37
033	藤田建設株式会社	秋田県	秋田営業所	38
034	有限会社松井木工版	秋田県	横手営業所	39
035	株式会社ヤマコン	山形県	山形営業所	40
036	株式会社さのや	山形県	天童営業所	41
037	ベア・ロジコ株式会社	山形県	天童営業所	42
038	丸果庄内青果株式会社	山形県	酒田営業所	43
039	株式会社福祉のひろば	山形県	酒田営業所	44
040	有限会社備研	山形県	鶴岡営業所	45
041	株式会社鈴木工務店	山形県	鶴岡営業所	46
042	ミライズ公共設計株式会社	山形県	米沢営業所	47
043	株式会社ウインズ	福島県	郡山営業所	48
044	株式会社桑原コンクリート	福島県	郡山営業所	49
045	好間町商工会	福島県	いわき中央営業所	50
046	福浜大一建設株式会社	福島県	いわき浜営業所	51
047	アサヒ電子株式会社	福島県	福島営業所	52
048	株式会社山川印刷所	福島県	福島営業所	53
049	FAシンカテクノロジー株式会社	福島県	福島営業所	54
050	有限会社ワシオ商会	福島県	会津若松営業所	55
051	有限会社ワンピース	福島県	会津若松営業所	56
052	仄々倶楽部合同会社	福島県	相双営業所	57
053	東陽電機工事株式会社	福島県	白河営業所	58
054	株式会社桜交通	福島県	白河営業所	59
055	株式会社藤建技術設計センター	福島県	白河営業所	60
056	株式会社鈴木建設	福島県	白河営業所	61
057	有限会社ハシコー梱包運輸	福島県	須賀川営業所	62
058	三柏工業株式会社	福島県	須賀川営業所	63

北信越

				P.
059	株式会社メイケン	新潟県	柏崎営業所	64
060	三福運輸株式会社	新潟県	新発田営業所	65
061	高木建設株式会社	長野県	長野営業所	66
062	株式会社みすず綜合コンサルタント	長野県	上田営業所	67
063	株式会社アイネット	長野県	松本営業所	68
064	城東冷機サービス株式会社	長野県	松本営業所	69
065	株式会社江島積算	長野県	諏訪営業所	70
066	南新電気工業株式会社	長野県	諏訪営業所	71
067	第一交易株式会社	富山県	高岡営業所	72

関東

				P.
068	株式会社トレンディー茨城	茨城県	水戸営業所	73
069	日和サービス株式会社	茨城県	日立営業所	74
070	鈴縫工業株式会社	茨城県	日立営業所	75
071	有限会社日工自動車サービス	茨城県	日立営業所	76
072	日本ナショナル製罐株式会社	茨城県	石岡営業所	77
073	株式会社ライデック	栃木県	宇都宮営業所	78
074	石川建設株式会社	群馬県	太田営業所	79
075	平出紙業株式会社	群馬県	前橋営業所	80
076	桐生建設株式会社	群馬県	桐生営業所	81
077	株式会社旭	埼玉県	所沢営業所	82
078	株式会社広瀬工業	埼玉県	所沢営業所	83
079	株式会社日環サービス	埼玉県	川口営業所	84
080	梅田工業株式会社	埼玉県	埼玉北営業所	85
081	国際建設株式会社	山梨県	甲府営業所	86
082	冨士食品工業株式会社	山梨県	甲府営業所	87
083	株式会社ハーモテック	山梨県	甲府営業所	88
084	株式会社富士情報	山梨県	富士吉田営業所	89
085	株式会社イーファイト	山梨県	山梨北営業所	90
086	株式会社山十産業	山梨県	山梨北営業所	91
087	総武物流株式会社	千葉県	松戸営業所	92
088	株式会社ユニペン	千葉県	木更津営業所	93
089	社会福祉法人佑啓会	千葉県	木更津営業所	94
090	株式会社斉藤総業	千葉県	船橋営業所	95
091	アシザワファインテック株式会社	千葉県	船橋営業所	96
092	株式会社佐倉環境センター	千葉県	成田営業所	97
093	株式会社ホットアルバム炭酸泉タブレット	東京都	多摩営業支社	98
094	東京西サトー製品販売株式会社	東京都	多摩営業支社	99
095	株式会社エコワスプラント	東京都	青梅営業所	100
096	東芝ライテック株式会社	神奈川県	横須賀営業所	101
097	株式会社大和ケミカル	神奈川県	相模原営業所	102
098	砂川興業株式会社	静岡県	藤枝営業所	103
099	イースタンフーズ株式会社	静岡県	三島営業所	104
100	株式会社アクト	静岡県	三島営業所	105
101	長泉パーカライジング株式会社	静岡県	三島営業所	106
102	ドコス株式会社	静岡県	浜松営業所	107
103	伴建設株式会社	静岡県	浜松営業所	108

健康経営優良法人2020 インタビュー

Voice Report

200th The interview

関西・東海

				P.
104	株式会社大雄	岐阜県	岐阜営業所	109
105	協和薬品工業株式会社	岐阜県	岐阜営業所	110
106	株式会社中日AVシステム	岐阜県	西濃営業所	111
107	株式会社中央重機	岐阜県	東濃営業所	112
108	株式会社長瀬土建	岐阜県	飛騨営業所	113
109	永舞建設株式会社	愛知県	名古屋営業所	114
110	株式会社オリエント・サービス	愛知県	春日井営業所	115
111	株式会社高柳組	愛知県	春日井営業所	116
112	株式会社リード	愛知県	春日井営業所	117
113	エバー株式会社	愛知県	知多営業所	118
114	株式会社ニシテ商会	愛知県	知多営業所	119
115	協和工業株式会社	愛知県	知多営業所	120
116	株式会社ルナクラフト	愛知県	小牧営業所	121
117	アクティブ株式会社	愛知県	岡崎営業所	122
118	株式会社マイシン	愛知県	豊橋営業所	123
119	株式会社サンコー	愛知県	豊橋営業所	124
120	蒲郡商工会議所	愛知県	豊橋営業所	125
121	豊田東海警備グループ 豊田東海警備株式会社・ 日本信託警備株式会社	愛知県	豊橋営業所	126
122	株式会社玉井設計・玉井建設株式会社	愛知県	安城営業所	127
123	株式会社三エスゴム	三重県	四日市営業所	128
124	株式会社大島水道	三重県	桑名営業所	129
125	株式会社アオキエンジニア	三重県	津営業所	130
126	有限会社小林組	三重県	津営業所	131
127	イケダアクト株式会社	三重県	鈴鹿営業所	132
128	株式会社SMHD	三重県	伊勢営業所	133
129	バイオマスパワーテクノロジーズ株式会社	三重県	松阪営業所	134
130	株式会社KATSURA	京都府	京都営業所	135
131	グリーン物流サービス株式会社	京都府	京都営業所	136
132	株式会社西田製作所	京都府	京都営業所	137
133	サント機工株式会社	京都府	福知山営業所	138
134	日東精工株式会社	京都府	福知山営業所	139
135	北陵興業株式会社	京都府	福知山営業所	140
136	株式会社一休庵	滋賀県	彦根営業所	141
137	ダイイチ・トランスポート株式会社	滋賀県	彦根営業所	142
138	株式会社高浄	大阪府	大阪営業所	143
139	ハウスあいファクトリー株式会社	大阪府	大阪東営業所	144
140	株式会社CHAMPION CORPORATION	大阪府	大阪東営業所	145
141	株式会社八代塗装	大阪府	大阪東営業所	146
142	象印ファクトリー・ジャパン株式会社	大阪府	大阪東営業所	147
143	株式会社サンコー	和歌山県	和歌山南営業所	148
144	株式会社洲本整備機製作所	兵庫県	神戸営業所	149
145	株式会社マルヤナギ小倉屋	兵庫県	神戸営業所	150
146	社会福祉法人千鳥会	兵庫県	神戸営業所	151
147	株式会社ビィー・プランニング	兵庫県	阪神営業所	152
148	株式会社エムヴィ	兵庫県	阪神営業所	153
149	金井自動販売株式会社	兵庫県	阪神営業所	154
150	乙女草株式会社	兵庫県	阪神営業所	155
151	有限会社丸福運送店	兵庫県	姫路営業所	156
152	原田工業株式会社	兵庫県	姫路営業所	157
153	株式会社平田建設	兵庫県	姫路営業所	158
154	株式会社ユーエム工業	兵庫県	東播営業所	159
155	有限会社玉木新雌	兵庫県	東播営業所	160
156	中野プランツ株式会社	兵庫県	東播営業所	161

中国・四国

				P.
157	株式会社宇和島自動車運送	愛媛県	北四国営業支社	162
158	有限会社丸電工業	愛媛県	北四国営業支社	163
159	仙味エキス株式会社	愛媛県	北四国営業支社	164
160	株式会社フクテコ	島根県	松江営業所	165
161	株式会社あおい総合設計	鳥取県	米子営業所	166
162	株式会社バイタルリード	島根県	出雲営業所	167
163	イズテック株式会社	島根県	出雲営業所	168
164	サンベ電気株式会社	島根県	出雲営業所	169
165	株式会社シーエスエー	島根県	出雲営業所	170
166	金田コーポレーション株式会社	岡山県	岡山営業所	171
167	株式会社共和工業所	岡山県	倉敷営業所	172
168	コンケングループ株式会社コンケン・藤クリーン株式会社	岡山県	倉敷営業所	173
169	山陽環境開発株式会社・にいみ清掃株式会社	岡山県	備中営業所	174
170	伊豆義株式会社	広島県	福山営業所	175
171	こだま食品株式会社	広島県	福山営業所	176
172	株式会社中国トラベル	広島県	福山営業所	177
173	青葉印刷株式会社	広島県	福山営業所	178
174	有木株式会社	広島県	府中備北営業所	179
175	澤田建設株式会社	山口県	徳山営業所	180

九州

				P.
176	西鉄不動産株式会社	福岡県	福岡営業所	181
177	西部電気工業株式会社	福岡県	福岡営業所	182
178	株式会社国光産業	福岡県	久留米営業所	183
179	株式会社柳川合同	福岡県	柳川営業所	184
180	株式会社マエダ	福岡県	北九州営業支社	186
181	直方商工会議所	福岡県	筑豊営業所	187
182	株式会社シンク	福岡県	筑豊営業所	188
183	崎永海運株式会社	長崎県	長崎営業所	189
184	大瀬戸造船鉄工株式会社	長崎県	佐世保営業所	190
185	株式会社篠原建設	佐賀県	佐賀営業支社	191
186	伊万里商工会議所	佐賀県	唐津営業所	192
187	株式会社東洋企画印刷	沖縄県	那覇営業所	193
188	有限会社三崎工業	沖縄県	沖縄中部営業所	194
189	株式会社金沢電気設備	熊本県	熊本営業所	195
190	株式会社田中材木店	熊本県	熊本営業所	196
191	有限会社アース・クリーン	熊本県	熊本城北営業所	198
192	有限会富城物産	大分県	大分営業所	199
193	アボック株式会社	宮崎県	宮崎営業所	200
194	株式会社New Create	宮崎県	宮崎営業所	201
195	第一建設株式会社	宮崎県	宮崎営業所	202
196	株式会社ふくじゅそう	宮崎県	日向営業所	203
197	株式会社九南	宮崎県	都城営業所	204
198	都城商工会議所	宮崎県	都城営業所	205
199	株式会社ブンカ巧芸社	鹿児島県	鹿児島営業所	206
200	株式会社宇都電設	鹿児島県	鹿屋営業所	207

※「健康経営」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。

001

北海道
札幌営業所

Voice Report 200th

株式会社オープンソース

代表取締役社長
宮本昭持 氏

「私たち株式会社オープンソースは、社員の健康を大切にする健康経営の取り組みを実践しています。」

- 代表取締役社長　宮本昭持 氏
- 本 社 所 在 地　札幌市中央区南１条西7号18番4丁目
- 主な事業内容　システム監視・運用、ソフトウェア受託開発
- 従 業 員 数　47名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2019・2020 2年連続認定

今後の会社経営において、社員の高齢化を見据えて健康経営に取り組む必要性を感じてました。

従来より当社では、社員の健康増進と社内コミュニケーションの促進を図る為に協会けんぽを通じた役職員の100％健康診断の受診はもとより、社外スポーツ大会（リレーマラソン）の参加、社内レクリエーション（ボーリング大会・パークゴルフ大会）を実施していました。そのさなか、2018年６月「札幌市・アクサ生命共催：健康経営・がん対策認定企業セミナー」に参加し、国・地方自治体等が、「健康経営」に取り組む企業に対しての表彰制度があることを知り、わが社も会社・社員の為に、取り組もうと決意致しました。

「アクサ生命の健康経営アドバイザー」のアドバイスを基に、健康経営の社内の取り組みを充実させた。

第１に、協会けんぽ「健康事業所宣言」・札幌商工会議所「健康企業宣言」に登録すると共に会社HP・名刺を変え、社内外に①社員の健康を大切にする企業であること②健康経営に取組み、実践する企業であること③次世代の人材を育成する事業を行う会社であることを発信（宣言）致しました。併せて、札幌市がん対策認定企業に申請し、最高位のプラチナ認定をいただきました。第２に、社長としてすぐできるところから、感染症予防のためのアルコール消毒液の設置、事業所内完全禁煙、アクサ生命の保険付帯サービスを通じた従業員のメンタルサポートサービス利用（外部機関の設置）を行いました。

「健康経営」を実践して行く為には、社員の「健康経営への参画」（行動変容）の必要性を感じました。

会社としては、上記の健康経営への取組みを実践してきましたが、健康習慣Webアンケートを実施した結果、社員自らの健康（食べ物・運動等）に関する関心（意識）が低かったことから、アクサ生命の健康経営ワンポイントアドバイスを定期的に社員に発信（回覧）すると共に、アクサ生命の健康経営アドバイザーを講師に迎え、社員を対象とした「健康セミナー」を実施し、社員の健康に関する意識の変革・行動変容を図るように取組みました。社員全員の健康に関する意識の変革・行動変容は、一朝一夕になるものではないと感じております。

『大切な社員とその家族、UOS（ソフトウェアを通じたグループ）の仲間、お客様の為に「健康経営」を推進し、拡げていきたいと思います。

私たち「株式会社オープンソース」は、社員の健康を大切にする健康経営の取組みを実践しています。そしてオープンソースウエアを積極的に活用し、多くの企業様のビジネスに役立つ形で提供していきます。またソリューションだけに留まらず、ヘルプデスク等の保守管理業務、次世代の人材を育成する研修事業なども展開していきます。

今後の展望と課題

①健康経営優良法人認定申請に関しては、毎年更新（申請）し、会社としてできて（整備されて）いない項目は、できる（整備される）よう改善して参ります。
②現社員の健康を維持向上させる為に「健康経営」を継続して取り組んで参ります。
③客観的なデータと共に、社員の「健康」に関する意識・行動変容の為に、会社として様々健康情報・教育機会・ツールを提供していきます。

002

北海道
札幌営業所

アートシステム株式会社

代表取締役社長
松田信介 氏

「働き方改革から健康経営へ」アートシステム株式会社

- 代表取締役社長　松田信介 氏
- 本 社 所 在 地　北海道札幌市白石区
- 主な事業内容　ソフトウェア開発
- 従　業　員　数　33名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模

健康経営優良法人
2019・2020 2年連続認定

ワークライフバランス
働き方改革から健康経営へ

2016年 (一社)北海道商工会議所連合会の健康経営協議会の創立メンバーとなったことで健康経営を知り、その後、働き方改革があり、当社もワークライフバランスを進めていた中、2018年札幌市・アクサ生命共催の「健康経営・がん対策企業認定セミナー」に参加をして、働き方改革の内容が健康経営優良法人認定基準項目にも含まれていたこともあり、様々な改革を推進して、2年連続優良法人認定を頂けるようになりました。

顔が見える職場から拡げるコミュニケーション

会社として社員間のコミュケーションの活性化にも力を入れており、各種マラソン大会の参加やキャンプ・BBQなどを取り入れております。またコロナ禍においてZoomを使って食事会など在宅ワークになっても顔の見える職場の環境作りをしております。マラソン大会に備え、日々体力作りする社員もおり、アクサ生命のワンポイントアドバイスは毎月掲示し社員の健康づくりに役立てております。

「健康経営実践プログラム」を参考に、
まずは取り組めそうな項目から。

従業員の健康をまず第一に考え、健康診断100%受診から水曜日の早帰りデー、月1回の有給休暇の取得の推進など従業員が自ら出来ることから始め、従業員が身体も心も健康に過ごしながら業務が出来る環境を作りました。また業務が偏らないように二人一組にして負担を減らしながら効率化を目指しております。

今後の展望

- 働き方改革から健康経営の取り組みの上で、業績を下げずに社員の休暇取得率が以前より1.5倍になりました。このことは会社として生産性が向上している事を意味しているものだと感じております。
- 社員が働きやすい環境作りをすることが健康経営に繋がり、社員が永く勤められる会社となることと考えております。

新しい生活様式の会社としての導入

弊社は今回のコロナ禍の影響で内勤業務が主となっておりますが、希望者には出勤時の不安も考慮して在宅ワークを行っております。仮に緊急事態宣言が再度発動し、家庭的理由で出社が出来ない事柄があっても、従業員の職務が滞らない様に社内にも新しい生活様式の導入として全員がリモートによる在宅ワークが出来る体制を早い段階で構築致しました。

札幌ドームでのリレーマラソン大会参加の様子

003

北海道
札幌営業所

Voice Report 200th

東日本自動車タイヤ株式会社

代表取締役社長
野々村安廣 氏

「社員の病気理由退職０名目標から始まった健康経営」

- 代表取締役社長　野々村安廣 氏
- 本 社 所 在 地　北海道札幌市清田区
- 主な事業内容　自動車部品付属品卸売
- 従　業　員　数　36名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模

健康経営優良法人
2020 認定

一冊の定期購読誌から知った「健康経営優良法人認定制度」

昨年（2019年）7月の地元の経済誌の「社員の健康を守るホワイト道内113社」という記事が目に留まり読んだところ、経産省（日本健康会議）や札幌市が推奨する「健康経営優良法人認定」・「札幌市がん対策企業認定」といった制度があることを知り、こういった表彰制度が社員の健康管理に役立つと感じ、記事に掲載されていた当社の保険契約先のアクサ生命が、これらの表彰制度の申請サポートをしていることを知り、アクサ生命の担当者から詳細を聞くことにしました。

先代社長から引き継いだ健康経営

今思うと17年前、先代の社長が「縁あって当社に入社した社員が生命保険に未加入で、病気にかかったり、ケガを負った際に治療費が工面できずに、満足な治療が受けられずに、退職になるようなことがないように退職金制度の他、福利厚生の一環として会社契約（負担）で社員にも医療保険を掛けたのが、我が社の「健康経営」の始まりだったのかもしれません。

管理職から始める健康経営の具現化

先述の通り、我が社の健康経営を続ける一番の目標は、「元気に働いて、病気治療の理由で退職する社員を出さないこと」です。その為に先ずは、2018年札幌市・アクサ生命共催の「健康経営・がん対策企業認定セミナー」に常務に参加してもらい、その後、総務部長に「健康づくりの総責任者」になってもらい、協会けんぽ及び札幌商工会議所の「健康事業所宣言」に登録した後、アクサ生命の健康経営アドバイザーを招いて、各店長（管理職）を対象に「健康セミナー」を開きました。

健康習慣アンケートから解った我が社の課題と対策

会社としては、社員の為に「医療保険（生命保険）」の加入の他、「介護保険（生命保険）」の加入を行い、福利厚生の制度を拡げてきましたが、健康習慣アンケートから「飲酒」「喫煙」「運動」に関して約1/3の社員が無関心であることが判明し、これらの対策として作業場の喫煙スタンドの即時撤去、各部署にアルコール消毒液の設置、勤務時間でできる軽運動（ワークサイズ10）、「上手なお酒の付き合い方」と未病に向けた社員一人一人の行動変容に向けた対策を始めることに致しました。

今後の展望

おかげさまで初めての「健康経営優良法人認定申請」にあたり15の評価（選択）項目中、14項目に適合して、「健康経営優良法人2020認定」を受賞することができましたが、私自身、7年前に大病を患い身をもって心身ともに健康であることの重要性を痛感致しました。それだからこそ、会社が「健康経営」を通じて、社員並びにその家族を守り、会社を守ることが私の責務だと考えております。

（写真左）本社・清田店　（写真右）事務所内風景

004

北海道
札幌営業所

オリンポス債権回収株式会社

代表取締役社長
小川英宏 氏

「健康経営を通じて社員の幸せづくりから社会貢献へ」

- 代表取締役社長　小川英宏 氏
- 本 社 所 在 地　北海道札幌市豊平区
- 主な事業内容　その他の金融業
- 従　業　員　数　80名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模

健康経営優良法人
2020 認定

健康経営の必要性
社員とその家族の幸せづくりから社会貢献へ

当社では、社員が幸せになる会社づくりを通じて、社会に貢献することを経営の理念に掲げています。
幅広い年齢層の社員が多く在籍する中、健康は社員においても重要な関心事の一つであり、健康経営の推進が社員やその家族の幸せに資すると考えております。

健康経営の日常の取り組み

健康経営の推進においては、多種多様な取り組みがあると考えますが、当社では、身の丈に合ったことから始めております。(1)年１回の全社員の健康診断の実施(2)メンタルヘルスケアの実施と社員相談窓口の設置、そういった社員一人一人としっかり向き合える取り組みを中心に据え、健康は会社や社員にとって一生の問題であるため、短期的かつ表面的な取り組みに終わらないよう重要な継続的な経営課題として取り組んでおります。

感染症への対応を通じて、
あらためて健康経営の重要性を認識

今般の新型コロナウイルスの流行に伴い、社員の健康維持が会社経営に直結することを改めて認識致しました。
当社では、感染症予防として手指・ワークエリアの消毒用アルコールの設置と社員用のマスクの確保と配布を行っておりましたが、接触リスクを軽減させる為、出勤日数調整や時差出勤、飛沫拡散防止用にシールドの設置（職場環境対策）、テレワーク対応（業務環境整備）を実施して参りました。また、体調管理用の相談窓口を新しく設置することにより、社員の体調やコロナウィルス感染防止対策についての疑問や不安を取り除く社内体制を構築致しました。

今後の取り組み

基本的なことを大切にしつつ、これまでの取り組みを継続し、社員がより健康に関心を持てる環境を整備して参ります。更には全社員が参加できる軽い運動ができる催し等を企画し、社員間のコミュニケーションの場を増やし、体調面のみならず、メンタルヘルスにも繋がる取り組みも進め、全社員が健康経営を感じられる社風を目指して参ります。

最後に（当社のメッセージ）

2020年は、コロナウイルスの影響により多くの企業が否応なく経営の一環として、社員の健康に向き合うことになったのではないでしょうか？　奇しくも当社では、健康経営優良法人認定を受けた初年度にあたりましたが、今回の認定を受けるにあたり社内では、社員の健康維持をするには、どのような社内体制を構築すべきか？　社員と共に多くの議論を行って参りました。
そこで得た結論は、基本的な取り組みを大事にして、社会や社内の状況変化に対して柔軟かつ迅速に対応できる社内体制を築くことでした。今後もこのことを当社の「健康経営スタイル」として進めて参ります。

（写真左）2020健康経営優良法人認定証
（写真右）感染防止対応受付窓口

005

北海道
岩見沢営業所

Voice Report 200th

社会福祉法人岩見沢光明舎

理事長
仁志正樹 氏

健康経営を通じて、障害をもつ人たちとともに地域に根ざし、安心して「はたらく・くらす」を支援

- 理　事　長　仁志正樹 氏
- 本社所在地　北海道岩見沢市2条東14丁目2番地
- 主な事業内容　障害福祉サービス事業
- 従業員数　56名(男性:18名、女性:38名)

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人2020
(中小規模法人部門)認定

健康経営に取り組むキッカケ

法人の発展に不可欠な人材は「財産」であるという考えのもと、従業員の身体も心も健康で働ける環境づくりに着目し運営しています。アクサ生命の担当者から「健康経営優良法人」の存在を教えていただき、認定を取得することが社会的地位や信頼性の確保につながり、また実践することで従業員の「はたらく」意欲の向上やより良い福祉サービスを推進していくため、健康経営に取り組むこととしました。

定期健診受診率100%と検診の勧奨

「健康」は良い仕事を行うための基礎であり、定期健診の受診は健康維持や早期発見・早期治療のための重要な取り組みです。職員は家族や同僚、友人など多くの人たちとの関わりの中で生活しており、明るく豊かな生活を送っていくためには、現在の自分の体の状態を知ることが大切です。このため、毎年、人間ドックを全職員が受診(特別休暇認定)しているとともに、再検査等の該当者には速やかな受診を促しています。また、婦人科検診の費用助成や勧奨も行っています。

運動不足の解消と職場の活性化

自転車通勤にも自家用車と同様の通勤手当を設定するとともに、毎朝のラジオ体操参加を奨励するなど、運動不足解消のための取り組みを行っています。また、職場以外での職員同士のコミュニケーションの向上を図るため、祭りイベントの観光おどりに単独チームで参加しています。この参加は、風通しの良い職場環境づくりや地域とのつながりに結びつく取り組みとなっています。(※今年度は新型コロナウイルス感染症のためイベント中止)

利用者・職員が皆光輝く組織として、未来に引き継ぐために

昨年、創立60周年を迎え、光明舎の「光」をモチーフに、光輝く様と弾けるような活発で元気な姿を表現するロゴを作成しました。設立当初から行っているクリーニング事業に加え、今年度からはごみ袋の製造事業に取り組んでいます。今後も元気で明るく働きやすい職場づくりを進め、利用者の自立支援と社会貢献に努めていきたいと考えています。

社屋と工場風景

須藤建設株式会社

代表取締役社長
須藤正之 氏

健康経営により会社の活力向上と地域の活性化を目指す！

- 代表取締役社長　須藤正之 氏
- 本 社 所 在 地　北海道伊達市松ヶ枝町65-8
- 主な事業内容　建設業
- 従　業　員　数　58名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人2020
(中小規模法人部門) 認定

健康経営に取り組む必要性を感じたきっかけ

以前よりアクサ生命の営業担当者から健康経営の取り組み事例や従業員向けの情報を提供していただき、健康経営に関心をもっておりました。
昨年、隣の室蘭市でアクサ生命と室蘭商工会議所共催の健康経営セミナーの案内があり、そのセミナーに参加して、これからの企業の発展の為には健康経営の取り組みが必要であると感じ、2020年の優良法人認定取得へ向けて取り組みを開始いたしました。

健康経営優良法人認定2020へ向けての動き

9月に開催されたセミナーをきっかけに、健康経営優良法人認定の取得を目指すと決めてから、申請締切までの時間が限られておりましたので、2020認定基準クリアーに向けて３項目に分類することで取り組みを開始致しました。
①現時点で取り組みが出来ている事項
②新たに必要とされる取り組み事項
③特に力を入れた取り組み事項

新型コロナウィルス感染拡大下においての対策！

新型コロナウィルス感染拡大において、新たな感染予防対策として、従来は応接においてお客様へのお茶はグラスや、湯呑茶碗に入れてお出ししておりましたが、現在は感染防止の観点より、個別のパック飲料に切り替えました。
また、以前から設置しておりましたアルコール除菌スプレーには、より使用を促す為に一言文言添えて気軽に使用できるようにして、感染予防を徹底しております。

人生100年時代！
これからも北の大地で100年！

今までも、これからも会社は最低条件として人がいて成り立つと考えております。1918年に創業して2018年に100周年を迎えました。次の100年を目指し地域の皆様とともに歩んでいく上で、未来を担う子どもたちのためにこの地域に貢献していくことが役割だと考えております。
ものづくりという業種の任務として技術という人の手による仕事の楽しさ、やりがいを未来に繋ぐことと考えております。人の手によって創造すること、ものづくりの楽しさを次の世代にもしっかり受け継いでいけるように、「やりがいのある仕事」を「この会社で働きたい」を『健康経営取り組みの継続』を基盤にグローバルな視点を持った次世代の働き手への発信をして、地域活性化に繋がればという思いがございます。
健康経営に取り組む事は勿論ではございますが、これからのさらなる人口減少する日本社会ではありますので、今後も柔軟に働き方にも対応していきたいと思います。

2019年９月19日健康セミナー実施
講師は稲田先生、テーマは社員の健康が企業を活性化

株式会社川股設備工業

本社社屋

「豊かな社会を創造し、快適な生活に貢献する企業」を目指すため健康経営に取り組む

- 代表取締役社長　川股幸徳 氏
- 本 社 所 在 地　北海道函館市桔梗町695-5
- 主な事業内容　一般管工事業
- 従　業　員　数　29名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2019・2020 2年連続認定

「健康経営」を耳にし、取り組む必要性を感じました

快適な暮らしに欠かすことが出来ない「水」と「空気」。
より快適に個性的な生活を安全に継続していくために新しいエネルギーシステムが必要です。そのための技術の進化と発展を常に目指し、後世へ引き継いでいくため、ベテラン社員への雇用の充実と次世代を担う人材の確保、定着を図るため「健康経営」に取り組みました。

地域から求められる会社を目指して

地域社会へしっかり貢献でき、また将来に向かって持続的に求められる企業を目指すためには、やはり社員無くしてはあり得ません。社員とその社員を支えるご家族にとっても選ばれる会社になるために「健康経営」への取り組みは欠かせないものになっています。
社員の健康と成長を大切にしながら、常に住みやすさ、暮らしやすさを提供し続ける企業を目指します。

まずは取り組めそうな活動から！

定期健診受診率100％、予防接種の推進の他、就業時間内及び敷地内での禁煙を実施しました。
また、有給休暇の取得、残業時間の見直し等、働き方改革に対する取り組みも行っていき、働きやすい環境作りを目指していきたいと思っています。
教育の場としては、インターンシップ等の教育プログラムの協力や未経験者への技術的サポート教育の実施、総合設備業における積極的な女性の採用などを行っています。

今後の展望

お客様に誠実に向き合い信頼されるサービスの追求、そして確実に提供できる社員を育て、企業価値を高めていきたいと思っています。地域社会の活性化の為、そこに住む人々の幸せのためにこれからも「ヒト」を大切に、成長し続けていきます。

会社全体の効果として

手探りでスタートした取り組みですが、継続することで喫煙率が低下してきました。定例会議を利用し、社員への発信を繰り返すことで浸透してきております。
「健康経営」に取り組むことで従業員一人一人が生活習慣を見直すきっかけになり、予防に対する意識、関心が高まってきています。また、生活習慣webアンケートの実施により課題が見える化され、今後の取り組みに活用したいと思います。

研修棟

008

北海道
旭川営業所

Voice Report 200th

日成工機株式会社

代表取締役社長
森本千晶 氏

「従業員の心身の健康が企業の健康につながる」と捉え健康経営に取り組む

- 代表取締役社長　森本千晶 氏
- 本 社 所 在 地　北海道上川郡当麻町字園別1区
- 主な事業内容　コンクリート2次製品用鋼製型枠の設計・製造
- 従　業　員　数　21名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模

健康経営優良法人
2019・2020 2年連続認定

「健康経営」導入のきっかけ

創業以来私たちは時代のニーズに合わせ多くの金属加工製品を世の中に送りだしてきました。公共事業を通じて安全で安心な豊かな社会になる手助けをすることが私たちの使命です。しかし、受注生産の体制では時間外労働や休日出勤が発生し社員の健康を守ることができていませんでした。そんな中「働き方改革」が制定されると知り、社員の健康の大切さを改めて学ぶ機会を得、このままではいけないと奮起し「健康経営優良法人」の認定取得に取り組みました。

健康経営の取り組み

毎朝ラジオ体操で心と体をリフレッシュさせます。
年2回は外部から講師を招き心身の健康をテーマにした社内研修を実施します。食の大切さを再認識してもらうのに、契約農家さんから購入した新鮮野菜を月に一度(6月～10月)配布し、家族皆さんで味わっていただきます。
また、ランチミーティングとして小グルーに分かれ近くのレストランで食事をしたり、工場見学を開催するなど環境を変えて触れ合う中で社員間のコミュニケーションの活性化を促す活動も取り入れています。

働きやすい職場づくり

「社員の健康は企業の健康」として2019年から健康経営優良法人の認定を受け、病気の治療や家族の介護や看護、女性特有の病気のケアなどサポート体制を充実させ誰もが気兼ねなく休める環境作りをしています。
また、従来の工程計画の立て方の見直し、工程管理の見える化に取り組んだところ、時間外労働の２５％の削減に成功しました。その結果、休日には同僚と船釣りに出たり、各地のマラソン大会に出場したり、趣味のガーデニングに精を出すなど充実した時間を過ごす姿が増えてきました。

今後の展望

「社員満足」が「顧客満足」へ繋がると信じています。社員一人一人の元気と笑顔が会社の宝であり活力です。これからも安全で安心な世の中を守るお手伝いをさせていただく為にも健康経営を掲げ邁進して参ります。
今後は社員自身が今以上に自分の健康に関心を持ち、喫煙者ゼロ、生活習慣病予防に努める健康的な生活を送ってもらいたいです。また、それをサポートできる企業であり続けます。

株式会社KT建業Constructor

「健康で若々しく仕事に取り組み　多くのお客さまに選ばれるために」健康経営に取り組む

- 代表取締役社長　中野京四郎 氏
- 本 社 所 在 地　上川郡東神楽町北一条西一丁目７－２
- 主な事業内容　土木工事業
- 従　業　員　数　15名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020 認定

若い世代に今後をつないでいけるように

2019年3月で創業10周年を迎えました。ひとえに日頃よりお世話になっている関係各社の皆様のご支援のおかげでございます。ありがとうございます。感謝申し上げます。そして、社員一同決意新たに更なる技術の向上を追求し、無事故、安全第一でこれからも邁進していくことを全社員で確認しあいました。そして、人生100年時代といわれるこの時代、健康で若々しくいつまでも元気で働けるように、若い世代のこれからの人生を考えて、健康経営の取組みをはじめました。

食生活の改善の話や、運動についての会話が増えた

社内にある筋トレルームを開放したり、一人一人の健康面、メンタル面の確認のために月一回個人面談をすることで社員一人一人が健康に関し、より意識するようになってきました。飲み物も糖分少なめの飲み物になり、外食も控えるようになりました。喫煙もかなり減ってきています。
そして、同じことに取り組むことでコミュニケーションもUPし会社の雰囲気も良くなってきていると実感しています。2年目の今年も優良認定を受けれるよう取り組んでいます。

「健康経営実践プログラム」から、まずは取り組めそうな活動を

アクサ生命の健康経営アドバイザーによるWEBアンケートのフィードバックセミナーを実施していただきました。現状の社員の健康状態や健康に関する意識を数値で表していただき、また、具体的にどのように今後取り組んでいくといいのか、を説明いただきました。

今後の展望

私たちは、選ばれるために何が必要かを常に考え、「チャレンジ」することが成長につながると考えています。徹底的な社員教育とコミュニケーションを重視していくこと、そして、若い従業員が技術を身に着けていくうえで更にそこに、健康経営にも取り組むことで、いつまでも若々しくいてもらい、この仕事を長く続けていってもらいたいと思っています。

健康経営アドバイザーによるセミナー

会社の仲間たちとのキャンプで、コミュニケーションUP

010

北海道
旭川営業所

極東警備保障株式会社

代表取締役社長
長谷川力也 氏

全職員が健康で安心して職務に邁進できる職場環境を目指し健康経営に取り組む

- 代表取締役社長　長谷川力也 氏
- 本 社 所 在 地　旭川市永山北1条10丁目11番19号
- 主な事業内容　総合警備、総合美装、介護・福祉、フード事業の4部門
- 従 業 員 数　464名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020 認定

安全産業に身をおく企業の一員として健康経営に取り組む必要を感じました

当社は1981年に「人の生命と財産を守る」という社会的使命感から安全産業の一員として創業しました。
以来、常に社員の知識と技術を磨き【安全とあんしん】を提供できるプロフェッショナルの育成に努めています。
現在、総合的な警備部門を中心に、総合美装、居宅・在宅を含む介護・福祉部門、フード事業の四部門を手掛けており、全てが専門の技術者を必要不可欠としています。
現在、少子高齢化であり、不安定な自然環境と目まぐるしく変化する社会情勢の中、市民の皆様が必要とする「安全とあんしん」をいち早く感じとり、プロフェッショナルであるからこそ対応できるサービスを提供するためにも、この健康経営の【社員の健康増進に投資をし業績向上につなげる】という考え方に将来性を感じ、導入することにしました。

社員一人一人の健康が会社をつくる！

社員の健康が会社の健全な成長を支える経営基盤になると思っています。社員の健康保持と増進を支えるため会社が率先して、生活習慣の改善、喫煙対策など様々な施策を展開しています。
健康診断受診率100%、有所見者の再受診率100%に取り組んでいます。健康診断で結果が芳しくない社員には、安全衛生管理者が１人１人丁寧に面談および封書を送付し、再受診および、生活習慣の改善等を促しています。生活習慣の改善にむけ、運動、体操、定期的なバイタルチェックを実施し、また、喫煙についても分煙の強化、喫煙が健康に及ぼす問題資料などを配布し、意識を高めています。

具体的な健康経営推進

①分煙
②昼休みを活用した運動
③朝の健康
④感染防止処置
また、余暇（休日）を活用した健康快適な過ごし方として、趣味（特に運動→球技、自転車等でのツーリング）や夫婦での散歩等を推進しています。

朝の健康チェック

朝礼時のラジオ体操

定期的なバイタルチェック

昼休みを活用した運動状況

昼休みを活用したｳｵｰｷﾝｸﾞ の実施

昼休みを活用した縄跳びの実施

昼休みを活用した卓球の実施

今後にむけて

優良法人2020の認定を取得することが出来、引き続き2021の取得に向け、現在実施していることを継続的に実施することにより、更に全職員に対する健康の維持・増進を図り、良好な職場環境の形成に努めていきたいと思っています。

011

北海道
旭川営業所

株式会社南富自動車サービスエリア

代表取締役社長
中村優子 氏

従業員の社長であり「お母さん」でもありたい
従業員は会社の宝

- 代表取締役社長　中村優子 氏
- 本 社 所 在 地　北海道空知郡南富良野町字幾寅752番地
- 主な事業内容　自動車一般整備
- 従 業 員 数　43名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模

健康経営優良法人
2018～2020 認定

「健康経営」の為に取り組んだのではなく、元々取り組んでいたことが「健康経営」だった

まずは、従業員が笑顔でテキパキと働いている会社作りをしたいと思いました。その為には健康第一だと思っており、従業員の年齢を考えてタバコが多くの原因だと思い、喫煙所もありましたが、撤去することにしました。社内での飲料水も水素水に変え、空き時間には身体を動かせるトレーニング室を作り、従業員のその日の顔色を見られるように、社員食堂でも一緒に食事をするようにしてます。
健康意識に関しては、社長の私自身から口うるさく言いますが、結果的に従業員の為になればそれで良いと思っています。日頃の皆に感謝しているからこそ、長くこの会社で働いて欲しいからです。

従業員の健康習慣に変化と自覚

取り組みの中で従業員の意識が変わってきました。
個人的に月曜ダイエットと名付けて、体重が10キロ近く痩せた従業員がいると、他の従業員も同様に取り組んでくれたりなど、自然と相乗効果が生まれるようになりました。健康の為にどうすればいいのかというのを自発的に考えてくれるようになりました。いまでは食事をする際には「これってカロリーどのくらいなんだろう？」と自然と話すようになりました。
今回のコロナ対策に関しても、従業員自ら考えパーテーションを作ったり、この状況下で何が出来るかを話し合ってくれています。

社員食堂で従業員の体調管理
栄養管理士経験者が食事作り

会社の2階に社員食堂があります。
若い従業員もいるので、コンビニ食にならないように社員食堂で食事をしてもらってます。野菜中心の食事だったり、男性に人気のラーメンなどは、調理師の方がスープ作りからしてくれているので、もちろん添加物一切なしです。食事中は社員とのコミュニケーションも取れるので非常に大切な時間にしています。
元々は昼と夜の両方食事が出来るようにしていたのですが、夜も会社で食事を取れるようにしてしまうと、夜の食事後に仕事をして残業が多くなっていたので、いまは昼食だけにしています。

従業員は会社の宝　従業員の笑顔を守りたい

従業員は会社の宝です。
口うるさいと思われても良いので、従業員には健康で長く働いて欲しいと思っています。その為、時代に合った経営をすること、若い人の意見を聴きながら良い部分と昔からの伝統をミックスさせていきたいと思っております。従業員にこの会社でよかったと思って貰えるように今後も取り組んで参ります。
お客様は神様ですが、私たちもそう思って頂けるくらいスキルを上げなくてはいけないと思ってます。今後も従業員の健康と笑顔に支えられ躍進を遂げる会社でありたいと思います。

012

北海道
北見営業所

Voice Report 200th

株式会社北見写真館

代表取締役社長
竹井雅章 氏

すべては小さなお客様への配慮から始まった、「安心して思い出を残していただける環境作りをしていきたい」

- 代表取締役社長　竹井雅章 氏
- 本 社 所 在 地　北見市北三条西1丁目2－1
- 主な事業内容　写真業
- 従　業　員　数　28名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模

健康経営優良法人
2020 認定

乳幼児や未就学児が来店されるため、お客様に安心してご利用いただける環境を !!

来店されるお客様には生まれたばかりの乳幼児も多くいらっしゃる。店舗内でのタバコの煙の中を「母親に抱きかかえられた小さなお客様」が通る姿をみて、禁煙に取り組んだことが今般の優良法人認定の取得に至る、最初の第一歩でした。
その後、お客様の健康から社員の健康、そして会社全体での健康という行動に至りました。

多くのお客様と社員にとって選ばれ続ける会社となった。

ワークライフバランスの充実により、「従業員の活力」そのものがお客様に伝わり、多くのお客様にご来店いただける機会が増えてきた。特に、小さなお子様をもつ親御さんからのリピートが多くなっている。
健康経営の充実により、従業員も人数が多くなり、新たな展開を図りやすい状況となっている。

３つの行動をきっかけに社員とお客様の意識を高めました

取り組みとしての事例については以下の通り。
①朝礼時のラジオ体操
②アルコール利用による感染予防対策
③室内全面禁煙⇒敷地内全面禁煙へ
まずは、大きな資金をかけずにスモールチェンジを意識して、社員とお客様のご理解を目指す方向性を行いました。
３つのチェンジについてはすぐに社員とお客様の同意が得られ、実践することができました。

社長の想いと今後の展望

お店とはすべての方が快適に過ごせる場所であることが第一、社員であってもお客様であっても「北見写真館にいると居心地が良い」と話していただける環境作りに努めていきたい。
今後も健康経営を一つの経営基盤として従業員の健康管理と食生活向上のため、新たな施策を考えている。

社員の行動が変わった、お客様も変わった、会社が変わった・・・

喫煙者であった社員も禁煙への取組を行い始めており、お店の空気が綺麗になった。これまで喫煙をしていたお客様も敷地内での喫煙が無くなった。
また、多くの社員がワークライフバランスを意識するようになり、会社での仕事を楽しく行い、定時には帰宅、家族との時間を両立する姿が見受けられるようになった。

玄関前に設置し、お客様の感染予防に取り組まれてます。

青木建設株式会社

従業員の病気をきっかけに取り組んだ健康経営

■本社所在地　北海道河西郡芽室町東11条10丁目1
■主な事業内容　建設業
■従業員数　20名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人 2020
(中小規模法人)認定

従業員の病気がきっかけで行った健康宣言

従業員が大きな病気に罹患したことで会社として何かサポートができないかと調べていた時、たまたま目に入ってきたのが日本経済新聞に掲載されていた「健康宣言」の記事でした。まずはここから始めてみようとすぐに協会けんぽに「健康宣言」の登録を行い、翌年には「北海道がん対策サポート企業」への登録を行いました。
病気になった従業員へのサポートと同様に病気にならないようサポートすることの必要性を感じたことが健康経営取り組みのきっかけです。

従業員の健康を守るために

従業員の健康について会社として関心を持ち関与していくことが必要と感じ、全従業員に対して会社独自で作成した健康アンケートを実施しました。無関心だった運動に関しスポーツジムの企業会員申込を検討しましたが実際に活用する従業員がいないことで断念してしまい、現在は効果ある取り組みを検討しているところです。

健康課題の良化改善検証

日頃定期的に訪問していたアクサ生命の営業担当者より従業員に対する健康習慣アンケートの実施をすすめられ実施しました。2019年に第一回目を実施以降半年に１回行い、結果を検証しています。
「飲み物」「食べ物」「運動」「禁煙」「心の健康」「睡眠」「適正飲酒」の７項目の生活習慣に対する課題が明確になり、それに対する改善を図っています。

中小規模法人優良法人認定にむけて

アクサ生命の担当者より定期的な情報提供の中で優良法人認定という顕彰制度があることを知り興味を持ちました。申請項目の多くは会社としてすでに取り組みを行っていることもあり、2020年の優良法人認定を申請することを決意。それからは札幌で行われたがん就労支援セミナーをはじめ多くのセミナーに参加し情報を集めを行い、申請時にはアクサ生命に相談、サポートを受け認定となりました。

課題と今後の健康経営への取り組み

健康習慣アンケートを行うことにより明確になった課題に対しアクサ生命の担当者から提供される「健康ワンポイントアドバイス」のチラシの掲示や朝礼時に紹介するなど健康に関する意識づけを行っております。
また、会社と従業員の健康増進に対する意識を統一するべくアンケート結果のフィードバックレポートをもとに従業員全員にフィードバックセミナーの開催を検討しているところです。
これからも従業員が健康で働きやすい環境を作るために情報を集めて積極的に取り入れていきたいと考えています。

014

北海道
釧路営業所

株式会社太平洋シルバーサービス北海道

代表取締役社長
佐藤永一 氏

「顧客第一、社員あっての会社」を実現するために健康経営に取り組む

- 代表取締役社長　佐藤永一 氏
- 本 社 所 在 地　北海道釧路市春採７－５－１
- 主な事業内容　老人福祉事業
- 従　業　員　数　45名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020 認定

福祉事業であることから健康経営に取り組む必要を感じました

高齢のご利用者が多いことから、敬意の念を持って接すること。そして、ご家族に代わって一人一人のニーズに合った木目細かいサービスを提供するためには役職員が心身ともに健康であり体力が充実していることが不可欠であります。そのために健康経営は重要な取り組みと思い、実践することを決定しました。

「健康優良法人認定」を社内に周知して

掲示をしている認定証を従業員も認識して、定期健康診断における有所見者の再受診率が向上し、また社員間の会話の中から健康維持に関する話題が聞こえるようになりました。ご利用者にもその変化が伝わっているように感じられ、今後ご利用者も交え実施できる取り組みも検討していきたいと思います。

健康経営実践の取り組み

健康の維持のため朝はラジオ体操でスタートしています。健康に対する意識付けとして月１回の全体会議では様々な健康情報をタイムリーに周知しています。また役職員、利用者全員に会社負担で感染症予防接種を実施しています。体力増進のためには社内スポーツ大会、また市民マラソンへの参加勧奨を行っています。

今後の展望

弊社の「ほっ！とする３つの要素①安心感②機能性③ご家庭のような安らぎ」というコンセプトに心豊かな社会作りの一翼を担っていくために職員の健康をベースとして全職員の知識、技術、人格の向上に努めてまいります。

津軽警備保障株式会社

津軽警備保障株式会社 本社

「顧客第一、社員あっての会社」を実現するために

- 代表取締役社長　山口道子 氏
- 本 社 所 在 地　青森県弘前市大字神田三丁目3番地17
- 主な事業内容　警備業
- 従　業　員　数　103名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2018・2020 認定

健康経営に取り組んだきっかけ

過去に健診後のフォローが行われておらず、要精検者が再検査に行かず病気が重症化してしまいました。
その経験から社員の健康の大切さを改めて実感し、基本方針に『社員の心も体も健康に』を掲げたことがわが社の健康経営の始まりでした。

11年連続で再検査受診率100%!!

健診完了後、すべての情報を社内の衛生管理者が取り纏め、衛生会議にて発表し、産業医指導の下、有所見者へのアプローチや推奨病院の紹介を行い、早期再検査を促しています。具体的には、有所見者に対して個別に再検査依頼書(社内独自)を発行・通知し、期日を設け勤務時間の調整を行っています。

ヘルスリテラシー向上のための継続した情報発信

健康への意識向上のためには会社側からの継続した情報発信は必須です。わが社では、独自の「衛生だより」の発行や、従業員向けセミナーの定期開催など、常に健康に関する情報に触れられる環境を整備しています。

コミュニケーション機会をつくる～こころの健康～

メンタルヘルス予防のため、社内行事の開催にて社員間のコミュニケーション創出について心掛けています。
夏には「バーベキュー大会」、冬には「ボウリング」大会を定期的に開催し、親睦を深めています。
社内の人間関係良好に保つため、今後も継続して実施していきたいと考えています。

今後の展望

警備業界ではまだまだ健康経営に取り組む環境が整っていません。業界の先駆けとなり、健康経営優良法人認定の取得をマイルストーンとして社員の健康増進を更に加速させていきます。時には厳しい指導をすることもありますが、すべては社員の心と体の健康のためです。

左:健康経営優良法人認定2020認定証
右:衛生だより(2019.9発行)

016

青森県
五所川原営業所

Voice Report 200th

隆伸工業株式会社

隆伸工業株式会社外観

社員とともに『健康経営』の実践へ！働きやすい環境を目指して!

- 代表取締役社長　敦賀鉄正 氏
- 本 社 所 在 地　青森県北津軽郡中泊町
- 主な事業内容　土木工事業
- 従　業　員　数　25名(男性:22名・女性:3名)

健康経営優良法人 2020認定
中小規模

健康経営優良法人
2020 認定

『健康経営』取り組みのきっかけ

きっかけは、協会けんぽ主催の健康経営セミナーを受講し、これからの会社経営に健康経営の必要性を感じた事でした。それと同時に、経営審査事項の加点になることにメリットを感じ本格的に認定に向けた取り組みをスタートさせました。
社員の安全・健康をモットーに働きやすい職場環境を目指しています。

具体的な取り組み内容・効果

健康診断受診率100%を目指し、がん検診補助や受診後の保健指導(協会けんぽ)を活用しています。
事務所内に血圧計を2台設置し測定表にて管理。
また会社敷地内全面禁煙の実施や、基本的ですが手洗いうがいの徹底、コロナ対策としてアルコール消毒、出社時の体温チェックも社員全員で行っています。

今年は社員の健康診断受診率100%達成し、社員喫煙者の約30%が禁煙を実施いたしました。高血圧を意識し食生活を改善する社員が増え、健康に関する意識が高まったと実感しております。今後も社員とともに健康管理に取り組んでいきます。

コミュニケーションアップ

職場で気軽に血圧測定ができるようになり、社員同士が血圧や食事など健康についての会話が多くなり社内のコミュニケーションにも繋がっています。
健康経営を推進することで社員が安心して長く働ける職場を築きあげていきたいと思います。

今後の展望・取り組み

協会けんぽやアクサ生命で実行している健康経営に関する情報を収集しよいものを取り入れていき社員の働く意欲にも繋げていければと思います。
今後は禁煙率100%、食生活の改善を目指し、笑いの絶えない明るい職場にしていきたいと思っています。
また働き方改革を推進し、福利厚生制度をさらに充実させていきます。

健康経営への取り組みを社内外にアピール

株式会社共栄薬品

代表取締役社長
酒井啓充 氏

「従業員の意識改革で地域の健康増進」を健康経営で実現する安心と笑顔の快適健康家族のパートナー

- 代表取締役社長　酒井啓充 氏
- 本 社 所 在 地　岩手県盛岡市津志田
- 主な事業内容　配置薬・フィットネス関連事業
- 従　業　員　数　67名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人 2020 認定
いわて健康経営認定事業所2020

大切な社員が健康であり続けるために

創業60年、健康産業の置き薬を営み地域の皆様へ健康情報提供をしております。
現在はカーブス、ゴルフパートナー、ベンリーの運営も始め地域密着の快適健康サポートの活動拡大をしています。
健康づくりに取り組んだきっかけは、従業員の長期雇用による平均年齢の上昇、健康診断の数値の変化、軽い体調不良の従業員もではじめていたので、健康づくりに取り組んでいこうと思いました。

従業員からのヒアリングを大切に

従業員に簡単な健康アンケートを実施、健康経営の目的を周知し双方が理解したうえで健康経営の推進を行うことを基本大切にしています。
取り組み導入は今できることから丁寧に実施し少しずつできることを増やしています。
①健康診断の実施
②生活習慣改善を支援
③検査・治療の推奨
④独自のカードを利用しスモールチェンジ活動の推奨
⑤3分30秒でできるラジオ体操の導入
⑥インフルエンザ予防接種補助金制度

健康づくりは小さいことからコツコツと

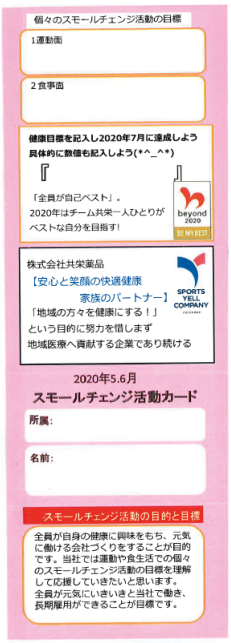
従業員の出来ることを把握し健康づくりを推進しています。中でも従業員独自で仕組を考えたスモールチェンジ活動は、カードにすることで可視化。自分自身で振り返りることができる仕組みになっています。
一人一人が2か月ごとに運動と食事面の目標を記入し、達成に向けた取り組み状況を職場で定期的にチェックできることで活動継続の意欲を引き出し継続は力なり！で従業員の健康数値変化、生活行動変化も見られるようになりました。

従業員の健康は会社の健康、そして地域の健康へ

働き盛りである従業員の健康意識は低いとの統計もあり、企業が積極的に健康経営を推進することにより、従業員の健康意識を高めることはとても重要なことの一つと考えています。
自身で自身の健康に対する意識を高めることが出来る習慣を学習する機会を職場で与えることにより、
健康寿命をのばし医療費の削減、地域の健康増進を図ることが出来ると考えています。

今後の展望

健康企画の創出しやすい環境提供、長期雇用の実現。メンタルヘルスによる離職者ゼロ。
従業員の健康把握をすることによりパフォーマンスを最大限引き出すことができ業務生産性向上。
魅力ある会社づくりの一環として健康経営をすることで、地域の健康も守り走り続けます。



「スモールチェンジ活動カード」

「健康増進！ボウリング大会」

従業員全員に配布。
健康づくりに取り組んでいます！

018

岩手県
一関営業所

宇部建設株式会社

代表取締役社長
宇部和彦　氏

創業時からの「自他共栄」の精神を受け継ぎ、健康経営に取り組む

- 代表取締役社長　宇部和彦 氏
- 本 社 所 在 地　岩手県一関市三関
- 主な事業内容　土木工事業
- 従　業　員　数　38名(男性33名・女性5名)

健康経営優良法人 2020認定
中小規模

健康経営優良法人
2017年から4年連続認定

健康経営優良法人認定のきっかけは、土健保の保健士からのアドバイスで

優良法人認定を受けた最初の2017年に、健保組合の保健士から、「今までの会社内での取組み内容なら、認定項目が達成出来ているので、申請してみましょう！」とアドバイスをいただきました。
また、当時の従業員の平均年齢が50代になっていたことから、会社として社員の健康に関心を持っていました。

建設業は体が資本！健康診断後のフォローをしっかり行う！

会社の業務は多岐にわたりますが、私たちの仕事の多くは体力を使います。健康診断後の(特定)保健指導など個別に実施し、二次検診は検診休暇を取得してもらい、全員が受診するまで確認しています。
従業員の有給休暇取得数は業界内の平均より高い数値になっていて、仕事とプライベートの両立も健康経営の大事な１つの項目と考えています。

朝のスタートはラジオ体操から！

毎朝のスタートはラジオ体操から。私がタイムキーパーとなり円陣を組んで実施しています。これは先代の頃から継続している事のひとつです。
しっかり出来ていない新人社員には体操の指南本を渡すことも。社員自身も「建設会社でラジオ体操の指導を受けるとは思わなかった」と言われることもありました(笑)

大切な社員とその家族とともに会社も成長していきたい

社内レクレーションは年2回。過去にソフトボール・ソフトバレー・ボウリングなど実施しました。
社員研修旅行は年1回実施しています。全国ほぼ網羅しました。昨年は北海道でした。
また、男性も育休を積極的に取得してもらっています。今年も2名が取得予定です。

今後の展望

優良法人認定を受けるためにいろいろ実践するのではなく、1年間取り組んだ結果として認定されることが会社のあるべき姿ではないか。健康経営に対して無理な目標を立てずに継続していくことが大事だと、私だけでなく従業員もそう思っています。
これからも自他共栄の精神でお客様・地域の皆様のために従業員と挑戦していきます。

ソフトボール大会

社員研修旅行

株式会社プラザ企画　ホテルプラザイン水沢

「人との縁を大切にする企業として」健康経営に取り組む

- 代表取締役社長　菊池達哉 氏
- 本 社 所 在 地　岩手県奥州市水沢佐倉河字後田２９
- 主な事業内容　ホテル事業、レストラン業、新聞販売業
- 従　業　員　数　115名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020 認定

人手不足だからこそ、健康経営に取り組む必要を感じました。

国の少子高齢化の動きを見てこれから本格的な人手不足になることを予見して，いち早く地域での認定取得に向け取り組みました。従業員の定着率には、必要不可欠であり、地方の中小企業が採用を行いやすくなるための国策だと思いました。

大切な社員とその家族の健康とともに会社も成長していきたい

南部鉄瓶のモノづくりの町であり、従業員の健康意識が低いため検診の所見率が非常に高く、本気で従業員のことを考えました。担当者として逃げずに1人1人に聞く勇気を持ち取り組みました。これによって劇的に改善いたしましたが、更に問題意識を持ち様々な課題に取り組み、従業員とその家族の幸せ、地域に役に立ちたいと思います。

「健康経営実践プログラム」から、まずは健診受診１００％を。

地元に密着する企業として、従業員は財産です。仕事柄どうしても変則的な勤務になり、生活が不規則になりがちです。健康診断が受けやすい環境作りのため長時間労働の是正などに取り組みました。人生100年時代といわれる中さらに、副業・兼業を認めておりキャリアアップを会社として支援しております。

今後の展望

従業員の働きやすい環境をさらに整備して「社員にとって良い会社」、お客様の満足度向上に努めたいと思います。

社長自ら、ひとつひとつ丁寧な説明をすることで社員全員に理解してもらえました。

トップが全社方針、ワークライフバランスなどの関連したメッセージを有効に出してくれます。世の中が変化するのを見越し、従業員のさまざまなライフイベントを想定。正社員からパート、パートから正社員と選択制を採用。柔軟な就業規則の変更などを行い、フラットな組織を理想としております。

HPより

020

岩手県
花巻営業所

Voice Report 200th

株式会社小田島組

代表取締役社長
小田島直樹 氏

「首都圏に負けない働き方で地方価値を向上」
この会社で働くことで、いい家庭を築き、いい人生を送る

- 代表取締役社長　小田島直樹 氏
- 本 社 所 在 地　岩手県北上市
- 主な事業内容　建設業
- 従　業　員　数　136名

2020年/本社移転
KITAKAMI02オープン

健康経営優良法人 2020認定
中小規模

健康経営優良法人
2017～2020 4年連続認定

◇取り組みのきっかけ

2010頃新規採用者と接した社長が、従来の価値観と違ってきていることを感じた。
同じ頃、すい炎、糖尿病、腎炎から透析と3人の社員が立て続けに病気となり、社長が社員の幸せと健康について強く意識、社員の健康は会社の財産と考えた。

◇健康経営　メリット・効果など

有給休暇取得率71％
高ストレスの割合が低い
社員の「気づき」に繋がっている労働市場、社員の家族の判断基準になる。

◇取組の概要

健康診断受診率は、定期・二次と100％
健康で異常がなれば手当を支給
年に1回一般社員、管理職にそれぞれ、
禁煙者全員に手当支給
一人当たりの月平均残業時間2時間
1,3,15分間スピーチで、社長の前で本音を言うことを大事にしている。
毎年、健康保険組合の指導員より食事指導や健康指導を受けている。
◎テレワークを実施して働き方を改善中！！

◇今後の展望
コミュニケーションの取り方を工夫する

当社の最大の特徴は、コミュニケーション施策です。従業員同士のコミュニケーション、上司部下のコミュニケーションだけではなく、家族とのコミュニケーションも大切にしております。年に1回夏になると「子供　会社見学会」を開催しております。中学生の従業員のお子さんを会社に招待をして、会社見学はじめ、お父さんお母さんの職業体験をしていただいております。この取り組みは、小田島組として「家族と共に会社を好きになってもらいたい」という願いを込めて実施しております。会社の経営方針のひとつにも、「私たちは、社員とその家族の幸福を願い夢の持てる会社でありたい」と家族について触れており、従業員だけでなく家族も小田島組としては重要な存在です。このお子さんの会社見学は、毎年実施しておりますが、家族の中でもコミュニケーションが生まれるキッカケとなっていると大変好評です。

株式会社菊池技研コンサルタント

代表取締役社長
菊池　透 氏

「いわて健康経営アワード2019」岩手県知事賞を見事に受賞

- 代表取締役社長　菊池　透 氏
- 本 社 所 在 地　岩手県大船渡市赤崎町字石橋前6-8
- 主な事業内容　学術研究、専門・技術サービス業
- 従　業　員　数　85名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2019・2020 2年連続認定

2011年の東日本大震災以降、健康経営に取り組む必要を感じました。

2011年の東日本大震災で本社が被災したことに加え、発災以降に膨大な復興事業に追われ、従業員はとても疲弊していました。健康診断の結果が芳しくない状況も続いており、何とか元気にしてあげたいというのが健康経営に取り組むきっかけでした。働き方改革と並行してさまざまな取り組みを展開しました。

健康経営への取り組み

・18年に歩数などを競い内臓脂肪の減少を目指す県の事業「企業対抗チャレンジマッチ」に参加しました。チャレンジマッチで使った花王の歩行計「ホコタッチ」を現在も継続して利用しています。さらに、全社員が参加する「健康増進ウオーキングの日」や独自の社内健康アワードも設けて、しっかりと取り組んだ人を表彰しています。
・毎月28日「いわて減塩・適塩の日」に減塩弁当利用促進
・受動喫煙対策として分煙はもとより、非喫煙者に対して健康増進手当を支給し健康増進・禁煙を奨励している。

社員同士のコミュニケーションが活性化

健康経営の取り組みによって、社員は休憩時間などで自主的に歩行するようになり、社員同士のコミュニケーションも活発化しました。会社の元気は社員の健康であることを実感しています。

社内レクでバレーボール大会！

健康増進ウォーキングで気分爽快♪

いわて健康経営アワード2019 知事賞受賞

2019年12月12日に「いわて健康経営アワード2019表彰式」が開催され、当社は最優秀賞となる「岩手県知事賞」を頂きました。

今後の展望

企業の健全性は従業員の健康の上に成り立っていると思います。当社の社員は歩く意識が浸透し、お昼休みなどに率先して歩く姿が見られます。健康に対する意識は一人一人のものですが、将来に向けて企業が率先して取り組んでいかなければいけない課題です。私たちも健康経営の活動を続けながら、健康が最高の財産だということを広く広報してまいります。

毎月「歩行生活年齢」ランキング発表！

022

宮城県
仙台営業所

Voice Report 200th

株式会社逢隈製作所

代表取締役社長
朝倉準之 氏

「社員にイキイキと仕事をして欲しい！」心身ともに充実した職場環境を提供するために健康経営に取り組む！

- 代表取締役社長　朝倉準之 氏
- 本 社 所 在 地　宮城県亘理郡亘理町
- 主な事業内容　建設・鉱山機械製造
- 従　業　員　数　29名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模

健康経営優良法人
2020 認定

会社を支えてくれた社員のために健康経営に取り組む必要を感じました。

弊社は来年設立40周年を迎えますが、設立当時から熟練した技術で会社に貢献いただいた社員が、60歳の定年を越えても嘱託として雇用を継続しております。従業員の1/3が60歳以上となっており、普段は元気に仕事をしてくれていますが、やはり「寄る年波には勝てず」不調になる方も多くなり、懸念をしていました。共済制度で訪問頂いていたアクサ生命の方から「健康経営」をお聞きして興味を持った次第です。

「できることから始める」とのアドバイスから具体的な取り組みがスタート

最初にアクサの健康経営アドバイザーの方にコンサルティングをいただき、どこから手を付けていけば良いかわからないなかで、明確な指針をいただきました。まずは「できるところから」とのことで、健康診断の2次健診の義務化、ならびに就業時間中に特別休暇にて受診いただく仕組みを導入。大きく懸念していた高齢従業員の健康管理から始めることにいたしました。

今後の展望について

現在は2021年における「優良法人認定」の連続取得を目指し、日々取り組みを実践しています。どうしても仕事柄喫煙者が多かったものの、私含めて数人が禁煙を始めています。高齢者を大切にするという会社からのメッセージは確実に会社を良い方向に導いてくれていると実感しています。今後もアクサ生命の健康経営アドバイザーと一緒に、従業員とともに取り組みを継続して参ります。

従業員1人1人の健康が、会社の成長には欠かせない要素であることを痛感

特に70歳になるお二人の従業員は、その卓越した技術と知識を後輩に伝えて頂く重要な役割を担っていただいていますが、ここ数年の健康診断にて2次健診を勧奨されました。会社として受診を促すもののご本人次第という状況で、そのうちお一人が持病の悪化により短期間ですが休職せざるを得ないことになり、それだけで会社の業務に大きな支障が出ました。かけがえのない従業員の健康管理は会社の責任であることを痛感いたしました。

そして「優良法人認定」の取得へ！

その後、アドバイスに従って従業員を集めての健康セミナーの開催、会社の健康課題を明らかにするアンケートの実施など、無理のない範囲で着実に取り組みを実践することが出来ました。その結果として2020年の「健康経営優良法人認定」を取得できましたことは、会社のみならず従業員にとって健康経営の取組みが評価された証として大きな励みになりました。取り組みを始めて約半年での取得は、健康経営アドバイザーのおかげと感謝しております。

2019年7月13日の健康セミナー開催前の様子
健康に留意したお弁当を提供した。

023

宮城県
仙台営業所

株式会社ニア

本社入口の様子

「社員が心身ともに健康でイキイキと働ける職場をつくりたい より良い環境づくりのため健康経営に取り組む

- 代表取締役社長　木皿譲司 氏
- 本 社 所 在 地　仙台市青葉区五橋
- 主な事業内容　イベント企画・制作・ICT
- 従　業　員　数　40名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020 認定

健康経営に取り組もうと思ったきっかけ

健康経営という言葉を知ったのは、協会けんぽが企画する集会でした。当初はあまり興味をもちませんでしたが、健康経営へ取り組むメリットや、他社の具体的な取り組みなどを知り、どうせ働くなら自分たちの創意工夫でより良い職場環境を作りたいという思いが強くなりました。その第一歩として協会けんぽの健康宣言をし、優良法人認定を目指して健康経営の体制づくりを始めました。

健康経営に関しての取り組み状況

健康経営を始める前から、健康宣言に必要な項目については既に大部分を行っていました。当社はエンジニアの割合が多く、IT業務はうつ病の発生率が高いと言われているので、心の健康には特に気を遣い、外部にメンタルホットラインを設けています。また、社員の喫煙率が高く、今まで喫煙スペースが曖昧になっていたので、これを機に分煙徹底に取り組みました。

今後の展望

今後も健康経営を続け、今年だけでなく来年以降も健康経営優良法人に認定されるよう、担当者を増やして準備を進める予定です。経営への効果を実感できたら、他の事業所にも積極的におすすめしたいです。担当者としては、採用面接の際に志望理由として「優良法人認定をとっている会社だから」と言ってもらえたら、嬉しいです。

従業員に健康経営を意識してもらうために

当社では以前から不定期で社員の意識調査を行っています。メールでアンケートを送り、職場環境の満足度など、必要に応じて社員の意見を聞く機会を設けています。今後も、メールや社員限定のWEBページで健康に関する情報を配信するなど、社員１人１人の健康意識を高める工夫をしていきたいと思います。

経営への効果に期待

健康経営への取り組みは始めたばかりですが、社員の心身の健康を大切にする会社となり、社員１人１人が能力を充分に発揮できる職場環境をつくりたいと考えています。それは必ず会社経営に良い影響をもたらしてくれると期待しています。健康経営は意識の高い取引先との話題の１つとなっています。健康経営の魅力を他社にも発信できるよう、会社として益々成長していきたいです。

健康経営優良法人認定書

大信産業株式会社

代表取締役社長
濱林健一郎 氏と担当者

「従業員1人1人を大切に」して、地域社会に貢献する企業を実現するために健康経営に取り組む

- 代表取締役社長　濱林健一郎 氏
- 本 社 所 在 地　宮城県石巻市重吉町8-4
- 主な事業内容　石材卸売・製造業
- 従　業　員　数　7名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020（中小規模法人部門）認定

人手不足だからこそ、健康経営に取り組む必要を感じました。

少人数企業なので、1人が欠けるだけで業務が回らなくなるため、改めて従業員1人1人の健康を第一優先に考えて健康経営に取り組もうと思いました。
また、アクサ生命担当者の高任さんから健康経営の説明を丁寧にされたことが、後押しになりました。

健康経営を通して従業員や取引先企業へのイメージアップ向上へ

中小企業の採用は年々厳しい状況です。
今いる従業員の意見を取り入れ働きやすい職場作りや福利厚生の充実を健康経営を実践しながら取り組んでいく事で、従業員や取引先企業へのイメージ向上につなげていきたいと思っています。

働きやすい職場作りから取り組む。

健康診断の結果より生活習慣病のリスクが高いと感じていましたので、従業員の食生活や運動不足を定例会議やアクサのチラシで啓発しています。
また、現場仕事が多いので、夏期と冬期の就労時間を変更して働きやすい職場作りにも取り組んでいます。

今後の展望

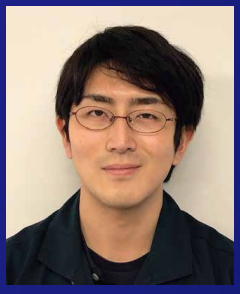
東日本大震災より間もなく10年という節目を迎え、より一層地域に密着した企業として、石巻・宮城のお客様に対して貢献できる企業を健康経営を軸に社員一丸となって作っていきたいと考えてります。

社員の作業意識が向上した。

夏期と冬期の就労時間の変更や作業時間の適正配分等を調整したことによって、従業員の作業に対する意識が上がって、限られた時間内に仕事が進むようになり、作業効率が改善されました。
また、健康診断の受診や再検査の受診率を100%にする取り組みをした結果、社内での従業員同士の話題も健康について話す機会が増えてきています。

大信産業（株）社屋外観

株式会社美装社



企画営業　健康経営担当
狩野嵩大 氏

「人の健康増進に投資をし業績向上を目指す」

- 企画営業　健康経営担当　狩野嵩大 氏
- 本 社 所 在 地　宮城県大崎市古川鶴ケ埣新江北16
- 主な事業内容　看板・標識機製造
- 従　業　員　数　16名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2019・2020 2年連続認定

健康経営で社員の健康増進に投資し業績向上につなげるという考え方に将来性を感じました！

健康経営に取り組むきっかけになったのは、取引先企業様から「一緒にやりませんか？」という話をいただいたからでした。
相手の話す「社員の健康増進に投資をし業績向上につなげる」との考え方に将来性を感じ、早速取り組むことにしました。

職場内で食生活の改善の話や、運動についての会話が増えた！

効果としては、職場内の会話に食生活改善の話や、運動についての会話が増え、取り組む社員が増えていることが挙げられます。
また、仙台国際ハーフマラソンにエントリーする際も、社員で誰が参加するのか建設的な話し合いが行われ、今までよりもさらに一体感が増した気がします。

「毎月1回朝礼」で宮城県発行の「健康かわら版」を紹介することからスタート！

従来から行っていた「ラジオ体操、健康診断受診勧奨、分煙」を健康経営宣言後は社員になぜ実施するのか目的を明確に自信を持って話すことができるようになりました。
特に分煙は、本社では室内完全禁煙に加え車中も禁煙にしました。東京営業所に関しては、職業柄取引先との関係もあり、すぐには無理かもしれませんが、時間をかけて取り組んでいきたいと考えております。
宣言後の新しい取り組みとしては
①県発行の「健康かわら版」を毎月1回朝礼で紹介
②敷地内にある「自動販売機」の飲料の種類を「健康」を意識した内容に変更
③運動不足を解消するために、毎年5月に開催されている「仙台国際ハーフマラソン」に健康経営優良法人認定枠で参加することを決定し、社員の中から選抜しエントリー（残念ながら新型コロナウイルスの影響で大会は中止になってしまいました）
④職場内の取り組みとして、「感染症対策」の徹底
具体的には、仕事柄アクリル板加工は専門でしたのでいち早くアクリル板でパーテーションを製作し、社内に配置しました。それをみていただいた方々から好評であった為、各企業様のニーズに合わせてオーダーメイドでの制作を行うことにした為結果的にビジネスにもつながりました。

今後の展望

今後は、昨年第1回目を実施した健康経営Webアンケートを定期的に実施をし、社員の健康習慣7項目の「見える化」を進めていきます。さらに課題となる項目については「健康経営ワンポイントアドバイス」を毎月活用し、ピンポイントで社員の気づきにつなげていきます。
そして健康経営優良法人認定項目を毎年１つずつ増やしていくことを目標に取り組んでいきます。

写真上：好評のアクリル製パーテーションと使用風景
写真下：自動販売機と会社外観

026

宮城県
気仙沼営業所

Voice Report 200th

有限会社山藤運輸

代表取締役社長
佐藤克哉 氏

「社員が生き生きと健康に笑顔で働ける会社」を健康経営で実現する

- 代表取締役社長　佐藤克哉 氏
- 本 社 所 在 地　宮城県本吉郡南三陸町志津川沼田
- 主な事業内容　運送業
- 従　業　員　数　39名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020（中小規模法人部門）認定

ドライバーの健康は会社の財産

産廃物の運搬から建設現場での土砂運搬、宅配便や引っ越しサービスまで幅広く物流を手掛けています。
今までは「安全第一」でしたが、その安全を担保するには健康が重要。現在はドライバーの「健康第一」の意識を持ち、働きやすい職場環境を整えるために手厚い制度を目指しています。

社長と社員が健康をテーマに直接対話

毎月、給与明細とともに健康に関するチラシを同封して健康情報を発信しています。
また、賞与の支給時には社員ひとりひとりと健康診断の履歴を踏まえ、個別面談を行っています。
健康だからこそ働くことができ、働いた結果が給与や賞与となって生活を支え家族を守る、そのようなことを直接伝えるようにしています。

健康経営優良法人の認定を取得したことで思わぬ効果も

健康経営優良法人の認定を取得したことにより、知名度が上がり、企業ブランド価値が高くなったと実感しています。
見知らぬ企業からの問い合わせが来るようになり、中には健康器具の営業攻勢も。
南三陸町の唯一の認定法人ですので、社員も誇りを持って働いてくれるようになりました。また、地元の学校から毎年採用できるようになりました。

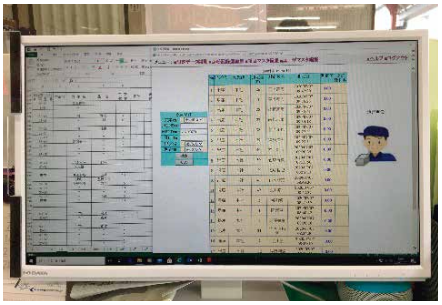
社員の健康、会社の健康、そして地域の健康へ

健康経営は経営者の意識と取り組み次第で小さな投資で大きな成果が出ると思います。社員が健康になれば、その効果が会社の業績向上に結びつき、会社は社会的に健康になります。会社が健康になれば、地域も活性化して健康になっていきます。
運送事業は、全ての産業に関わり人を繋ぐ、無限の可能性を備えています。反面、不健康による事故が最も恐ろしい。だからこそ、社員の健康が最も大切だと思います。

今後の展望

「持続可能な社会の実現に物流を通じて貢献し、地域と共に成長し続ける」という経営理念のもと、地域密着企業として地域の復旧・復興に社員とともに尽力したいと考えています。
笑い声が絶えない明るい職場で怪我ゼロ、病気ゼロを目指してゆきたいと思います。

毎朝、呼気アルコール濃度、体温、血圧を測定



パソコンで管理

株式会社介援隊

代表取締役社長
阿部吉博 氏

「社員の健康が会社の財産」
地域を支える介護の総合事業会社

- 代表取締役社長　阿部吉博 氏
- 本 社 所 在 地　宮城県気仙沼市本吉町宮内
- 主な事業内容　介護総合サービス
- 従　業　員　数　41名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020（中小規模法人）認定

東日本大震災後の復興とともに会社が成長、会社を支える従業員を守るのが健康経営

東日本大震災の翌年の2012年、復興が始まったばかりの気仙沼市で、地域の介護を支えようと７人の地元出身の若者たちが空き家となった古民家を老人ホームに作り替えて開業しました。
利用者さまの命を預かる職員は当社の財産。その財産を守ることは経営者の責務と考え、健康経営に取り組んでいます。

施設の主治医の協力を得て予防医療に取り組む

施設の入居者さまを診ていただく主治医から職員の健康についてもアドバイスをいただき、病院側の勉強会に参加させていただいた結果、従業員の意識の変革が行われました。それに加えて、健康情報を毎月提供することにより、職員の家族も含めた健康意識の高まりを実感しています。

健康経営の見える化ができれば「優良法人認定」を得られると実感

健康経営は経営手法のひとつですから、それは決算などと同様に数値化することによってＰＤＣＡサイクルを動かせます。
介護の仕事は身体面と精神面の両方が必要なので、メンタルも含めた職員の健康意識をアンケートで集計し、運動・食事・睡眠・職員間交流について数値で把握することができました。これが健康経営優良法人認定の取得に結びつきました。

金銭投資によって従業員とその家族を守る、それが次の会社の成長につながる

2020年３月に健康経営優良法人の認定を取得でき、その後すぐに職員の退職金制度の充実に着手しました。この退職金制度に積立機能がある生命保険を活用しましたが、その付帯サービスには職員の家族も利用できるものが含まれていますので、職員だけではなく家族からも感謝される会社へ変わりつつあると考えています。
会社の成長とともに、退職金を含む福利厚生制度も発展させていきます。

今後の目標

地域の人口は減少しつつあり、その一方で介護の利用者ニーズは増えています。この課題を解決するひとつの方法が健康経営であり、定年後も働く意欲がある職員が仕事を継続できる環境を整えていくことが今後の目標です。

健康情報研修会
（健康情報の読み合わせ）

カロリー控えめの飲料をそろえた自販機
（地元住民も利用）

気仙沼商工会議所

代表取締役社長
菅原昭彦　氏

「みずから健康経営に取り組み、地域への発信基地になる」

- 代表取締役社長　菅原昭彦 氏
- 本 社 所 在 地　宮城県気仙沼市八日町
- 主な事業内容　総合経済団体（1278会員 令和2年6月15日現在）
- 従 業 員 数　17名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020（中小企業法人部門）認定

気仙沼商工会議所会員企業の経営支援強化のため、みずから健康経営に取り組む

当所の重点事業のひとつである「経営支援の強化　人手不足対策と人材の育成」は、健康経営によって推進できるところが少なからずあります。優秀な人材の採用と定着は働きやすい健康的な職場環境によって推進できるからです。
そのために、まず商工会議所みずから健康経営に取り組み、会員事業所への情報発信を心掛けています。

「健康経営実践プログラム」から、まずは取り組めそうな活動を

健康経営は小さなことの積み重ねで進められます。
当所は朝礼時の体操を行うことから健康経営をスタートさせました。
さらに、建物内にあった喫煙所を屋外に移動し、受動喫煙をゼロにしました。わずかな距離の移動ですが、煙が屋内に留まらなくなりました。
簡単に取り組めそうな活動の継続が成果を生んできています。

健康経営の情報発信基地になる

健康経営優良法人認定の要件のひとつに、「健康宣言の社内外への発信」があります。協会けんぽ宮城支部のＨＰに宣言事業所として当所が載っていますので、既にこの要件を満たしていますが、さらに情報発信基地になるよう当所ＨＰに健康経営の取り組みを掲載するとともに、議員総会などで優良法人認定の取得の報告を行っています。
食の分野での健康意識が高まるよう、健康に留意した地元の水産品のＰＲにも力を注いでいます。

感染症の予防に細心の注意を払う

補助金や融資の申請手続、経営相談、地域商品券の販売など、多くの人が集まりますので感染症予防には一層の注意を払っています。
建物の入口だけではなく、各部屋の入口にも消毒液を配置していますし、応対する職員との間には飛沫防止のためのシートを設置しています。
業務の見直しも行い、ローテーションによるテレワークも導入いたしました。

今後の展望

2021年のＮＨＫの朝ドラは気仙沼市が舞台になります。東日本大震災から１０年、ドラマでは被災と復興が描かれますが、当所は復興支援だけではなく、健康経営を通じて、働く人々の健康と事業所の社会的健康を支える事業を継続します。
そのためには、まず私たち自身が健康であること。できることからひとつずつ進めてまいります。

【アクサ生命主催で会員向け健康経営セミナー実施】
オンライン参加も可能とし、専務理事の加藤正禎氏より
気仙沼商工会議所の取り組みを報告
（令和2年6月25日）

029

宮城県
気仙沼営業所

有限会社相模産業

代表取締役社長
吉田由男　氏

「従業員の健康は会社の財産」と捉え、自社の企業価値をより一層高めていきたい。

- 代表取締役社長　吉田由男　氏
- 本 社 所 在 地　宮城県気仙沼市九条
- 主な事業内容　土木建設業、運送業
- 従　業　員　数　30名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020（中小規模法人部門）認定

労働人口が減少しつつある地域だからこそ、健康経営に取り組む必要を感じました。

不健康では生産性も落ち、危険も増します。従業員の健康増進に会社が関わることで、本当にプラスの効果が出てきました。また「安心して働ける職場環境」を提供できる事は良い人材を確保する為にも必要不可欠だと感じています。健康経営によって企業価値を高めることで、従業員からも評価され、地域の担い手からも選ばれる会社へしていきたいと思います。

コミュニケーション不足に陥らないようにリフレッシュの機会を会社が作る

取引先との釣り大会や会社主催のボウリング大会などの体を動かす場への積極的参加を推奨し、心身ともにリフレッシュできる機会を設けています。こういった機会の中から仕事中からだけでは分からなかったこともお互いに知ることができたことで、社内全体で笑顔が増えて雰囲気も以前より良いものになっています。

安全第一の職場だから、健康管理が大事

「安全第一」の業種柄、社員の健康管理は重要です。
喫煙者が多いためまずは事務所内の禁煙に取り組みました。そして、トラックの運転や現場作業のなどで肉体労働の多い仕事ですから、血圧計を設置したり、業務から戻ってきた従業員へ必ず声掛けをして、日々の変化の把握にも努めています。この声掛けによって職場の風通しも良くなってきていますので、継続していきたいです。

今後の展望

自発的な身体のケアを取る傾向が見えてきました。自分の健康に関心を持つ従業員の層がより増えるように会社としても情報提供や福利厚生としてそろえたサービスの利用を促していきたいと思います。
また、健康優良法人の認定を毎年取り続け、企業価値を高めていきたいと思います。

健康優良法人(中小規模法人部門)に認定をされたことを、健康経営活動を社内外に広くアピール

事務所内に認定証や健康経営に対する取り組みを掲示して、社内外にアピールしています。

アルコールチェッカー、血圧計はもちろん感染症予防のために消毒液も設置してます。

姉帯電気工業株式会社

代表取締役社長
姉帯峻次 氏

健康経営に取り組む

- 代表取締役社長　姉帯峻次 氏
- 本 社 所 在 地　秋田県秋田市泉北1-21-6
- 主な事業内容　電気工事業
- 従　業　員　数　16名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020(中小規模法人部門)認定

健康経営導入のきっかけ

社員の高齢化が進み、健康診断においても指摘や二次検査となる社員の割合が増加してきました。社員に元気で働いていただく環境をいかにして作るかと模索していたところ健康経営への取り組みが活かせると判断して導入いたしました。

日々の声掛けから社員の健康に関する意識が高まる。

日々社員とコミュニケーションを積極的に取ることを継続することで、一人ひとりの取り組みが把握できてきました。ラジオ体操を全員で実施することで、日常から仕事へのモードチェンジ、業務上の事故防止に役立っていると考えます。また、このコミュニケーションの中で新型コロナウィルス感染防止対策の徹底を実施中です。

全員の体調管理を徹底

電気工事業という仕事柄、事故防止の観点も兼ねて
毎日、日常の会話などコミュニケーションを通じて社員の観察や健康チェックを実施しています。また社外におきましても血圧計を携帯させ、体温測定とともに血圧管理も実施しております。

今後の取り組みについて

現状、大きな病気に罹る従業員はおりませんが、当社にも従業員の高齢化の波は確実に押し寄せてきております。会社としてもより一層、働き方改革を推進していく中で、従業員１人1人が自身の健康に関してもっと関心を持てるような環境を整えていきたいと考えています。

健康管理は毎日の食事から

更に日々の食事が健康作りの基本と考えています。社員に毎日の食事に対して関心を持たせるために声掛けを実施しています。お弁当持参の社員が大半ですが、コンビニで食事を購入する際には栄養が偏らないように注意を呼び掛けています。作業現場へは会社で給水タンクを準備するとともに、熱中症対策に配慮した作業着を配備いたしました。

031

秋田県
秋田営業所

Voice Report 20th

千代田興業株式会社

「安全配慮を進化させる」を目指し健康経営に取り組む

- 代表取締役社長　藤澤正義 氏
- 本 社 所 在 地　秋田県秋田市川尻町大川反170-49
- 主な事業内容　建設用金属製品製造
- 従　業　員　数　149名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020（中小規模法人部門）認定

健康経営導入のきっかけ

「安全第一」をモットーに、常日頃から「事故防止・けが防止」には配慮しています。さらに一歩進めて社員個々の体調管理やこころの状態を適切な状態に保つ対策を実施することで、より一層の業務事故防止につながると思い、健康意識を社員全体で共有しながら会社として健康経営に取り組む事を決定しました。

「健康経営」の具体的取り組み内容

部署単位での毎日の朝礼にて、管理者が顔色の観察や体調不良の方がいないかをコミュニケーションの中で確認。管理者は「安全衛生委員」でもありその委員会で各部の身体やこころの変調の兆しのある方の情報共有を実施し早めの対応を取れる体制を確立。毎月の社内報にて健康に関連する記事を掲載して意識高揚を図っています。また、事務所に血圧計を設置しました。

健康習慣への意識変化、健康に配慮する者が増えてきた

健康診断の受診100%に加えて、ストレスチェックを各自のスマーフォンで実施できる体制を整えました。導入当初はストレスチェック未実施者への勧奨活動を行っていましたが、それぞれの健康意識が高まり今では全社員が速やかに完了するようになりました。

社員が宝！健康経営の定着とともに会社も成長していきたい。

企業は利益をあげていればよいわけではなく、顧客、地域社会、社員から大切に思っていただけるような存在であることと考えています。まずは身近な社員へ従来以上に寄り添うことを通して会社の成長に繋げていきたいと考えています。

今後の取り組みについて

働き方改革の一環として、残業が全体的に多かった点に着目し、改善取り組みを実践中です。個々人のスキルの平準化＝多機能工化を更にすすめることにより、専門的な特定の社員にしかこなせない仕事を他の社員でカバーできる体制を推進することで残業を軽減し、その時間でリフレッシュする機会を創出することで、家族との時間をより取ってもらったり、仕事以外の楽しみを見つけていただく時間を増やすことで、社員一人ひとりが活き活きと働ける環境を作ることです。

032

秋田県
秋田営業所

ケイエス有限会社

代表取締役社長
佐藤久輝 氏

分かりやすい取り組みを第一に、健康経営に取り組む

- 代表取締役社長　佐藤久輝 氏
- 本 社 所 在 地　秋田県秋田市土崎港北3-19-22
- 主な事業内容　管工事業
- 従　業　員　数　8名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020年 認定

健康経営導入のきっかけは…

弊社の主な業務内容は建設現場における設備工事です。体が資本の職種ですから個々の健康管理が大切です。個人では健康に対しての意識は個人差があるため、会社全体で取り組むことで、連帯意識も高まると思い実践しました。また取引業者等、対外的にも弊社イメージアップにつながると思い健康経営を導入しました。

取り組みはわかりやすく

以前より社屋内は全面禁煙としてましたが、受動喫煙防止を明確にするため、所定の喫煙場所を設置。
熱中症対策で敷地内に自動販売機を設置。また定期健康診断の結果から、各自が次回健康診断までに何か一つ目標を設定し、1年かけて改善の取り組みをさせています。

健康改善に向けた意識の高まり

目標設定することで、健康に対する意識の変化が目に見えてきました。今では半数の社員がダイエットに取り組んでいます。暴飲暴食と睡眠不足を防止する観点から、社内での飲み会は一次会で全社員完全帰宅をするようになりました。

業務効率も改善してきました

社員個々人の健康改善への取り組みの成果として、昨年一年間で風邪や体調不良による休暇者が大幅に減少しており、また腰痛を患う社員の割合も減っていることから社員の健康状態が全体的に改善していると実感でき、会社としても喜んでおります。その結果、業務効率が向上いたしました。

今後の取り組みについて

社員の平均年齢が45.7歳と高齢化しているのが課題です。若手社員に選ばれる会社としていくために、また現職社員が健康を維持できるように、社屋内にトレーニングスペースを確保したり、健康器具やトレーニング機器等を設置し、健康経営を推進していきたい。

藤田建設株式会社

代表取締役社長
安田張幸 氏

「健康一番・安全第一」を日々実践し、健康経営に取り組む

- 代表取締役社長　安田張幸 氏
- 本 社 所 在 地　秋田県男鹿市船越内子294-1616
- 主な事業内容　総合建設業
- 従　業　員　数　26名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020年 認定

健康経営導入のキッカケは社訓の実践！

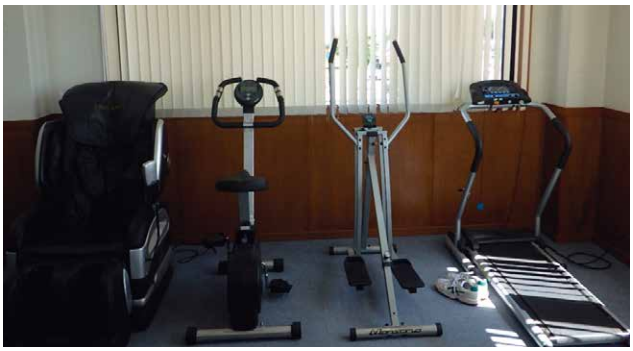
当社の社訓には「健康であること」を最初に定めています。日頃から斉唱し、社員一人ひとりに健康を意識する気持ちが根付いていますが、当社平均年齢が40歳代と高く、会社として社員の健康にもっと感心を持ち、企業繁栄を目指していきたいという思いから健康経営を取り入れました。

特定保健指導からの健康意識の高まり

協会けんぽさんより保健指導員を派遣いただき、健康診断結果をベースに特定保健指導を実施しました。
専門家に生活習慣を直接相談できたことで、社員の健康意識が更に高まりました。その結果、自転車通勤に切り替えた社員や食事内容に配慮して減量に成功した社員も出てきました。

フィットネス器具を社内に設置し運動機会の創出

社員が気軽に運動に取り組めるキッカケになればと社内にフィットネス器具を設置しました。昼休みなどの休憩時に利用する社員が増加しました。



社内同好会でコミュニケーションを深める

社内には「釣り同好会」「ゴルフ同好会」があり社員の積極参加によって支えられ、そこで培われた人間関係が業務にプラスの効果が表れています。また年に１回社員家族も含めたグランドゴルフ大会開催や地域一斉清掃活動・花壇整備などの地域貢献も継続しており、その様子を社内報「なまはげ新聞」で家族の方々にもお知らせし、家族に自慢できる会社づくりを推進しています。

今後の取り組みについて

働き方改革をしっかりと着実に進化させながら、社員が気兼ねなく休暇取得し、健康づくり、体力づくり、家族との時間を増やしていただき、「健康一番・安全第一」を更に進化させるべく、健康経営を推進していきたいです。

034

秋田県
横手営業所

Voice Report 200th

有限会社松井木工版

代表取締役社長
松井　靖 氏

「社員が健康と笑顔で働ける会社」を目指し健康経営に取り組む

- 代表取締役社長　松井　靖 氏
- 本 社 所 在 地　秋田県湯沢市清水町2丁目5-3
- 主な事業内容　製造業
- 従　業　員　数　13名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020（中小規模法人部門）認定

健康経営導入のきっかけ

2018年7月にアクサ生命保険の担当者から健康経営の話を聞いたことがきっかけでした。当社の課題を考えたところ、喫煙者が多いことでした。
早速、健康経営に取り組む事が必要と思い、健康意識を社員全体で共有しながら会社として健康経営に取り組む事を決定しました。

最初の取り組みできるところから！

喫煙室を新たに工場外に制作しました。また工場から出入り出来るように外壁の工事も併せて行いました。喫煙室の製作により休憩室も２つに分けて、非喫煙者の健康を守る環境整備を実施しました。
社員全員による、工場内の整理整頓、清掃、挨拶（コミュニケーション）の促進、さらには地域活動（イベント・清掃等）に積極的に参加する事を推奨しています。

健康への意識変化　健康経営への理解者が増えてきた

塗装を担当する社員は、年2回の特別健診をする事により自身の健康を考える様になってきました。
また、従業員同士のコミュニケーションが多くなったことで、以前より、製品の仕上がり等スピードアップしてきています。
毎年の健康診断は全員が受診し、再検査も受診するように健康づくり担当者から進めている事で健康意識が高まってきています。特に喫煙は従業員が理解して、現在では指定場所以外での喫煙全くありません。

大切な社員とその家族の健康とともに会社も成長していきたい

仕事の打ち合わせなどで来社した取引先が工場内、製作品を見て評価が上がった様に感じています。
また、社内の取り組みだけではなく、地域のイベントにも積極的に参加する事により、地域の人とのコミュニケーションも良くなってきています。
健康経営優良法人認定取得が従業員への安心と会社の成長に繋がっています。

今後の取り組みについて

職人の集まりではありますが、会社員として意識の取得、技術も大切だが、時代の流れもありあらゆる知識取得が重要になってくると思います。
「社員には健康で元気に長く働いてもらいたい」
その為にも仕事の充実、満足、楽しみを感じてもらえる会社を目指していきます。
若い人の採用を毎年実施して、会社の活性化も目指していきます。

株式会社ヤマコン

代表取締役社長
佐藤隆彦 氏

「関係する全ての人の幸せを、追求する企業でありたい」

- 代表取締役社長　佐藤隆彦 氏
- 本 社 所 在 地　山形県山形市十文字天神東770
- 主な事業内容　土工・コンクリート工事
- 従　業　員　数　219名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2019・2020 2年連続認定

“関係する全ての人の幸せを追求すること”

1966年創業以来、コンクリート圧送業と設備事業の2つの事業を通じて、安全快適で豊かな社会づくりに貢献してきました。お客さまはもちろんのこと、社員、お取引先、地域の皆さまなど、仕事を通じて関係する全ての人の幸せの追求を企業の使命と考え、経営理念に掲げています。
今年で創業54周年。100年企業を目指します。

“健康で安心な働きやすい環境造り”に邁進

地域の特徴を生かして高い付加価値を創出し、地域の経済成長を力強く牽引する事業を更に積極的に展開することが期待されてる企業として、経済産業省より「地域未来牽引企業」の認証を頂きました。あわせて社員の健康増進・働きやすい環境整備に向けた取り組みが評価され「健康経営優良法人2019」の認定を受けました。これからもリーディングカンパニーとして、更なる向上に努めてまいります。

仕事をするうえで“一番大切なのは従業員”

社員の健康は会社の健全な成長を支える経営基盤です。社員の健康保持と増進を支えるため、会社一体となり、生活習慣改善、メンタルヘルス対策、喫煙対策など様々な施策を展開しています。健康診断受診率は100%ですが、有所見者の再検診率100%を目標に取り組んでいます。以前、従業員に定期健康診断でがんの所見が見つかり再検査指示を行い通院した結果、今でも元気に働いています。

社員健康へのこれまでの取組み

近年、温暖化の影響で自然災害や気温の上昇が続いています。そのため社員の健康を守る「熱中症対策」にも力を入れています。
経口補水液や塩飴の支給、遮熱ヘルメット、空調つなぎや空調ジャンパーの支給など様々な取り組みを行い従業員から涼しく快適に仕事ができると好評です。
その他の取組み
・定期健康診断とその結果に関する管理
・インフルエンザ予防接種（全額会社負担）
・全営業所及び各部署に血圧計と非接触型体温計の設置
・ラジオ体操の実施
・ストレスチエックの実施
・分煙化
・社員研修旅行や社長との懇親会など

新たな取り組み

・新型コロナ対策としてマスクの配布
・消毒液の配布
・毎日の検温記録
・職場の空間分離（ついたて）
・在宅勤務の推奨

コンクリートポンプ車
映画　シン・ゴジラに登場

036

山形県
天童営業所

Voice Report 200th

株式会社さのや

代表取締役社長
佐野宏美 氏

「お客様に喜ばれる仕事」を通して社員の幸福を実現し地域の発展に貢献します。そのために健康経営に取り組む

- 代表取締役社長　佐野宏美 氏
- 本 社 所 在 地　天童市北久野本 2-7-46
- 主な事業内容　酒類卸・燃料販売・不動産賃貸・太陽光発電
- 従 業 員 数　15名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模

健康経営優良法人
2020（中小事業法人部門）認定

私たちが大切にしているのは「ひと」の力

私たちが大切にしているのは、「ひと」の力。お客様に喜ばれる仕事を通し、社員の幸福度を実現し、社会の発展に貢献します。「うるおいあるくらしに」を、キャッチフレーズに、６０年余りを超えて商いを続けて参ることが出来ておりますのは、お客様、お取引先様、社員、皆様のお蔭様であり、「ひと」の力に、心より感謝しております。

「健康経営」導入のきっかけ

もともと社員の健康に対する関心が高く、会社としても各種施策を実施しておりましたが、天童商工会議所後援の健康経営セミナーに参加し、健康経営に体系的に組織的に実行する重要性を知ることが出来、取り組みを強化したいと思いました。また、セミナー主催のアクサ生命の各種支援の話も聞き、「ひと」の力の更なる展開をはかるため、健康経営への取組強化そして優良法人認定を目指すことを決めました。

社員との健康経営のコミュニケーション

当初、健康経営という言葉が独り歩きし、社員とのギャップが生じました。それを埋めるべく、社長自ら、会社として、お客様のために、従業員一人一人のために、そして家族のために、健康経営の必要性を、朝礼や、社員一人一人にコミュニケーションをとり丁寧に説明を繰り返しました。アクサ生命の健康経営ワンポイントアドバイズを活用しております。また、私たちが大切にしている「ひと」の力、の更なる強化につなげていければと願っております。

大切な社員の健康とともに会社も成長していきたい

社員の健康診断は100％実施、また就業時間内の受診を取り入れ、再検査の受診率も100％となっております。またインフルエンザ予防接種の費用100％補助、業務時間内受診を推進し全従業員100％接種となっております。スポーツクラブの会費補助等含め、社員の健康増進とともに会社も成長していきたいと思っております。

今後の展望

健康経営の取組を継続し、「ひと」の力、の更なる展開を図って参ります。見える形として、今後も優良法人認定を目指していきたいと思います。そのプロセスを通して、従業員の健康そして幸せの実現を、全社員の笑顔で叶えれたらいいですね！（笑顔）

健康セミナー
テーマ：
免疫力アップ
快眠セミナー

ベア・ロジコ株式会社

代表取締役社長
本田　孝 氏

「顧客第一、社員あっての会社」を実現するために健康経営に取り組む

- 代表取締役社長　本田　孝 氏
- 本 社 所 在 地　天童市芳賀字盾ノ城４５７－１
- 主な事業内容　一般貨物自動車運送
- 従　業　員　数　187名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2019・2020 2年連続認定

会社と社員の幸せの根源は健康です。

中枢となる従業員の年齢が50代以降となってきたこと、高齢ドライバーの存在。健康診断で指摘を受ける従業員が増えてきたこと、お客様のために、無事故、安全第一を貫くために、従業員の健康を守ることが何より大切であると考えてきました。従来の会社の考え方、取り組みが健康経営という考え方と合致しており、優良法人認定への取り組みとなりました。

社員の健康と家族の幸せを守るために

具体的な取り組みとして
1. 年2回の健康診断の実施
   二次検診対象者の追跡、100％受診
2. 肥満者の増加に対し、運動不足と食生活の問題ととらえ、指導。
3. 自販機の設置はしてあるが、ウオーターサーバーを随所に置き、糖分の多い飲み物の抑制に努める。
4. アルコールチェッカーを導入し、アルコール量の有無のチェック。
5. 喫煙者対策
   喫煙場所の移動、遠方に設置し、歩く距離を長く、夏は暑く、冬は寒い環境で。

アルコールチェッカー

食品輸送の実績を基に事業の多角化、人材の育成を進めて、長く働ける職場へ。

輸送と直結した戦略拠点としての倉庫。物流と保管の両方を併せ持つことによってお客さまを強力にサポート。

新居への引っ越しや建て替えの家財保管を伴う引っ越しのトランクルームの推進、安心、安全、便利の収納を実現するサービスの開発。

介護職員初認者研修以上の資格を持つスタッフの運転による介護タクシー

農業部門として季節の野菜や果実の即売市の開催

等々を通して、ドライバーの任を終えた後も健康で働ける場所を提供していきたいと考えています。
セミナーの開催や研修を行い、今後も健康経営を強固に推進していきます。

BEAR LOGISTICS INTELLIGENT CORPORATION
BEAR-LOGICO

038

山形県
酒田営業所

丸果庄内青果株式会社

代表取締役社長
佐藤玲子 氏

「体は資本、健康がやる気の源」を実践するために

- 代表取締役社長　佐藤玲子 氏
- 本 社 所 在 地　東田川郡三川町押切新田字茨谷地50
- 主な事業内容　野菜卸
- 従　業　員　数　20名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020（中小規模法人部門）認定

体は資本、健康がやる気の源！

弊社は庄内産農産物の産地として庄内33万人の消費市場を支えており、農作物を取り扱う会社です。
市場では普段は朝5時20分から、繁忙期では朝3時から昼2時40分までの勤務となっており、普通の仕事よりも業務開始時間が早いです。
若い人達は十分な睡眠をとらない傾向があり、不健康になりがちになっています。
不健康であれば仕事のやる気も出てこないですし、またそれと付き合っていかなければなりません。
以前から健康面に取り組んでいたことを含め従業員により意識してもらおうと『健康宣言』を行い、健康経営への取組を実施しました。

経営層と従業員層のギャップを埋めていきたい

経営者側と従業員側で大きな意識のギャップを感じさせてくれたのが健康習慣Webアンケートです。
意外な所に不満を感じていたり、経営陣は意識してもらっていると思っていることが実は従業員は意識していない等、経営陣側が従業員のマインドを知ることができました。

最初の取組として場内を禁煙とし、外に喫煙室を設けました。
女性社員の中には事務所にタバコの匂いが入ってきて困るという意見もありましたが今は仕事に集中できているという声も上がっています。
今年度も健康習慣Webアンケートを通じてより従業員が働きやすい環境を作っていきたいと思っています。

少しずつ理解者が増えている

健康診断は認定される前から毎年全員が受診し、再検診となれば受けるように会社側から勧めていました。
再検診となっても半数以上が行かないという状況でしたが、健康経営への取組を始めてからはほとんどの社員が再検診に行くようになるなど働きやすい環境を作る努力をすることで健康経営に理解してくれている従業員が増えてきていることを実感しています。

今後の展望

今後は『運動機会の創出』と『食生活の改善』に向けて取り組もうと考えています。ラジオ体操や、朝食タイムも作っていますがより多くの社員に活用してもらいたいです。
また、企業だけでなく行政からも様々な健康知識の提供があるといいなと思っています。例えば子供の給食を通じて栄養価の高いものや健康面の向上に何を食べたらいいのか等、知識をどんどんつけて欲しいなと思います。そしたら弊社の農作物をたくさん食べていただけると思いますね。(笑)

以前の喫煙所（場内）→ 場外に設置

株式会社福祉のひろば

代表取締役社長
阿部英明 氏

「従業員の行動変容」＝利用者サービスの向上

- 代表取締役社長　阿部英明 氏
- 本 社 所 在 地　山形県酒田市穂積字上市神139-5
- 主な事業内容　老人福祉事業
- 従　業　員　数　62名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020 認定

まずは従業員が変わる事を優先！

世界で一番早く超高齢社会を迎えた日本、そこで生まれた自立支援介護と多世代共生施設での介護予防と街づくり、地域の活性化を新しい事業モデルとして取り組んでゆくことが私たちの使命です。
その弊社の基本理念の一つに『Well-being：個人の権利や自己実現が保証され、身体的、精神的、社会的に良好な状態にあること』を掲げています。
デイサービスを営む会社として仕事柄健康には気を付けなければならないですし、そのためには若年層から体作りをしていくことが大事だと考えています。
まずは従業員の行動変容を促し、パーソナルトレーナー化をより強固にすることで利用者によりよいサービスを提供できると考えました。その時に健康経営を取り組むことが企業理念にマッチしていると考え、健康経営を始めることに致しました。

現在の環境を従業員へ

従業員向けに自社のフィットネス場を開放しできるだけ好きな時に使用できるようにしました。
以前は従業員に向けて有料としていましたが、開放したことにより従業員も積極的に健康の為の時間を確保して取り組むようになっています。
どんな運動をすると効果があるのか、器材をどのように扱うと安全にケガなく使用できるかと様々な情報をシェアする社員が増えてきていますし、また各自で目標を決めてどのように達成するのか計画性を持って取り組む社員も増えてきています。
以前より社員同士がコミュニケーションを図る機会が増えたと感じていますし、それで仕事のストレスなども軽減しているのかもしれません。

生産性の向上と離職者の低下！

健康経営を取り組んだことによって感じた効果は2点あります。1つ目は利用者に対して従業員が自信を持って案内できるようになりました。自分が試したこと、効果があったと実感していることを利用者に伝えるわけですので説得力が出てきています。
2つ目はコミュニケーションが増えたことによって離職者が減ってきています。仲間意識が強くなったと感じています。

今後の展望

デイサービスの仕事内容も徐々に変化してきています。
利用者の方でも『デイサービスはいきたくない、でも運動はしたい』という方が増えてきています。介護施設の業務とは以前よりも差別化が進んできており、フィットネス関連を望む人が増加してきているので、それに合わせて従業員が学んでいく必要があります。今後も健康経営を推進していくことでよりよいサービスが利用者の皆様に提供できるように環境を整えていきたいと思っています。

040

山形県
鶴岡営業所

Voice Report 200th

有限会社備研

代表取締役社長
石井良行 氏

『環境と人と技術を大切にし、建設を通じ社会に貢献します』

- 代表取締役社長　石井良行 氏
- 本 社 所 在 地　山形県鶴岡市八色木字西野337-3
- 主な事業内容　シーリング・防水工事業
- 従　業　員　数　15名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模

健康経営優良法人
2020 認定

「会社の健康」は会社で「働く社員の健康」

弊社設立は平成13年、令和3年に設立20周年を迎えます。一緒に仕事をする仲間も増え、現在は社員15名となりました。平均年齢が比較的若いのですが、ゆえに生活習慣についての悩みもありました。
将来的なことを考えると今のうちから改善の必要があり、そのような中、アクサ生命担当者より「健康経営」の話を聞き、取り組むことに決めました。

会社で出来る社員サポートから始めました

毎年の健康診断では、年齢の割に検診結果で指摘される社員もおり、たまに体調を崩す場合もありました。
現場直行で朝食を取らないまま仕事をしたり、逆に「朝からカップラーメン!?」という人も。将来の社員の健康を考え、会社でできることとして、昨年よりバランスの良い野菜を中心とした朝食の提供を開始。多くの社員が利用をしています。

会社全体の取り組みが、社員一人一人へ浸透

協会けんぽの取り組みの「やまがた健康企業宣言」で社内での健康宣言を周知。社内報を昨年から始め、体調管理についての記事も毎月掲載しています。
会社全体の取り組みが、社員一人一人の意識に浸透し、生活習慣改善に取り組む人が増加しました。

健康経営の取り組みが コミュニケーション促進にもつながっています

健康増進のために、家族で楽しめるイベントを実施。
仕事では見られない意外な一面も。家族ぐるみでの参加により、従業員同士のコミュニケーション促進、より明るく元気な職場づくりの場となっています。

大切な社員とその家族の健康を考え 今後も取り組みを行っていきます

『環境と人と技術を大切にし、建設を通じ社会に貢献します』　弊社の経営理念の一つです。
社員、その家族が安心して仕事に専念できる職場を提供することも、私の大切な仕事と考えています。
そして、これからも成長し続ける会社経営を健康経営で実践してまいります。

毎月発行の社内報

041

山形県
鶴岡営業所

株式会社鈴木工務店

㈱鈴木工務店
社屋外観

「社員全員長く働き続けられる会社」を実現する為に健康経営に取り組む

- 代表取締役社長　鈴木譲 氏
- 本 社 所 在 地　山形県鶴岡市大山
- 主な事業内容　建設業
- 従　業　員　数　38名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模

健康経営優良法人
2017～2020 4年連続認定

Voice Report 20th

『健康経営』取り組みのきっかけ

全国土木建築国民健康保険組合に加入しており、健康診断で再検査を指摘される社員がいました。
その時保健師さんより「健康経営」を勧めて頂き、少子高齢化社会・生産人口減少の中、何か対策を考えておりました。
そんな時「健康経営」を勧めて頂き、早速取り組む事に致しました。

具体的な取り組み内容

安全・健康増進のために始めた現場でのラジオ体操・分煙をきっかけに、自動販売機の飲み物をお茶とスポーツドリンク・ミネラルウォーターに替えました。
他に特定保健指導対象者は全員実施しており、感染症対策やがん検診を受けた社員に一人2,000～4,000円の補助金を進呈しています。

従業員の健康習慣に関する効果

健康診断後の検査・再検査・治療等を受診する様になり、社員全員健康に対する意識が増しました。
「健康経営」は社員の意識改革に繋がり、希望者には人間ドックの受診経費補助を行っております。
結果、初期の段階で病気も見つかり、仕事を休む人も出ていません。
未だ全員に浸透はしておりませんので、今後の課題です。

会社全体に対する効果

建築現場は常に安全を考慮しないと危険が伴う。社員一人一人が健康を意識する事によって、現場でも緊張感持って、細心の注意を払いながら作業が出来るようになりました。
社員の間でもコミニュケーションが活発になり、活気も出て生産性向上にも繋がっています。

今後の展望

去年創業100年を迎え、健康経営優良法人認定は引き続き継続していきます。
人生100年時代を迎え高齢化は進んでいます。
ベテラン社員も全員、70歳を過ぎても健康で長く働き続けられる様な環境を作り、地域社会に貢献できる企業を目指していきます。
※写真は遊具を設置した障害者施設の子供達から頂いた絵です。

042

山形県
米沢営業所

Voice Report 200th

ミライズ公共設計株式会社

代表取締役社長
小方規代和 氏

「安心・安全・豊かな暮らし」のために「健康経営」に取り組む

- 代表取締役社長　小方規代和 氏
- 本 社 所 在 地　山形県米沢市万世町桑山4469
- 主な事業内容　建設コンサルタント（土木設計）
- 従　業　員　数　10名（男性：6名　女性：4名）

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020（中小規模法人部門）認定

変えていかなければ！という想い

弊社は道路や構造物や、最近注目されてきている無電柱化の計画・設計を行っています。「国民に安心・安全・豊かな暮らしを提供する仕事をしている」ということにやりがいを感じて仕事をしてきましたが、課題も多く、変えていかなければダメだ！と感じていました。従業員が健康であることが、良い品質の成果を生み出し、クライアントに評価され、会社が発展していく、というごく当たり前のことに気付き、健康経営の取り組みを始めようと思いました。

できることから少しずつ！

業界全体の特徴として，物件数をかかえ、各種の検討や設計に必要な計算なども非常に多く、長時間勤務・休日出勤が常態化していました。36協定の遵守、残業時間の規制、土日出勤の禁止、有給休暇取得率の向上。これらを解決する為には仕事量を調整し、効率的な作業環境を整備することが必要でした。変えられることを少しずつ変えていこう！と思いました。

できることから…の取り組み

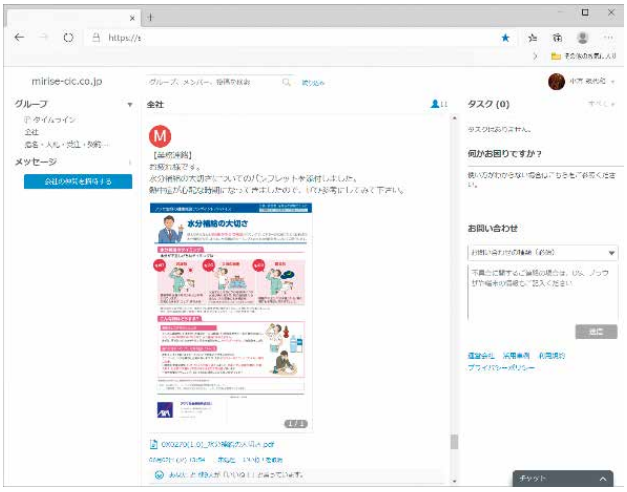
まず始めに分煙を行い、オフィスではBGMを流し、服装は自由にし、昼食時間も自由としました。高いスペックのPCを導入、モニターを2画面にし、スマートフォンを貸与して長時間通話も快適にできるようヘッドセットを準備しました。在宅勤務も取り入れ、社内SNS・チャットを導入しました。公共事業に関する業務のため、年度末が超繁忙期になりますが、インフルエンザの季節とも重なります。感染者は出勤停止となる為、予防接種を推奨し、費用は会社で負担することにしました。繁忙期後の納会や忘年会・芋煮会を行っていますが、会費と宿泊費を会社で全額負担としました。
直接関係のないことも含め、できることから始めました。
それらの結果、売上高の増加、クライアントも増え、残業時間は低減、インフルエンザ感染者ゼロを達成することができました。

「健康経営優良法人認定制度」を知る

このような取り組みをしていたところにアクサ生命の担当者の方から「健康経営優良法人」認定制度について案内がありました。10月下旬に話を伺い、申請書を送ったのは受付締切日の夜遅い時間でした。締切りギリギリでの提出となり無理かもしれないと思っていましたが、認定日当日にアクサ生命担当者より連絡があり、認定されたことを知りました。

安心・安全・豊かな暮らしのために！

健康経営優良法人と認定された以上、継続して認定され続けなければならないというプレッシャーを感じました。これからも従業員の健康を大切に考え、できることから少しずつ会社の発展、そして国民の皆様の安心・安全で豊かな暮らしのために取り組んでいこうと思っています。

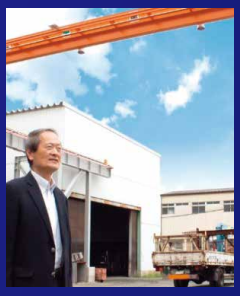


アクサ生命「健康経営ワンポイントアドバイス」を
社内SNSにて周知

043

福島県
郡山営業所

株式会社ウインズ



代表取締役社長
渡辺　勝 氏

社員一同『健康・安全第一』

- 代表取締役社長　渡辺　勝 氏
- 本 社 所 在 地　福島県郡山市富久山町久保田字前田79番地
- 主な事業内容　鉄骨工事業
- 従　業　員　数　23名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
ふくしま健康経営優良事業所
2019取得
健康経営優良法人2020取得

従業員の健康無くして会社は成り立たない

健康経営については、新聞等のメディアにより、以前より知っておりました。アクサ生命の担当者から詳しい話を聞いて、「従業員の健康が一番」「従業員の健康無くして会社は成り立たない」という私の思いと、健康経営への取り組みは合致すると思い、健康経営を本格的にスタートしました。

本気で取り組む健康経営

健康経営に取り組みを行う前から、社員の健康に対する配慮は、最優先事項であると思っており、空調服を現場で作業する全社員に配布するなど、健康に対する配慮を行ってきました。健康経営を始めてからは、①喫煙率の減少②感染症の予防③従業員への健康教育に力をいれています。インフルエンザの予防接種については、全額を会社負担としております。また、少しでも手間がかからないように、健康診断と同時に予防接種を行っており、接種100％をキープしています。社員の健康教育については、講師を招いて、健康セミナーを定期的に実施しているほか、健康に関する案内を、給与明細に同封する取り組みを行っています。健康に対する教育については、一朝一夕では効果が出ません。社員と一体になって、継続的に取り組まなければいけないと思っています。

将来的に喫煙率0％を実現する

健康経営を始めてから、目に見える結果として、喫煙率が大きく減少しました。特に、現場で働く社員については、以前は10名以上だった喫煙者が、直近では2名です。私は、生活習慣によって健康を害した仲間をたくさん見ています。残念ながら、命を落とした仲間もおります。だからこそ、朝礼時や、会議時に「喫煙は健康に悪い」ということを、直接社員に伝えています。それも一度でなく、繰り返し伝えます。
社員自身のため、社員の家族のために、禁煙して欲しい。現在は、「就業時間中は完全禁煙とする」という就業規則にしており、休憩時間以外は、喫煙できない規定となっています。将来的には、「喫煙率0％」を、実現したいと思います。

本社全景

044

福島県
郡山営業所

株式会社桑原コンクリート

■本社所在地　福島県田村市船引町堀越字新田236番地
■主な事業内容　生コンクリート製品の製造及び販売
■従業員数　47名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模

健康経営優良法人
2020 取得

健康経営は「当たり前」の取り組み

平成30年に、協会けんぽから、保健師さんの訪問を受けて、特定保健指導と健康宣言をすすめられました。健康宣言をきっかけに、「社員の健康づくりに取り組むことは、会社として当たり前」との考えから、本格的に健康経営をスタートしています。現在は、安全配慮や整頓管理、品質管理などと同等に、重要事項の一つとして健康経営に取り組んでいます。

認定取得はスタートライン

健康経営については、近い将来、どこの企業においても当たり前の取り組みになるでしょう。平成7年にJIS(日本産業規格)を取得しましたが、現在では、取得は当たり前の時代になりました。健康経営優良法人の認定も同じように、取得していて当たり前の時代が来るかもしれません。しかし、認定取得は、あくまでもスタートライン、模索しながらも、効果的な取り組みを、確立したいと思います。

健康経営への取り組みは模索中

現在、健康セミナーの開催、血圧測定コーナーの設置、社内トレーニングジムをつくるなどの取り組みを行っていますが、まだまだ模索中です。会社内の健康に対する意識は、少しずつ変わってきていると感じていますが、継続することができて、初めて本物となります。以前より、3S(整理・整頓・清潔)活動に取り組んでおり、同業の企業と比べると非常に綺麗な職場となりました。これは、整理・整頓・清潔は当たり前という意識に、変わったからです。健康経営についても、取り組んで当たり前という環境にしていきたいと思います。

将来へ向けての展望

健康経営が当たり前のように機能するように、総合的な運営管理部門の創設を考えています。会社は、安全管理、健康管理、品質管理、整頓管理など、全てに配慮していかないと成り立ちません。健康経営だけに突出するのではなく、重要なこと全てをバランス良く取り組んでいかないと考えています。これらのことを当たり前に行い、次の時代の当たり前を築いていきたいと思います。

<社内トレーニングジム>
運動習慣を当たり前にしたいとの想いが込められている。

<社内セミナーの様子>
健康診断と同日に、
社内セミナーを開催している。

045

福島県
いわき中央営業所

好間町商工会

会長
高橋孝光 氏

明るく元気な好間町
「会員企業に貢献」するため商工会自ら健康経営を実践！

- 好間町商工会　会長　高橋孝光 氏
- 本 社 所 在 地　福島県いわき市好間町
- 主な事業内容　総合経済団体
- 従　業　員　数　5名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020（中小企業法人部門）

あらゆる角度から会員事業所様を支援

・かつて、「常磐炭田」の主要産炭地として活況を呈し、その後、好間中核工業団地の整備に伴う「産業基地」として次世代につながる基盤も着実に築かれてきました。
・会員事業所の繁栄成長を支援することは当会の使命であり、中長期的な課題解決手段の一つとして『健康経営』を推奨するにあたり、自ら取り組むこととしました。
・実践はローコスト（ノーコスト）でできることが殆どであり、会員事業所様からも受け入れられやすいと判断しました。

当会としての取り組み

・当会として『健康経営』に取り組み、『健康経営優良認定法人2020』認定取得を目指すこととしました。
・アクサ生命の健康習慣アンケートを行い、課題把握→改善、同時に当会職員の『健康経営』に関する教育の実践を行いました。
・受動喫煙対策として、屋内の喫煙場所の撤去しました。
・感染予防対策として、手を使わないペダル式アルコール消毒液噴射機（木製）の設置しました。

「不測の事態」に可能な限り備える

・２０１１年東日本大震災、２０１９年豪雨災害、２０２０年新型コロナウィルス感染拡大などを通じて『不測の事態』が発生することを前提に可能な備えをすることが重要と考えます。
・会員事業所様においては従業員の高齢化が進む傾向があり、健康経営の取り組みによる身体的・精神的・社会的健康レベルの向上は、部分的かもしれませんが『不測の事態』の対策の一つと考えます。

体が資本！何はなくとも健康が源

・2019年10月の豪雨災害にみまわれた際、床上浸水・床下浸水の被害にあわれた当会の会員事業所様は全会員の約５０％に上りました。その後被災されました各会員事業所様での災害ごみの除去、室内外の汚泥の清掃、水没車両の撤去、生活道路の開通など『復旧作業』の多くの部分はまさしく人力であり、あらためて体が資本であり健康維持は家庭のみならず、職場でも行うものと認識いたしました。

今後の展望

・認定申請の締め切りが昨年の豪雨災害と重なったため厳しい状況下ではありましたが、結果全国唯一の商工会としての認定となり一つ階段を上ったという認識です。当然当会のゴールは健康経営優良法人認定ではありません。会員事業所様の繁栄発展成長に寄与・貢献できる一つのツールとして、アクサ生命とともに『健康経営』を進めてまいります。

ペダル式アルコール消毒液噴射機
（木製）

2020
健康経営優良法人
Health and productivity

認定証
（中小規模法人部門）

法人名　好間町商工会

貴法人は、従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践する「健康経営」の取組が優良であると認められました
よって、ここに「健康経営優良法人2020（中小規模法人部門）」として認定します
経済産業省及び厚生労働省と共に、今後一層取組を推進されることを期待いたします

2020年3月2日

日本健康会議

日本健康会議

046

福島県
いわき浜営業所

Voice Report 20th

福浜大一建設株式会社

代表取締役社長
佐藤　毅 氏

「半歩前行く健康経営に取り組み、豊かな環境を創造する」

- 代表取締役社長　佐藤　毅 氏
- 本 社 所 在 地　福島県いわき市小名浜字中原16-1
- 主な事業内容　建設業
- 従　業　員　数　85名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020(中小規模法人部門)認定

健康経営優良法人認定のきっかけは、更なる地域貢献のため

1961年創業以来、土木・建築工事の施工管理を中心とし、市内のランドマークとなる建築物やトンネル工事を通じて、地域に貢献しています。更なる貢献をしていくためには、優秀な人材確保が不可欠だと考え健康経営に取り組みを始めました。

過重労働防止のための工事終了後の長期休暇の取得

建設業に従事する現場の社員は工期の都合もあり、有給休暇の取得率が低く時間外労働が多くなる傾向にあります。そこで工事終了後、現場単位で長期休暇を取得できるよう取り組んでおります。

日頃のコミュニケーションにより協力体制を取りやすく

社員同士の相互理解は不可欠。日頃からのコミュニケーションにより、社員がかかえている職場や家庭環境の事情を共有することにより、仕事上での協力体制を取りやすくしております。

より良い職場環境とより良い人材確保

健康経営に積極的に取り組むことにより、より良い職場環境の構築につながっております。また、健康経営優良法人であることを社内外に発信することにより、企業イメージの更なるアップにつながりより良い人材確保にも役立っております。

今後の展望

我々の仕事は来世に、そして地域に残っていく仕事です。そして、福島の震災からの再興を左右するのは、我々建設業がインフラ整備をし豊かな環境を整えられるかどうかです。そのためにも、社員ひとりひとりが仕事にプライドを持ちながら働き続けられることが可能な職場環境を構築することが大事と考え、今後も他社よりも半歩前にでられる健康経営に取り組んで参ります。

本社風景

047

福島県
福島営業所

アサヒ電子株式会社

左からアクサ大内・高橋
アサヒ電子菅野社長　佐藤課長氏

「健康経営で社員1人1人の満足度UP!」
地域に貢献できる企業を社員の健康によって創りあげる

- 代表取締役社長　菅野寿夫 氏
- 本 社 所 在 地　福島県伊達市坂ノ下１５
- 主な事業内容　電子機器の開発、製造、販売、修理
- 従　業　員　数　287名（男性：119名、女性：168名）

健康経営優良法人 2020認定
中小規模

健康経営優良法人
2019・2020 認定

Voice Report 20th

健康経営が会社の成長につながる

弊社は、ロサンゼルス夏季オリンピックが開催された1984年当時市場で活況を呈していたＶＴＲ用電子基板組み立て工場として創業し、現在は超高密度実装技術、高信頼性を提供する車載ＥＣＵ、市場サポート技術を核としたお客様への包括的なソリューション事業で成長いたしました。その中でアクサ生命から健康経営の取り組みについて説明を受け、社員の健康が会社の成長に欠かせないことを再認識し優良法人認定にチャレンジすることとなりました。

社員の健康意識改革に取り組んでいます

まず取り組んだことは、運動のきっかけづくりです。３年前からウォーキングや新入社員の歓迎会として山登りなど、社員の健康向上の一環として行っています。またグループ会社社員も含め年1回スポーツ大会を行い、社員交流の場を設けております。
禁煙についてはもともと工場内に設置されていた喫煙スペースを廃止し、また敷地内での禁煙を徹底しております。また、アクサ生命から講師を派遣していただき全社員向けに禁煙に関する研修も実施しました。禁煙への啓蒙と運動機会の創出により社員の体の健康・こころの健康を両立出来るよう取り組んでおります。

働きやすさを第一に社員のワークライフを支えます

健康経営に向けて社員一人一人のワークライフバランスを会社として支える仕組みが必要であると考えています。その１つとして、社員の残業を減らす取り組みも行っております。月2回全社員の残業時間を回覧し、各自の働き方を確認できるような仕組みを作っております。結果としてこの取り組みを始めて
から約６６％残業時間を減らすことが出来ました。
また、満３歳未満のお子さんがいる社員には短時間勤務制度を活用してもらっています。育休明けの社員も１００％復帰をしており、職場環境についても社員の働きやすさを第一に考えております。

コミュニケーションを増やして業務効率化を推進

スポーツ大会などを通して普段接する機会のない社員同士が交流することでコミュニケーションが増えている点です。業務遂行のために部署を超えて連携する場合には、そうした交流から生まれた人間関係が大変重要であると考えています。
また、健康経営担当者がメンタルヘルス・マネジメント検定に合格するなど会社の健康経営の取り組みを理解し自主的な動きも出てきております。さらに地元への社会貢献活動として幼稚園のプール清掃や会社近くのごみ拾い活動に社員が積極的に参加してくれており、会社の目指す方向を全社員が共有できている
ことを実感しております。

地元に選ばれる企業を目指して

創業から36年を迎え今後さらに地域に根差した企業を目指し、社員の健康と会社の継続的発展を推進して参ります。その上で技術革新の進展がとどまることを知らないこの業界において、常に最先端技術とトップレベルの品質を保持すべく常に進化し続ける努力と全員でチャレンジする風土を大切にしながら、これまで培ってきた製造業の「匠」の技術により一層の磨きをかけ、地元のコア企業となれるよう歩み続けたいと考えております。

本社工場

禁煙セミナーの様子

新入社員歓迎
トレッキングの様子

048

福島県
福島営業所

Voice Report 200th

株式会社山川印刷所

全ての人に幸福を！健康経営から100年企業を目指します！

- 代表取締役社長　立花志明 氏
- 本 社 所 在 地　福島県福島市庄野字清水尻1-10
- 主な事業内容　印刷業
- 従　業　員　数　78名

左より　代表取締役 立花志明氏　常務取締役 立花由里子氏　AXA 三島明美社員

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020（中小企業部門）

健康への意識改革から

株式会社山川印刷所では、「それぞれの夢を実現するために印刷というメディアのプロとして常にお客様・社員・購買関係者の立場を考え・行動することにより会社に関わる全ての幸福度を高めます」という経営理念の下、その目的を達成するための大事な要素として従業員が健康であることを行動規範に謳っております。
当社では78名の従業員が在籍しており、一人一人の健康が何より大切であると考えております。しかしながら、定期健診では所見がある従業員が多く、また喫煙者も比較的多くおります。そのため、健康への関心が低いことが課題でした。そんな中アクサ生命から健康経営について話しを受け、これを機に会社一丸となり健康に向けた取り組みを始めようと思いました。

従業員の健康を最優先に取り組みました

当社では健康への意識があまり高くはなかったと思います。定期健康診断の受診は以前までは100％の受診になっておりませんでした。健康経営を機に、夜勤者の年2回の診断・婦人科健診の受診奨励と受診料全額会社負担・付加検診の奨励など従業員の健康意識改革をスタートしました。また非喫煙者への受動喫煙を防ぐため喫煙コーナーを撤廃し、従業員一人一人が気持ちよく働ける環境を整備しました。さらに健康に対する研修の場として従業員に関心を持ってもらえるテーマを選び、年1回健康セミナーを実施しております。

健康診断受診率100％へ

もっとも効果のあったものは、喫煙に対する意識です。喫煙コーナーの撤廃に対しては不満はなく、理解を得ることができたと考えております。また、健康診断については全員受診が定着し、自分の健康について考える機会が増えたことにより関心が高まり、要再検査の検査受診率の向上、更には要再検査の減少に繋がることを期待しています。

お客様に選ばれる企業へ

アクサ生命の健康習慣アンケートによって、健康経営の取り組みがより具体的になりました。社員の生活習慣を見える化したことで課題が社員に認識され、「禁煙」を健康セミナーのテーマとして取り上げ、全社禁煙化を行えました。会社として社員の健康をサポートできることを考え実行することで社員のまとまりを感じることができるようになったと思います。禁煙への取り組みではいい影響がございました。営業車の禁煙化に伴い、搬送する商品に匂いが付くこともなくなりました。健康経営に取り組むことで、お客様から選ばれる企業・地域社会に貢献できる企業として成長できると考えております。

100年企業を目指して歩み続けます

100年企業を目指す上で、社員の健康関心度をもっと高めていきたいと考えております。定期健診の結果などこれまで従業員任せになっていた部分を会社としてサポートし、社員の健康が生産性向上に繋がるよう取り組んでいきたいと思います。さらには、従業員の家族の健康についても目を向け健康経営を広く活用し自社の発展に繋げていきたいと思います。

049

福島県
福島営業所

FAシンカテクノロジー株式会社

代表取締役社長
山口　薫 氏

「健康経営の取り組みが社員の意識を変えました！」
ウォーキングマイルプログラムで健康増進

- 代表取締役社長　山口　薫 氏
- 本 社 所 在 地　福島県福島市渡利字岩崎町102-7
- 主な事業内容　自動はんだ付け装置の開発販売等
- 従　業　員　数　20名（男性：15名、女性：5名）

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020 認定

お客様と共に進化していくために

私たちFAシンカテクノロジー株式会社は、東北・福島の地に産声をあげてから今日まで、多くのユーザーの皆様に支えられて参りました。お客様の声を第一の拠り所として、ともに未来の生産技術を追求し続け日本の「もの造り」を進化させるため日々努力して参りました。今後も「お客様と共に日本のモノづくりを進化させる会社」「お客様と共に進化する会社」を目指し、社員一丸となって取り組んで参ります。そのためにも自身の健康維持の取り組みを活かして、社員一人一人の健康意識を高めて参ります。

“歩く”ことから健康を見直しています

当社の業務は座り仕事が多く、以前は体調不良を訴える社員が多くおりました。そこでまずは足腰の強化から始めようということで、歩く習慣を身につけてもらえるよう「ウォーキングマイルプログラム」を実施いたしております。社員には活動量計を貸与し歩いた距離に応じたインセンティブ（商品券）を用意いたしました。また、ノー残業DAYを週2日・休日出勤月2日までなど過重労働防止に向けた取り組みも実施しております。

取り組みを始めてから社員の笑顔が増えました

取り組みを始めてから、社員が複数人でお昼休みなどを利用し会社近くを歩く様子が多く見受けられるようになりました。
カウント数についてお互いに確認し合うなど、社員同士のコミュニケーションもさらに増え取り組みによる効果を実感しています。また、アクサ生命から提供される健康経営ワンポイントアドバイスのチラシを活用することで、社員の健康に対する意識を高めることができました。

健康経営優良法人として更なる進化を目指します

健康経営優良法人2020認定を受けたことで社員の健康意識が向上致しました。全社員が健康経営に向けた取り組みに積極的に参画してくれており、1人1人がいい仕事をするために自分の健康を第一に考え行動しています。また、本社と青森県十和田市の事務所との間で格差が生じないよう担当者間でこまめな連携を図っております。全てはお客様と共に進化し、そしてお客様との信頼関係を継続していくため、創意工夫を重ね業務にあたって参ります。

社員に誇りと喜びを実感してもらうために

当社は年齢の若い社員も多く所属しており、その若い力を発揮することでベテラン社員と共に会社の発展に大きくに寄与してくれると期待しております。会社としても、これまで以上に
全社員が自身の仕事を通じて「喜び」を感じてもらえるよう、取り組んでいきたいと考えております。また作り上げた製品が社会で果たす役割を理解し、その責任とやりがいを感じつつ、持続性の高い働き方ができるよう、健康経営の推進を図って参ります。

福島本社

社員へ貸与した活動量計

有限会社ワシオ商会

代表取締役社長
鷲尾一美 氏

「社員が健康でいきいきと働く会社」を目指し健康経営に取り組む

- 代表取締役社長　鷲尾一美 氏
- 本 社 所 在 地　会津若松市町北町大字上荒久田字宮下45
- 主な事業内容　土木資材販売・レンタル・修理
- 従　業　員　数　17名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020 認定

健康への積極的な関与

創業から40年以上経ち、働いていただいている従業員も増えましたが、中には健康への意識が薄い方もいらっしゃいました。会社を50年、100年と続けていくためには従業員が健康で、長く働くことが欠かせません。健康についてコミュニケーションを取り、課題の把握・克服など従業員の健康管理に経営者が積極的にかかわっていく事が、健康意識の改善につながると考え、健康経営に取り組むことを決めました。

禁煙への取り組みは大きな成果が・・・

喫煙者が多いのも課題の一つでした。そこで『禁煙賞』を設け従業員が禁煙に取り組む機会を設けてみました。また、自分の力だけでは禁煙が難しいという従業員には、会社負担で禁煙外来の受診をしてもらい、見事に禁煙に成功した従業員もいました。今では喫煙者は2名のみとなり、今年中には100%禁煙を目指してコミュニケーションをとっています。

まずは健康状態の把握から

まずは従業員自身の健康状態を把握してもらうために健康診断、健康診断再検査の100%受診を目標設定しました。現在では従業員の健康診断・再検査の受診率は100%となっております。
また、健康診断の結果を問わず、全員に保健師と面談を実施し、より自身の課題として健康について考えていただく機会を設けました。

今後の展望

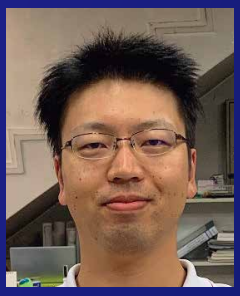
今後は健康管理だけではなく運動増進についても力を入れていきたいと考えています。会津若松市では『鶴ヶ城マラソン』というマラソン大会があるので、いつかはユニフォームを作り、会社からチームで参加するという展望もあります。運動や健康を通して、働き甲斐を感じてもらい、従業員が長く、いきいきと働くことができる会社を目指していきます。

一人一人に合わせた健康管理

従業員の健康について取り組む中で、通院しながら働いているなど、持病と向き合いながら働いてくださっている従業員がいることもわかりました。そこで通院が理由の場合に有給休暇を取得することを推進しました。また、従業員の持病について保健師・従業員・ご家族と3者面談の機会を設け、より効果的な治療ができるような機会を設けるなど、一人一人に合わせた健康管理についても取り組んでいます。

〈社内の柱に掲出した大きな『敷地内禁煙』の案内
従業員はもちろんお客様にも協力いただいています。〉

有限会社ワンピース



代表取締役社長
星　恭平 氏

「従業員が元気にしっかり働ける職場」をモットーに健康経営に取り組む

- 代表取締役社長　星　恭平 氏
- 本 社 所 在 地　福島県会津若松市中町3-29
- 主な事業内容　情報処理サービス
- 従　業　員　数　7名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人2020認定

従業員は大切な仲間だからこそ健康で長く働いてもらいたい

弊社の事業は、県内の様々な地方にお客様がおり、各地で従業員が活躍しています。業務にはスキルはもちろん、体力も重要になるので、従業員が健康で良いパフォーマンスを発揮することは会社の運営にも大きな影響があります。だからこそ、健康意識の改善をはかり、健康で長く働いてもらえる仕組みづくりの一つとして、健康経営への取り組みを決めました。

まずは自分から健康に取り組む

健康経営を始めるにあたり、社長である自分の健康管理も欠かせません。健康診断で保健師の指導を受けた際に、「まずは自分から始めなければいけない」と決心し、食事内容の改善から始めました。実際に取り組んでみると、従業員が健康課題の改善に取り組めない気持ちを理解出来ました。今では健康上の課題で困っている従業員に自身の経験を通して、一人一人に寄り添い、具体的にアドバイスが出来るようになりました。

従業員への情報共有が効果的でした

まずは現状の把握をということで健康習慣アンケートを実施しました。業務時間中に取りまとめ結果をセミナーという形でフィードバックし、従業員自身に健康に対する意識付けを行いました。業務として健康について触れることで、従業員が健康について取り組む姿勢に変化がありました。なかなか運動について取り組めない人は食事改善に努めるなど、自身のできる範囲で工夫をして健康増進に取り組む従業員も出てきました。

自発的な健康を促す取り組み

健康について考えるうえで大切にしていることは自発性です。ただ強制や禁止ではなく、自分から健康管理について考える環境づくりにも取り組んでいます。給与明細には毎月健康に関する情報を同封したり、血圧計や体組成計を導入し、出社時に自分の体の状況をチェックできるよう環境を整えました。今はパンフレットや情報提供をきっかけに自分から禁煙について取り組み始めた方もいます。

今後の展望

私はチャレンジ精神や意欲を持ち続けることが会社の為、社会の為、そして自分の為になると考えています。従業員の皆さんが、意欲的に健康に取り組み、それぞれの健康課題へチャレンジし続けられるよう、セミナーや情報共有などで環境の整備をしていきたいと思います。健康への取り組みを通して、今後入社したいと思って下さる方に健康経営の面からも当社の強みとしてアピールして参ります。

2020年6月に行われた健康セミナーの様子

052

福島県
相双営業所

仄々倶楽部合同会社

デイサービスほのぼの

利用者様、従業員の「喜び、楽しみ、笑顔」のために 仄々倶楽部合同会社「デイサービスほのぼの」

- 代表取締役社長　鈴木聡美 氏
- 本 社 所 在 地　福島県南相馬市原町区二見町2-25
- 主な事業内容　介護事業
- 従　業　員　数　6名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模

健康経営優良法人
2020 認定

健康経営優良法人2020認定

元々看護師として病院に勤務しその後介護施設に転職しました。規模の大きい施設でしたので介護サービスから経営のことまで学ばせていただきました。そんな中東日本大震災が発生、避難者の中には介護を必要としている方も多く、受け入れ施設がなく困っている方々を見てデイサービスを立ち上げました。アットホームな場所にしたいと考え、小規模な施設にしました。

ストレスがたまりやすい仕事だからこそ コミュニケーションが大事です。

健康診断の受診率は当たり前ですが100%です。
私共の仕事は認知症の方や介護が必要な方へのサービスですので、ストレスがたまりやすい仕事です。そこで職員とのコミュニケーションを大事にしています。
具体的には私と職員と一対一で個別にコミュニケーションをとっています。普段思っていることや感じたことを何なりと話してもらっています。

お年寄りが多い施設だからこその感染症予防

利用者様はお年寄りが多い施設だからこそ感染症予防については細心の注意を払っています。
私が看護師の資格を持っていますので、月に一回「感染症予防委員会」を開催し感染予防に努めています。
また、毎月一回「ケースカンファレンス」を行い、利用者の方と職員とで一ヶ月どのようなことがあったかなどの共有をして課題や対応策を確認しています。

職員の意識と職場への効果

職員の健康に関する意識は高まっていると感じます。
先ほど「ケースカンファレンス」について話しましたが、その日のうちに課題に対応ができるよう「プチケースカンファレンス」も行い、コミュニケーションをとっています。
会社全体としては健康経営優良法人認定に際し何かが変わったということではなくこれまでやってきたことを申請したら認定されたという感覚です。これからも利用者様や職員のためにこれまでの取組を継続してまいります。

今後の展望

運営方針が　「喜び、楽しみ、笑顔」　です。
利用者の皆様にも喜び、楽しみを感じていただきいつも笑顔でいていただき、それを見て私たち運営者や職員も喜び、楽しみを感じ笑顔でいられる未来にしていきたいと思います。

「介護は楽しい仕事だというイメージを
たくさんの人たちに伝えていきたい」

053

福島県
白河営業所

東陽電機工事株式会社

代表取締役社長
石川格子 氏

「Challenge　100th！」を実現するために地域をあかりで照らす

- 代表取締役社長　石川格子 氏
- 本 社 所 在 地　福島県西白河郡西郷村字道南西
- 主な事業内容　電気・通信・消防設備工事、保守管理
- 従　業　員　数　11名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020 認定

Challenge 100th！

創業より87年。
昭和8年創業以来、地域の皆様にそっと寄り添い、歩んできました。三代目の社長として就任をして、地域の皆様の支えに感謝をしています。時代の流れとともに、電気工事の内容も変化し、働く人たちの考え方も変化してきています。地域で必要とされる企業となれるよう、人も企業も日々成長をしてまいります。

人の輝きが力に変わる「健康経営」。

地域へしっかりと貢献できる技術集団を目指しています。地域を支える仕事も、ご家族の方々の支えがあって初めて可能なことです。
社員とそのご家族を支える働きやすい環境づくりに力をいれています。個人の成長が会社の成長につながると考え、社員の成長を一番に考えた経営を続けています。「健康経営」は当社の考えに合致している素晴らしい取り組みです。

新しいことを楽しんでやってみよう！

健康経営に限らず、いろいろなことにチャレンジしています。年に1度全社員に向けて会社の理念や方向性を共有する場をつくる経営方針発表会兼安全大会にて、今年は健康セミナーを開催しました。公的資格の取得補助、外部の勉強会などに積極的に参加を促すために費用補助の仕組みを設けています。最近は、社員は楽しんでやっています。食生活改善におかずアラカルトを提供しています。

地域で必要とされる企業となれるよう、必要とされる人間の教育にも力を入れています。

失敗を恐れず、挑戦する仲間とともに成長し続けています。企業としてもそういった人財を大切に育てながら、企業全体としても一回り大きく成長できるよう日々進めています。ヒトにしかできない部分をさらに大切にしながら、成長していきたいと考えています。今も昔もこれからも、東陽電気に接点を持つすべての人が幸せを感じる仕事を提供できますように。

今後の展望

目の前の私利私欲に惑わされることなく、家族、大切な人、お客さまそして地域の人に喜んでもらえる仕事をすることこそ「自らの成長」「会社の成長」「地域の活性化」に繋がります。社員が健康で楽しく仕事できることが良い施工の基本となっていると感じています。

2019年11月　経営方針発表会・安全大会にて健康セミナー実施
テーマは夢をかなえるボディメイク

株式会社桜交通

代表取締役社長
小桜　輝 氏

「安全第一」を実現するために健康経営に取り組む

- 代表取締役社長　小桜　輝 氏
- 本 社 所 在 地　福島県白河市合戦坂
- 主な事業内容　乗合旅客自動車運送（路線・高速バス）
- 従　業　員　数　255名（グループ会社8社：従業員440名）

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2019・2020 2年連続認定
ふくしま健康経営優良事業所

運送業特に我々のようなバス会社は運転手の安全管理は必須です。

当社にとって、健康経営優良法人の認定を受けることがゴールではありません。「健康経営」の取り組みを「お客様に対し、信頼と安心の提供」「社員の意識とパフォーマンスの向上」へ繋げ、自社にあった適切な健康経営のスパイラルアップを追求していきます。

道路交通安全ISO39001取得
日本バス協会安全性評価認定

「健康経営実践プログラム」から、まずは取り組めそうな活動を。

当社では保健師や管理栄養士のご協力の下、食を通じて社員の健康意識を高めるべく独自の健康通信を配信しています。様々な検査を実施するだけでなく、独自の健康通信を配信することで実効性のある健康管理を行える環境づくりに力を入れています。

全国にある営業所でも、実施していくこと。社員一人一人の自覚を高めること。

当社では、福島県内だけではなく、東京、横浜、最も遠方は神戸にも営業所があります。完全運行管理についても、健康管理についても共通しています。社員に一人ひとりの意識を高め、自ら認識し、自ら行動していくことです。
全ては、お客様の安全のために！

従業員の高齢化に伴い、健康経営の重要性を感じました。

東日本大震災を通じて緊急時の対応を含め、事業継続体制の必要性を感じたことにあります。業務に潜むリスクの洗い出しを行い、従業員の高齢化が進む中でも安全運航を維持していくために健康経営の取り組みで、知識意識向上を図ることの重要性を痛感しました。

今後の展望

「健康経営」の取り組みの一環として、社員の健康意識向上と健康管理を目的に福島県や協会けんぽが推奨しています「健康事業所宣言」を行いました。当社では高血圧対策を中心として健康管理が行える環境整備、健康増進を推進してまいります。健康課題を解決するために自らの意思で行動に移せるようサポートしていきます。

運行する高速バス

株式会社藤建技術設計センター

代表取締役社長
近藤松一 氏

「健康経営」〝社員は大切な家族である、という思いから、
みんなが健康で、笑顔な明るい職場づくりを常に意識しています。

- 代表取締役社長　近藤松一 氏
- 本 社 所 在 地　福島県東白川郡棚倉町
- 主な事業内容　測量・土木、地質、調査設計管理
- 従　業　員　数　37名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020 認定

コミュニケーションが必要です。健康経営に取り組む必要を感じました。

「人が生きる」「人が育つ」「人が繋がる」仲間を、地域を大切に社訓にもある「思いやりの心」を持って接し、社会へのお役に立ちたいと考えております。当社の社名のもある「技術」を育てるには、日頃日常のコミュニケーションが欠かせません。健康経営の取り組みには、体の健康だけでなく、心の健康を培うコミュニケーションについても取り組みがあり共感しています。

現場仕事は一人一人の自己管理と自覚、そして健康が重要。

年間100～200件に及ぶコンサルタント業務を受注し仕事柄長期の出張もあり、そのほとんどは現場で過ごします。請け負う仕事は一つとして同じ仕事はなく、いい仕事をするには、常に失敗を恐れず積極的にチャレンジする前向きな姿勢が求められます。その礎になるのは健康で、周りと良いコミュニケーションをとること。健康経営は社員の意識、自覚を高める取り組みです。

これまでの取り組み

「立ち会議」等、職場から始められる健康づくりを実践、健康セミナーを開催しヘルスリテラシーの向上に努めました。

- 福島県・ふくしま健康づくり優良事業所２０１８認定
- ワークライフバランス福島県次世代育成支援企業認定制度「仕事と生活の調和」推進企業認証
- 福島県「働く女性応援」中小企業認証

チャレンジが技術向上の礎、「健康経営」のコミュニケーションと社員活性化は共通項

社員は貴重な財産であり、個々の「人」の成長を支えています。技術者として自分の技術を突き詰めていく技術研修会を開催しています。技術向上のためにも、一つ一つの仕事を、お客様や他の社員としっかりとコミュニケーションを取りながら進めることとが何より大事であり、失敗してもいいから積極的にチャレンジする姿勢の人材が活躍しています。

今後の展望

「社員の幸せを実現する企業創り」を目指しています。
全員参加型企業です！お客様が満足する成果を提供し、より良い企業になるよう働きやすい会社創りを目指しています。「健康経営の取り組み」についても、みんなで知恵を出し合い、目標達成を目指します。

社内ボーリング大会

056

福島県
白河営業所

Voice Report 20th

株式会社鈴木建設

代表取締役社長
鈴木清次 氏

「顧客第一、社員あっての会社」を実現するために健康経営に取り組む

- 代表取締役社長　鈴木清次 氏
- 本 社 所 在 地　福島県白河市東大沼176-1
- 主な事業内容　総合建築業
- 従　業　員　数　27名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模

健康経営優良法人
2018～2020 3年連続認定

来年で63周年になります。創業当時から従業員を大切にしています。

月１回の健康講話を開催し、従業員の健康管理を維持するよう、努力しております。 これは、健康宣言をするかなり以前から続けて取り組んでいます。健康講話は担当の社員がその時期の話題、感染症、熱中症、けが防止などを調べて教材資料を作り実施をしています。毎月のファイルもノウハウの蓄積になっています。

健康増進「受ける勇気、続ける努力、年に１回の健康診断」

建設業では安全管理が重要です。労災事故防止のため、日々作業前の安全確認を行っています。健康についても同じです。長く健康保険委員を務めていた部長が、一昨年厚生労働省から表彰を受けました。健康保険事業を社内はもとより白河地方の推進を誠実に行ってきた結果だと思います。

長年継続することで、「健康経営」についても仕事の取り組み自体の理解と関心が高まってきました。

初めのころは健康管理についても、あまり関心のなかった社員も多くいました。長年取り組んでいるうちに、今は皆さん、健康に注意するようになり、再診も進んでいくようになりました。いろいろ勉強をして、関心も高まってきました。メタボリックシンドロームの指摘を受ける社員も今は少なくなりました。
毎月従業員への健康知識教育を継続することで、仕事の取り組みにもコミュニケーションの活性化が図れてきました。

よい仕事をして、顧客のニーズに満足していただく、良い仕事は従業員と家族の健康から

地域の皆様のおかげで、63年間建設事業やってこられました。日頃から、地域のボランティアの従業員とともに参加をしながら地域との共存共栄を呼びかけています。「健康経営」は良い仕事を続けていくために、社員が家族とともに健康で元気であることに貢献する大切な取り組みと考えます。

今後の展望

これからの時代にふさわしいお客様のニーズに対し、企画、提案が出来る企業と、同時に、お客様との「おつきあい」を大切に、地域社会から必要とされる企業となれるよう、日々努力を重ねていきたいと思っております。

毎年恒例の献血協力　血液不足で手術を受けられない方が少しでも少なくなるよう願っています。

有限会社ハシコー梱包運輸

代表取締役社長
橋本一美 氏

「健康なくして、安全なし」　社長自身がリーダーシップを取り健康経営に取り組む

- 代表取締役社長　橋本一美 氏
- 本 社 所 在 地　福島県岩瀬郡鏡石町桜岡41-3
- 主な事業内容　一般区域自動車運送事業・人材派遣事業
- 従　業　員　数　35名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
ふくしま健康経営優良事業所
2019取得　健康経営優良法人
2020 認定

健康経営に取り組むきっかけ

従業員の高齢化にともない健康不安が高まってくる中、突然、従業員が病に倒れました。
当社は、運送業がメインの為、運転手が当日欠勤となるとシフトの入れ替えが大変になります。
そのためには、日ごろからの従業員の健康管理が一番必要だと痛感しまして、従業員の健康増進に積極的に取り組むことにしました。

生活習慣の改善

毎朝の点呼時にアルコール点検はもちろんのこと、一人ひとり血圧を測定してもらい 名前・血圧値・測定日・時刻服薬の有無を記入してからの運行を実施しております。 乗務員の血圧を一定期間調査して、高低血圧者には改善するように会社で指導しております。また、気をつけている点ですが、食事等、炭水化物を少なく摂取、野菜をたくさん食べるようにチラシ等で告知しております。

社長自ら、ひとつひとつ丁寧な説明をすることで社員全員に理解してもらえました。

1.点検時に数値が異常な時は病院受診を徹底
　(その都度領収書を提出させて確認しております)
2.高齢者　脳ドック検査(費用会社負担)
3.禁煙の取り組み、喫煙率以前は70％から現在58％に減少しております。(禁煙外来の医療費を補助)

社長が本気で説明することで、従業員から数値を意識するようになり、経過データーを見せてほしいと要望がある状況に浸透してきました。

運動の推進とセミナー開催

どうしても、運送業は、運動不足と不規則な勤務時間になってしまうため、スポーツテスト(体力測定)を実施し現状の体力を理解してもらっております。
また、時間不規則からの歯の予防も必要と考えて、歯周病予防のためのセミナーを講師を招き実施いたしました。

社内にて下記写真のように取り組みました。

今後の展望

ハシコー梱包運輸ではユーザー企業との強力なパートナーシップのもと、21世紀にふさわしい総合物流のシステム確立は勿論福島県が進めている福島空港を拠点とした国際貨物への対応もこれからの大きな夢であります。
社会に幅広い貢献する企業に、新時代へ向け大きく躍進してまいります。そのためにも、従業員の健康経営がすべてと考えて取り組んでまいります。

健康セミナー実施
テーマは歯周予防セミナー

スポーツテスト実施
(体力測定)

058

福島県
須賀川営業所

Voice Report 200th

三柏工業株式会社

代表取締役社長
菊地一樹 氏

かかわるすべての皆様の幸せで豊かなライフスタイルを追求

- 代表取締役社長　菊地一樹 氏
- 本 社 所 在 地　福島県須賀川市大町１０４
- 主な事業内容　建設業
- 従　業　員　数　30名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模

健康経営優良法人
2020 認定

地域の守り手であるために健康経営に取り組む

東日本大震災が起きた際の対応で、地域の守り手である建設業として一生懸命に働いてくれた社員に感謝で一杯です。しかし多忙を極めたその時に健康に影響が出た従業員もおります。
建設業において顕著なのが従業員の高齢化であり、培った技術を若手に指導してもらうためにも、従業員が元気に働く環境が必要だと考えました。

地域になくてはならない会社となる

「三柏さんに相談してよかった」、「三柏さんに頼んでよかった」といわれるような、信頼される会社であり続けたい、という想いです。

「健康経営実践」まずは取り組めそうなことから

定期健康診断と再検査等の受診促進の取り組み。
受診率100％の定期健康診断と、その他種々の検診をオプションで付与。
従業員へ再検査を促し、大動脈瘤の病気を早期発見、治療をすることができました。
休暇の取得状況を改善するため、外部コンサルからアドバイスを受け、代休・有休取得の促進も行いました。

今後の展望

地域になくてはならない唯一無二の企業として、社会の創造に貢献します。
お客様はもちろん、従業員の皆さんも含めた、かかわるすべての皆様の、幸せで豊かなライフスタイルの実現。
そして、健康経営とワークライフバランスに積極的に取り組んでいきたいと考えております。

大切な社員とその家族が心身ともに健康である為に会社も変化していきたい

長時間労働を防ぐこと、ひとりひとりの意識改革。それでも従業員によっては有給をなかなか取れない人や、時期によって残業時間が増えてしまう人がいます。労働時間削減のため、現場管理システムや写真管理ソフト等の各種ITツールを導入し、時短を図るとともに業務の効率化を進め、休みをとれる環境を整備し、建設業だから…という従業員の意識を少しずつ変えていく取り組みを行っています。

sanpaku 75th ANNIVERSARY

三柏工業（株）は創業75周年を迎えました、福島県を中心に建築事業、不動産住宅事業、環境事業、スポーツ用品事業、コインパーキング事業、美容事業、ベトナム事業を展開してきた幸せで豊かなライフスタイルを提供するグローカルグループです。

株式会社メイケン

代表取締役社長
尾身賢二 氏

「顧客第一、社員あっての会社」を実現するために健康経営に取り組む

- 代表取締役社長　尾身賢二 氏
- 本 社 所 在 地　新潟県十日町市中条丙１１１１番地1
- 主な事業内容　精密・車載用コネクタ組立・全自動組立機
- 従　業　員　数　85名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020 認定

能力の差より熱意の差！メイケンを支えているのは社員です

社員を採用する場合に重点をおいているのが、コミュニケーション能力です。当社は、全てチームで動いています。1人のエースよりは、10人のコミュニケーション能力の高い人材のほうが、よりよい仕事ができると考えているからです。能力の差はあっても熱意でカバーできると思っています。我が社があるのは、社員ひとり一人の努力とコミュケーション能力の結晶です。雪深いこの地でも、世界に発信できる企業を目指していくことが出来るのです。
働きやすい環境を作り、若者の夢を育て十日町から世界へつなぐ企業を目指してまいります。

「健康経営実践プログラム」から、まずは取り組めそうな活動を

健康経営の取り組みのきっかけは、アクサ生命の担当者からの紹介でした。その頃は、漠然と企業のイメージアップを図りたいと考えており、そうした意味でも健康経営の取り組みはうってつけでした。その頃は、３交代制での勤務をせざるを得ない状況であったため、すこしでも疲労が回復するようにと、社員食堂の増築や休憩場所としての畳部屋を設置したりしてきました。
健康経営実践プログラムの開始からは、トクホを中心とした品揃えの自動販売機を設置したり、主たる業務が精密機械の生産現場であったことから、ホコリが立たずに生産できるとともに、従業員のインフルエンザ予防にも役立つように、工場内のミスト噴霧をするように致しました。

社長自ら、ひとつひとつ丁寧な説明をすることで社員全員に理解してもらえました

最初の頃は健康意識が乏しく、いくつかの取り組みについても、社員は関心を持っていない状況でした。
しかしながら、そこから次第に健康経営についての認識が深まっていったように感じます。
今回の健康経営優良法人認定が決定してからは、社員に対して、「当社は、健康経営優良法人なので」という説明をすることで、社員への浸透はより深くなってきました。
昨今のコロナ禍においても、食堂にオゾン発生器を設置して社員の安全配慮に努めております。

大切な社員とその家族の健康とともに会社も成長していきたい

社員にとって役立つことは、できる事はなんでもしてあげたいと考えています。以前に若い社員が会社の近隣で、車同士の事故を起こしてしまい、駆け付けてみました。その社員はどうしていいか分からず、震えていたところを見て、社員向けの事故対応の講習会を損害保険会社にしてもらいました。
また、以前に一人従業員が倒れた経験を活かして、消防署に心臓マッサージとAEDの使い方の講習をしていただきました。
当社は、若い社員が多いので、社会生活において経験不足であるが故に知らずにいることを、会社としてフォローしていきたいと思っています。

我が社の目指すものは

弊社は新潟県の南。縄文の時より歴史のある十日町市で従業員の９割が正社員としてものを作る難しさをかみしめながら、情報を発信できる企業を目指しています。

コネクターは部品と部品をつなぐ重要な部品です。
我々も一人一人は小さい人間ですが、社会や地域の中で企業と企業・人と人をつなぐ 重要な架け橋となりたいと常に考えています。

2020年　メイケン　陸上部選手　新潟県の駅伝
十日町代表として優勝

三福運輸株式会社

代表取締役社長
五月女奈緒美 氏

「お客様の幸福、社員の幸福、会社の幸福」の３つの福を実現するため健康経営に取り組みます。

- 代表取締役社長　五月女奈緒美 氏
- 本 社 所 在 地　新潟県新発田市横岡１１６６－２
- 主な事業内容　一般貨物自動車運送
- 従　業　員　数　40名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020（中小法人部門）

社員の健康が大事だからこそ、健康経営に取り組む必要を感じました。

当社の社名は、お客様の幸福・社員の幸福・会社の幸福の３つの幸福を祈って「三福運輸」と名付けました。
３つの幸福の実現には、ドライバーが健康で、きちんと仕事を全うできる状態が不可欠と考えてます。そのための教育が必要だと思っていた時に、「健康経営」という考えがあることを知りました。そこで「健康経営」について学ぶセミナーに参加したところ、「社員の健康」が大切だと改めて感じ、取り組みを始めました。

関心のありそうなことを始めたら、生活習慣にも相乗効果が生まれてきました。

参加したセミナーでは、心疾患や脳血管疾患が原因で事故を起こしている人が増えている話を聞きました。将来的なドライバーの高齢化も考え、誰もが簡単に取り組めるレコーディングダイエットから始めました。食べたものを記録するだけなのですが、食べたものを書き出すことで、炭水化物＋炭水化物だったり、コーヒーに砂糖を入れていたりすることに本人が気づくきっかけになりました。
社内に体重計を置いていますので、自然と体重を測る社員が増えてきてますし、普段、車の中にいる仕事なので、なるべく歩くようにしている社員も増えてきました。

社員の体調にも良い変化が。

取り組みを始める以前と比べ、病気で休む人が確実に減りました。基本的なことですが、手洗い・うがいを徹底したり、社内に入る際のアルコール消毒、毎日出社時には体温・体調の確認、睡眠チェックをする際には、睡眠時間の申告も行っています。
直近の健康診断では、新たに指摘を受ける人がゼロだったことで、健康経営を始めて良かったと実感しました。

女性の働きやすい職場にしたい。

運送業は男性のイメージがあるかもしれませんが、今は女性ドライバーも数多く活躍しています。当社にも女性ドライバーが７人働いています。女性が働きやすい職場、女性が居心地の良い環境になるように、会社の中を変えていきたいと思いました。その為には、まず「人づくり」だと思います。健康に関することはどんな人にも共通のことですので、社内のコミュニケーションにも繋がっています。

今後の展望

運送業は人々の生活を支える「尊い仕事」です。社会的地位を上げて、従事する人を増やしたいと思ってます。
そのためにも、今後の福利厚生の充実のためにアクサ生命の担当者と打ち合わせを行っています。福利厚生の充実は「社員の幸福度」を上げ、「会社の幸福度」の向上となり、「お客様の幸福度」に繋がります。
社名の由来の「三つの福」の実現のため、これからも健康経営に取り組みます。

新デザイントラック

ドライバーミーティング

高木建設株式会社

(左)高木常務取締役
(右)吉田さん(健康経営担当者)

「高木建設株式会社」～全国に先駆けて健康経営の取り組みをスタートし、2017年より4年連続健康経営優良法人認定取得！～

- 本社所在地　長野県長野市安茂里小市1丁目3番31号
- 主な事業内容　建設業
- 従業員数　82名(内、男性70名　女性12名)

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2017～2020(中小規模法人部門)に4年連続認定

健康経営に取り組もうと思ったきっかけは？

以前、ケガや病気などで入院、療養する社員が増えた時期があったことからです。このままだと生産性が落ちて仕事が回らなくなってしまいますし、会社の財産である社員には、元気で長く働いてもらいたいと思っています。
そんな時に、協会けんぽさんの「健康づくりチャレンジ宣言」というものを知りました。事業所全体で健康づくりに取り組むことを宣言、実践することで、心身ともに元気な職場を目指す、というもので、こちらを軸にしながら健康経営の取り組みを始めようと決めました。平成28年から始めて、今年で5年目を迎えます。

具体的な取り組み内容を教えてください！

まず、健康診断は必ず行っております。社員への全体指導だけではなく個別指導も行い、保健師さんに来て頂いております。協会けんぽさんの生活習慣健診も行い、いつもより検査項目を増やし内容を充実させてたことから、社員から喜ばれています。
また、「健康だより」という社内報を2か月に1度発行したり、長野市や協会けんぽさんからのメルマガを社員に一斉メールで送ったりと、日頃から健康について意識してもらうようにしています。
そのほかにも、社員の皆さんにウォーキングラリーに参加してもらっています。1人だとなかなかできなくても、仲間がいるから頑張れることもありますし、社員同士のコミュニケーションをとることもできます。これをきっかけにウォーキングを続ける社員も多いんですよ。
また、社員のご家族に対しても、健康診断を受診するように促す通知を送る、ということもしています。家族全体で、健康に向き合っていただくことが大事だと思っています。

取り組んでみて、効果はありましたか？

社員の被扶養者の検診の受診率が上がりました。現在、41.2％の受診率で、長野県の平均受診率を大幅に超えています。また、要精検の社員には、再検査の呼びかけを増やしたこともあり、病気にかかる社員が減少しました。それに、社員の検診の数値が良くなった項目もあります。
会社全体で積極的に取り組むことで、社員に意識の変化が出てきています。こういったフォローを増やしたことで、離職率の低下にもつながりました。

今後はどのように取り組まれていきますか？

今後も社員の健康に気を遣う会社であることを皆さんにPRし、健康を通じて建設業のイメージを変えられればと思っています。
一番は社員同士が健康を通じてコミュニケーションをとってもらうことが重要です。身体的な面だけでなく、精神的な面にも好影響をもたらし、それが仕事にもプラスになっていきます。社員の健康を、会社の健康にもつなげていきたいですね。
また、7月31日には健康経営アドバイザーの資格を有しているアクサ生命の社員さんに、全社員向けの健康経営セミナーを実施していただきました。これを機に、さらに社員の健康増進を図っていければと思います。

2020年7月　全社員向けの健康経営セミナーを
アクサ生命さんを講師に迎え実施しました。

062

長野県
上田営業所

Voice Report 200th

株式会社みすず綜合コンサルタント

代表取締役社長
増沢延男 氏

会社の業務は社員1人1人の健康で成り立っている だから、健康経営

- 代表取締役社長　増沢延男 氏
- 本 社 所 在 地　長野県上田市上田原
- 主な事業内容　測量・建設コンサルタント
- 従　業　員　数　51名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2018～2020 3年連続認定

まずは健康づくりチャレンジ宣言から 年初の会社方針は「健康経営」！？

かねてから「経営の安定＝従業員の健康」であると考えていましたが、経済誌などで「健康経営」というフレーズを見かけるようになり、まずは長野県協会けんぽの健康づくりチャレンジ宣言をすることからスタートを切ってみました。あわせて年初に掲げる会社方針にも健康経営に取り組むことを盛り込みました。とは言え、聞きなれない「健康経営」という言葉に対し、社員の反応は正直申し上げると、いまいち理解してもらえていないようでもありました。

健康への取り組み その1つの指標が「健康経営優良法人」認定

健康経営は当時、人事担当業務を担当していた現社長が健康経営推進担当者として取り組みを始めました。
まだまだ「健康経営」に関する情報が少ない中、手探りながらの取り組みスタートではありましたが、今思えば、自分たちで苦労しながら作り上げていく過程が社員の理解とモチベーションアップにもつながったのかもしれません。
健康経営の取り組みにあたり、1つのゴールとして「健康経営優良法人」の認定を目指すこととしました。

いよいよ認定に向けての取り組み開始

もともと社内で実施していた取り組みと健康経営という考え方をマッチングさせる工夫を重ねました。もともと実施していた社内イベント(BBQ大会、マラソン大会出場、地域でのボランティア活動)にヨガや瞑想イベントを加えたり、単身者の仕出し弁当を会社補助しておりましたが、そのメニューにヘルシー弁当を加えました。また社内コミュニケーションの活性化のため、行事紹介する社内報は部署毎の制作担当者が楽しく記事にしてくれています。それに加えて、協会けんぽからの情報をもとに毎月発行する「健康ニュース」も楽しみにしてくれている社員も増えてきました。

外部の専門家の力を上手に借りることもポイント

社員への健康経営の浸透に一役買ったのが外部の専門家からの協力でした。協会けんぽや市の健康推進課からの協力で外部講師による出前講座(禁煙・食事・運動)を開催しました。禁煙講座後は個別フォロー指導のおかげもあり、禁煙に成功した社員もおります。また健康診断実施医師へも協力を仰ぎ、社員が健康診断を受診しやすい予定を組んでいただいたり、インフルエンザ予防接種を会社負担にし、希望する社員とその家族全員が無料で接種できる仕組みも作れました。

お客様、地域、そして社員に必要とされる会社へ

企業はただ利益を出していればよいわけではなく、お客様に、地域に、従業員に必要とされる存在でなければ、永続することはできません。お客様のつながり、地域のつながり、社員間のつながり、家族のつながりが会社を強くします。
昨今言われている働き方改革に柔軟に対応することが求められています。だからこそ、社員1人1人が健康で活き活きと働ける環境を作る「健康経営」への取り組みが必要なのではないでしょうか。

定時退社の呼びかけと土曜日朝礼の「健康ニュース」のポスター
座禅(マインドフルネス)タイム

株式会社アイネット

代表取締役社長
赤津誠内 氏

「企業は人なり」の社是を実現するために健康経営に取り組む

- 代表取締役社長　赤津誠内 氏
- 本 社 所 在 地　長野県松本市征矢野1-5-46
- 主な事業内容　一般電気工事業
- 従　業　員　数　95名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2019・2020 2年連続認定

健康経営に取り組むきっかけは・・・【社是】

当社は、昭和21年創業の電気工事会社です。
業種柄、「安全第一」、「社員の健康管理」は、とても重要です。
社是は「企業は人なり」。
従業員ひとりひとりの人財を大切にする為、健康経営に取り組み、心身ともに健康な社員を・・・の想いを具現化する為に導入しました。

創業からの取り組み

創業まもなく全社員で就業前のラジオ体操を始めました。
輪になりラジオ体操を行うことを日課として行っています。その時間は、体調不良の確認やコミュニケーション、リフレッシュする大切な一日の時間となっています。
創業から74年間続いているラジオ体操を、これからも継続していきます。

病気になる前の予防に・・・

病気は未然に防げるものは防ぐ!!
予防に力を入れています。インフルエンザ予防の為、全額会社負担でインフルエンザの予防接種を行っています。産業医に来社していただき、一斉に接種していますので従業員の負担も少なく、ほとんどの社員が希望して接種を行っています。
また、本年度の健康診断では、全社員対象にピロリ菌検査も会社負担で行いました。ピロリ菌は感染したまま放置しておくと潰瘍や胃がんなどを引き起こす可能性があります。健康診断時に行うことで従業員の負担を減らし病気を未然に防ごうとの考えから行いました。

環境に合わせた取り組みをいち早く取り入れる

【安全ひろば】・・・月に一度、社員と協力業者向けに安全・健康に関するお知らせ、「安全ひろば」を発行しています。時季に合わせた、例えば熱中症などの対策、リフレッシュ方法など、多岐に渡る内容を掲載しています。発行を心待ちにしている社員も多いです。

【コロナ】・・・事務所の出入り口には消毒液、除菌マット(靴の殺菌)を設置しています。また、社員へのマスク、アルコール液の配布も行っています。出社前の検温・行動記録の管理もお願いし、全社員並びにご家族と共にこの難局を乗り越えていきたいと思っています。

社長が考える会社の未来

顧客・従業員共に「期待を超える感動を」与えられる会社へと成長していきたいと考えています。
アクサ生命のアドバイスを参考に健康経営に取り組み、より働きやすい、社員が自信をもって仕事ができる環境づくりに励んでいきます。
そのことが従業員満足度UPとなり個客満足度UPに繋がり、会社の存在意義UPに繋がっていくと考えています。

玄関には靴底の消毒マットを置き濃いグリーン部分を踏むことにより外部からの入ってくる靴底を除菌。感染症を予防しています。

城東冷機サービス株式会社

代表取締役社長
松岡伴斉 氏

『安全・安心・クオリティ』をお届けする企業だからこそ・・・健康経営に取り組む

- 代表取締役社長　松岡伴斉 氏
- 本 社 所 在 地　長野県松本市神林5770-2
- 主な事業内容　空調設備等設計施工・保守サービス
- 従　業　員　数　10名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2019・2020 2年連続認定

企業の成長は従業員の心と身体の健康から

当社は、1975年創業当時からお客様へ「安全・安心・クオリティ」を届ける若い社員が主体の企業です。
お客様へ届ける「安全」の為には、社員自身が健康でなければならない。社員の健康は会社にとっての「宝」。
松岡社長の想いです。
そこで、健康経営優良法人認定をいち早く取り入れ、
2年連続認定を受けてきました。

「従業員の医療保険加入」の経験から

健康経営優良法人認定が始まるより前に、松岡社長は、福利厚生の一環として、社員全員にアクサ生命保険のガン治療保険に加入していました。
加入後、1年で、社員のひとりがガンに罹患。
仕事も休み治療に専念することになりました。
すでにその時点で保険に加入することはできず、頼りになるのはこの保険だけでした。治療が長引き、退職することになりましたが、契約者を名義変更し退職金の一部として保障を渡すことが出来ました。

課題を把握し、社員と楽しみながら

アクサ生命での健康習慣アンケートの結果から、当社での問題点を洗い出した結果、①禁煙　②運動　に取り組んでいます。
今では、社員自らが休み時間、空いた時間に、縄跳び、バレーボール、机でできる体操、筋トレ等を行っています。
その結果、社員同士のコミニュケーションが増えました。
体重が減った、腰痛が減ったなど、目に見えるよい結果を得ています。

社員の意識から

健康経営優良法人認定を受けたことで、労働条件の向上や社員の健康に対する意識が変わりました。
意識が変われば、行動が変わることを痛感しています。
そうした社員の意識改革により、昨年は風邪やインフルエンザで休む社員はいませんでした。
企業理念や経営目標を常に明確にし、それらを個人的な目標にもして達成感を味わって欲しいと願っています。
しいてはそれが心の健康に繋がり、仕事の効率を上げてくれると思います。

今後の展望

100年後の地球に綺麗な水と空気を!!
は、松岡社長の理念。
その為には、私達ひとりひとりがプロの意識を持って仕事をしていくこと。日ごろから『気づき』を大切にし、お客様に必要としてもらえる人になるため、仕事を通して生き方を学べる会社にしていきたいです。

年の初めの健康祈願!! 社員全員で

株式会社江島積算

代表取締役社長
江島伸二 氏

【会社の永続的成長に欠かせない社員を守るために】健康経営に取り組む

- 代表取締役社長　江島伸二 氏
- 本 社 所 在 地　長野県諏訪市中洲４００５
- 主な事業内容　建築サービス
- 従　業　員　数　7名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020 認定

専門的な業種だからこそ、健康経営に取り組む必要を感じました。

弊社の事業は、積算という専門的な分野であり、取引先となる建設業者（入札者）の将来をも左右する重要な業務であることから、僅かなミスも許されないというストレスがあります。締切間際の社員の恒常的な残業、もっぱらデスクワークとなることによる運動不足や、不規則になりがちな食生活への不安があり、何らかの対応が必要と以前から考えていました。

健康経営の取り組みが全てを解決すると考えました。

初めて健康経営という言葉を、担当の濵さんからお聞きし、内容を知った時に、これこそ弊社の課題解決になると実感しました。規模の小さい企業だからこそできる、ともに働く全員が同じ視点にたって、明確な目的に向かって取り組むことは、企業自身を強くすると確信しました。そして、より質の高いビジネスへとつながるものと考えました。

社長自らが宣言することで社員全員の動きがかわってきました。

健康経営は、経営上の戦略と聞き、経営者自身の意識と行動を見える化し、社員に落とし込みました。次に実施したのは、オフィス内でもできること、という視点で取り入れていきました。フィットネス器具を設置したのもその一環です。結果的に社員のリフレッシュにつながり、業務効率がアップしました。また、従業員の会話の中にも健康の話題が見られるようになり、意識の高まりを実感できました。

オフィス内の環境整備から従業員のコミュニケーションの向上へ。

オフィス内の取り組みだけでは、従業員の意識を高めることに限界あると感じ、各種のコミュニケーションイベントを積極的に企画・開催することにしました。健康増進のため、トレッキングを取り入れた社員旅行や、毎月の誕生日会を開催したことで、社員間の相互理解が高まりました。今では、インフルエンザ予防接種の全額補助、ジムの紹介や業務時間中の献血者の出社扱いなども行い、大きな動きを作ることができました。

更なる企業価値の創造へ

建設業界では、健康経営への関心が高まり、優良法人認定に向けて積極的に取り組む企業が増えていると聞きます。時流に従うのではなく、自らが時流を創り出していくこと、それを従業員とともに体感できる素晴らしい経営スタイルだと考えます。これからは、社員からの発信も含めた一歩先の取り組みへと発展させ、活力ある唯一無二の企業へと進化させていきます。

社長の発案で、社内には、従業員がいつでも自由に利用できる、フィットネス器具が整っており、社長によれば、今後、さらに充実していく予定とのことです。

南新電気工業株式会社

代表取締役社長
金子好成 氏

「社員ひとり一人の健康あってこそ」の地域社会への貢献 健康経営に取り組む

- 代表取締役社長　金子好成 氏
- 本 社 所 在 地　長野県茅野市塚原２丁目４－３
- 主な事業内容　一般電気工事業
- 従　業　員　数　22名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020 認定

人手不足だからこそ、健康経営に取り組む必要を感じました。

当社は公共工事をはじめ、民間企業の電気設備工事を受注させていただいており、専門的な技術を要するため慢性的な人手不足、ベテラン社員の高齢化を問題と認識しておりました。一人でも健康を損ねてしまうと会社全体に影響を及ぼしてしまうため、何らかの対策が必要と以前から頭を悩ませておりました。

問題解決のための取り組みを明確化

健康経営をご紹介いただき、これこそ当社の抱える問題解決につながると感じました。ただし実際の取り組みとして、何から始めるべきか、どのようなことが社員の健康につながるのか、と改めて担当の清水さんに相談したところ、全従業員を対象とした健康習慣アンケートの実施を提案され、漠然としていた問題解決への取り組みが明確化されていきました。

社員ひとり一人の健康意識を高める！

健康診断後にアンケートを実施。社員ひとり一人の健康意識を確認し、食生活を中心とした意識の低かった項目について研修会を行いました。また、協会けんぽの保健師による生活習慣病健診後の保健指導を徹底し、社内の掲示板に定期的に健康情報の提示を行うように致しました。その結果、食事に気を使い自らお弁当を作ってくる社員、健康診断の再検査等も積極的に受診する社員が増えました。

組織パフォーマンスの向上に！

社長自らが健康経営への取り組みを宣言し、社員ひとり一人への投げかけにより、社内コミニケーションが活性化し、健康をテーマに話し合う機会が増えました。また、健康を損ね長期休業してしまう社員も減少し、社員間での業務のしわ寄せ負担もなくなり、組織全体としてのパフォーマンスの向上につながりました。

今後の展望

社員ひとり一人が健康で仕事に集中できる環境を構築することが、会社としての成長に繋がり、当社の掲げる「電気設備工事を通じて地域社会に貢献」に繋がるものと実感しております。また「健康経営」を対外的にアピールしていくことは、優良な人材確保のための有効な手段であり、人手不足解消に繋がるよう益々の健康経営への取り組み拡大をして参ります。

2019年7月26日健康セミナー実施
講師はアクサ生命（株）諏訪営業所　佐藤所長

第一交易株式会社

代表取締役社長
西能　徹 氏

「顧客第一、社員あっての会社」を実現するために健康経営に取り組む

- 代表取締役社長　西能　徹 氏
- 本 社 所 在 地　富山県南砺市苗島4785
- 主な事業内容　建設業・土木資材製造販売・建築資材販売
- 従　業　員　数　73名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020 認定

『健康』というテーマでの取り組ではなく、「福利厚生制度の充実」「社員のリフレッシュ」での取り組み

当社では、最初から『健康』というテーマで取り組んできたわけでなく、「福利厚生制度の充実」「社員のリフレッシュ」というような観点で取り組んでいました。その中でターニングポイントとなる出来事がありました。今から3～5年ほど前に協力会社の40～50歳代の方々が、あいついで脳卒中で倒れられたのです。40歳代2人が亡くなられ、50歳代前半の一人は半身麻痺で言語が回復するまでに3, 4ヵ月かかりました。そこから、健康というテーマでの取り組みがさらに加速したような感じです。

特別福利厚生制度導入

社員1人に対して年間30ポイントの施設利用補助(1ポイント＝1,000円)を付与。マッサージ:5ポイント/1回、月1回会社にマッサージ師が来られ、マッサージを受けられる制度導入。その他、社員の意見から、スーパー銭湯の回数券6～8ポイント/冊、スポーツジム利用券を毎月5枚使え年間30ポイントの特別福利制度導入したことにより、社員からの評判も良く、好きな制度を積極的に利用してくれるようになりました。今後も社員の意見を聞きながら、制度内容を充実していきたいと考えております。

大切な社員とその家族のためにも健康診断要検査再受診率100%に取り組む

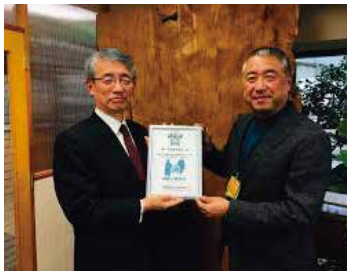
健康に働いてもらうため、30歳以上の社員には人間ドックの費用のほとんどを会社が負担し、受診を奨励しています。保健指導該当者は全員指導を受けることを基本として100%受診。要検査となった項目の精密検査については、1項目1回までは業務時間扱いとすることで要検査受診率も格段に上がりました。
脳ドックに関しても45歳、55歳という節目の社員対象に脳ドック費用を全額会社にて負担し、受診を奨励しています。
インフルエンザ予防接種は原則、義務とし会社が費用を全額負担することでほとんどの社員が予防接種しています。

健康経営に取り組んで良かったこと・メリット

現在、我々、中小企業では新規採用が非常に厳しくなってきています。そのためには、社員に健康で長く働いてもらわないといけませんし、また就職を検討されている方々にも安心して働ける会社としてのイメージアップや制度作りが必要と考えております。そう言う観点からも健康経営は非常に重要。今後は、更に、職種や部署によって異なる部分を一体的に進めていくことが大切。中々、異なる業種で一体感を出しての取り組みは難しいが、推進をしていきたいと思います。

今後の展望

健康経営と言われると、運動習慣、食習慣などの生活習慣が思い浮かびがちですし、働き方改革と言われると、残業削減、休暇取得などが思い浮かびがちです。しかし、もう少し広い意味で、「社員に元気に気持ちよく働いてもらうためには、どう職場環境や働き方を変えれば良いか」と考えると、もう少し違った発想が出てくるかと思います。例えば、当社では一部の部署で「フリーアドレス」というものを導入いたしました。これは、席を固定せずに、その日の気分や仕事内容、打ち合わせしたい人と話せるなど、ノートパソコンを持って自由に好きな席に座れるようにしました。大きなモニターでパソコン作業出来る席もあれば、広い昇降デスクで図面を広げて、立っても座っても作業が出来る席、窓の方を向いて気分転換しながら仕事出来る席、誰にも邪魔されずに集中して出来るボックス席などがあります。このようなことも健康経営の取り組みとして、トータル的に社員の健康や働き甲斐、働き方について考え、今後も社員の意見を取り入れながら取り組んでいきたいと思います。



健康企業宣言(Step1)の認定を受けました。

株式会社トレンディー茨城

代表取締役社長
伊藤忠士 氏

「縁があって一緒に仕事をしている仲間に健康でできるだけ永く働いて頂けたら良いと思って」健康経営に取り組む

- 代表取締役社長　伊藤忠士 氏
- 本 社 所 在 地　水戸市谷津町
- 主な事業内容　一般貨物自動車運送業
- 従　業　員　数　34名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2017～2020 4年連続認定

茨城県認定第1号
以前より健康経営に取り組む必要を感じてました。

2017年追加申請で健康経営優良法人認定にチャレンジしました。茨城県で初めての申請ということで、協会けんぽとも連携し、認定項目の確認をしました。認定項目は既に実施済みのものが多く2週間程で申請しました。
2016年に茨城県の健康づくり推進事業所認定も受けており、健康飲料ヤクルト乳製品の配送業務の為以前より、従業員の健康増進の取り組みの必要性を感じていました。

健康診断受診率100％二次検診も必ず受診

職場でのラジオ体操は20年ほど前からスタート。10年ほど前にインフルエンザの大流行の際社内感染者が多く少人数での業務に非常に困った経験がきっかけで、健康第一と考え、予防接種補助を実施。現在は全額補助しています。また、ヤクルトを運ぶ仕事なので毎日全社員にヤクルトを会社負担で飲んでもらっています。社内健康経営担当者を通して、管理栄養士による健康セミナー、禁煙教室（煙草を吸わない人も参加）の実施、禁煙成功者のインタビュー動画の作成も取り組んでいます。

全体会議で健康診断結果のフィードバック

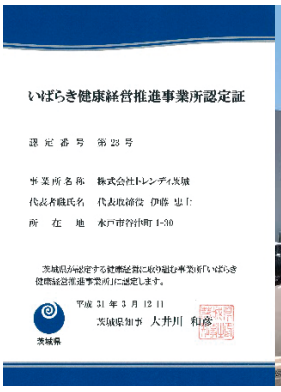
運送業独特の仕組みとして、『運輸ヘルスケアナビシステム』を活用し、健康診断結果を匿名で、全体会議でフィードバックしています。費用負担はありますが、トラック協会より半額が補助され、ドライバーの健康状態の可視化が可能となり、運転中の事故ゼロにもつながっております。縁があって一緒に仕事をしている社員全員に少しでも永く活き活きと働いて頂きたいという会社の方針から継続しています。現在では仲間同士で禁煙の啓蒙など職場環境が社員の健康への行動変容につながっています。

健康経営推進の対外的PRの取組

2017年に認定式に出席したところ茨城県では1社だけでした。その後、日本商工会議所（月刊石垣）に掲載され周囲から何件か声をかけて頂きました。今後も茨城県認定第1号はPRしていきたいです。いばらき健康経営推進事業認定式でも社内健康経営担当者として登壇しました。また協会けんぽのホームページにもインタビュー記事を掲載して頂きました。茨城県立健康プラザでの講師も２回実施しています。今では従業員も参画しながら健康経営の推進活動も積極的に行っています。

健康経営がトレンドの時代へ

健康経営に取り組み、欠勤者（病欠）が減りました。
取り組み前は一時インフルエンザに数人感染する状況がありましたが、うがい、手洗い、アルコール消毒の励行などに取り組んだ結果感染者数を大幅に抑えることに成功しております。今後も永年勤続者への人間ドックプレゼントなど、今までの取組の継続と合わせ新しい取り組みの拡充、健康経営に対する、社内外に対する啓発を続けていきたいと考えています。そして茨城県の健康経営推進の牽引役として少しでもお役に立てればと考えています。



いばらき健康経営推進事業所認定証

認定番号　第23号

事業所名称　株式会社トレンディ茨城
代表者職氏名　代表取締役　伊藤 忠士
所　在　地　水戸市谷津町 1-30

茨城県が認定する健康経営に取り組む事業所「いばらき健康経営推進事業所」に認定します。

平成 31 年 3 月 12 日
茨城県知事　大井川 和彦

茨城県

069

茨城県
日立営業所

日和サービス株式会社

代表取締役社長
木村慶一 氏

日立グループの基本理念である「安全と健康を守ることは全てに優先する」に基づき、安全活動と共に従業員の健康保持・増進活動である健康経営に取り組む。

- 代表取締役社長　木村慶一 氏
- 本 社 所 在 地　茨城県日立市東成沢町
- 主な事業内容　環境ソリューション・ビルメンテナンス・ビジネスサポート
- 従 業 員 数　1,153名(2020.4)

健康経営優良法人 2020認定
ホワイト500

健康経営優良法人(ホワイト500) 2019/2020 連続認定

Voice Report 20th

産業医、保健師からの推薦で『健康経営』取り組みを開始

従業員の平均年齢が高いこともあり、従業員の健康管理は会社にとって重要な取り組みと認識し、従業員一人ひとりが、健康で明るく楽しく笑顔で働けるよう、従来から様々な健康増進活動を実施。その活動を身近でみていた産業医の先生と保健師さんから「認定取得に挑戦してみては？」と勧められたのがきっかけで、2017年から認定取得にチャレンジ。最初は手探りではあったが、毎年工夫を凝らしながら、2019年・2020年と連続で健康経営優良法人(ホワイト500)に認定された。

健康経営活動に会社としてバックアップ

労働災害で転倒が多いことから、健康(くねくね・S字)体操を行い、その結果を2ステップテストにて効果検証している。ラジオ体操については、毎朝労働時間内に全員で実施し、年1回講師を招いて正しい体操の仕方を学び実践している。また、楽しみながら運動を継続できるよう、毎年「職場対抗ウォーキング大会」を開催し、一定期間の1日あたりの平均歩数が多かったチームを表彰し、上位入賞チームには記念品をプレゼントしている。他にも部署ごとで健康増進活動を実施した場合は、会社として経費の補助を行う仕組みを作っている。

健康優良法人(ホワイト500)に認定をされたことで、健康経営活動を社内外に広くアピール

ＨＰの会社概要欄や本社入口付近に健康経営に対する取り組みを掲示、従業員に対しては、認定記念として健康グッズを配布し、2年連続の認定取得を社内外にアピールしている。

3年連続健康経営優良法人(ホワイト500)認定を目指し、さらなる取り組みを行っていく

従来から行っている、2ステップテストによる転倒リスクの把握や健康(くねくね・S字)体操及び健康イベントを継続して実施。今後は、喫煙率ゼロをめざし、禁煙に向けた取り組みを積極的に実施していく。また、新しい取り組みにもどんどんチャレンジし、継続して認定取得できるよう健康増進活動を推進していく。

新型コロナウィルス感染拡大下でも出来ることから積極的に継続推進

新型コロナウイルス感染拡大下で、健康イベントの延期が余儀なくされていますが、自宅で出来る健康体操を従業員へ周知したり、手作りマスクキャンペーン「自作マスクで医療を守ろう＃SAVE The Nurse」に賛同し、未知のウイルスと最前線で戦う医療従事者に優先的にマスクを届けるため、自作マスク着用を推進する等、自分たちが今できることを前向きに実施し、健康経営優良法人認定企業として、活動の足を止めないよう工夫しながら推進している。

2ステップテスト

健康(くねくね、S字)体操

健康イベント
(リズムウォーキング)

070

茨城県
日立営業所

Voice Report 200th

鈴縫工業株式会社

代表取締役社長
鈴木達二 氏

「お客様の満足と我々の成長が会社発展の源」を経営理念として健康経営に取り組む

- 代表取締役社長　鈴木達二 氏
- 本 社 所 在 地　茨城県日立市城南町
- 主な事業内容　一般土木建築工事業
- 従　業　員　数　184名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2019・2020 2年連続認定

健康経営は自然体で出来ることから進めている

社員の平均年齢が高いことから、社員の健康管理については日頃から課題としていた。そんな中、全国土木建築国民健康保険組合から健康経営推進について後押しがあり、課題・取り組みについて情報を共有することで、「健康経営優良法人認定」取得へ舵を切り、出来ることから取り組んでいった。会社としての取り組みの結果、2019年認定取得することが出来たので、連続での取得を目指して、新たな取り組みへのチャレンジと今までの取り組みの継続を実践することで2年連続で認定されることとなった。

社内イントラネットを通じて取り組みを社員に周知、HPで社外にも健康経営優良法人認定をアピール

全社員にイントラネット上で、健康経営に繋がる取り組みについて、周知したうえで実施している。
定期健康診断の結果、再検査・精密検査・要治療の社員への受診勧奨
インフルエンザ予防接種の出勤認定、実施場所の提供
適切な働き方実現に向けた取り組み〈年次有給休暇の取得促進〉等

2020.03.10　「健康経営優良法人2020」に認定されました

3月2日（月）、日本健康会議事務局が健康経営優良法人2020の認定企業を発表しました。
中小規模法人部門においては4,723法人が認定され、当社も2019年に引き続き認定を受けました。

2020
健康経営優良法人
Health and productivity

～鈴縫工業株式会社様　HPより～

従業員のコミュニケーション向上を図るため地域のロードレースに参加

会社のTシャツを貸与して毎年、多くの社員が参加してコミュニケーションを図る機会を提供している。

今後の展望

弊社経営理念は、「お客様の満足と我々の成長が会社発展の源」。お客様へ満足を提供するには、社員が安心して仕事に専念できる環境作りをするのは会社の責務と考える。
社員の平均年齢が上がってきている中、生活習慣病リスク低減、社員の健康増進のために、喫煙率の低下が課題と考えており、昨年度から、禁煙を実行した社員や定期健康診断で全ての項目がA判定で健康管理の見本となった社員に対して表彰状と金一封を授与する随時表彰制度を社長提案で設けている。
3年連続で健康経営優良法人認定取得に向けて、継続的な取り組みプラス新たな取り組みにもチャレンジしていきたいと考えている。

071

茨城県
日立営業所

有限会社日工自動車サービス

代表取締役社長
小野﨑幸弥 氏

経営理念「関わる人をしあわせに」を実現するために健康経営に取り組む

- 代表取締役社長　小野﨑幸弥 氏
- 本 社 所 在 地　茨城県日立市滑川町
- 主な事業内容　自動車一般整備・新車販売
- 従　業　員　数　11名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020（中小法人部門）認定

会社理念「関わる人をしあわせに」の１つ目の柱「当社は社員の幸せのためにある」

「社員一人は、社員みんなのために、をモットーに社内の上下関係に関わらず、尊重され、尊厳が認められるべきで、思いやりの心をもって接し、協力するよう努める。社員一人ひとりが、それぞれの家族に所属していると考え、その中での役割が果たせるよう、お互いに配慮しながら会社での責任を担う。」上記の経営理念に照らし合わせ、社長の責務として家族の健康や安全配慮に気を配ることは常に気にかけていました。健康経営はその流れに乗った施策であった為、認定取得に向けてチャレンジしていくことは自然の流れでした。

病気の治療と仕事の両立に向け早期の取り組みを開始

社員の家族がガンに罹患され、治療することになったが、弊社は社員の家族も家族と考えていることから、社員の家族の看病にも休暇を取得しやすい環境を作りたいと考えました。代理店をしていることもあり、各保険会社からの勧めもあり健康経営優良法人認定取得に向けて、まず社員の有給休暇取得について社員に周知し、取得しやすい環境を整備しました。

受動喫煙対策として分煙の徹底

時代の流れでもありますが、会社としても受動喫煙対策として、以前は休憩所（室内）に設置していた喫煙所を屋外に移転し、受動喫煙対策を行いました。

屋外に移転した
喫煙場所

新型コロナウィルス感染拡大の中、働き方を変更

新型コロナウィルス感染拡大で緊急事態宣言下においては、感染リスク軽減と社員のワークライフバランスの観点から、月末に業務が集中することが避けられないので、月初に2日間の有給休暇取得を推奨し、多くの社員が有給休暇取得をすることが出来ました。これを機に仕事の状況を見ながらワークライフバランスを考え、適時有給休暇取得を推奨し、メリハリのある仕事を行っていけるよう会社としてサポートしていきます。

今後の展望

新型コロナウィルス感染リスクが常にある状態で集まって運動機会の提供をするとか、コミュニケーション向上のために行おうと考えていたことが躊躇せざるを得ない状況ですが、ウィズコロナでの取り組みを考えながら2年連続で認定取得に向けて取り組んでいこうと考えています。

072

茨城県
石岡営業所

日本ナショナル製罐株式会社

代表取締役社長
島田浩行 氏

家族の笑顔を守りたいから健康経営に取り組んでいます

- 代表取締役社長　島田浩行 氏
- 本 社 所 在 地　茨城県石岡市柏原9番地２
- 主な事業内容　アルミニウム飲料缶の製造・販売
- 従　業　員　数　203名（男性183名、女性20名）

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2019・2020 2年連続認定

身体のことは自分にしかわからない

「健康に気を付けましょう」「くれぐれもご自愛ください」という言葉を日常でも使っていますが、そもそも『健康』とは、病気でないとか、弱っていないということではなく、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態にあること。（日本WHO協会訳）だそうです。当社で行う健康診断は、オプションも準備し充実させています。私自身、病気を経験し健康診断の重要性は身を持って感じています。

本人がその気になることが最も大事

人生楽しく、健康で過ごせるように私たちの出来ることは地道な問いかけです。毎月22日を「スワン（吸わん）デー」として禁煙を促しています。また、茨城県が推進する「いばらき健康寿命日本一プロジェクト」の一環である『元気アップ！リいばらき』を奨励しており、私自身も範を示せるよう自らを鼓舞しながらウォーキングで日々額に汗しています。自覚を持って取り組んでもらうことが大切だと考えています。

せめてサポートは充実したい

健康管理の面では、早い時期から看護師を社員として迎え、健康やメンタルでの相談が気軽に受けられるようにしています。また、食事は食堂で調理をして提供。管理栄養士がメニューを考え、イベントメニューやライブディッシュ（面前で調理）など工夫しています。また「かる塩メニュー」という高血圧に留意したものも準備しています。従業員に、少しでも「 食 」と自身の健康に関心を持ってもらえるよう努めています。

これから

私たちを取り巻く環境、そして情報は日々めまぐるしく変化し、何が正しいのかもわからない時があります。今は新型コロナウイルスという得体のしれない恐怖に晒され、心身ともにストレスを受ける厳しい生活です。しかし、私たちは人生100年を健康で楽しく暮らす強さを持たなければなりません。
当社は、従業員が健康寿命を伸ばせるよう少しでもサポートできればと思っています。
病気になってからでは遅いんです。身体も心も健全であって欲しいと心から願っています。

従業員と家族とのコミュニケーション

従業員と家族300名ほどで開催するビアパーティーは年に一度の恒例行事です。有り難いことに皆さん楽しみにしてくれています。毎年参加してくれるお子さんたちの成長を観ることが楽しみの一つ。いつまでも、たくさんの笑顔がみられるよう会社も成長し続けなければならないという思いになる大事な時間です。今年は、残念ながらコロナ禍で中止に。2022年は当社が50周年を迎えますので何か特別なイベントも考えたいと思っています。

073

栃木県
宇都宮営業所

Voice Report 20th

株式会社ライデック

代表取締役社長
和田　均 氏

社員の生産性を上げ、会社を知ってもらうために健康経営に取り組む

- 代表取締役社長　和田　均 氏
- 本 社 所 在 地　栃木県宇都宮市平出工業団地
- 主な事業内容　管工事業
- 従　業　員　数　15名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2019・2020 2年連続認定

社員のプレゼン力を引き上げるために健康経営を

従業員平均年齢35歳の若い会社です。
健康経営を取り組むことになったきっかけは、単に従業員の健康意識を高めるだけでなく、社内のコミュニケーションを図ることにより生産性を上げることができること。
また、市の上下水道局の委託を受けていることもあり、会社名を知って頂くことから始めました。

従業員1人1人に3ヶ月ごとの健康目標を設定

従業員に健康意識を高く持って頂くために、2年前から社内に血圧計・体重計を設置し、従業員1人1人に万歩計を付与しました。従業員には3ヶ月先の自身の健康目標を設定し、毎日血圧、体重、歩数の報告をすることに。健康づくり担当者が3ヶ月ごとにフィードバックを行い、目標達成で表彰、達成できなかった従業員には次回達成するために指導を丁寧に行っています。

健康経営は体の健康だけではない、心身ともに健康になることで生産性アップへ

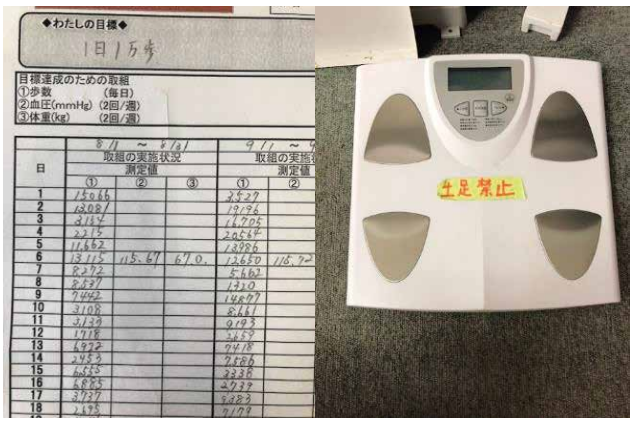
社内のコミュニケーションを大切にしています。毎日の朝礼で従業員が順番にスピーチをしています。仕事のことだけでなく、プライベートの事など短い時間に相手に分かりやすく伝える技術を身に着け、自身を知ってもらうことだけでなく、プレゼン力が上がるのです。
年に2回は社員全員で懇親会を開催し、従業員同士のコミュニケーションを図ることで社内の雰囲気をより良くすることができました。

従業員が明るくなり、会社を知ってもらえるように

約2年前から健康経営を本格的に開始し、まず変化したのは従業員が明るくなったということです。体が健康になるだけでなく、社内の雰囲気が一気に変わりました。プレゼン力が上がり社員の生産性が上がることを実感しました。また、2019年、2020年と2年連続で健康経営優良法人認定を受け、新聞などの記事掲載などもあり市民の方から会社を知ってもらえるようになりました。

安全・安心の会社を目指して

従業員の健康目標や社内のコミュニケーションを図っておりますが、目的は従業員がより安全により安心して働いていける会社を目指しています。年齢が若い従業員が多いからこそ、これから長い会社人生をより効果的に働いていけるよう、環境の変化に対応しつつ健康経営をこれからも取り組んでいきます。



目標を設定し、毎日を健康を見える化

074

群馬県
太田営業所

石川建設株式会社

代表取締役社長
石川雅之 氏

「顧客満足」「社員満足」「協力会社満足」「地域満足」を追求して、企業価値の向上を図るため、永続的に健康経営に取り組む。

- 代表取締役社長　石川雅之 氏
- 本 社 所 在 地　群馬県太田市浜町１０番３３号
- 主な事業内容　一般土木建築工事業
- 従　業　員　数　236名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020 認定

顧客満足と社員満足の追求が健康経営の理念とも合致していた。

2014年の社長就任時に、「顧客満足度・社員満足度地域No.1を目指す」というスローガンを掲げ、２つの満足度を徹底的に追求してきました。現在では地域や協力会社等全てのステークホルダーから、「石川建設で良かったと」思われる会社を目指すことをビジョンにして、想いを皆と共有しています。健康経営の理念は、会社のビジョン実現のために当然必須なことでしたので、容易に取り組むことができました。

従業員へ、働きがいのある，働きやすい職場環境を提供する。

大手ゼネコンと同等の給与水準や福利厚生制度を実現することはさすがに難しいですが、社員満足度を上げるために人事・評価制度や表彰制度の改善には力を入れました。そして現場のバックアップ体制や環境改善、作業着・制服リニューアル、本社各フロア・トイレなどを順次リニューアルして、社員が快適に働ける職場づくりを行いました。透明性の高い人事制度・表彰制度と快適な職場環境を実現して、社員の意欲向上に努めています。

心身の健康増進のためにクラウドシステム（ゲッポウ・Geppo）を活用

「社員コンディション変化発見ツール」として「ゲッポウ・Geppo」を導入しました。これは社員が毎月メールによる３問の質問に回答入力することで、心身のコンディションを各本部長へ見える化するシステムです。「晴曇雨」のマークで一目で把握でき、心身面のフォローが必要な社員へはタイムリーにサポートを行っています。（産業医、カウンセラー等）

（経営者にとって）従業員は家族の次に大切なパートナー，だからこそコミュニケーションの促進のために様々な取り組みを実施

各本部・現場の垣根を超え、さらに家族やＯＢまで巻き込んだイベントを定期的に行っています。
＊コミュニ会　＊家族交流会　＊クリスマス会
コミュニケーション促進のために社内報を発信しています。
「ISHIKAWA Times」

健康経営・働き方改革（まとめ）～「石川建設で良かった」

1、働き方改革
- ICT推進部、BIM推進室　・クラウド化推進
- 残業時間　3年で3割削減

2、コミュニケーション促進
- 親睦会費の会社一部負担　・家族ＯＢ社員交流会
- 毎月社内報発刊

3、スキルアップ
- 資格の取得費用補助、取得時の報奨金支給
- １級施工管理技士試験　合格率90％
- 入社後5年間マンツーマン指導する里親制度
- ISHIKAWAアカデミー

4、心身の健康増進
- 健康経営優良法人2020認定（経済産業省）
- がんＰＥＴ健診の奨励（費用を半額会社負担）
- Geppoによる月１回のヒアリング、アフターフォロー
- 専門カウンセラーとのメンタルヘルス相談制度

5、社員満足度　70％　「石川建設で良かった」

2020.07.10　優良社員表彰式

075

群馬県
前橋営業所

平出紙業株式会社

代表取締役社長
平出武史 氏

「社員を想い提供してきたこと」それは健康経営そのものであった。

- 代表取締役社長　平出武史 氏
- 本 社 所 在 地　群馬県前橋市問屋町二丁目8-2
- 主な事業内容　和洋紙卸
- 従　業　員　数　36名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模

健康経営優良法人
2019・2020 2年連続認定

社員の健康は当たり前のことではなかったと理解した瞬間がありました。

数年前、特殊技術部門の腕利き営業社員である働き盛りの社員の突然死がありました。正に晴天の霹靂であり、同時に日頃より健康への意識の傾けが必要であることを強く思い知らされた出来事でした。またこの事は、当社全員が健康な体への意識をした時でもありました。そこから、経営者として、会社として従業員へ何が提供できるかを模索し、実践して参りました。思えば、当社の健康経営のスタートはその時であったと思っています。

環境は会社が作る、利用は社員の意思に任せる。この自然体が継続を可能とします。

会社が健康作りの一つとして従業員に提供している事にジムの法人契約があります。もちろん誰でも年中利用が出来ること、また特定日に利用者が集中したとしても利用人数の制限はありません。個々人の思い、都合に完全に合わせられる様にしています。これは一例ですが、従業員の年齢層も多岐にわたる弊社では、できるだけ不要な制限や指示を減らし、会社が提供できる生活環境を最適化することが重要であると思っています。

これだけは譲れないというものを明確にしています。

当社は健康を維持する為に特に健康診断には強いこだわりがあります。健康診断受診率の100％は当然ですが、2次検診受診の徹底を図っております。1次検診は異常感知のきっかけ、2次検診でその詳細を知らなければ、完全な検診とは言えません。当社では主催元の異なる健康診断を年間2回受診しております。病気に対して手遅れだけは回避したい。その思いで全員が行動を起こしてくれています。

社員が企画、社員が運営、社員が楽しむことがすべてにおいて最大効果となります。

当社は年間行事として、新年会、お花見、暑気払い、バーベキュー大会、忘年会と社員参加の行事を5回計画、実施します。特にバーベキュー大会の内容は、何でもOKの大会です。その年の担当若手幹事5人の企画力、予算管理力、盛り上げる力が鍛えられます。将来の管理職候補がイベントを通じ様々な年齢層の社員と交流し、場面を共有します。若い社員が中心となり、楽しみながら、世代や部門を超えた貴重なコミュニケーションを経験をしています。

今後の展望

今後考えていることは、今やっている事を続けることです。毎年、2月の全社説明会で社長の方針、年間スケジュールを従業員に周知します。当たり前のことですが、いかに深く正確に皆に浸透が出来るか。全身全霊を傾ける瞬間であると思っております。その結果、内部のみならず外部からも評価を頂ける会社となることで、人とのご縁を頂き、会社が永続的に発展できれば、大変素晴らしい未来だと思っております。

平出紙業株式会社とその関連企業従業員は以下に定めた企業理念、行動指針、未来ビジョンを理解し、「創造的紙流通企業」にむかい全仕一丸となって取り組んでまいります。

【企業理念】

平出紙業株式会社とその関連企業は「創造的紙流通企業」として時代の変化に適応し、従業員ひとりひとりの創造性を生かした事業展開により、紙文化の継承と地域社会への貢献となる経済活動を推進する。

礼節と協調性を重視し、従業員が健康で やりがいと充実感を持った仕事を進むできるよう職場環境形成に努力する。

【全従業員行動指針】

礼節・協調性・創造性

【未来ビジョン】　創造的紙流通企業

・紙の素材卸からマーケット創造（問屋）への転換

・紙素材/紙加工+アルファ の付加価値創造と提供

Stock in Brain

心躍る発見をしよう。
たくさんの智慧をつけよう。
積み重ねたアイデアは新しい価値を生み
未来を切り拓く。

2020年2月1日制定　平出紙業株式会社

076

群馬県
桐生営業所

Voice Report 20th

桐生建設株式会社

代表取締役社長
吉野雅比古 氏

「在職中はもちろん、リタイア後も健康寿命を長く保ってもらいたい」社長の熱い思いが社員の意識改革に！

- 代表取締役社長　吉野雅比古 氏
- 本 社 所 在 地　群馬県桐生市
- 主な事業内容　土木建築工事
- 従　業　員　数　35名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2017年群馬県初選定以来
4年連続認定

社長就任後間もなく会社の中枢にいた人材を相次いで病気で失った・・・

弊社は大正7年創業から100年を超えてそれぞれの時代時代に、多くの方々に支えられてきました。突然会社の中枢にいた人材を失うという事は想像を絶する、全く予期せぬ出来事で計り知れない大きな損失でした。定期健診は受けていたのですが、悪い個所を治療することもなく楽観視した結果の病気発症だったと考えられます。定期健診は受診しただけでは駄目！その後の対処が重要と痛感しました。

健康は本人だけの問題ではない。家族、会社にとっても非常に重大な問題！

食生活の改善、程良い睡眠時間の確保、適度な運動習慣の励行、免疫力を上げコロナにも打ち勝つ！体調の悪化により会社が損失を受ける事は言うまでもありませんが、何よりも一番大変なのは、身近にいる家族なのだ！という事を、繰り返し繰り返し話をして意識改革をしています。徐々に社員の意識付けが変わってきたのではないかと思われます。

手厚い健診と血圧への意識向上

本社や現場事務所に血圧計を設置し血管系のトラブルを未然に防ぐべく、各自血圧チェックに努めています。35歳未満の社員も含め、全社員へ定期健康診断、生活習慣病予防検診、腹部エコーとHbA1c検査を全額会社負担で行い、さらに希望者に頸動脈検査、脳ドックも実施しています。そして要再検査の社員には社長自ら受診を促しています。楽観的に放置させることの無いよう、面接・後追い・報告を徹底させました。協会健保のメタボリックシンドローム検診に着目し、特定保健指導も利用させて頂いております。

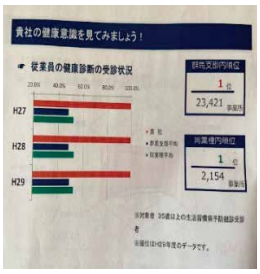
運動不足解消への取り組み

朝礼時のラジオ体操や階段利用の推奨に加え、スポーツジムと法人契約を結び社員が無料で施設を利用できるようにするなど、健康経営優良法人のマークを名刺に入れ、認定証をHPに記載し、社員の健康づくりへの機運を高めております。

元気で長生きへの挑戦！

少子高齢化が叫ばれている昨今、『平均寿命』だけ伸ばしても、社会保障費の負担が増えるばかりです。人生100年時代、元気に日常生活を送る事ができて、たまには楽しく旅行し、美味しいものを食べる『健康寿命』を伸ばすことが何より大切なことだと思います。

桐生市内にある本社社屋



従業員健康診断受診状況　県内第1位
全国健康保険協会　群馬支部
2019年事業所カルテより

077

埼玉県
所沢営業所

Voice Report 200th

株式会社旭

代表取締役社長
醍醐弘美 氏

「健康経営」を通じ従業員とそのご家族にも愛される会社作りを目指します

- 代表取締役社長　醍醐弘美 氏
- 本 社 所 在 地　所沢市坂ノ下1078-1
- 主な事業内容　運送業
- 従　業　員　数　14名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模

健康経営優良法人
2020 認定

「少しでも長く勤めてもらいたい」との想いで健康経営に取り組むことにいたしました

わが社は創業以来30年以上にわたり、運送業に携わってまいりました。「お客様はパートナー、社員は家族」というモットーのもと、ともに働く社員との絆を大切にしてまいりました。ここにきて従業員の年齢も上がってきたことから、健康診断の結果も気になる点が増えて参りました。少しでも従業員に長く勤めてもらいたいという思いから、「健康経営」に取り組みことにいたしました。

従業員自ら健康を意識するさまざまな取り組みを工夫しました

まずは従業員の「健康診断受診率100%」を掲げることや、血圧計・健康器具を設置することで健康に対する意識を高めました。
また、会社で無償提供している常設の飲み物をお茶や野菜ジュースなどヘルシーなものとしたり、自動販売機の内容を低カロリーなものへ変更するなど、スモールチェンジを図れる取り組みを行いました。

一人ひとりの健康に対する意識が向上しました

ストレッチの講師を委託するなどの取り組みも行ったため、従業員の健康意識の向上が感じられ、実際に健康診断において、診断結果が横ばいあるいは下降傾向にあった従業員に改善傾向がみられるようになりました。
結果として、病欠の数も減少し職場内に活気が生まれました。

職場内のコミュニケーションも活性化し社員間の絆がより強いものとなりました

トラックに乗っている時間が長いため、運動不足に陥りやすい環境でしたが、健康を意識することにより、互いに様々な情報交換を行うようになり、それぞれ運動不足を解消する工夫をしています。職場内のコミュニケーションも活性化し、社員間の絆もより強いものとなり、より一体感がみられるようになりました。

今後の展望

現状にとどまらず、さらなる従業員の健康意識向上が図られ、そして体感してもらえるような環境作りを実践していきたいと考えています。みんな健康で少しでも長く働いてもらい、従業員とそのご家族様にも愛される会社に成長していきたいです。

職場に設置された健康グッズ

常設の飲み物はヘルシーに！

078

埼玉県
所沢営業所

Voice Report 20th

株式会社広瀬工業

代表取締役社長
広瀬竜司 氏

- 代表取締役社長　広瀬竜司 氏
- 本 社 所 在 地　狭山市南入曽1091-14
- 主な事業内容　建設業
- 従　業　員　数　18名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模

健康経営優良法人
2020 認定

従業員の健康は会社の財産 健康経営で他社との差別化も！

わが社は埼玉県所沢市を拠点に、さまざまな建築金物施工を専門におこなっている会社です。どんな困難なことにも挑戦する機動力を売りにした会社で、多くの建設会社様にご支持をいただいております。
それだけに、従業員の体はまさに資本であり、大切にすることにより、あらゆる角度から他社との差別化も図ることができると考え健康経営に取り組みました。

身体の健康と心の健康 2つの側面から取り組みを実施いたしました

身体の健康のために、健康診断の100%受診を掲げ、再検査も就業時間中の受診を促しました。また、屋内は完全禁煙とし、受動喫煙対策も講じました。
心の健康のためには、社員旅行の実施や、定期的な親睦会の実施しております。また、社労士からの指導もあり、有給休暇を帳簿管理し、取得を促進しています。

従業員の中にスモールチェンジが

暴飲暴食をした翌日は普段以上に野菜を多くとるようにと、社員同士で声を掛け合ったりする光景が見られるようになりました。
身体と心の健康がモチベーションをアップさせ、病欠者も減少し仕事効率が良くなった気がします。
ただ、健康経営への取り組みは比較的に男性は女性より腰が重い気がするので、もう少し意識をしてもらう工夫をしたいと考えています。

従業員の機動力のアップ、経験と技術が お客さまの満足度となると考えます。

従業員同士のコミュニケーションが向上したこと、さらに病欠者が減少したことにより従来以上に起動力がアップし、売り上げが伸びてきています。
お客さまのニーズにお応えするには、経験と技術が欠かせません。従業員が健康で長く勤めてもらうことが、お客さまの満足度につながるものと考えております。

今後の展望

今後、会社が発展していくためには、「人間力」が第一と考えます。そのためには健康が「要」であることは間違いなく、健康な身体が、会社を安定させ、持続的成長を可能なものとします。健康経営をさらに推進することにより、従業員はもとより、そのご家族まで守るという社会的責任を果たしていきたいと考えます。

手洗い励行
スモールチェンジ

社員旅行でコミュニケーション
さらに向上！

079

埼玉県
川口営業所

株式会社日環サービス

代表取締役社長
廣瀬進治 氏

「従業員こそ会社の担い手。担い手から選ばれる企業」を実現するために健康経営に取り組む

- 代表取締役社長　廣瀬進治 氏
- 本 社 所 在 地　埼玉県川口市前川
- 主な事業内容　ビルメンテナンス
- 従　業　員　数　500名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模

健康経営優良法人
2019・2020 2年連続認定

人がすべて、人財こそ会社の宝。主体性をもって全員に健康診断を受診させることから始めました。

ビルメンテナンス業を営むにあたり、年々高齢化する従業員の健康維持・促進することが、企業価値を高めることにも繋がり、永続的な人財確保に資することに繋がるとの思いにより、健康診断や2次検診の受診を高めることを目標に健康経営に取り組むことにしました。大企業部門のホワイト５００獲得を目指すことで、通過ポイントとして中小企業部門の優良法人認定を頂くことになりました。

まずはアンケートで状況把握。

協会けんぽ埼玉支部様のご支援のもと従業員アンケートを実施し、当社の傾向と課題をマクロ的認識することができました。その分析結果として、会社全体として「飲料を含む食事」にテーマを絞り、健康レシピを策定し全員に配布しました。併せて自動販売機はトクホ系飲料に切り替えました。結果、飲料の売り上げが従前のものと比較して上がっていることから皆さんの行動変容が図れたと考えます。

継続は力なり。主体性もって取り組むことが継続することに繋がると考えました。

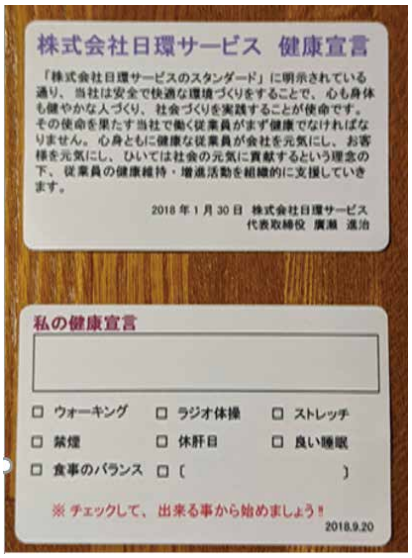
どうやったら継続できるか考えました。大掛かりで負荷の掛かることは続かないと思い、「スモールチェンジ」を各自に宣言いただき、名刺サイズのカードに「スモール宣言」を記載してもらい、常に意識が及ぶように携行いただくようにしました。裏面には会社からのメッセージも付記して、会社と従業員が一体となって取り組む姿勢を示しています。

末永くともに働いていただくこと。

当社の従業員の平均年齢は年々高まっています。すなわち在籍率も高く熟練したスキル・知識を持つ従業員が増えてきております。一方、高齢化する中で健康を損なうリスクも年々高まっており、健康経営への取り組みはより一層重要となっています。併せて健康経営の担い手は個々の従業員であり、納得性や主体性があってこそ継続できると考えております。ご縁があり働いていただく従業員の皆さんには一日でも永く現役として頑張っていただきたいです。

新たな人財との出逢いにも繋がる。

今、採用活動をしていると、就職活動している新卒者やその親も、健康経営という言葉を気にしています。中途採用の方も福利厚生や健康経営への取り組み状況等を就業先を決める一番のポイントとしている時代になっていることを実感しています。新たなる人財を確保する点においても「健康経営」は大切な前提条件になると考えます。



梅田工業株式会社

代表取締役社長
梅田英鑑 氏

「社業を通じて社会に貢献」を実現するために健康経営に取り組む

- 代表取締役社長　梅田英鑑 氏
- 本 社 所 在 地　埼玉県行田市持田
- 主な事業内容　精密板金・機械加工
- 従　業　員　数　58名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020 認定

お客様の信頼を守るためにも、社員が健康で幸せであることが大切だと考えました。

少子化や地方都市での採用の難しさを考えると、今いる社員に健康で活き活きと長く働いてもらいたい。そのような思いの中で健康経営の取り組みを開始し、特に２つの視点に注目しました

①ヘルスリテラシーの向上

健康経営宣言後に最初に行ったのは、社内における健康に関する意識の現状課題の把握でした。健康経営アドバイザーのアクサ生命保険（株）の協力を得て、全社員に行動変容アンケートを実施しました。
アンケート結果から自身の健康意識の高い割合は、全国平均の30％を下回る25.7％であり、会社の健康経営への教育機会がなかったことが要因と感じました。　そこで当該アンケートのフィードバックを通じて健康意識を高めてもらうための研修を実施。70分の研修では健康経営アドバイザーが講師になり、「こころ、からだ、社会的（お金）」について具体的に学びました。研修後の参加者アンケートでは参加者の約70％にあたる34名が、自身の健康に関して今後取り組みたいことを具体的（禁煙・食事の改善・運動習慣等）に挙げてくれて、健康経営を社内に一気に浸透することに成功しました。また、会社が優先的に取り組むべき改善課題が顕在化でき、何から手を付ければ良いのかが明確になりました。

②適切な働き方実現に向けた取り組み

行動変容アンケートで顕在化した健康を阻害する要因として、長時間労働や業務上のストレスがありました。まず、全社をあげて残業時間の削減によるライフワークバランスの改善に取り組むこととしました。３か月間の時間外労働時間は平均41時間でしたので「15時間の削減」を目標にしました。優先順位をつけて仕事をすること、生産効率を上げることを徹底しました。また社員のモチベーションが下がらないように残業減による収入ダウンをカバーするために、担当分の賃金アップを実施し、経費削減を目的とした残業削減ではないことを理解してもらいました。月平均の残業時間は10月度以降4.1時間⇒7.3時間→6.1時間とターゲットを上回る成果となっています。

〈適切な働き方実現に向けた諸施策〉
・残業削減分のベースアップ
・残業時間の人事評価への反映
・会議時間の短縮（終了時間の明確化）

今後の展望

弊社は、ここ数年の間様々な「働く環境」の改善に取り組んでおりました。私が働き始めて一番に考えた事は「楽しく笑顔で働きたい！」でした。未だ取り組みの途中ですが、社員皆のライフワークバランス、健康、職場環境を更に向上できる様に「仕事」に集中して「やる時はやる」
「遊ぶときは遊ぶ」を実現します。もっともっと笑顔で働ける梅田工業（株）になれる様、今後も健康経営に取り組みます。健康経営認定を受けて、採用募集がすごく伸びてきました。

国際建設株式会社

代表取締役社長
佐々木幸一 氏

山梨県の建設業界の活力が向上し、より魅力あるものとなるために、健康経営に取り組む！

- 代表取締役社長　佐々木幸一 氏
- 本 社 所 在 地　山梨県甲府市塩部
- 主な事業内容　総合建設業
- 従　業　員　数　54名(男性:47名・女性:7名)

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020(中小規模法人部門)認定

より良い人材確保のため『健康経営』取組みを開始

わが国では今後50年で就労可能労働人口が半減していくことが明らかになっており、当社でも技術者の不足、従業員の高齢化などから人材の確保が大きな課題となっていました。2019年8月、アクサ生命の主催する社会保険労務士の健康経営セミナーを受講し、すでに当社が従業員に対し取り組んでいる内容が健康経営優良法人認定制度の項目の一部となっていることを知りました。そこでこの認定に向け、早速、協会けんぽへの健康宣言をおこない、健康経営への取組みを開始しました。

定期健診　受診勧奨への取組み

定期健診は従業員の健康を確保するための基本的な取組みだと位置づけています。受診率は100%となっています。
健診結果は産業医に検証してもらい、再検査・精密検査等への勧奨をおこなっています。再検査等に掛かる費用は全額会社で負担し、また出勤扱いとしています。現在では対象者のほぼ100%が再検査・精密検査等に臨んでいます。

感染症予防その他も強化

以前よりトイレにはうがい薬を常備するなど感染症予防を心がけております。昨今の新型コロナウイルス感染症への対策として、「健康観察カード」に体温、睡眠時間、食欲、体調に関するコメントを日々記録し提出してもらっています。また安全衛生委員会で働き方について活発に議論し、ムリ・ムダ・ムラをなくしワークライフバランスの向上につなげています。例えば「定時消灯日」を設け、今では毎週1回の実施が定着しています。

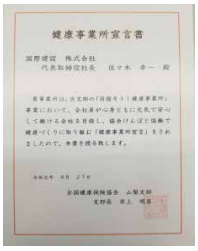
健康観察カード

社内にこんな変化が・・・・・・

健康経営に取り組むようになってから、いろいろな変化が見えてきました。
従業員同士のコミュニケーションがさらに強化され、職場の雰囲気がより明るくなったようです。各部門の連絡も密になり仕事上のミスも減りました。また知識の探求意欲も向上している様に思います。

今後に向けて

山梨県は健康経営に取り組む事業所がまだまだ少ないのが実情です。建設業界全体の活力向上のため、そして魅力ある業界になっていく、そのきっかけになるのが『健康経営』ではないでしょうか。
今後は当社の協力会社約100社にこの『健康経営』を導入するよう働きかけていきたいと考えています。
今年度創設される『やまなし健康経営優良企業認定制度』にも申請していく予定です。



健康宣言や優良認定を社内報で紹介

屋外の喫煙スペース。『世界禁煙デー』からの禁煙週間は灰皿を撤去しました！

本社ビル

082

山梨県
甲府営業所

冨士食品工業株式会社

代表取締役社長
岸本　清 氏

社是『和顔愛語　衆心維城』の合言葉の元に、会社を挙げて健康経営に取り組む！

- 代表取締役社長　岸本　清 氏
- 本 社 所 在 地　山梨県山梨市鴨居寺
- 主な事業内容　アイスクリーム・中華饅頭製造
- 従　業　員　数　130名（男性54名・女性76名）

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020（中小規模法人部門）認定

業界初の国際規格「FSSC22000」認証を取得

当社は1958年の創業以来、一貫してアイスクリームと中華まんじゅうを生産しています。
2011年8月には乳製品業界で初めて食品安全マネジメントシステムの国際規格である「FSSC22000」の認証を取得しました。国際機関から認証を取得したことにより、当社は透明度の高い工場運営と高水準の食品安全システムが実行されていることが証明されました。しかしこれに満足することなく、より安全で安心な商品をお客様に提供していくことに努めております。

お互いへの気遣いが・・・

各部署の管理者と従業員の面談でコミュニケーションが促進され、体調のすぐれない時など従業員から進んで相談しやすくなりました。また従業員同士でもお互いに体調面を気遣うようになり、よりいっそう部署のまとまりが出てきたように思います。有給休暇の取得率が向上し、以前は課題となっていた離職率も改善されてきました。

＜自由にくつろげる休憩室＞

経営士さんからの勧めで『健康経営』取り組みを開始

当社ではアルバイトや派遣社員を含む全社員を対象に「改善提案制度」を設けています。当社の社是「和顔愛語・衆心維城」を合言葉に、よりよい職場風土や環境作りに努めています。すでに以前から従業員向けに外部講師を招いて健康に関する研修をおこなったり、長時間労働の改善などの課題にも取り組んでおりました。昨年、地元の経営士さんから強いお勧めをいただいたことがきっかけで、この『健康経営優良法人認定』を目指すこととなりました。

新たな受動喫煙対策も！

現在、新たに受動喫煙対策をおこなっています。喫煙所は休憩室の一部を仕切って設けています。以前は勤務時間中の喫煙も認めていましたが、5/31の世界禁煙デーを境に、6/1より喫煙時間を始業前、昼休み、終業後に限定することにしました。早めにポスター等で周知していましたので喫煙者も協力してくれ、スムーズに運用できています。

喫煙室

定期健診は受診勧奨で再検査率100％

定期健診の受診率は100％です。さらに再検査や精密検査が必要な従業員には、早期の段階でしっかり受診または治療を開始できるよう、現場の管理者を通じて仕事量を調整するなどしています。これにより今では再検査率も100％となっています。これらは管理者とパートさんを含む従業員とのコミュニケーションがポイントになってきますので、年1回は面談をおこない、さらに必要に応じて適宜面談を実施しています。

社是

当社ではパートさんを含む全従業員の誕生月にお花をプレゼントしております！

社屋外観

083

山梨県
甲府営業所

株式会社ハーモテック

代表取締役社長
岩坂　斉 氏

小さな世界一（オンリーワン）企業になるために、健康経営に取り組む！

- 代表取締役社長　岩坂　斉 氏
- 本 社 所 在 地　山梨県甲府市住吉
- 主 な 事 業 内 容　非接触搬送機器開発販売
- 従　業　員　数　11名（男性：9名・女性：2名）

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020（中小規模法人部門）認定

評価をいただいている高い技術

当社は半導体製造機器の開発、特にウェーハ搬送用非接触ハンド【KUMADE】の開発により、非接触でのウェーハ搬送、極薄ウェーハ搬送（20ミクロン）は世界トップクラスの実力を持っています。非接触・低ストレス・省エネ・薄型化による高い技術に高い評価をいただいています。また食品や太陽電池、LED、FPDなどの新分野へも次々進出中です。お客様の問題解決に全力を尽くし、最適解を提供し続けることをミッションとしています。

QOLのために健康経営を！

以前は私も含め、みんなでがむしゃらに働いていました。でも仕事をして不健康になってしまうのは本末転倒です。次第にQOL（quality of life）を高め、従業員たちの満足感を高めていくことが重要であると考えるようになりました。今の優秀な従業員たちをさらに伸ばしていくためにも、また新たな人材を確保するためにも、メリットが大きいと考え、アクサ生命担当者から勧められていた「健康経営」に取り組むようになりました。

健診・有給休暇取得などの取り組み

従業員の健康診断は100％受診しています。再検査、要精密検査となった場合には出勤扱いにして積極的に受診できるような環境作りを心掛けています。保健師さんに来てもらって勉強会をおこなうことで、健康に対する意識も上がってきました。
有給休暇は以前は一斉に取得しておりましたが、それを止め、各自が好きな時に取得できるように改めました。また一斉に定時退社する日を設けておりますが、それ以外にも自分で決めて定時退社する従業員が次第に増えるなど、働き方に変化が見られるようになってきています。

今年度のテーマは「体力作り」！

今年の健康経営のテーマは「体力作り」です。そのためトレーニングマシンのセットを購入しました。健康経営に取り組むということでこうした健康面に投資しやすくなったことも購入のきっかけとなりました。20の筋肉を鍛えることができるマシンを、7月から自由に使えるようにしています。
また喫煙者は徐々に減ってきて、今やあと1人に。「禁煙のストレスを運動することで解消しようよ」と声掛けしています。

今後に向けて

私は有給休暇や退社時間のことを含め、従業員にはいつも「プロフェッショナル」としての判断を求めています。彼らもその思いに応えてくれています。
今後は状況を見ながらコアタイムやテレワークの導入を考えてみたいと思っています。時間の更なる有効活用です。そして従業員とともに「健康経営」に取組み、QOLを一層高めてオンリーワン企業として発展し続けてまいります。

当社製品「KUMADE」

トレーニングマシン活用風景

当社外観

株式会社富士情報

取締役社長
渡辺直企 氏

自ら健康経営を実践し「究極の情報サービス」で各企業を支援！

- 取締役社長　渡辺直企 氏
- 本社所在地　山梨県富士吉田市
- 主な事業内容　ソフトウェア開発・データエントリー・健診事務サービス
- 従業員数　420名（男性:98名・女性:322名）

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2019・2020（中小規模法人部門）
2年連続認定

創業以来のノウハウと実績をサービスとしてご提供

当社は実績のあるデータ入力、システム開発を中心に事業を展開しています。データ入力では、1973年の創業以来培ったノウハウと実績を正確なサービスとしてご提供しております。システム開発部門では、企画・提案から導入・運用サポートまでお客様のニーズに合わせ、最適なビジネスソリューションを提供いたします。またお客様の業務を分析し、業務の効率と品質を最大限に引き出し、アウトソーシングのご提案もさせていただいております。

定期健診＆労働時間の適正化！

定期健診の受診率は100％です。再検査や精密検査が必要とされた従業員には本人あてに産業医から通知文書を発信し、その後の受診勧奨をおこなうことで再検査率はほぼ100％となっています。
また、労働時間については月80時間を越えたら産業医の面談をおこなうことにしており、この仕組が抑止効果を発揮して、該当者はほぼいなくなりました。

ストレッチでリフレッシュ！

どうしてもPCに向かってのデスクワークが多く運動不足になりがちです。年に1回当社も加入している「(財)山梨社会保険協会」から講師を派遣していただきストレッチの方法などの指導を受ける健康作り講演会を開催しています。これを活かして毎日午後2時よりストレッチ体操をおこなっています。この時はオフィスの全員がいったん仕事の手を休め、約5分間、身体を動かしています。頭もすっきりし、気持ちの切替えに効果があるようです。

こんな変化が見られるように・・・

毎年、特定健診の結果により健康の保持に努める必要がある従業員に対して、特定保健指導をおこなっています。この指導を受けることで、自身の健康がより一層重要だと認識するようになってきました。
そして新たに健康課題に取り組むことで、「会社が自分たちの健康への意識を高くしてくれている」「恵まれた環境にある」と考えるようになったようです。

今後に向けて

今までは健康関連の情報は総務部が主体となって発信してきました。これからは従業員の意見を吸い上げ、その声を健康経営に活かしていきたいと考えています。
また当社は特定非営利活動法人 健康経営研究会に所属しています。健康診断・人間ドック関連の業務処理やシステム開発の豊富な実績を生かして企業様の「健康経営」実現を「究極の情報サービス」でご支援してまいります。

健康作り講演会

社内報

1968年より毎月発行しています。
2020年7月で506号になっています。

会社外観

085

山梨県
山梨北営業所

Voice Report 200th

株式会社イーファイト

代表取締役
保坂栄一 氏

『ひととき876000時間分』を彩るお手伝い

- 代表取締役　保坂栄一 氏
- 本社所在地　山梨県南アルプス市沢登
- 主な事業内容　レストラン事業・スイーツ事業
- 従業員数　50名(男性:17名・女性:33名)

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020(中小規模法人部門)認定

健康経営のきっかけは？

ここ数年間、所属する地元商工会の経営塾に参加していました。その時の討論会で働き方改革をテーマに話し合い、中小企業こそ働き方改革を採り入れたほうがいいと認識していました。それまでは職業柄、深夜までの仕事が当たり前でしたが、従業員の健康面に配慮し、時代に合わせた考え方を取り入れることが大切と考え、アクサ生命の担当者からの勧めで「健康経営」に取り組むことにしました。

まず、受動喫煙対策から！

私も以前は喫煙しておりましたが、あることをきっかけに思い切ってタバコをやめました。健康経営の取り組みを開始してからは少しずつ喫煙者への声掛けを始め、これまでに数人の従業員が理解し、禁煙してくれました。
アクサ生命の担当者からは毎月ツールを届けてもらい、従業員に配布しています。この中には禁煙がテーマのものもありました。みんなよく見てくれているようです。

ガンをテーマとしたセミナーも開催！

アクサ生命のスタッフに講師を務めてもらい、「ガン」をテーマにした研修をおこないました。動画を見て、ガンに関する知識を深めながら、平素の健康診断の重要性などを再認識することができました。当日は20人ほどの従業員が参加し、皆、熱心に聞き入っていました。
これからも「健康経営」に関する研修を随時実施して、従業員の健康意識を高めていこうと考えています。

コロナ自粛期間中は・・・・・

お客さん向けの営業を自粛している期間は、スキルアップのいい機会だとポジティブに捉え、従業員への教育訓練に充てました。従業員は毎日全員出社し、地元の商工会から配信されるセミナー動画を各自のPCで視聴しました。テーマは接客、IT、PCスキルなどの中から自分で選ぶようにしました。自分の苦手分野を克服しようとする人、得意分野をもっと伸ばそうとする人など、個性を発揮しながらの研修でした。毎日必ずレポートを提出してもらっていました。

これからのこと！

店舗の営業を再開しましたが、当面は「ウイズコロナ」が続くでしょう。レストランのまかないメニューをお弁当にして販売するなど、いろいろ工夫しています。
人生100年時代。時間にして876,000時間あります。お客様のさまざまな記念日のデータを基に、このうち何時間を当社にいただけるかを大きなテーマに掲げています。
これからも「健康経営」を活用して従業員個々のポテンシャルを引き上げていきます。

ガンをテーマにした研修

レストラン

レストラン玄関

株式会社山十産業

代表取締役社長
望月優志 氏

『社会と社員の為に進歩を惜しまず、愛される会社をつくる』ことの実現に向け、健康経営に取り組む！

- 代表取締役社長　望月優志 氏
- 本 社 所 在 地　山梨県南アルプス市野牛島
- 主な事業内容　測量・設計/道路・ビル素材工場建設
- 従　業　員　数　21名(男性:18名・女性:3名)

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020(中小規模法人部門)認定

「健康経営」に取り組むきっかけは？

数年前は無理な受注から休日を返上しての仕事で若い従業員が辞めていくことがありました。技術集積型の会社であり、技術の伝承が必要なのですが、途絶える年代が出てきたのです。中には廃業する同業者も出てきて、従業員に軸足を向けた経営が必要だと強く認識するようになりました。そこにアクサ生命担当者からの勧めがあり、優秀な人材の確保、社員の活力向上を目指して「健康経営」に取り組むことにしました。

こんな変化が見えてきました

まず、朝礼です。倫理法人会の「職場の教養」を毎朝1ページ読み、従業員をランダムに指名して感想を述べてもらいます。感想を言う、意見を述べ合うなど(当たり前なのですが)のコミュニケーションスキルが身につきました。先日、「お互いの信頼関係というベースがあってこそ、本音の議論ができる」と従業員が話しているのを聞き、続けてきたことの効果を感じています。
また有給休暇についても今ではスムーズに取得できています。

まずは有給休暇を取得しやすい環境へ

当社の理念は「お客様の必要とするものをつくることで、自らの技術と人間性を高める。社会と社員の為に進歩を惜しまず、愛される会社をつくる。」です。
この理念の真の実現に向け、まず有給休暇を取得しやすい環境作りをおこないました。3ヵ月間の全従業員の休暇取得状況をホワイトボードに掲げました。「見える化」です。会社の意図が次第に浸透し、計画的に休むようになってきました。年間6日の計画有給休暇があり、あとは自分たちの予定に合わせて取得できるようにしています。

今後は新たな受動喫煙対策も！

当社の健康経営における現在の課題は喫煙率の高いことです。無理なくスムーズに喫煙者を減らしていけるよう、具体的な取り組み方法を模索中です。
従業員は身体の健康と心の健康の両方がよくならないと本当に幸せとは言えませんし、会社もよくなりません。
従業員1人ひとりが「健康経営」を理解し、意識し、「健康って何？」を考えるきっかけにしてもらえたらと思っています。
「健康経営」の取組みで「社会と社員の為に進歩を惜しまず、愛される会社をつくる。」との理念を実現してまいります。

ラジオ体操は楽しい甲州弁バージョンで！

従業員の活力向上に向け様々なことをおこなっています。

【朝礼】　毎朝、各自その日の行動予定を発表しています。ラジオ体操は専務の発案で『♪甲州弁バージョン♪』で楽しみながらやっています。

【運動】　スポーツ施設運営会社と法人契約し、ジム、ゴルフ練習、バッティングセンターなどいつでも無料で利用できます。

【コミュニケーション研修】「技術的なこと以外にも学びたい」との意見を採り入れ、アドラー心理学、アンガーマネジメントなどのメンタル研修、医師会による研修にも参加しています。

平成27年に
「やまなし産業大賞」を受賞

今年度は
「ワーキングスタイルアワード」を
受賞

087

千葉県
松戸営業所

総武物流株式会社

代表取締役社長
戸邉　寛 氏

「お客様にまごころをお届けします」

- 代表取締役社長　戸邉　寛 氏
- 本 社 所 在 地　千葉県野田市野田
- 主 な 事 業 内 容　一般貨物自動車運送・普通倉庫業
- 従　業　員　数　173名(男性:107名・女性:66名)

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020 認定

健康経営の普及・推進に向けて認証制度の活用

弊社はキッコーマングループの連結対象会社としてグループ経営の一翼を担っている95年以上の歴史を重ねてきている物流会社です。物流を取り巻く環境は、人手不足を背景にたいへん厳しい状況ですが、だからこそ、従業員の健康第一で取組んできました。
その中で、意識改革の方法のひとつとして、「認証制度・顕彰制度」の力を活用しようということになり、昨年健康宣言の実施～優良法人認定制度に申請という運びとなりました。

グループ全体のスケールメリットに加えて、独自の取組みを

同じグループ内のキッコーマン総合病院という企業立病院や千葉県トラック健保の各種制度を大いに活用させていただき、それに会社の補助を加えています。
例えば
・病院のドクターによる生活習慣病予防セミナーの開催
・災害の傾向として増えている“つまづき転倒”の防止の意味合いも含めて、以前より実施していたラジオ体操の他、キッコーマン総合病院のリハビリ担当者が考案した業間体操をスタートしました。
・４０歳以上の運転手を対象に、３年に１度「脳ドッグ」を自己負担なしで実施。併せて、生活習慣病健診、人間ドッグに関しても自己負担はありません。
そのほかにも、年に４回ほど、LGBT&ハラスメント、女性活躍推進等のテーマでの研修を開催しています。
・グループ全体での運動会や駅伝大会にもチームで参加し、全社挙げて応援しています。

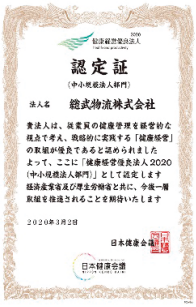
大切な社員とその家族の健康とともに会社も成長していきたい

全社挙げての取組みによって、従業員の意識は変わってきていると感じています。
健康診断の受診率１００％は勿論、スポーツジムに通い始めたというという従業員も多数出てきています。

共に働く環境諸条件の設備に努め、人と企業の調和を図ります

「安全・確実・迅速・創意・工夫」に加え「丁寧」をモットーに、全国的な物流サービスを構築し、質の高い物流サービスを提供していますが、そのためにも従業員の健康が第一です。従業員が健康についての高い意識を持ち続けられるようバックアップしていきたいと考えています。
また、自社のみならず“協力会社”やトラック協会の会員の皆様にも健康経営の取組みを情報発信していければと思っています。

LGBT&ハラスメント研修



認定証
（中小規模法人部門）
法人名　総武物流株式会社
貴法人は、従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践する「健康経営」の取組が優良であると認められました。
よって、ここに「健康経営優良法人2020（中小規模法人部門）」として認定します
経済産業省及び厚生労働省と共に、今後一層取組を推進されることを期待いたします
2020年3月2日
日本健康会議

東日本ロジスティクスセンター構内

株式会社ユニペン

代表取締役社長
石井亮介 氏

「顧客第一、社員あっての会社」を実現するために

- 代表取締役社長　石井亮介 氏
- 本 社 所 在 地　千葉県市原市五井東
- 主な事業内容　塗料・塗装機器販売・塗装工事
- 従　業　員　数　16名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模

健康経営優良法人
2019・2020 2年連続認定

従業員の健康こそが会社の財産、企業の経営と合致

2014年に先代社長より引き継ぎ、まずは社内規程の見直しに着手。会社の歴史の中で慣習化していた事柄を精査し、ルールとして明確に社員に提示しました。例えば、全社員対象に有給休暇の５日間の取得を推進する際には、休日の増加＝業務が滞ると前社長から大反対されました。従業員にも説明したうえで、１年トライしてみたところ、業績は悪化するどころか見事にアップしました。

社員挙げてのアナログ手法で感染症を撃退！ ＣＣＩセミナー参加で更なる取組の強化へ

2016年に従業員がインフルエンザで４人同時にダウンし、大打撃を被ったことがあります。その経験を教訓に「うがい手洗いチェック表」を作成して洗面所に貼付し、全社員が何度もこまめにうがい手洗いを行ったところ感染者はゼロに。このような取組の中、３年前に商工会議所の健康経営セミナーに参加したところ、講師として話されていた事業所の取組事例や考えを聞き、自分の考えていた事とまさに一致。“わが意を得たり”具体的な取組を行って、優良法人認定取得を目指す事となりました。

社長自ら、ひとつひとつ丁寧な説明をすることで社員全員に理解してもらえました。

具体的な取組として、まずは健康診断１００％全員受診とし、受診できない言い訳は一切聞きません。結果を受けては社長自らが社員と個別面談を行っています。また、野菜ジュースを常備し、自由に飲めるようにしていますし、営業や現場作業では熱中症対策としてスポーツ飲料も同様の扱いとしております。また、タイムカードをデジタル化し、従業員の勤務状況をリアルタイムで把握できるようにしました。２週間で２０時間残業を超えた段階で声をかけ、分けられる仕事は他の者に分散して、長時間労働是正の取組を行っております。

社員のモチベーションアップと健康経営優良法人認定

このような取組を行った結果、社員個々の自己管理意識の向上にも役立っているのと、取組にも社員参画型の動きができるようになりました。会社としては、時代の流れを読み、企業として成長してきていますが、今後は社員にとっての自信に繋がるように、これからお会いする学生の皆さんにも少しでも認知していただけるようにと考えています。健康経営優良法人認定取得も社員への安心と会社の成長に繋がると思います。

健康経営は全ての中心です

コロナ対策も、構想していたテレワークを即、具現化し、タブレット等を使用した在宅リモートや、従業員同士が密にならないよう交代勤務ローテーションを行い、感染者もなく、業務に支障はありませんでした。
従業員の健康や命は「会社の財産」という当社の考えの通り、全ての中心となっているのが健康経営です。「健康経営優良法人2020」に認定されたことは小さいながらも、数年をかけて社内を改革してきたことが、社会的に認められたと思っております。
更に従業員が健康で働きやすい、仕事に専念できる環境づくりを意識しております。

うがい手洗いチェック表

健康宣言や優良認定を紹介

本社です

089

千葉県
木更津営業所

社会福祉法人佑啓会

「体験と感動が可能性を育む」

■本社所在地　千葉県市原市今富1110-1
■主な事業内容　障害福祉
■従業員数　622名

健康経営優良法人 2020認定
大規模
健康経営優良法人
2020 認定

組織の活性化を目指して

人と接する職場において、そこで働く職員の心と体の健康は必要不可欠です。今まで行なってきた既存の取り組みに、新しいものをプラスしていくことで、職員のさらなる心身の健康増進を図ろうと考えました。
同時に、自分たちの組織が外から見た時にどう見えるのか。この制度に応募する過程でそのことを学ぶ機会にもなると思い、経営幹部だけでなく若手職員主体にプロジェクトチームを組織し、応募の準備を進めました。

法人の強みを活かした活動を

当法人では以前から、職員とその家族、また地域も含め健康増進に寄与できるよう様々な取り組みを行なってきました。その強みを活かし、より健康増進に努められるよう内容を常に改善しながら以下の活動を行なっています。

①職員の健康増進を目的とした取り組みについて
野球部やバレー部等の部活動に加え、職員とその家族向けに誰でも気軽に参加できるフィットネスクラブを新しく創設しました。職場内にポスターを掲示し募集したところ、日を重ねる毎に職員とその家族参加者も増え、職員の健康への意識も少しずつ変化してきたように感じます。

②職員・家族・地域の交流促進に向けた企画について
職員旅行やスキーツアー等の福利厚生行事の企画及びスポーツ大会を実施し、事業所の垣根を超え職員同士の良好な関係作りを行なっています。
また、職員とその家族の交流を目的に夏に地引網ツアーを企画し、家族同士の交流の場になっています。
その他、地域毎の神輿祭りにも参加させて頂き、地域との関係作りも大切にしています。

③地域に向けた取り組みについて
本部にある体育館を開放し、各種団体（チアリーディングや卓球サークル等）や地域のあらゆる世代の方々が利用できるように調整し地域交流の輪を広げています。

協会けんぽとの連携

健康経営の取り組みで、これまでに女性に特化したセミナーや研修は行っていないことがわかったため、全国健康保険協会と連携をとり、実際に協会けんぽの保健師さんを講師に招き、女性のライフステージにおける健康をテーマに、女性職員を対象に、乳がんや子宮がん、更年期等、女性特有の疾病等について学ぶ機会を設けました。
また、職員の健康診断結果から、生活習慣病予防の為、データの分析や助言をいただき、健康に対する意識の向上に繋がりました。

今後の取り組み

私たちの仕事は経験が重要な仕事です。ですから、職員にはより長く勤めてもらいたいという思いがあります。
今後も健康経営を推進していくことで、職員にとって長く、働きやすい環境を整える。そのことによって、さらにより良い支援につなげていきたいと思っています。

健康増進「フィットネス」

地域との繋がり「神輿部」

家族参加型行事「地引網ツアー」

「野球部」
※全国社会福祉軟式野球大会
準優勝（2018年度）

090

千葉県
船橋営業所

Voice Report 200th

株式会社斉藤総業

代表取締役社長
齋藤一昭 氏

「Ｗｉｎ－Ｗｉｎの関係に　社員みんなで協力すること 会社はそれに対して応える企業に

- 代表取締役社長　齋藤一昭 氏
- 本 社 所 在 地　千葉県船橋市夏見
- 主な事業内容　土木工事業
- 従　業　員　数　13名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模

健康経営優良法人
2020 認定

「働き方改革」を念頭において、社員にとっての働きやすい職場を意識しています

昭和48年の創業以来、「地域の皆様への貢献」という企業理念のもとに建設業を通して、豊かな、そして安全で住みやすい街づくりの提案に努めてきましたが、それは従業員の労働環境に対しても同じであり、元より風通しのいい風土に加えて、「働き方改革」をきっかけにさらに独自の取組を行ってきたところ、協会けんぽから優良法人認定取得できるのではとお奨めもあり、取得に至りました。

効率的で、よりクリーンな労働環境の構築を進めています～具体的取組１

1.ワークライフバランスの推進の点では、ＧＷやお盆、年末年始は連続した休暇を取得できるよう配慮。休暇計画を立てやすくするためにも前年９月に翌年の会社の休日をＨＰも含め公開しています。
　また、従業員本人の誕生日や、家族の誕生日にも休暇を取得するよう推奨をしています。
2.毎年1回、県内で開催される「穴掘り大会」に会社として参加し、家族も含む全社応援で盛上がったり、社内旅行も実施してコミュニケーションを図っています。
3.「ＣＵＢＩＣ」を年１回全社員に実施し、個別面談もこまめに実施することに加えて、定期的なストレスチェックも実施していること等によって、従業員の状況を常に関心を持ってみており、けっして孤独にはさせないよう配慮をしています。

具体的取組２

4.勤怠管理も、全社員にスマートフォンを支給し、そのスマートフォンから出社・退社を打刻できるほか、残業申請等もできるようになっています。給与システムと連携をしているので、残業の削減にもつながり、退社後のプライベートの充実につながっています。
5.インフルエンザ予防接種を必ず受けましょうという案内・通知は“ラインワークス”によって、以前より実施しており、その費用は実質会社負担となっています。接種時間も勤務時間中の都合のいいタイミングで受けられるように推奨しています。

目配り、気配り、心配り、耳配り、口配り

上記のような取組を行った結果、従業員の活力向上につながり、従業員から業績向上に向けての様々なアイデアもでるようになりました。
会社があるから、皆働ける。その会社を守るためには社員皆の協力が必要。そしてその努力に応えられる「Win－Win」の関係に

船橋市にある本社です

穴掘り大会参加の模様

本社入口

アシザワ・ファインテック株式会社

社員こそが最重要財産　次の１００年を見据えて

- 代表取締役社長　芦澤直太郎 氏
- 本 社 所 在 地　千葉県習志野市茜浜
- 主な事業内容　機械製造業
- 従　業　員　数　147名(男性112名、女性35名)

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020(中小規模法人部門)認定

健康経営に取り組んだきっかけ

弊社は創業117年を迎える世界最小の微粒子をつくるための粉砕・分散機を開発・製造・販売する企業です。
以前より安全が何事にも優先すべきというスタンスで取り組んできました。そんな中あるとき、社長が社員食堂で目にしたのは昼食をカップラーメン、菓子パン、清涼炭酸飲料で食事している社員たち、これでいいのだろうかと疑問を持ちました。時を同じくして、同じ県内で連続して優良法人認定を取得されている企業から健康経営の話を聞き、サポートのお声掛けも頂き、３年ほど前から新たな取り組みをスタートすることになりました。

具体的取り組み事例

1.一日一食「健康弁当」プロジェクトの実施
具体的には玄米を使った「健康弁当」を今年の4~6月に導入し、無料で社員に提供しました。その後、アンケートを実施した結果、90%以上の社員が「健康弁当を継続して食べたい」との回答があり、7月以降も半額会社負担で継続しています。
2.社員向けの「健康」「食事」等をテーマとした研修を人事総務課主催で定期的に実施しており、想定以上に多くの社員が参加し、熱心に受講しています。
3.社内コミュニケーション促進への取り組み
例として、会社の歴史や社風、業務内容を盛り込んだ社員から読み札を募集した44札からなる「アシザワ・かるた」を作成し、2017年から毎年１回“社内カルタ大会”を開催しております。チーム対抗戦の実施および賞品の効果もあり、毎年非常に盛り上がりを見せコミュニケーション促進につながっています。

健康経営へ取り組み後の具体的な効果一例

・毎年の健診データについて内容が向上しています。
・アンケートの結果から、健康弁当については「１日のうち１食を“健康弁当”に変えることで健康効果を得る」ことが実感できたようです。
・リクルート面においてもその効果がでており、新卒入社の離職者ゼロや全体の離職率も数%程度に抑えられています。

社長からの一言

機械の性能や品質はもとより、お客様への細やかな技術サポートやおもてなし、ひいては社会や地球環境への貢献など、様々な分野での最高レベルを実現すべく改革や挑戦を続けています。
歴史も勿論大切ですが、これらの活動を担っている社員こそが当社の最重要の財産です。社員の成長や幸福の実現が、会社の発展につながるとの信念で、100年先を見据えた取り組みをしていきます。

アシザワ・かるた

健康弁当＋具沢山味噌汁

代表取締役
芦澤直太郎 氏

人事総務課
宮下絢 氏

092

千葉県
成田営業所

株式会社佐倉環境センター

代表取締役社長
小出英昭 氏

「万全の健康管理体制　社長の強い思いが浸透しています」

- 代表取締役社長　小出英昭 氏
- 本 社 所 在 地　千葉県佐倉市大作
- 主な事業内容　産業廃棄物収集運搬・中間処理
- 従　業　員　数　47人（男性38人、女性９人）

健康経営優良法人 2020認定
中小規模

健康経営優良法人
2017・2018・2020 認定

喫煙率の高さから健康経営に取り組む必要を感じました

1986年創業の同社が、健康経営に取り組もうと思ったきっかけは次の点にあります。

①過去において、２名の現役社員を「がん」で亡くしていることもあり、健康で長く働いてもらうことがいかに大事かということを痛感したこと。

②廃棄物を扱う業務は、危険を伴う作業も多く、体調不良は事故に直結すること。また、業務がら可燃物取扱いが多いにもかかわらず、喫煙者が多かったのと合わせても社員の健康面からも安全面からも大きな関心をもって取り組んでいました。
そんなおり、協会けんぽ千葉支部とのやりとりの中から「健康宣言」の発足を知ることとなり、真っ先に手を挙げた次第です。

社員が健康であるからこそ１００％の力を発揮でき、事故を無くせます

具体的に取り組んだのは次のようなことです。

①まずは受動喫煙をなくすために事務所とは別棟の１室を喫煙所とし、分煙を実行すると共に、毎月１回の禁煙デーの実施、禁煙セミナーの実施を実行しています。

②体型や活動量に合わせて設定できるデータ記録式の「体組成計」を社員全員に配布し、家庭での健康管理に役立ててもらっています。

③協会けんぽのサポートもいただきながら、毎年、社員向けに健康セミナーを実施しています。2019年度は、５回ほど実施しました。
内容としては、血管年齢測定の実施、マインドフルネス研修、ダイエット術など様々です。

④マスクが入手しにくいこの春には、一人当たり100枚のマスクも配布しました。

体組成計を社員に配布

健康経営の取り組みが、様々な効果に結びついています

禁煙をした社員がまずは２名でました。また、禁煙外来に通う社員もでてきています。
また、前記の全社員向けの健康セミナー、運動セミナー、メンタルセミナーやラジオ体操の実施、作業に関わる安全特別講習の実施等の効果で、生産性を高めながら丁寧に作業するという意識を全社員が共有できています。
採用面では、元々、採用が難しい業種ですが、既存社員からの紹介で若手の入社する社員も複数出てくるようになりました。

健康ランド構想！？

可能であれば是非実現したいと構想を練っているのが「健康ランド」の開設です。産廃物の焼却炉の熱で電気とお湯を供給するスーパー銭湯にフィットネスジムを併設すれば、仕事帰りに運動をして、お風呂でサッパリと汗を流せます。社員のみならず地域の健康をサポートできるのではと考えています。

佐倉市にある本社社屋です

株式会社ホットアルバム炭酸泉タブレット

代表取締役社長
小星重治 氏

「社員が世界一幸せなそして健康な会社」を実現するために健康経営に取り組む

- 代表取締役社長　小星重治 氏
- 本 社 所 在 地　八王子市東町
- 主な事業内容　医療部外品製造販売
- 従　業　員　数　20名(男性7名・女性13名)

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020 認定

健康経営に取り組むきっかけ

社長が前職のコニカミノルタでの研究にて紫綬褒章を受賞。その表彰授与で、天皇陛下から「今後もご活躍を期待しております。」とのお言葉をかけられ、そこで医療費と社会保障費の分野で国に貢献したいと決意。写真技術を活かし、血流を上げ、病気を予防する入浴剤を開発。そして、自社でも健康経営に取り組まなければならないと考え、健康経営を取り組み始めました。

世界一社員が幸せな会社を作る！

社長の持論は、「仕事は時間の関数でない。社員の自主性が生まれると良い会社を作ろうと創造性が生まれる」。
そのため、在宅勤務を導入。月1日休暇必須。残業はなしという取り組みを行い、自主性を培っています。
また、業務の遂行にも、社員の時間の使い方にも自主性が生まれ、様々なアイディアが浮かんでいる効果も表れています。従業員の1人あたりの年間売上は1億円以上、年収1000万円以上を目指してます。

福利厚生も健康増進のために充実！

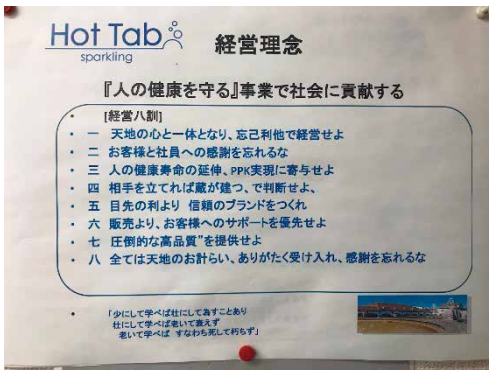
自社の商品を体感する目的と何より従業員の健康を増進するために福利厚生内容も工夫しています。毎月1万円の光熱費代(電気代、ガス代、水道代)を補助しています。家族の方にも自社商品である入浴剤を配布し、入浴習慣を推進しています。また、プライベートの充実も啓蒙しており、結婚・出産祝金10万円も福利厚生制度として導入しています。このような取組みで「世界一健康な会社」を目指しております。

従業員の健康力がアップ！

社内で「健康経営営業チーム」を設立しており、メンバーには従業員の他に保健士・内科医も入ってます。顧客へ健康面全体の情報提供を行うため、従業員自身が熱心に健康に関する勉強をし、従業員自身が入念な健康管理を行っています。その結果、「健康診断二次検診該当者なし。免疫力も高まっていることからインフルエンザの感染者なし」といった効果が出ています。

今後の展望

事業展開はリモート中心にシフト、より多くの人に健康に関わる様々な情報を周知できるチャンスが生まれています。当社は情報提供を積極的に展開しつつ、社内の健康経営を推進していきます。従業員自らがガンや難病にならない体作りに取り組んでいき、「世界一健康な会社」を目指します。



東京西サトー製品販売株式会社

代表取締役社長
横川みどり 氏

社是『進取・創造・篤心（まごごろ）』の実現に向け、健康経営に取り組んでいます！

- 代表取締役社長　横川みどり 氏
- 本 社 所 在 地　東京都立川市富士見町
- 主な事業内容　電子機器器具販売他
- 従　業　員　数　36名（男性8名・女性28名）

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2018～2020
（中小規模法人部門）認定

「健康経営」に取り組むきっかけは？

以前には求人難の時期があり、従業員1人ひとりの存在がより大切になっていました。そのため健康診断はパートさんも含めて全員が勤務時間内に受診できるなどの取り組みをおこなっていました。ある時、アクサ生命の担当者から「健康経営」の話を聞き、自分たちのやっていることがそのまま合致することがわかりすぐに協会けんぽに健康宣言しました。平成29年に東京都の銀の認定、令和になって2年連続で金の認定（多摩エリアでは初）、優良法人認定は3年連続で認定されています。

健康経営の取り組みでこんな変化が！

従業員たちも最初のうちは戸惑っていました。「歩数キャンペーン」の頃は違和感もあったようです。でもだんだんと変わってきました。みんな、この「健康経営」の取り組みが自分たちのためになっていることを理解してくれるようになったのです。
「こんなによくしてもらっているのだから、もっと頑張ろうよ」という雰囲気が醸成されています。
休暇制度のことも新入社員さんには最初に説明しており、とてもスムーズに取得できています。

休暇制度を充実させました！

休暇制度は重要です。有給休暇とは別に2つの制度を新設しました。1つは『学校行事休暇』。中学3年生までの子供1人につき2日間の休暇を1時間単位で使えるようにしました。もう1つは『看護休暇』。これは私自身、中学生の子供を1人で病院に行かせた時があり、小児科で親が付き添っていなかったために診てもらえなかったという体験をしたので、同じ思いをさせてはならないとの気持ちから創りました。年次有給休暇を消化後に随時取得できるようにしています。企業内保育所もオープンしました。

これからのこと！

感染症予防のeラーニングを従業員全員で受講しました。今後も新型コロナウイルスを含めた感染症対策を強化してまいります。
私たちは同じ目標に向かって共感し合える仲間です。どんな時にも現状に満足せず、好奇心を失わず、そして「仕事を楽しむ」ことが大切だと考えます。この健康経営の取り組みを通じて、社是である「進取・創造・篤心」をみんなで一緒に実現してまいります！

eラン受講証

トレッキングで楽しくコミュニケーション！

所属する立川商工会議所で歩数キャンペーンがおこなわれ、当社も参加していました。商工会議所からの顕彰とは別に当社内で順位をつけ、忘年会の時にサプライズで金一封を進呈。とても喜んでもらえました。このキャンペーンがきかっけで、新たに社内に「トレッキング部」を立ち上げました。ある時は長野県の八方尾根、また別の機会には山梨県の石割山など、家族連れで参加してくれています。会社での立場など一切関係ありません。こうしたコミュニケーションで私は従業員を理解し、従業員たちは私を理解してくれる、そんな大切な機会になっていると感じています。

家族参加のトレッキング

女優・川上麻衣子さんを囲んで

朝礼時の健康体操

休憩室のトクホ飲料
自由に飲めます！

株式会社エコワスプラント

代表取締役社長
浅尾洋和 氏

『未来のために、今やるべきことがある』のスローガンのもと、健康経営を実践しています！

- 代表取締役社長　浅尾洋和 氏
- 本 社 所 在 地　東京都西多摩郡日の出町
- 主な事業内容　再生資源製造業（産業廃棄物中間処理業）
- 従　業　員　数　93名（男性82名・女性11名）

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2019・2020
（中小規模法人部門）認定

仕事とプライベートを両立できる雇用環境を

平成15年に産業廃棄物処理再資源化工場をオープンし、3年目には、首都圏初の優良産廃処理業者に認定されました。現在は持続可能な資源循環型社会構築に向け、「再生資源製造業者」としての誇りを持ち、再資源化の推進やＣＯ２削減等、環境や地域へ大きく貢献しながら成長を続けています。「やりがいがあって働きやすい」「家族に自慢できる」会社を目指し、仕事とプライベートが両立できる雇用環境を構築しています。

まず予防・健診、そして高い有給休暇取得率

私自身が従業員の突然死を経験し、健康の大切さを痛感したことや、若い頃に仕事に没頭しすぎ、家庭を疎かにしていたことを後悔しているため、従業員には健康第一で、また、プライベートを充実させてほしいと思い、健康経営を導入しました。
健康診断は受診率100％で、保健師による特定保健指導も就業時間内に該当者全員、個別に実施しています。インフルエンザ予防接種も会社負担で行っています。
有給休暇は年間を通じて計画的に取得してもらっていて、取得率は直近3年間で50％⇒63％⇒77％と毎年向上しています。

運動の奨励と充実した研修！

【運動】工場では勤務時間内にラジオ体操を行っています。また、全社員対象に2km以上を徒歩または自転車で通勤する従業員には「エコ通勤手当」を支給しています。
【研修】安全衛生委員会とは別に毎月1回、各部門ごとに、食事・喫煙・飲酒など生活習慣の留意事項などの研修を行っています。
【喫煙】屋内に換気設備を整えた喫煙室があります。ここの壁にはタバコの害を訴えるポスターなどを掲示し、禁煙への啓蒙を行っています。

こんな変化が見られるように・・・

残業は事前に上司の承認を得ることにしていますが、労働生産性が上がったことで、今ではほとんど申請する従業員はいなくなり、定時の退社が当たり前になっています。時間外労働が削減できたことは、従業員のプライベートを充実させることにも繋がりました。また、雇用環境などを含め、働き方改革を進めたことにより、従業員の病欠も減り、更に離職率も大幅に減りました。新卒者の応募も増加し、ここ数年は内定後の辞退者も出ていません。最近では従業員がSDG'sにも取り組んでいます。

今後に向けて

まずは新型コロナ感染症対策として、毎朝の出勤時の検温・アルコール消毒・マスク着用の徹底などを継続します。また直近の市町村別の感染者数の情報を掲示するなどの感染予防への意識付けも継続してまいります。
他には2次健診休暇制度の利用を促し、受診率を100％に近づけて行けるよう丁寧に働きかけて行きます。
また、SDG'sと健康経営の更なる融合を進めてまいります。

喫煙室(壁には害を伝えるポスター)

研修風景

健康経営とSDG'sを融合

会社外観

東芝ライテック株式会社（横須賀商工会議所 常議員事業所）

旧海軍工廠造兵部
（本社敷地内 / 明治19年建造）

働く人の安全と健康増進を図り活気ある社会づくりに貢献

- 代表取締役社長　平岡敏行 氏
- 本社所在地　神奈川県横須賀市船越町
- 主な事業内容　照明事業（照明器具、電設資材、航空灯火システム、舞台・スタジオ照明システム、車載用光源、産業用光源・モジュール）
- 従業員数　2,261名（2019年3月31日現在）

健康経営優良法人 2020認定
ホワイト500
健康経営優良法人
（ホワイト500）
2019・2020 連続認定

先達のDNAを引き継ぐ東芝の安全健康活動

照明事業創業以来130年の歴史を受け継ぎ、従業員の安全と心身の健康を重要課題と位置付けてきました。2018年に経産省の健康経営優良法人認定制度を知り、「働く人が健康であることで生産性の向上につながること」や「企業イメージのアップにより、リクルート効果もあること」などに共感した事が契機となり、本格的に認定取得に向けて取り組みを重ね、2019年.2020年と連続で健康優良法人（ホワイト500）に認定されました。

安全健康経営宣言

従業員の安全と心身の健康を最重要課題に位置づけた経営を進めることを明確にするため、「安全健康経営」を推進しております。経営層が「安全健康経営」を率先垂範することをはじめ、管理職・従業員が自律的かつ相互間の安全と心身の健康の確保できる体制を整備し、安全健康にかかわる定期モニタリング指標を定め、継続的改善を進めております。特に近年は「運動不足」と「食生活改善」の健康課題の改善に取り組んでいます。

従業員の健康課題への取り組み　①運動不足

「FUN＋WALK（スポーツ庁）」に賛同・登録し毎週歩いた歩数を個人別・組織別にそれぞれランキング形式で社内公表しています。その歩数に応じて、全国に展開している各拠点のお国自慢や観光名所をインターネット上で閲覧することができたり、ポイントが付加され景品に交換できるなど、社内でのコミュニケーションの一環にも繋がり、何より従業員が楽しみながら、運動増進に取り組んでいます。

従業員の健康課題への取り組み　②食生活改善

「ワクワクイーツベジタブル」と題し、野菜に関する知って得する豆知識などを従業員へ伝える機会を設けたり、「食育マルシェ」という産地直送の新鮮野菜の直売イベントを開くことで、従業員に野菜への関心も持ってもらう取り組みをしています。現在、健康ランチ定食を社食で提供することも企画しております。

3年連続健康経営優良法人（ホワイト500）認定を目指し、さらなる取り組みを行います

弊社は、事業活動に関わるすべての人が企業にとって大切な経営資源であると考え、働く人の安全と心身の健康を前提とした、いきいきとした活気ある人と組織作りに向けて、更なる健康経営の取り組みを継続して進めていきます。

2020年8月27日『ワクワクイーツベジタブル　食育マルシェ』実施
講師は外部講師、
テーマは　茄子（熱中症予防）

産直野菜：複数の種類の茄子やピーマン、トマト

株式会社大和ケミカル

代表取締役社長
中村英寛 氏

先代の創業時からの「経営理念」を受け継ぎ健康経営でインスパイアを図る

- 代表取締役社長　中村英寛 氏
- 本 社 所 在 地　神奈川県厚木市上依知1405-3
- 主な事業内容　工業用・医療用ゴム製品製造販売
- 従　業　員　数　90名（グループ730名）

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020 認定

共同創業者が創業時に掲げた経営理念を健康経営で更にインスパイア

私の先代（父）と友人の二人で昭和47年に創業いたしました。その時に掲げた経営理念は、30歳で他界した共同創業者である先代の友人が考えたものです。そして、今でも私の経営の教え・支えです。
その経営理念の中に社員が「明朗活発・改革に燃え・挑戦的」でいる事が重要であると謳われています。7年前私がバトンを受け継ぎ、健康経営に取り組むことは正にこの理念の昇華だと確信しました。

健康経営優良法人認定に向け試行錯誤

優良法人認定に向け実際に取り組みを始めたのは2018年からです。
当初は恥ずかしながら、健康経営とは？というところから、本当に０からのスタートでした。実は最初の認定は書類の不備もあり認定を外してしまいました。
でも、逆にそこから本気になって「健康経営」に取り組む決意を固めたのです。

健康経営で社員の意識の変化もキャッチ

健康経営に取り組み始め、社員に対して様々な新しい取り組みを提案し、実行に移してきました。
その中で、「社員の意識の変化」「時代の変化」も感じております。私の時代は、とにかく時間を惜しんで働いて収入を増やしたい、という感覚でしたが、若い世代の社員は自分の時間を大事にしたいという意識が強いという事もわかりました。残業への意識変化も学びました。

健康経営の取り組みは経営者の覚悟でもある

健康経営に取り組み始めると、社員から様々な意見や要望が出てくるようになりました。
トップダウンからボトムアップが図れるようになりました。風通しの良い組織風土ができつつあると実感しております。
しかし、これは経営者としては「覚悟」の要る作業でもあります。社員の思いを受け入れながら、尚且つ会社の方向性を失わないようにしていくことは、経営者の大事な役目になってきています。

弊社経営理念ご紹介

規模は小さくても全員が一致団結し、明朗で活発な社風を作り出し、そのなかで　常に改革意欲に燃え、挑戦的に仕事に取り組み、お客様に良品廉価の製品を　供給出来る体制を確立させ、他社に負けない企業に築き上げることにより、自分達の生活レベルを向上させ、物心両面が豊かで幸せな人生を送ることを目的とし、又、社会の繁栄にも貢献することの出来る　会社に成長させることである。

玄関に「健康経営」・「神奈川CHO」の掲示

新型コロナへの注意喚起掲示

098

静岡県
藤枝営業所

Voice Report 200th

砂川興業株式会社

代表取締役社長
砂川義則 氏

健康経営を通じて『未来への懸け橋をお客様へ』

- 代表取締役社長　砂川義則 氏
- 本 社 所 在 地　焼津市三ヶ名1724-3
- 主な事業内容　総合建築業
- 従　業　員　数　7名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020 認定

働く仲間とそのご家族の幸せのために

弊社では、従業員全員が大事な宝と思っており、その従業員のご家族の方々にも当たり前に日常を過ごせる様願って経営をしておりました。そのなかでも従業員が健康であることが重要事項との想いから『健康に関心を持って貰おう！』と健康経営優良法人認定制度に着手しようと考えました。小さな会社だからこそ健康に対する想いを全国にPRする良い機会と捉え、取り組みを開始しました。

定時退社が当たり前・自身で考える習慣により意識改革を実現

どうしても会社の繁忙期には残業時間が会社基準を大幅に超えてしまうことがあり、当たり前の雰囲気になってしまっていたため、従業員の意識を変える取り組みを行いました。具体的には

①やむを得ず残業した翌日に面談を義務化し、原因・改善策を話し合いました。

②業務過多と判断した場合には先輩社員とペアを組み、業務負担の見直し・指導を行うよう取り組みました。
その結果、今では一人一人が自分で考え、創意工夫を行うことができるようになり、定時退社が当たり前の風土醸成が実現できました。

コミュニケーション不足を解消するために！！

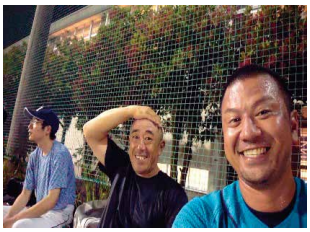
職場では以下のイベントを実施しています。
・月1回の食事会
・夏季に開催のBBQ
・春・秋のソフトボールの試合を行い運動不足を解消
・業務終了後のソフトボールの練習・試合
・業務終了後の懇談
上記以外にも居心地の良い会社づくりを考えながらコミュニケーション向上に努めています。

健康経営優良法人認定を取得した成果

・定時退社が定着したことにより、平日でも家族との時間が増えた
・有給休暇取得率が向上した
・個々の業務効率が向上した
・退社しにくい雰囲気が解消できた
今後は更に働きやすい環境、ご家族との時間を増やして貰う為に、日々精進していく次第です。

建設業界のイメージアップのためにもPRしていきたい！

建設業界はどうしてもきついイメージがあり、弊社の取り組みを全国にPRすることで業界のイメージを変えていきたいと、日々様々な観点から取り組めることを模索しています。暑い時期の熱中症対策は重要なテーマです。
・週に一度冷感スプレーや熱中症予防のための飴の配布
・空調服の配布と着用の実施
・粉末スポーツ飲料の設置
などの取り組みを行っています。他にも屋外作業中にWBGT（暑さ指数）が超えた場合は業務の中断、または延期を行うことにより、無理のない業務をして貰うよう心掛けています。



熱中症対策万全に
練習・試合に励んでいます!!

イースタンフーズ株式会社

専務取締役
山﨑悦男 氏

滋養強壮のスタミナ健康食品の専業商社として、健康経営で企業のイメージアップを！

- 代表取締役社長　井ノ上昇吾 氏
- 本 社 所 在 地　静岡県三島市文教町
- 主な事業内容　輸入凍菜・国産凍菜販売
- 従　業　員　数　11名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020 認定

会社の活力は従業員の健康第一、そして会社のイメージアップも念頭に健康経営の取り組み開始

弊社は「とろろ芋」専業商社として、またメーカーとして平成17年2月よりスタートさせて頂き、16期を無事に迎えることができました。その中で、商工会議所共済制度担当のアクサ生命から色々な情報提供もいただき、従来から考えていた“健康食品を取り扱う会社で働く社員の健康増進”に更に拍車をかけるべく、まずは協会けんぽの「健康宣言」事業に参加表明、健康経営への取り組みの第一歩を踏み出しました。

アクサ生命の「健康経営実践プログラム」活用で優良法人認定へ！

アクサ生命から提案され、全社員への生活習慣アンケートとアンケート結果のフィードバックセミナーを実施し、あわせて社員全員を対象とした24時間電話健康相談やメンタルサポートのサービスを提供することにより、念願でありました優良法人認定を取得するに至りました。また、このような取り組みを通して、従業員の健康が第一という会社の思いが社員に伝わり、ロイヤリティ向上と定着率アップにも貢献している事が、従来から実施していた社員とのコミュニケーションを目的とした個人面談で判りました。

三島市の健康経営推進事業への関わり

弊社は一昨年の10月から、三島市の健康経営支援事業に参加しています。体組成計による計測を毎月継続して行い、また活動量計を社員にレンタルし、平均歩数が1番高い社員へは、会社から“山形牛ロース”をプレゼントしました。弊社の取り組みについては、三島市の健康改善取り組み報告会で市長へ報告致しました。毎年実施している前述の生活習慣アンケートから、運動量や食習慣の改善意欲がアップしてきたことが判り、健康習慣について考える良い機会となったので今後も継続して健康改善に取り組んでいきたいと思います。

健康経営推進が社員の会社施策への参画意識の高まりに繋がる

健康経営への取り組みに伴う前述のアンケートや、三島市の健康経営事業へ社員を巻き込んでの参加したことにより、社員間のコミュニケーションもより活性化されました。弊社は若い世代の社員が多い中で、毎年恒例の会社主催の親睦会（食事会・旅行等）への参加率は100％となっており、このようなコミュニケーションが業務での参画意識の高揚にも繋がっていることは、健康経営推進の効果と考えます。

今後の展望

弊社が目指していた、「健康食品を取り扱う会社として、活気があり、社員が健康で元気であること」、「社員間のコミュニケーションも活発で風通しのよい職場造り」の実現に、健康経営推進は大いに役立ちました。現在の社員との絆をさらに深め、またその仲間となる社員を新たに迎え入れるのにも必ずや効果を発すると確信致します。

平成31年(2019年)3月23日（土曜日）

健康経営支援 成果報告

三島市 商議所 意識向上「休憩時に体操」

三島市と三島商工会議所が市内の企業や事業所を対象に従業員の健康管理をサポートする「健康経営支援事業」の報告会が22日、市役所で開かれた。

3年目となる本年度は昨年10月から2月末まで実施、これまでの問知活動からさらに踏みこみ、企業3社に保健師を派遣して具体的な健康改善策を促した。「夕食時間を見直した」など、健康意識の向上から具体的な

豊岡市長（右）から記念品のステッカーを受け取る企業の関係者＝三島市役所

三島・小学生女子 全国大会

昨年10月に県小学男子・女子新人ソフトボール大会女子の部優勝し、29日に岐阜県で開幕する全国大会への出場を決めた三島市の「静岡EAST MAX SC」が22日、市役所を訪れて豊岡市長に意気込みを

健康経営支援事業参加の新聞記事

平均歩数優秀社員の表彰記念写真

株式会社アクト

代表取締役
芹沢　收 氏

「健康経営」をベースに社員一丸となって品質向上、安心安全で生産効率の高い職場作りを目指す。

- 代表取締役　芹沢　收 氏
- 本社所在地　静岡県御殿場市川島田
- 主な事業内容　総合建設コンサルタント
- 従業員数　20名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020 認定

「安全・安心のまちづくり」に寄与すべく、技術を通して社会への貢献を目指す企業としての「健康経営」

建設コンサルタントに携わるものとしてだけではなく、地域社会の一員としても信頼される企業であり続けられるよう、「技術を通して社会へ貢献　及び企業経営の民主化と人間尊重」の理念のもと、社員一丸となって品質向上、安心安全で生産効率の高い職場作り、そして環境保全に取り組んでいます。この実現の為の原動力は一人一人の健康な社員であり、その上で「健康経営」への取り組みは必要不可欠と感じております。

「働き方改革」取り組みに伴い、健康経営の取り組みを本格化

取り組みのきっかけは、アクサ生命の担当社員からの情報提供です。まさに「働き方改革」への取り組み開始にあたりタイムリーな情報でした。弊社はまず『健康宣言』を行い、それを社員へ周知徹底し、アクサの『健康経営サポートパッケージ』を活用して健康習慣アンケートと健康セミナーを実施、毎月の健康情報を給料明細に同封配布、全従業員への２４時間電話健康相談やメンタルサポート等のサービス提供を行い、優良認定にこぎつけました。

コミュニケーションの活性化目的の会社行事への社員の参画意識がアップ

健康経営に取り組む中で、「心身の健康」だけで無く「社会的な健康」の重要性も理解し、従来は会社主導で行っていた、“社員と会社（経営者側）とのコミュニケーションの場としての懇親会“を、従業員主導の企画に変え、”従業員のコミュニケーションの場としての懇親会”とする方式に切り替えました。会社は費用を負担するだけです。今では全員参加で5月の花見会（本年は自粛）と年末の忘年会を恒例行事として実施しており、コミュニケーションの活性化と風通しの良い職場造りの原点にもなっていると思います。

コロナ感染禍でのお客様、お取引先に安心を提供

新型コロナウイルスの感染予防は、社員自身を感染から守ることと同時に重要なのが、お客様やお取引先を感染から守ることです。自粛が解除になった今、弊社が『優良認定』受けている会社ということや、会社エントランスや各部署内にアルコール消毒剤を配備、従業員へ手洗いの励行、マスクを着用すること、不要不急の外出禁止の徹底等を行い、社員一人一人が感染予防を意識することによって、対外的にお客様やお取引先へ「弊社が安心であること」の大きなアピールに繋がっていると感じています。

今後の展望 ～建設業界のイメージアップへ！～

最近では働き方改革により建設業界も変化してきており、業界では大なり小なり「地域社会への貢献」を目指している企業が多くなってきております。弊社もその崇高な理念の実現に向け、業界のブラックなイメージ払しょくと、安全・安心を社員に実感してもらう為に、健康経営への取り組みを強化していきたいと考えます。その結果、企業のイメージアップを図りながら、将来の優秀な人材確保と、「ホワイト企業」のイメージを弊社から拡散していければと考えております。

101

静岡県
三島営業所

長泉パーカライジング株式会社

代表取締役社長
大貫隆弘 氏

「お客様第一主義、社員満足度向上」を実現するために健康経営に取り組む

- 代表取締役社長　大貫隆弘 氏
- 本 社 所 在 地　静岡県駿東郡長泉町下長窪
- 主な事業内容　金属表面処理
- 従　業　員　数　60名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020（中小規模法人部門）認定

会社の経営戦略の位置づけとしての「健康経営」

弊社は、お客様の製品を“付加価値を高めより良い物にする賃加工業”であるため、お客様の工程の一部としての責任を担うべく、「お客様に満足していただく品質・価格・納期」を目指しております。そのために整理・整頓・清掃・清潔・躾・安全を掲げた６S活動を改善活動の要とし、良い意味で常に変化を求め、所謂ＶＭ活動に取り組んでおります。 その主体となるのは社員であり、常々、職務遂行の源は健康である事を標榜しておりましたので、「健康経営」も経営戦略の大きな位置づけと考えております。

「健康経営」取り組みのきっかけは定年延長

弊社の基本方針の一つが「社員満足度向上」で、この実現に向かい前述の６S活動とVM活動に、その根底に「健康経営」の取り組みがあります。そして更なる社員満足度向上に向け、2018年に65歳への定年延長を致しましたので、それを機に、健康で長く働ける職場づくりを目指し、社員への健康増進の意識付けも兼ねて「健康宣言」を発し、社員への周知徹底をはかりました。

まずは「ウォーキング」で「スモールチェンジ」

社員に誰でも取り組める健康増進策として、静岡県金属工業健康保険組合で毎年実施している「３ケ月間で８０万歩歩こう」のキャンペーンに全員で参加しています。最初は意識している社員も少なかったですが、社長自らが実践し会社でも上位達成者にはインセンティブを用意したことで、今では多くの社員が意識して歩くという、まさに健康経営で言うところの、「スモールチェンジ」に繋がっています。

個人毎に歩数記録表作成

人間ドッグの受診補助と改善宣言の採択

我々の周囲でガンになる方が増えてきた中、2019年から人間ドッグの受診勧奨を始め、その費用の補助制度をスタートさせました。併せて受診結果に生活習慣に起因と見られる所見が少しでもがあれば、各社員毎にそれに向けた改善取り組みを宣言してもらい、それを一覧表にして受診した社員へ開示。お互いに健康関連でのコミュニケーションツールにもなっています。

今後の展望

社員が長年に亘って培ってきたスキルと経験値は何事にも代えられない会社の資源、財産です。会社が未来永劫に発展していく基礎はまさに健康で社員が長く働いてもらえる環境づくりが重要で、それが大切な社員とその家族の幸せにも繋がると確信致します。その為に「健康経営」推進は不可欠な取り組みであり、今後も社員と一緒になって取り組みを継続させ、会社の発展に、そしてお客様の繁栄に貢献できる事業継続を実現していきたいと考えます。

人間ドック受診後の
各自の改善宣言一覧

社屋全景

102

静岡県
浜松営業所

Voice Report 200th

ドコス株式会社

代表取締役社長
大河内慶吉 氏

「一人は全員ために全員は一人の為に」をモットーに、健康経営を推進

- 代表取締役社長　大河内慶吉 氏
- 本 社 所 在 地　静岡県浜松市南区
- 主な事業内容　一般貨物自動車運送
- 従　業　員　数　23名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模

健康経営優良法人
2019・2020 連続認定！

「ふじのくに健康宣言事業」で健康経営開始！

当社では以前、ドライバーが運転中に意識が無くなり事故を起こした事例がありました。このことから社員の健康管理には、特に運送会社はより積極的に関わらなければいけないと考え、何か良い対策はないかと思案している時、協会けんぽからの「ふじのくに健康宣言」の取り組みチラシを発見致しました。
「当社に必要なのは、正にこれだ！」と判断し、既に発足していた社内の生活向上委員会が中心となって、全社員で取り組みを開始致しました。

全員参加で楽しく健康増進に取り組む。

新型コロナが流行る前から、毎朝の発熱、血圧、アルコールチェックなど運行管理者が安全のため健康状態のチェックを継続実施しておりました。
健康経営取り組み開始をきっかけに、皆で楽しく、気軽に健康増進に取り組めるように社内に鉄アレイ、トレーニング用の重い縄跳び、また血圧計や握力計等の健康関連器具を常設し、仕事の合間や休憩時間に気軽に遊び感覚で体力増進に取り組める環境作りをしております。

20回飛ぶのが至難の縄跳びに社長自らが率先垂範でチャレンジ！！

働き方改革もきっかけに、健康増進を加速！

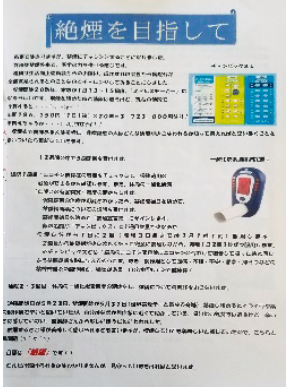
働き方改革における「5日間の有休消化」は実現済ですが、運送業界はどうしても長時間労働になりがちでした。その要因の一つである長距離便の依頼について、現在は協力関係の運送会社に依頼して、当社での長距離便の引き受けを無くしました。これにより長時間労働改善に繋がり、フィジカルだけでなくワークライフバランスの観点からも精神衛生面の健康増進にも大きく繋がったと考えます。

「禁煙」から「絶煙」を目指して！

かねてから当社は喫煙率が73.3%と非常に高い事を問題視しており、この改善に向けて禁煙外来で禁煙に成功すれば全額費用を、出来なくても禁煙のきっかけになればと費用の3割を会社が負担する事にしました。次の取組は、各班対抗戦で6か月間の禁煙成功率で報奨金を支給。併せて社内報に「絶煙をめざして！」の題名で、三次喫煙（サードハンド・スモーク）の記事や禁煙成功の体験談を掲載し啓蒙をはかってまいりました。結果、「禁煙」から「絶煙」に向け、屋内は元より、敷地内も全面禁煙に致しました。

風通しのよい企業風土形成に繋がる健康経営

生活向上委員会が中心となり、毎年全員参加での海岸のごみ拾いボランティア後のバーベキュー大会や忘年会などを実施しており、ある程度の会社行事、施策への参画意識は高めてまいりましたが、生活向上委員会や広報委員会の活動に健康経営を絡めることで社内により浸透し、参画意識は更に高まったと思います。「一人は全員ために全員は一人の為に」を当社のモットーに、健康経営の推進も「風通しの良い会社」作りに大きく貢献していると確信致します。



社内報　みんなのドコス

従業員が持ち寄った健康器具

103

静岡県
浜松営業所

伴建設株式会社

代表取締役社長
伴　和行 氏

健康経営は未来永劫に必要な経営戦略！

- 代表取締役社長　伴　和行 氏
- 本 社 所 在 地　静岡県湖西市梅田
- 主な事業内容　土木工事業
- 従　業　員　数　8名(男性:6名・女性:2名)

健康経営優良法人 2020認定
中小規模

健康経営優良法人
2018・2020 2年認定

きっかけは、「静岡県ふじのくに健康経営」のお知らせ

きっかけは、2017年に協会けんぽから届いた「静岡県ふじのくに健康経営に取組んでみませんか？」というお知らせです。事務方が気づき、社長に面白い取組があると相談しました。内容をしっかり読むと「会社に有益」であり「費用も掛からない」また「当社が抱える様々な課題を将来にわたって解決してくれる取組みであると分かりました。
「正に、これだ！」目から鱗のお知らせでした。

健康経営は必要不可欠な取組み！

当社の年齢構成は５０歳後半の社員が多く、比較的年齢層の高い会社です。従業員一人一人、大切な役割をこなしてくれており、一人でも欠けると仕事が円滑に回らなくなりますので、当社の企業経営にとって健康経営は必要不可欠な取組みです。ひとつの問題点として、当社は健康診断数値の悪い社員が多いという現状があり、解決できる取組みが必要であると考え、健康診断で“要再検査判定”を受けた場合は必ず受診することを就業規則に定めました。

優良法人認定3回目の取得へ！

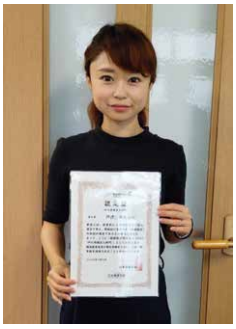
２０１８年と２０２０年に健康経営優良法人を取得しました。当社は早くから分煙対策として“屋内禁煙”を行っております。働き方改革では、有給休暇を取得できていない社員に直接社長から、有給休暇を取得し、心身をリフレッシュするよう指示しており、社内規則の行動計画にも“有給休暇取得”を記載しています。健康診断は、毎年全員で同日に受診する事で100%受診できています。二次検診も就業時間内に実施する様にして100%実施できています。
この結果、病気が早期発見できて良かった事例もあります。

リクルート効果を高めたい！

建設業界は採用が難しく、現在勤務している社員に頼っているのが現状です。年齢層が高く、これから更に高齢化が進む一方なので、積極的な採用が必須です。その点においても、健康経営優良法人認定を取得する事で、他社と差別化し、リクルート効果が高まるとい思います。健康優良法人認定は、未来永劫継続して取得し続けたいと考えています。

現在の取り組みと今後の展望

現在は、新型コロナ対策として入口にアルコールを設置しています。また感染症対策としてインフルエンザ予防接種代金の補助も行っています。
今後は、静岡県次世代育成支援企業(こうのとりカンパニー)認証制度や「子育てサポート企業」として、厚生労働大臣の認定を受けた「くるみんマーク」を取得したいと考えています。



健康づくり担当者
総務:小林 里奈さん

104

岐阜県
岐阜営業所

株式会社大雄

代表取締役
阿部嘉澄 氏

「顧客第一、社員あっての会社」を実現するために健康経営に取り組む

- 代表取締役　阿部嘉澄 氏
- 本社所在地　岐阜県各務原市
- 主な事業内容　総合建築業
- 従業員数　87名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020(中小企業部門)認定

過去に社員の大病と知り合いの企業からの情報で健康経営に取り組む必要を感じました。

弊社は昭和37年に創業し、弊社に関わる全ての方が幸せになる「四方善しの経営」をモットーに「良い家を造り、そこに暮らす家族全員が幸せな暮らしを実現していただく」ことを目指して事業を展開しています。
健康経営を取り組むきっかけは、過去に社員が大病を患ったことで社員一人一人が充実をした人生を生き、また仕事に取り組むためには健康が何より大切であることを実感したからです。そして、知人の企業様より健康経営の話を聞き、社員の健康が会社の未来にとって重要だと感じていたのでスタートしました。

健康経営推進委員会の設置とコミュニケーションの推進！

会社のコミュニケーションをよくするために、部署間の垣根を越えて意見交流する場を設けました。そういった中で、健康経営委員会はもちろんのこと、コミュニケーション委員会や会社の無駄を省く委員会を設置しました。健康経営委員会の委員は、異なる部門から一人ずつ選任し、過去に病気で禁煙をせざるを得なかった社員を担当にするなど工夫しました。委員会は１カ月に１回、どういうことを取り組めば社員全体が健康に対する意識を高めてくれるかを考えながら取り入れていきました。部署を越えて意見を言える関係性をつくり、お互いを思いやりながら、仕事効率を上げていくことを目標にしております。

大切な社員とその家族の健康とともに会社も成長していきたい

建てていただいたお客様が幸せを感じられる家づくりのお手伝いをするには、我が社の社員も健康で幸せな人生を楽しむ必要があります。今後もアクサ生命の健康経営のアドバイスをいただきながら社員間のコミュニケーションを活性化させ、健康で幸せな人生を送るための一助になればと思っております。

今後の展望

従業員が楽しみながら健康になることをモットーに運動不足改善に力をいれていきます。アクサ生命のサポートを使わせて頂き、社内を15チームに分けて、歩数チャレンジをして、コミュニケーションを図りながら、楽しく運動をしていくことを計画しております。社員の満足が顧客満足に繋がると考えてますので、これからも実践していきます。

健康経営委員会の打合せ風景

105

岐阜県
岐阜営業所

協和薬品工業株式会社

協和薬品工業(株)社屋外観

「いつまでも健康でありたい」と願う人への商品提供をしている
我々が健康維持し、より良い品質でお客様にお届けします。

- 本社所在地　岐阜県岐阜市
- 主な事業内容　一般医薬品製造販売
- 従業員数　39名(男性31名、女性8名)

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020(中小企業部門)認定

取引先からの紹介で「健康経営」をスタート

取引会社が健康優良法人2019(中小企業部門)に認定されており、興味を持っておりました。
会社使命として医薬を通じて人々が求める健康で快適な生活の追求をしており、我々自身も健康をさらに意識してく必要があると考えました。
そんな中、アクサの担当者から健康経営の話を伺い、健康経営をスタートしました。

アンケートから課題改善

健康習慣のアンケートを従業員全員に実施。従業員の生活習慣を意識することはあまりなかったので、とても参考になりました。普段から飲む物が栄養ドリンク、炭酸飲料等の甘味料が入っているものが多く、アクサの担当者から飲み物のカロリー表を見せていただき、カロリーに驚きました。そこで自動販売機のボタンの上にカロリーを表示し、普段の飲み物から考えてもらうように実施しております。

感染症予防の徹底

毎年何人かの従業員がインフルエンザに感染し、休む方がいたので、一昨年からインフルエンザの予防接種に対して助成金を出すことにしました。今では多数の人の方が利用して、インフルエンザの感染者も減りました。
今回のコロナ対策では事業所、工場にアルコール消毒等を設置し、感染防止に努めております。

従業員の意識向上

アクサ生命主催の従業員向けにヘルスリテラシー向上のためのセミナーを実施していただき、従業員全員が受講。人生100年時代に向けて何を準備すべきか考えさせられる時間になりました。その後、従業員の保険の相談にも乗っていただき、これからを見据えた保険の提案もしていただけました。

今後の展望

従業員の平均年齢が高くなってきており、生活習慣病にかかる可能性が高くなってくる可能性も考え、通常の健康診断で受ける項目以上に希望があれば会社負担で受けられるように調整しております。従業員みんなが健康で働いていただけることでお客様にもより良い品質の商品をお届けできるということをモットーに健康経営をこれからも取り組んでいきます。

自動販売機にカロリー表示で意識向上！！

106

岐阜県
西濃営業所

Voice Report 200th

株式会社中日AVシステム

代表取締役社長
神谷正史 氏

活気あふれる豊かな環境を創造するために健康経営に取り組む

- 代表取締役社長　神谷正史 氏
- 本 社 所 在 地　岐阜県大垣市船町5丁目23番地
- 主な事業内容　電気通信工事業
- 従　業　員　数　21名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模

健康経営優良法人
2020 認定

従業員の高齢化により健康経営に取り組む必要を感じました。

昭和44年4月創業以来、地域に根差し視聴覚機材の販売施工を行ってまいりました。情報化が進む中、人のつながりやコミュニケーションを大切にし、そこから生まれる情報や財産を守り続けています。その中で、平均年齢46歳と従業員の高齢化が進んでおり、従業員の健康管理のサポートを会社がする必要を感じで健康経営の取り組みをすることを決めました。

簡単に取り組めるものからスタート！

年1回定期健康診断の結果が出れば、すぐにフィードバックし、再検査の出た社員には平日の勤務時間に再診受診を指導しました。また、毎月訪問頂いているアクサ生命の担当社員から頂く健康経営ワンポイントアドバイスを活用して従業員に情報提供しています。飲み物も会社共有の冷蔵庫にトクホのお茶や熱中症対策のスポーツドリンクが無料で飲めるようにしました。自動販売機もトクホ茶を社員価格の安い値段で提供し自宅にも持ち帰れるようにしました。

働き方改革にも対応！

働き方改革法のスタートに合わせて、毎週ノー残業デーを設定し、早帰りデーによりメリハリのあるスピーディーな業務が達成できており、自宅でのリフレッシュができるようになってきました。また、休日出勤した場合には翌週で振替休日の義務化により無理のない業務体制を実現することができました。

すこしずつ健康意識が高まってきました。

従業員が飲み物を加糖の飲料水からトクホ茶を選んで飲む光景を見ると、少しずつ健康意識が高まってきたと感じます。今後はアクサ生命の健康アプリを使ったカロリー計算など食事・栄養管理、運動増進、睡眠チェックを取り入れることも検討していきたいです。

今後の展望

健康経営を通じて従業員の健康を維持していきます。また、この健康経営の取り組みを促進させて新しい人材の採用にも繋げていきたいです。人がすべて！今在籍している従業員、そして将来入社する従業員のすべてが活き活きした職場づくりを目指していきます。

冷蔵庫には熱中症対策・健康促進対策として
スポーツドリンク・トクホ茶を完備！
全て無料提供！

株式会社中央重機

代表取締役社長
中村　清 氏

「社員を大切にしたい！家族のような関係でありたい！」を実現するために健康経営に取り組む

- 代表取締役社長　中村　清 氏
- 本 社 所 在 地　岐阜県土岐市泉明治町３－２
- 主な事業内容　解体業、建設土木
- 従　業　員　数　7名（男性６名、女性１名）

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020 認定

商工会議所とアクサ生命共同開催のセミナーに参加して健康経営に取り組むことを決めた。

社員には常に健康でいてほしいと願う気持ちが根底にある。急な病欠で他の社員に負担がかかるのを避けたいと考え、さまざまな取り組みに着手している中で商工会議所とアクサ生命の共同開催の健康経営セミナーに参加した。それまでに健康経営という言葉を聞いてはいたものの具体的なことはわからなかったが、アクサ生命にサポートしていただけることでスムーズにスタートをすることができた。

就業規則の見直し、オンオフの切替、健康意識の向上を図っている。

国の働き方改革を受けて社労士と相談して就業規則の見直しを実施。実行性の確保のために事前に休暇を指定してもらいカレンダーに明示するなど計画的に休める体制をとっている。またショベルカーの作業は歯を食いしばって取り組む傾向があるため、歯を大切にすることを機会あるごとに社員に啓蒙し続けているが、近年では積極的に歯医者に行くなど意識が確実に向上している。

心身のリフレッシュ、社内のコミュニケーションの場を設けた。

リフレッシュとコミュニケーションを兼ねてボウリング大会とその後に続くバーベキューを実施した。
和やかな雰囲気が社員同士のコミュニケーションを活発なものにしていたが、自分自身にとっては社員の本音に触れることができるいい機会となった。

この１～２年は急な欠勤がなくなった！

室内禁煙、手洗いや消毒液での殺菌の慣行、インフルエンザの時期にはマスクの着用を奨励、事務所の冷蔵庫には身体にやさしいドリンクを取り揃えるなど、こうした取り組みが功を奏したと思われるが、１～２年は急な欠勤がなくなった。
従業員全員が健康管理に特に注意してくれるようになった。

今後の展望

今後については社員旅行を検討している。また、ボウリング大会やバーベキューにおいても家族参加を検討してみたい。社員の健康を本気で考えていく上で、家族の協力が不可欠と考えるのが背景にある。
他の課題としては病院に行きたがらない社員が残っているため、歯の治療促進を含めて受診促進を行っていきたい。また、禁煙外来等のバックアップをすることで喫煙者を減らしていきたい。

108

岐阜県
飛騨営業所

Voice Report 200th

株式会社長瀬土建

代表取締役社長
長瀬雅彦 氏

「顧客第一、社員あっての会社」を実現するために健康経営に取り組む

- 代表取締役社長　長瀬雅彦 氏
- 本 社 所 在 地　岐阜県高山市久々野町1559番地
- 主な事業内容　土木工事業
- 従　業　員　数　28名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模

健康経営優良法人
2020 認定

従業員の健康があってこその会社の健康と捉え健康経営に取り組むことにしました。

昭和34年設立以来、地域発展のため事業を展開して参りました。会社として何事にも感謝の気持ちと従業員を大切に想うことを宣言しております。感謝できることが心の健康に繋がり、そして従業員の健康があってこその会社の健康へと繋がると考え従業員の健康管理を経営の中に取り入れました。

従業員の自立と働きやすい職場環境を作っていきます。

何をするにも社長からのトップダウンではなく、従業員と一緒に考え行動することを心がけた結果、従業員が積極的な行動をとるようになり、自立してきており、生産性の向上と働きやすい職場へと変化してきました。優良法人認定申請も従業員へ投げかけたところ、積極的な取り組みを行ってくれたことで認定に至りました。

社長・従業員一緒になって働き方改革を実行！

健康診断受診奨励や保健師の指導については過去から実施しており、従業員の健康課題の把握をしていました。これに加え、働き方改革の推進を社長・従業員双方が取り組むことで、自発的に業務効率化をしていく仕組みを作りました。また、メンタルヘルスに対する取り組みについても、社長自らメンタルヘルス検定を受講し、従業員への検定受講を広げることで知識向上と社内環境整備へと繋げるようにしています。

働き方改革が利益向上へと繋がってきた。

週休2日制や業務効率化に取り組んだ結果、メリハリをつけて仕事ができるようになっています。結果としてストレスチェックの数値もよくなり、家庭内のコミュニケーションも向上、業務にも良い影響として繋がってます。また、現場の状況把握がしやすくなり、人員補充等迅速な対応も可能となってきております。働き方改革は業務時間を短縮でき、しかも工事内容の仕上がりもアップ、利益向上へ大きく繋がっています。

今後の展望

建設業界の担い手が少なくなっている今、特別なことをするわけでなく、健康経営で従業員を守り、しいては地域を守っていきたい。健康系経営は未来への投資として更なる取り組みを実施します。何事も感謝を忘れず、従業員、会社そして地域を守れる会社を目指していきます。

【保健師からの食生活セミナー】

【感染症対策】コロナ対策も万全です。

永舜建設株式会社

代表取締役社長
永井利昌 氏

「地域社会の発展、生活の向上」を実現するために社員と共に健康経営にも取り組みます！

- 代表取締役社長　永井利昌 氏
- 本 社 所 在 地　愛知県稲沢市
- 主な事業内容　建設業（土木・舗装・上下水道・建築工事）
- 従　業　員　数　20名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020 認定

「健康経営」取り組みのきっかけ

弊社は、1930年の創業以来、尾張地域を中心に各種整備事業を通じて、地域社会の発展と生活の向上に全力を注いで参りました。公共工事を行っているため、以前より県が推進するワークライフバランス実現や働く女性の活躍支援の取り組みには参画しておりました。
従業員の生活習慣の改善も会社の活力には必要と考え、それに関するセミナーにも機会があれば参加しておりました。此れまでお付き合いの無かったアクサ生命社員から「健康経営」をご案内いただいたこともあり、これからの時代、この取り組みも重要になると思い、協会けんぽへ「健康宣言」いたしました。

「健康経営」は無理のない取り組みから、スタートさせました！

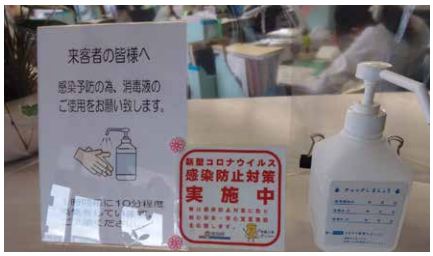
まず、運動機会の増進として通勤時の「自転車通勤」の奨励、ワークライフバランス実現の一助として導入していた民間ベネフィット制度の周知と活用を推奨しました。
昨年7月に実施した健康習慣アンケートの結果を受け、「朝食摂取率アップ」を図るため個々人への働きかけを行いました。また、「本社屋内全面禁煙」とし、PC立上げ時に禁煙を促す画面表示を工夫しました。毎月1回、協会けんぽからの医師コラム等の健康情報を全社員に配布。年2回、就業時間内に健康セミナーも開催しました。

全社員の「意識・行動」が、少しづつ変わり始めたことが分かりました。

本年２月実施の健康習慣アンケート結果では、会社の「健康経営」に対する熱心度への一定評価が得られました。一人一人への声掛けもあり朝食摂取率は大きく改善し、毎月の情報提供の効果で「飲み物」への意識が変わり、「こころの健康」、「睡眠」が改善されました。今年の優先取り組み課題は引き続き、「喫煙者」を減らすことです。健康づくり担当者が、粘り強く「外来禁煙」の活用を促進していく予定です。

創業100周年に向かって（今後の展望）

今後も＜社訓＞である誠意・創意・熱意をもってお客様や市場のニーズと期待に対応した土木構造物を提供し、品質マネジメントの継続的な改善によって顧客満足度の向上を目指していくと伴に、全社員が参加しての定期的な清掃活動等のボランティアを通じて地元・地域社会に貢献が出来るよう積極的に取り組んでいます。
その為に優秀な人材の確保・定着化を図ることは大事であり、「健康経営」も重要な取り組みのひとつです。生活習慣の改善で体力と免疫力を更にアップし、新型コロナウイルスに打ち克つ体制作りにも継続して取り組んでいきます。



愛知県「新型コロナウイルス感染防対策を実施する事業所」登録

全社員による定期的な地域清掃ボランティア活動

生活習慣に関する健康セミナー実施（就業時間内）

110

愛知県
春日井営業所

Voice Report 200th

株式会社オリエント・サービス

代表取締役
伊佐治俊尋 氏

「社員は宝、企業は人なり」だからこそ健康経営に取り組み従業員一同が幸せになれる企業を目指します。

- 代表取締役　伊佐治俊尋 氏
- 本社所在地　愛知県春日井市下条町1212番1
- 主な事業内容　一般貨物自動車運送業務
- 従業員数　190名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020(中小規模法人部門)認定

今後社員が定着し事業を拡大していくために健康経営の取り組みが必要と感じました。

以前、担当課長が取引先よりいただいた名刺に「健康経営優良法人」のマークがあったことがきっかけで気にはなっており調べたところぜひ当社に取り入れるべきだと代表取締役に提言をしたところ、「即刻、取り組もう。」ということになりました。そんな時にアクサ生命よりサポートの申し出もあり本格的に取り組むことが決まりました。

社員の生活習慣病が心配であり改善への取り組みを最重要項目としました。

健康診断の結果より生活習慣病のリスクが大きいと感じていました。ドライバーは運動不足になりがちであり、喫煙者も多くいることに対しまずはこの点を改善できるよう取り組むことが大事だと感じ社長と担当課長で話し合いアイデアを出し取り組むことにしました。運動不足解消に関しては休憩室にいくつかの運動器具を置き気軽に使用してもらえるようにしました。社内コミュニケーションを兼ねてボウリング大会も実施しています。

禁煙宣言に報奨金制度を設定、いきなりではなく段階を経ることで間口を広げ意識を高める。

禁煙宣言をした社員には報奨金制度を設定してサポートをしました。また、いきなり禁煙が難しいという社員には節煙からスタートして段階的に禁煙に取り組める施策も同時で行っています。多くの方に禁煙への意識が少しづつでも強くなっていけばとの思いがあるので、禁煙にチャレンジしやすい環境をつくっています。

感染症、熱中症対策にも力をいれています。

コロナウィルス対策もいち早く対応。なかなかマスクが手に入らない中、社長自らの人脈を使ってマスクを取り寄せて社員に配布することができ大変喜んでもらえた。また医療施設等で利用されている空気清浄液を使用して事務所、トラックの消毒を実施。希望者には無料で配布しています。熱中症対策に関しては危険喚起のメールを送信するとともに事務所に塩飴を常備しいつでも手にとれるようにしています。

今後の健康経営への取り組み

社員が長く元気に勤められる会社を目指して健康経営の取り組みをさらに推進していく考えです。具体的には「食」に対して知識提供をはじめ、偏った食事にならないように従業員の皆さんがバランスよく栄養を摂取できるサポートをする仕組みを会社全体で見える化して共有できる取り組みをする予定にしています。

健康器具が置かれた休憩室

株式会社高柳組

代表取締役社長
高柳　通 氏

「一本の釘にも誠意を込めて」の経営理念のもと地域を牽引。より元気な会社を目指し健康経営に取り組みます！

- 代表取締役社長　高柳　通 氏
- 本 社 所 在 地　愛知県春日井市
- 主な事業内容　総合建築業
- 従　業　員　数　34名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020（中小規模法人部門）認定

健康経営導入のきっかけ

もともと健康に対する関心が高く、新聞の記事で「健康経営」を知り当社も取り組みたいと考えていました。そんな中アクサ生命からサポートの話もありスタートを決めました。人手不足の中、より良い人材確保の為にも健康経営に取り組んでいるという会社のイメージアップにも繋がると考えました。

社員一人一人の健康がお客様への高品質なサービス提供へ繋がる。

中小企業は「人」が会社の命です。当社は34名中25名が現場監督で、健康状態がダイレクトに仕事へ影響を及ぼすと考えています。代わりの利かない大切な人材です。社員一人一人が心身ともに健康であることがお客様への高品質なサービス提供へ繋がると考えています。

社長自らの声掛けで健康管理の推進＋チーム高柳の団結力でコミュニケーションアップ！

健康診断は１００％受診し、社長自ら社員の受診結果に目を通し少しでも異常があれば声かけをしています。毎週血圧測定も行っており、2年続いて再検査になる社員はいません。若い社員を中心に春日井マラソンに毎年参加。チーム高柳を結成し参加しない社員も沿道で応援し盛り上げています。年1回の社員旅行もお楽しみ付きで全社員参加。この様に体力アップとコミュニケーションアップを図っています。

「安全第一」の職場だからこそ感染症対策は会社として出来ることは全て実行

熱中症対策には特に注意を払い、各現場にはウオーターサーバーを設置。塩飴を配ったり管理者からの声かけを徹底しています。コロナ対策にもいち早く取り組み、社員全員にマスクを1箱無償で提供したり手洗いなどの喚起をし毎日検温を行っています。インフルエンザの予防接種も会社全額負担で全社員が毎年接種する様に徹底し手洗いうがいを喚起しています。

今後の取り組みについて

今年は禁煙の推奨と食生活の改善に力を入れていきます。食生活に関するポスターを掲示し健康アプリを使用して運動・食生活の改善を図っています。いかに社員が気軽に楽しく参加出来るかを工夫しています。

社員はエレベーターを使用せず
社屋の螺旋階段で脚力アップ！

112

愛知県
春日井営業所

Voice Report 200th

株式会社リード

代表取締役社長
石田心也 氏

社長自らが禁煙に取り組み成功することで従業員へ健康経営の取り組みを意識してもらうことができました。

- 代表取締役社長　石田心也 氏
- 本 社 所 在 地　愛知県春日井市
- 主な事業内容　シートカバー開発・販売・リース
- 従　業　員　数　190名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020(中小規模法人部門)認定

健康経営導入のきっかけ

主な顧客がタクシー会社であり関連取引先には高齢者が多い状況でした。そこでまず当社が健康で元気になり取引先にもいい影響をあたえられるようになりたいと考えたことがきっかけでした。その為にも社長自ら禁煙を実行し、社会的にも会社が健康作りに対し評価を受ける事が必要と感じていました。

課題の飲み物に対する意識も改善

さらにアンケートの結果で一番の課題であった飲み物に対する意識を変えるために自販機のメニューの多くを無糖・低カロリーに変更、またカロリーを把握できるようカロリー表示をしました。そうすることで徐々に0カロリー飲料の購入者が増えて意識を高めることができました。

運動に無関心な従業員、流しているだけのラジオ体操、ここからの改善

アンケートより運動に関し無関心層が60%もいました。また毎日ラジオ体操はしていたが流しているだけの状況であったので幹部社員からしっかりと取り組み、時には注意もし、体をしっかりと動かし意味ある運動として実施するようにしたところ徐々に雰囲気も変わり活気ある一体感のある体操へと変わっていきました。

優良法人認定を目指す中アクサのサポートが大変役立ちました

取り組みを推進していく中いきづまることもあり、進め方で揉めてしまうこともありました。そこにアクサ生命の担当者よりサポートの話をいただきアドバイス、付帯サービスの提供で認定を取得することができ大変感謝しています。今後もタッグを組みさらに健康経営を浸透させていきたいと考えています。

ある時従業員より自転車通勤の要望が・・・

健康への意識が徐々に高くなってきたと感じたのは従業員より車通勤から自転車通勤に変更したいとの声でした。要望に応えるべく、もともとあった駐輪場では手狭なため増設することにしました。そうすることでさらに自転車通勤をする方が増えていき運動の増進を図ることができています。

従業員の要望で増設した駐輪場

113

愛知県
知多営業所

エバー株式会社

代表取締役社長
吉田幸隆 氏

「全社一丸！One For All　All For One」
経営理念　「創造・追及・安心」　安心を健康経営で実現！

- 代表取締役社長　吉田幸隆 氏
- 本 社 所 在 地　愛知県常滑市
- 主な事業内容　金属加工・プレス・金型製造
- 従　業　員　数　109名（男性84名、女性25名）

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020 認定企業

従業員の健康を守ることは会社の責任、従業員が健康で永く働ける会社を目指してスタートしました。

数年前従業員が病気で死亡退職したことがあり、会社として従業員を守ってあげられなかったとの強い思いを持っていました。それ以来、従業員の健康管理には十分注意を払っていたものの、具体的な健康施策を踏み出せずにいました。アクサ生命から健康経営の提案を受け従業員の採用・継続雇用にも課題があったため健康習慣Webアンケートで従業員の思いを聞くことからスタートしました。

従業員の健康が会社の将来を決める！従業員の家族も応援したくなる会社を目指す！

従業員が元気で活き活きと長く働くためには家族の支援が不可欠。家族も応援したくなるような施策を実行することで従業員のモチベーションアップに繋げることを始めました。①定年延長　60歳から65歳へ②個別評価を加味した退職金規定の改定③社内報で従業員の仕事ぶりや取り組みを家族へも紹介④屋外喫煙所の設置⑤女性専用休憩所の設置⑥健康経営サポートパッケージの周知

従業員自らが自主性と主体性をもって職場環境の改善に取り組み始めた！

健康経営の取組効果として、従業員自らが自主性と主体性をもって職場環境の改善に取り組み始めました。ITを活用することで、作業負荷・精神負荷の軽減等効果が表れています。
また健康習慣アンケートの結果を踏まえ、禁煙促進・自販機の入れ替え、食事情報による健康啓蒙等意識改革も進みコミュニケーションの促進も進みました。

健康経営を通じてリクルート効果を高め、入社したいと思われる企業になる。

中小企業の採用はここ数年厳しさを増しています。
わが社に興味を持っていただいた応募者・そして入社した従業員には健康経営を通じて永く働いて欲しいとの思いを伝えています。

入社面接に来た学生を
招き猫が出迎え（常滑焼）

今後の展望・取り組み

『 情熱をもって挑戦・行動し、感謝し、感謝される会社 』を目指し、ベテランから若手まで誰もがやりがいを持ち活躍できる場を提供する会社でありたいと考えています。
従業員の将来を見据え、充実したライフプランを実現すべく　そこにエバーが寄り添えるよう努めてまいります。

喫煙環境についてのインタビューの様子

職場環境改善Mtg

健康経営から派生する
取組事例

コミュニケーションの促進（セントレア空港）

114

愛知県
知多営業所

Voice Report 200th

株式会社ニシテ商会

代表取締役
西手　保 氏

「人を大切にする会社！」　パーソナルトレーニング・食育・メンタルケアから支える健康で働きやすい職場づくりを！

- 代表取締役　西手　保 氏
- 本社所在地　愛知県名古屋市
- 主な事業内容　一般貨物運送事業
- 従業員数　18名

健康経営推進
西手隼人 氏

健康経営優良法人 2020認定
中小規模

健康経営優良法人
2020 認定企業

お客様には満足を！　社員には働く楽しさを！
健康経営でオンリーワンの会社を目指す！

平成23年株式会社ニシテ商会開業。当初は家電や建材の配送などを行い、長時間労働もなんのその的な経営を行っていました。その結果、厳しい環境で働いていてくれた従業員対しても良い環境を与えてあげられないでいました。今後、会社の成長と従業員の満足度を高めるためには、「従業員が誇りを持てる会社」にすることが必要であると感じ、そのために健康経営を取り入れることに致しました。

会社が従業員の心と身体をサポート！
毎年進化を続ける健康経営の取り組み！

健康経営の取り組みも他社にはないやり方を目指し、従業員のメンタルサポートのため、物流経営士・家族療法カウンセラー・チャイルドカウンセラー・上級心理カウンセラー等の資格を取得しました。また体力面の健康づくりのため本社2階に本格的なトレーニング機器を設置し、専属トレーナーの指導の下、従業員各個人向けのプログラムを作成しパーソナルトレーニングを実施することで健康意識の高揚を図っています。(従業員の家族にも開放)

また健診結果と真摯に向き合うために保健師・臨床心理士・栄養士等の専門家との「専門家に叱られる会」を毎年開催し、従業員自身の健康に対する意識改革も行っています。

気持ちの良い職場が良い職場につながる！
元気に働く従業員の声！

「気持ち良い職場」が「良い仕事」につながることを信じて、如何に気持ちよく働ける環境を整えるかを常に考えています。
K社員：プライベートが充実、旅行が趣味になりました
I社員：子供の行事・家族を優先できる会社
H社員：働きやすさは断トツ！社内イベントが充実
I社員：一言　ユカイな会社！

今後の展望・取り組み

健康経営を実践することで従業員が生き生き働けるようになり、その結果、顧客との信頼関係も高めることができるようになりました。今後は自社の健康経営に留まらず、社会への取り組みも積極的に行って参ります。2018年の西日本豪雨時にはJAと連携して野菜を被災地へ輸送したり、Make-A-Wishと呼ばれる難病と闘っている子どもたちの夢を叶える為の募金活動への参加等、ボランティア活動にも社員一丸となって積極的に取り組んでいます。
今後も社員と共に心を込めてお客様にサービスの提供を続け、成長し続ける会社づくりを。　そして社員には働く事の面白さや充実感、幸せを感じてもらえる会社づくりを常に目指して参ります。

115

愛知県
知多営業所

協和工業株式会社

代表取締役社長
鬼頭佑治 氏

企業理念「よろこびと生きがいの実現」を目指して健康経営に取り組む

- 代表取締役社長　鬼頭佑治 氏
- 本 社 所 在 地　愛知県大府市
- 主な事業内容　ユニバーサル・ジョイントの製造
- 従　業　員　数　160名（男性109名、女性51名）

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020 認定

企業の永続的な発展と従業員のウェルビーイング実現のために

大手企業も立地するモノづくりの盛んな地域だけに人材獲得競争も厳しい。そんな中でユーザーにとって魅力のある製品を作り出すこと。従業員にとっても魅力ある職場を作り出すこと。職場環境の改善を続けることが結果として企業の永続的な発展につながる。SDG’ｓの精神そのものだと思っております。そして、地元からだけではなくグローバルに人材を求めておりベトナム・タイ・ミャンマーの方を採用しております。

健康経営は職場改善の取り組み お客様のご要望に応えていくために

ユーザーのもとに高品質な製品を早くお届けすることは企業の責務です。そのために、常に改善に取り組んでいます。また、工場内はキープクリーンを実現。機械や道具についても調整・修理・改善は自前で取り組んでいます。従来、男性社員の力仕事であった作業や工場内のフォークリフト作業を撤廃して力の弱い女性でも働ける環境を実現しています。近年では女性社員の採用に力を入れております。ウーマノミクスに取り組んでおります。

健康づくり都市宣言の企業だからこそ

愛知県大府市は、昭和62年3月に「健康づくり都市宣言」をしました。平成18年には、さらなる世界基準の健康都市を目指してWHOの提唱する健康都市連合に加盟しています。市民の健康増進について市が中心的な役割を果たし、地元中小企業勤労者の健康増進について商工会議所が推進役を果たせるようにスクラムを組んだ取り組みを展開してまいります。そのような中で商工会議所の会頭企業として地元をリードしてまいりたいと思っております。

健康保険組合と連携して進める健康経営

愛知県鉄工連合会の会長を務めさせていただいております。そのような観点からも従前より勤労者の健康増進には少なからず関心を寄せておりました。この地域の産業を支える勤労者とその家族が元気であることは地域発展の礎であると思っております。愛鉄連健康保険組合には保健指導をしっかりと行っていただいており健康経営を支援していただいております。

今後の展望　社員のQOL向上

IoTの導入を積極的に取り組んでいます。これらの先進的技術は従来人手を介して手間のかかる作業を劇的に改善し、時間短縮や作業効率を高めております。さらにシステム化、自動化等の改善を進め、現在は昼夜交代制の勤務体制ですが、将来的には夜勤を廃止して昼だけの勤務体制とすることを目指しています。全社員のQOL改善を目標として取り組んでおります。

「2019大府市健康プログラム」に社員17名が参加。
チーム「スマイリング　シニア　キョウワ」が、チーム５位、
個人２位の成績で表彰される。

自動車のステアリングシャフトや農機具に使用される
ユニバーサル・ジョイントです。

116

愛知県
小牧営業所

Voice Report 200th

株式会社ルナクラフト

代表取締役社長
沢田研一 氏

「社員一人一人の将来の目標や夢に向かって、共に歩む」ことで社員のモチベーションアップ！！

- 代表取締役社長　沢田研一 氏
- 本 社 所 在 地　愛知県江南市上奈良町神明125番地
- 主な事業内容　設計技術者派遣・3Dプリンター製造販売
- 従　業　員　数　36名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模

健康経営優良法人
2020 認定

設計技術者である社員はストレスを強く感じているため、健康経営に取り組む必要を感じました。

弊社は自動車メーカーに設計技術者を派遣していますが、派遣先の要望との板挟みでストレスを抱えている社員が少なくなかったため、今までもメンタル面での健康管理に注力してきました。
健康経営に取り組むことで、「心の健康」から禁煙や普段の飲食物といった「体の健康」にまで、踏み込むことができました。

「心の健康」「禁煙」を当面の課題として取り組むことで、少しづつ行動変容と課題解決につなげた。

「健康習慣アンケート」で「心の健康」と「禁煙」に対して関心が低く、日頃のストレスに起因するものと考え、ストレス負荷を軽減するため、時差出勤や有給休暇の取得を促進することで、メンタル面でいい方向に進んでおり、体調不良者も少なくなっています。
禁煙は派遣先のメーカーでも厳しくなっており、職場・派遣先を通じて禁煙が浸透することで、喫煙者率が10％低下しました。
今後は飲物に対する行動変容を促していきます。

社員一人一人に将来の目標や夢を立てさせることで、それぞれがあるべき姿に向かって動き出した。

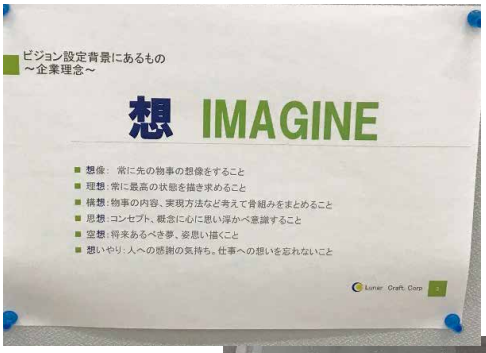
当初は人事評価の一環として取り組んだことですが、社員一人一人の将来の目標や夢を、社長と共有することで、社員個々のモチベーションアップにつながり、自主的にスキルアップを行うことで、取引先からの信頼を高めています。
スキルアップしている社員はチームを組んで、取引先からの仕事を行うことができるようになり、派遣ではなく委託請負での仕事にまで信頼が高まっており、収益面でも大きく貢献してくれています。

新入社員の育成に力を入れることで、先輩・後輩の絆も強くなり、社員の定着につながっている。

元々弊社は、この業界にしては定着率が高い方でしたが、技術職の育成には3年以上かかるため、一人前の技術職になるまで先行投資として育成に取り組んでまいりました。
ここ数年毎年5～6名の新卒者を採用しており、技術を確実に身に着けさせるための育成が、経営として大きな課題でしたが、社員の業務の役割分担を明確にすることで育成の成果につながっています。

壮大な夢に向けて

弊社の企業理念「想　IMAGINE」を基に、人への感謝の気持ちを持ち、仕事への想いを忘れず、想像・理想・構想・思想・空想により物事のあるべき姿を思い浮かべながら仕事に取り組んでいます。
その理念から３Dプリンター製造の事業部を作りました。
将来的には車1台の設計を請け負えるだけの技術者集団を創り上げたいと思っています。壮大な夢ですが・・・



117

愛知県
岡崎営業所

Voice Report 200th

アクティブ株式会社

代表取締役社長
市川清英 氏

産業医をフル活用する体制で社員の健康を守る

- 代表取締役社長　市川清英 氏
- 本 社 所 在 地　愛知県岡崎市坂左右町
- 主な事業内容　一般貨物自動車運送
- 従　業　員　数　58名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020 認定

社員の健康を第一に地道に取り組んできました

運送業という業種がら社員の健康管理はとても重要で、健康診断はもちろんのこと、最新の健康測定器を導入したり、インフルエンザの感染症対策、食生活に関しても情報提供を強化し社員の健康管理をしっかり行ってきました。そのような中、社員が50名を超えたため安全管理者・衛生管理者の設置が必須となり、また産業医も選任し委員会を通じて社員の健康管理をさらに強化することになりました。

産業医をフルに活用する体制に

産業医に毎月の安全衛生委員会へ参加して頂き、毎回情報提供を行ってもらっています。例えば直近ではコロナや熱中症対策など、専門家の立場でアドバイスをいただき社員全体に情報共有を実施しています。健康診断の結果をもって産業医と面談し、アドバイスを受けるので再受診を受けるにもハードルが低くなりました。たまたま産業医が近隣にあり、体調不良の社員は即座に受診できるなど以前と比べものにならない程体制が整ったと感じています。

組織は自らの言葉で伝え伝わることが基本

委員会で話しあわれた内容は文書で回覧するだけでなく、委員会のメンバーが直接社員に語りかけ、腑に落ちるまで何回でも話すよう組織として心がけています。口頭で伝えることがまさに社員自身の気づきにもつながり、社内のコミュニケーションの向上と活性化につながっています。

さらなる取り組み

その他の取り組みとして、花粉症や食中毒などの健康情報の提供、乗務前のアルコールおよび血圧のチェック、運動不足解消のためのストレッチなども実施しています。さらには強制ではありませんが会社負担での無呼吸症候群の簡易検査なども行って病気の予防につなげております。こうした取り組みを実施することにより社員の会社への信頼度が高まり、社員の定着にもつながっています。

今後の展望

数年前熱中症で体調不良になった社員がおりました。同じようなことを防いでいくためには、社員の知識のレベルをさらに高めていく必要があると痛感いたしました。そのため産業医を積極的に活用する体制を継続し、社員一人一人の健康意識を高めるための施策を増やし、より良い職場を実現していきたいと考えています。

社屋

血圧計

検温計

118

愛知県
豊橋営業所

Voice Report 20th

株式会社マイシン

代表取締役社長
辻　直樹 氏

女性が輝く職場で健康経営を実践、働きやすい環境を実現しています!

- 代表取締役社長　辻　直樹 氏
- 本 社 所 在 地　愛知県豊橋市神野新田町
- 主な事業内容　運送業
- 従　業　員　数　183名(男性:133名、女性:50名)

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020 認定

「答えは現場にある」をモットーに社員目線の経営で働きやすい職場作りを目指しています！

運送業は慢性的に人手不足でドライバーの確保が課題です。社長自身が元ドライバーで社員の考え方や悩みが良くわかり、「企業は人なり　人づくり　会社づくり」という社是のもと、働きやすい職場作りに取り組んできました。その延長線上にあったのが健康経営で、その実践を通じて社員の採用や定着に成果が出ています。

健康経営のスタートは感染症(インフルエンザ)対策から

７年前インフルエンザが社内で流行し、複数のドライバーが出勤できず業務に大きな支障が出てしまいました。そこで全社員のみならずご家族も含め全額会社負担で予防接種を実施することに。ご家族のバックアップがあってこそ働きやすい職場になる取組の一環として継続しており、大変喜ばれております。

社員とのコミュニケーションを通じ健康管理を実践

コミュニケーションを促進する取組として、経営方針発表会を開催し、全員が同じ目標に向かいます。そして必要性を共有のうえ、各種取組をスタート。休憩室での喫煙は禁止し、補助金を活用して冷暖房完備の喫煙所を設置。トラックも禁煙です。利用者はまだ少数ですが、禁煙外来に通院する社員の費用は全額会社で負担しています。また安全優先の業種柄、45才以上の社員には会社負担で毎年脳ドッグを受診してもらっています。

女性の働きやすい職場が良い職場

社員は全員正社員での採用。ワークライフバランスに配慮した勤務体制をとっています。育児や学校行事等でも有給休暇が取得しやすいよう、誰が休んでもカバーできる体制となっており、女性が働きやすい職場を実現しています。現在女性ドライバー(トラガールといいます)は33名おり24%の割合です(業界平均は2.4%)。トラガールの活躍推進企業として国土交通省や県からも表彰を頂いております。女性が多いことから、社内の雰囲気も大変明るく活力のある職場になっています。

健康経営とともに会社も成長していく

健康経営を実践し良い職場作りをしていくことで社員の満足度が高まり、社員の平素の言動やマナーが向上し、それが顧客に評価されて会社の成長に繋がるという良い循環が生まれています。今後も社員目線の取組を継続し、「マイシン」流健康経営をさらにパワーアップさせてまいります。

活力を生み出すトラガール勢揃い

119

愛知県
豊橋営業所

Voice Report 200th

株式会社サンコー

代表取締役社長
杉浦多恵 氏

「健康志向」の商品を提供する企業であるからこそ社員の健康つくりに真摯に取り組む

- 代表取締役社長　杉浦多恵 氏
- 本 社 所 在 地　愛知県豊橋市神野新田町
- 主な事業内容　菓子製造
- 従　業　員　数　21名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模

健康経営優良法人
2018～2020 3年連続認定

おいしさは社員の健康があってこそ

「おいしさは自然のやさしさ」をキャッチフレーズに、国内産原料にこだわり合成食品添加物不使用や素材の味を活かした美味しさなどを柱として、バウムクーヘン、スナック類、ビスケットなど健康志向のお菓子を提供してまいりました。その健康志向のお菓子が皆様の幸せに繋がることを願う社員自身が健康でなくては本末転倒、社員の一人ひとりが健康であってこそ初めて健康志向菓子を創ることができるという潜在的な想いがありました。

健康経営を知り前向きに「健康」とむきあうことに

協会けんぽの紹介で健康経営と健康経営優良法人の取り組みを知った途端、潜在的な想いが言葉になりました。「いま一度、社の体制を見直し、前向きに『健康』と向き合おう」。それまでは社員の健康に十分目をむけていたとはいえず、業界内で差別化を図るうえでも絶対に必要だという想いが確信に変わっていきました。取り扱うお菓子の特色と社員が健康であることの整合性からも必然を感じました。

社長自ら、社員とのコミュニケーションを十分にとり取り組みを周知

まずは、これまで漫然と行っていた健康診断について、コミュニケーションを十分とって必要に応じて再受診を奨めることとしました。また社員による手作りの社員旅行を実施し、慣例的におこなっていたコミュニケーションの場を刷新しました。昼食もグループごとにとっていたものをシャッフルし、自然食素材のお弁当を会社で用意し異なったメンバーで食べることで更なるコミュニケーションの促進に繋がりました。

健康経営により社員の意識に大きな変化が

分煙の取り組みや、協会けんぽに講師を依頼し生活習慣病の予防や、健康的な食事のとり方などのセミナーを実施。これらの取り組みを継続しておこなってきたことで、社員一人ひとりの健康に向き合う意識がレベルアップ。朝食をより体に良い食事に変える社員が出たり、再受診をする際にも心のハードルが低くなったと感じています。

社員の健康を守る会社つくり

今後は全社員への健康意識の浸透をより図り、社員目線で自発的なアクションが湧き上がるような社風づくりをしていきたいと想っています。会社は人生の多くの部分、時間を担う場であります。その貴重な時間をお預かりする以上健康面のサポートを続けていくのが一つのミッションです。この「健康経営優良法人」制度との出会いをよい機会とし社員の健康を守っていける会社を目指します。

2020
健康経営優良法人
Health and productivity

認定証
（中小規模法人部門）

法人名　株式会社サンコー

貴法人は、従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践する「健康経営」の取組が優良であると認められました
よって、ここに「健康経営優良法人 2020（中小規模法人部門）」として認定します
経済産業省及び厚生労働省と共に、今後一層取組を推進されることを期待いたします

2020年3月2日

日本健康会議

“2018年11月23日・24日
社員旅行の写真”

120

愛知県
豊橋営業所

Voice Report 200th

蒲郡商工会議所

会頭
小池高弘 氏

健康な地域社会を創造し、働く人の健康づくりを推進する！

- 会　　頭　小池高弘 氏
- 本 社 所 在 地　愛知県蒲郡市港町
- 主な事業内容　総合経済団体(1660会員 令和2年3月31日現在)
- 従 業 員 数　16名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
(中小規模法人部門)
2017～2020 4年連続！

アクションプランに掲げ、積極的に推進

当会議所では、長期ビジョン(2016年～2025年)「蒲郡INNOVATION　HUBを目指して」を制定。産業競争力を高める施策の一つとして、「ヘルスケア産業の創出」をアクションプランに掲げ、働く人の健康づくりを推進している。
協会けんぽ愛知支部・蒲郡市及び会議所の３者で連携(蒲郡モデル)し、同行訪問するなど健康宣言を勧奨、健康宣言企業１００社の目標をクリアした。

健康経営優良法人認定のサポート

「健康宣言」をした企業については、その先にある「健康経営優良法人」の認定支援を行っている。
健康経営アドバイザー資格を有する職員が会員事業先を訪問し、各企業にあった取り組みを一緒に検討している。
この結果、2017年4社であった優良法人が2020年には、大規模法人1社を含む20社まで拡大した。
※認定支援にはアクサ生命健康経営アドバイザーの協力もいただいた。

広域におけるプロジェクトリーダーの役割

東三河広域経済連合会(３商工会議所、１１商工会で組織)の中で、健康な地域社会創造プロジェクト委員会を主催(小池会頭が委員長)している。
健康経営セミナー、健康デザインフェスなどを毎年実施し、広域での健康経営の普及・啓発に努めている。
こうした取り組みが評価され、平成30年3月に日本商工会議所事業活動表彰を受賞した。

コロナウイルス対策として

コロナウイルス感染症対策として、マスクの配布、時差出勤、在宅勤務の導入など職員の健康に配慮した取り組みを実施している。
また、会員事業先に対しＢＣＰ計画の一環として、地震・津波に加えて感染症対策についてセミナーを行うこととしている。

会議所自身の取り組み

出来ることから取り組むこととし、毎月1回全員参加でヘルシーランチ会を開催。健康に関する情報交換など職場内のコミュニケーションの促進を図っている。
この他にも、感染症予防として、インフルエンザの予防接種に対する補助や事務所建物内にアルコール消毒液を設置するなど感染症予防・拡大の防止を図っている。
また、自己啓発の観点から職員8名が健康経営アドバイザー資格を有している。

健康経営優良法人2020　蒲郡市から新たに13社。
合計20社!!

121

愛知県
豊橋営業所

Voice Report 200th

豊田東海警備グループ 豊田東海警備株式会社・日本信託警備株式会社

代表取締役
梅田重則 氏

求職者そして地域から選ばれる企業となるために健康経営を実践

- 代表取締役　梅田重則 氏
- 本社所在地　愛知県蒲郡市元町
- 主な事業内容　警備業
- 従業員数　グループ合計430名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020 認定

人手不足だからこそ、健康経営の必要性を痛感

一人ひとりが健康管理を意識していきいきと働くことは、業務サービスの質を高めることになり、顧客からの信頼を得ることができますし、企業のイメージアップにつながると考えています。それを後押しするため会社として様々な取り組みを実施してまいりました。厳しい人手不足のなかで健康経営に取り組むことが採用活動につながることはもちろんのこと、社員が活き活きと働き定着化することで残業削減を実現し、長時間労働の撲滅にも繋がっています。

健康経営を地道に実践しています

全社員の健康診断による体調面での課題把握はもとより産業医が毎月来社し健康不安を感じる社員は個別に相談できるようにしています。メンタルケアに向けてストレスチェックを行うほか、「三河湾健康マラソン」などの健康関連の地域イベントに社員とご家族が積極的に参加しています。こうした取り組みを重ねて昨年8月に蒲郡市の「健康づくり推進優良事業所」に選ばれ表彰を受けました。

トレーニングルームで交流

さらに昨年10月蒲郡本部４Fに90㎡のトレーニングルームを開設。ランニングマシンやエアロバイクなど老若男女が使いやすい健康機器を設置し、24時間全社員がカードキーで自由に利用できる体制になっています。警備員や内勤者などそれぞれ勤務時間が異なりいつでも体を動かせる環境を作ることが大事と思っています。シャワー室や休憩室も備えており、社員からは「勤務のあとに汗を流すと心地よく帰宅できる」「これをきっかけに体力づくりを始めた」など嬉しい感想が出てきています。

コロナにも負けない

弊社もイベント関連の警備が激減するなど業務面での打撃をうけていますが、社員の感染防止と日常生活への影響を最小限に抑えるべく努力を継続しています。社員自ら本部事務所で手作りマスクをつくり社員に配布したり、できるだけ衛生的にマスクを利用するためマスクシートやマスクケースを大量に購入、顧客にも配布しています。また社内の衛生管理を徹底して行っており、本格的な消毒作業により気分一心爽快に仕事に取り組んでもらっています。これからも対策を万全にして大切な社員を守っていきます。

健康経営を継続し求職者からそして地域から選ばれる企業に

若い求職者は今までと異なった観点で企業を選んでいます。健康経営を地道に継続するとともに、トレーニングルームなどを「企業のPRポイント」としてうまくアピールしていきたいと考えています。また地域貢献活動の一環として開催している小学校での防犯教室などを通じて、地元の人々から関心を持ってもらい「健康経営に取り組む地域に密着した企業」として採用活動へのプラスにしてまいります。

左：弊社トレーニングルーム
右：2019年10月に開設したトレーニングルームで汗を流す社員

122

愛知県
安城営業所

Voice Report 200th

株式会社玉井設計・玉井建設株式会社

代表取締役社長
玉井秀一 氏

人々の生活を造り同時に社員の健康を造る

- 代表取締役社長　玉井秀一 氏
- 本 社 所 在 地　愛知県安城市住吉町
- 主な事業内容　建築設計・建設
- 従　業　員　数　27名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020 認定

社員の健康が第一の経営を目指す

「建物を造るだけではない　人々の生活を創造する」を理念として建築設計を業とする弊社は、海外プロジェクト等出張も多く経営者として健康であることの重要性を身にしみて意識していました。社員の健康作りに目を向けてみると、自らの健康管理に努めてもらうための定期健康診断は受診率100％を達成できていたものの、再検査や精密検査の受診率は低く、特別な健診も実施できておりませんでした。

社員の健康つくりのために様々な取組を実施

業務が忙しく、再検査や特別な検査に割く時間がとりにくい状況がありました。そこで社員との個別面談を実施し、受診勧奨に力を入れ受診率は向上、コミュニケーションも図れました。
55才以上社員には健康診断時に脳ドック健診を実施し、また事務所内にドリンクサーバーを設置し糖分の無い水お茶、紅茶など季節により内容を変更して提供しています。感染症予防としてインフルエンザの予防接種も勤務時間内に会社負担で実施しています。

「健康経営実践」はまず課題把握から

そんな折、健康経営の取組を知り、弊社によりマッチした健康作りに取り組める内容であったので、健康経営優良法人を目指すことにしました。まずは新たな健康課題を把握するため外部機関の生活習慣アンケートを実施いたしました。結果は運動不足の社員が多いこと、ストレスを抱える社員が多いことがわかり課題解決の取組をスタートさせました。

さらに様々な取組を実施していく

運動不足解消のため室内トレーニングの機器を多目的エリアに設置し、自由に利用できる環境にしています。ストレス解消については、メンタルヘルスの相談窓口を設置し、今後はワークライフバランス改善の取組にもチャレンジしてまいります。

大切な社員とその健康とともに会社も成長していく

生活習慣アンケートは社員の思いをしっかり確認することができ、生活習慣上の課題を共有できる有意義なツールです。経営の立場からも健康経営の意識が高まりました。毎年決まった時期に実施することで改善も可視化できますので、今後とも活用してまいります。社員が日頃から健康を意識すること、それを継続していくことが会社の活力をうみだし成長につながるという信念のもと取組を継続してまいります。

玄関窓口に健康経営優良法人認定証

株式会社三エスゴム

代表取締役社長
坂田裕昭 氏

「安全・安心・信頼」をモットーに従業員の健康促進をサポート

- 代表取締役社長　坂田裕昭 氏
- 本 社 所 在 地　三重県四日市市新正2丁目5-17
- 主な事業内容　卸売・小売業
- 従　業　員　数　36名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2019・2020 2年連続認定

女性が活躍できる職場環境の整備

社員の健康診断や保健指導の受診を促進しており、女性特有の検診費用も会社負担としています。また、2019年度からは、生理休暇や母性健康管理のための休暇を整備するなど、女性の特性に寄り添った就業規則の改定を行い、女性社員が活躍できる環境整備を行っております。

食生活改善と運動機会の増進

①従業員の健康を考慮した宅配弁当のメニューを提示
（食品安全マネジメントシステムの認証取得）
宅配弁当の利用により、栄養のバランスを整えたり、メニューを提示することで個々の食生活と比較し、見直し・改善を促しています。
②飲料用ミネラルウオーターの設置
飲み水の安全性を確保し、いつでも水分補給できることで熱中症の予防にも役立っています。
③毎朝、全員でラジオ体操
運動機会の増進とコミュニケーション促進を図っています。

新型コロナウイルス対策（従業員のために）

以前より、社員食堂などに手洗い石鹸や消毒剤ハンドジェル、アルコールを設置しておりましたが、新たなコロナ感染症対策として消毒作用の高い石鹸やペーパータオルを加えるとともに、洗面所にはうがい薬を設置しました。また、出社前の体温測定を義務化するとともに、従業員に厚生労働省のコロナ注意項目や県内各市の相談窓口の資料、咳エチケットのポスターとマスクを配布しました。

新型コロナウイルス対策（従業員とお客様のために）

三重とこわか健康経営カンパニー2020に認定されました。
該当年度の認定法人が活用できる補助金を有効活用。
タイヤ交換時にハンドルカバー・シートカバーを使用。
これにより従業員・お客様のコロナ感染対策として実施中。

みえの輝く女子プロジェクト会員登録証

コロナ対策で従業員にマスクの配布
感染予防対策実施

ハンドルカバーとシートカバーでコロナウィルス感染予防実施

従業員の心身の健康こそが真の健康経営

社員１人１人が健康で活き活きと働ける環境を作ることこそが「健康経営」と考えます。今まで取り組んできた健康経営の取り組みを継続するとともに、従業員からの意見やアイデアを積極的に取り入れることにより、従業員の健康意識の向上に繋げていきたいと思います。

124

三重県
桑名営業所

Voice Report 200th

株式会社大島水道

代表取締役社長
大島元秀 氏

人財こそ企業継続や発展に欠かすことのできない財産

- 代表取締役社長　大島元秀 氏
- 本 社 所 在 地　三重県桑名市
- 主な事業内容　水道工事業
- 従　業　員　数　3名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模

健康経営優良法人
2019・2020 2年連続認定

社長の病気がきっかけで従業員の健康増進にも関心を持つように

2014年の創業直後に社長が急病で倒れて会社存続の危機に見舞われたことがあり、「健康あっての仕事」ということを痛感しました。従業員が一人欠けても仕事が回らなくなるリスクを少しでも避けるにはどうしたらいいのかを考えて取り組んだのが健康経営です。

「健康」をキーワードにコミュニケーションアップ

毎朝、仕事始めに社員みんなでコミュニケーションする時間を作っています。体調のすぐれない社員には野菜ジュースを提供したり、その日の健康状態を確認しながら仕事内容を決めています。和気あいあいとした時間を作ることでモチベーションが高まり、仕事の効率がよくなりました。

大切な社員にはいつまでも健康で働いてほしい

当社は社員3名の小規模な会社です。ですから一人一人がとても大切な人材になります。会社としては「健康」への取り組みを第一に考え、予防接種の全額負担やコロナ対策でマスク1箱配布など、健康に対する福利厚生に力を入れて安心して仕事ができる環境を整えました。

健康アプリの導入や体重計の設置で環境整備

健康経営に取り組むようになって社員一人一人の健康に対する関心度は上がっています。プライベートでも使えるように万歩計にもなる健康アプリを導入し、事務所内に体重計を置くなど、体を動かすことに関心をもってもらえるような仕掛けを用意しました。

自社作成の情報誌「けんこうレポート」を毎月配布

健康への関心を深めるために、毎月5日に「けんこうレポート」という自社作成の季節に合った健康情報紙を従業員に配布しています。家に持ち帰って家族とも同じ情報を共有し、公私ともに健康への興味・関心を持ってもらえたらという願いを込めて作成しています。

毎月作成・配布している「けんこうレポート」

125
三重県
津営業所

株式会社アオキエンジニア

代表取締役社長
青木健二 氏

「健康経営」で一人ひとりが長く働ける会社に

- 代表取締役社長　青木健二 氏
- 本 社 所 在 地　津市稲葉町460番地５
- 主な事業内容　金型設計・製作
- 従　業　員　数　20名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020 認定

運命的な
健康経営との出会い、そして使命感

ここ数年健康診断の結果でメタボや各項目の数値が悪く保健指導の対象となる社員が増えてきました。
従業員の健康課題を気にし始めたころアクサ生命の健康経営アドバイザーから健康経営の取り組みの紹介があり「やらなければ」という使命感を感じました。
まさにグッド・タイミングでした。

「食生活」と「働き方」を改善

健康経営の取り組みを考える中では健康経営アドバイザーとお互いに意見を出し合いながら考えました。
その中で重視したのが「食生活」と「働き方」の部分でした。
食生活では栄養が偏りがちだった昼食弁当を「低カロリー」で「野菜豊富」なヘルシー弁当に変更しました。また、社内の自動販売機は体脂肪を減らすのを助ける特定保健飲料を差額を会社が負担し他のものと同価格で導入しました。
働き方では週一の「NO残業デー」、11時間以上のインターバル勤務を導入。残業時間の削減は収入減を不安視されることを懸念しましたが、「子ども手当」を増額することで解消することができました。

従業員の意識・行動の変化を実感

健康経営アドバイザーに実施してもらった「健康習慣セミナー」はかなりインパクトがあったようです。
また、アクサ生命から提供されている「無料アプリ」を使っている社員が徐々に増えてきました。

健康経営＝従業員の意欲向上

健康意識の高まりや働き方の見直しにより業務効率UPにむけて、より意欲が感じられるようになりました。
その一つに「従業員からの自主提案」が多くなりました。
「時差出勤」も従業員からの提案で実現しました。
また、運動を始めてみたいという社員も増えてきましたのでその後押しとなるよう「ウォーキング」を推奨し「健康グッズ」と交換できるポイント制度の導入を検討しております。

従業員の健康ともに躍進する企業を目指す

物づくりに必要な技術者を育成するのは時間がかかります。
しかし習得した技術は高齢になっても活かし続けられます。
そのためには「心身ともに」健康であることが必要不可欠であり最も重要であると考えます。
今後も従業員の健康に支えられ躍進を遂げる会社でありたいと思います。

2019年11月17日健康セミナー実施
講師はアドバイザーの柴原さん、後藤さん
テーマは「3つの健康について」

126

三重県
津営業所

有限会社小林組

代表取締役社長
小林　司 氏

自然災害から地域を守る
目指せ！健全経営＝健康経営

- 代表取締役社長　小林　司 氏
- 本 社 所 在 地　津市白山町川口5074－5
- 主な事業内容　土木工事業
- 従　業　員　数　34名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模

健康経営優良法人
2020 認定

社員の健康＝会社の健康（発展）

アクサ生命担当者の方から昨年9月に実施された津商工会議所「健康経営センナー」に誘っていただきました。
その方も健康経営アドバイザーの資格を持っており経営に役立つとのことでした。
半信半疑で参加し、講義を聴いているうちに「これは当社に絶対必要」とひらめき取り組みを始めました。

「健康経営実践プログラム」から、主役は従業員

アドバイザーの指導の下、生活習慣アンケートから着手しました。フィードバックにより当社の課題が浮き彫りになりました。社員へのフィードバックを行い課題に沿ったセミナーを実施してもらったことで社員の意識改革につながったと思います。社員ファーストをモットーに夏バテ対策のために全員に「土用の丑の日」にうなぎ弁当を準備しました。また外での仕事が多いので帰社後クールダウンできるよう冷蔵庫にはいつも冷たい飲み物等を用意しています。

皆が喜んでくれた『うなぎ弁当』

社長の意識改革と行動変容

社長が率先して食事改善により大幅なダイエットに成功。
社員も社長を見習い当社の課題でもある「飲酒」「禁煙」「運動」に地道に取り組んでいます。

大切な社員の健康とともに会社も成長していきたい

知識教育の場として定期的にアドバイザーによるセミナーを開催しています。そのことで社員の帰属意識が向上しました。まだまだ道半ばですが間違いなく健康意識は高まっていることを実感しています。今後さらに社員の運動量・健康状態の見える化のために活動量計・歩数計を配布する予定です。

セミナー風景

今後の展望

土木・建設業は、自然災害から地域と地域住民を守る使命があると思っています。
そのためにも「健全経営＝健康経営」を目指し社員も守り地域も守る。
社員を身体的に守るだけではなく精神的にも守るために明るく、安心して働き続けられる職場でありたいと思います。

自然豊かな白山町とともに57年

イケダアクト株式会社

代表取締役
田中久司 氏

地域の皆様に愛され、貢献できる企業を目指します。

- 代表取締役　田中久司 氏
- 本社所在地　三重県鈴鹿市池田町
- 主な事業内容　総合建設業
- 従業員数　41名(男性36名、女性5名)

健康経営優良法人 2020認定
中小規模

健康経営優良法人
2019・2020 2年連続認定

社員の健康が会社の健康

企業はただ単に業務を全うするだけではなく、地域に愛されて貢献する事により、地域に認識されて企業価値が高まります。健康経営もその一環です。屋外での仕事が主になる我が社は健康であることが基本と考えます。

簡易版ストレスチェックと30年以上続くラジオ体操

50名未満の事業所なのでストレスチェックは任意ではありますが、毎年実施しています。希望者には病院の紹介や医師による診断をおこなっています。また、毎日の朝礼時に行うラジオ体操は30年以上の歴史があり、日々の健康チェックとコミュニケーションの場となっています。

定期健診の受診率は毎年100%

定期健診は、従業員が受診しやすいようにタイムスケジュールを作成し周知徹底をしているため、毎年100%の受診率です。要再検査の従業員には、受診勧奨を行います。なお、アクサ生命の「健康経営サポートパッケージ」の24時間電話相談サービスを取り入れ、従業員のプライバシーも保護された「こころ」と「からだ」の相談も利用可能となっております。

健康だよりを従業員に毎月発信

毎月従業員に「健康増進だより」を配布・掲示しています。運動促進、健康メニュー、新型コロナウイルス情報などを、その月のテーマに沿って案内し、健康に対する興味・知識を持ってもらいます。

コロナと共生する覚悟で

コロナ初期のマスク不足時には、会社備蓄マスクを社員全員に配布しました。今後も健康経営の取り組みの一環として、できる限りのコロナ対応をしながら共生していく覚悟です。

128

三重県
伊勢営業所

Voice Report 200th

株式会社SMHD

代表取締役社長
原田真紀 氏

「会社を長く続けるために従業員さんの健康が第一」だから、健康経営に取り組む

- 代表取締役社長　原田真紀 氏
- 本 社 所 在 地　伊勢市竹ヶ鼻町335
- 主な事業内容　一般建設業
- 従　業　員　数　10名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模

健康経営優良法人
2020 認定

社長自身が「健康」を意識している

社長自身が「健康」という事に対して非常に気を付けています。身体に「良い物」は積極的に取り入れています。食べ物や飲み物はもちろん身体を動かす事も大切なのでストレッチ運動も欠かさずにしています。社員さんにも健康でイキイキ働いてもらいたいと思っています。

会社で健康を意識してからは

運動器具を設置し３時の休憩には従業員さんの掛け声でストレッチ体操をしています。毎日の血圧測定や体重計を設置して体重管理をしながら記録をしています。この取り組みを始めてから仕事面でもコミュニケーションが図れ、そのおかげで仕事効率が良くなっています。

健康に取り組むキッカケ

会社を起業して１年ぐらい経過した時「健康経営」の制度を知りました。是非取り組んでみたいと思いましたが
何をどのように進めたらいいか分からずにいた時、アクサさんが「健康経営」についてのアプローチをしてくれました。これはもう絶対取り組もうと思い、サポートを受けながら取り組みだしました。

未来に向かって

会社を長く続けるためにも、働いてくれている社員の健康は第一と考えています。社員に健康で働いてもらってこそ長く続く会社になると思うので運動や健康を通してイキイキと長く働くことができる会社を目指していきます。

まずは課題の把握から

アクサさんのアンケートを使い会社の現状を把握しました。従業員さんの運動不足や食生活に課題があったので意識改革から始めることにしました。まずは手軽に始められる乳酸菌飲料や野菜ジュース、ウォーターサーバーを設置し誰でも気付いた時に飲めるようにしました。少しずつ従業員さんの健康に対する意識が向上してきました。

129

三重県
松阪営業所

バイオマスパワーテクノロジーズ株式会社

代表取締役社長
北角　強 氏

従業員の健康第一と職場環境作りのために健康経営に取り組む

- 代表取締役社長　北角　強 氏
- 本 社 所 在 地　三重県松阪市久保町502-10
- 主な事業内容　バイオマスエネルギーを利用した電力生産プラントの企画・設計・運営管理・保守管理・電力供給等
- 従 業 員 数　14名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020(中小規模法人部門)認定

24時間稼働かつ必要最低限の人員だからこそ、健康経営に取り組む必要を感じました。

弊社は24時間稼働のプラントであり、社員は夜勤を含む交代制勤務を実施しています。プラントは必要最低限の人数で運転しており、万が一病欠者が出ると、誰かが代わりに出勤する必要があります。
そのため、社員の健康状態を気に掛ける必要があること、日ごろから社員自身の健康意識を高めることが重要であると考え、「健康経営」を開始しました。

「健康経営実践プログラム」から、まずは取り組めそうな活動を～健康診断・予防接種

夜勤を含む交替勤務があるため、健康診断の促進をしており、創業以来健康診断受診率は100％となっています。これにより、従業員が自身の健康状態を把握しやすくなりました。また、結果が芳しくない従業員には後日、カウンセラーの方に来所いただき、改善のためのアドバイスをいただいています。
従業員とその家族にはインフルエンザの予防接種を受けた際に5000円を上限に会社補助を支給致しました。それにより例年より予防接種数が増加しました。

コロナ禍でも極力ストレスを減らし働きやすい環境をつくる。

現在のコロナ禍に於いて全ての従業員ではないですが、日勤者は極力テレワークを推進しました。
また、発電所外部から発電所の状況を監視できるシステムの導入により、所長が現場にいる必要がなくなりテレワークの推進に繋がりました。これにより３密の状況を作り出すことがなくなり、社員間におけるストレス軽減に繋がりました。

従業員の満足度を高める職場環境づくり

衛生備品についてはマスク、消毒液、常備薬を準備し予防に努めています。また、熱中症対策用品（スポットクーラー、塩タブレット）を準備して熱中症予防を、喫煙者にはビタミンC欠乏を補填するためのサプリメントの支給をしています。アクサ生命の健康習慣アンケートにて従業員の本音を知ることができ、職場改善に繋がっています。
弊社においては『心の健康が良い』という項目に対し100％良いとの回答であり、働きやすい職場であると認識が出来ました。今後更なる風通しの良い職場環境づくりを目指します。

今後の展望

『弊社は従業員あっての会社である』という考えのもと、従業員の健康のためにいろいろなことを実施しております。従業員からは感謝の声もありますが、決して現状に満足することなく、さらに健康経営に取り組んでいきたいと考えています。
また、より良い成果となって現れるよう具体的な数値として、結果を見える化することに繋げていきたいと思っております。

株式会社KATSURA

代表取締役社長
小林真智 氏

「株式会社 KATSURA」は、社員第一主義を通して
≪徹底した顧客目線でお客様の悩みを解決いたします≫を実現します。

- 代表取締役社長　小林真智 氏
- 本 社 所 在 地　京都市南区久世築山町262-1
- 主な事業内容　一般区域貨物運送事業
- 従　業　員　数　35名(男性:30名・女性:5名)

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020(中小規模法人部門)認定

社員のためになるならと、健康経営の導入を即決

弊社は昭和53年に京都市で創業した株式会社桂通商から平成25年9月に独立し、<お客様にとって良いものを追求する>をモットーに事業展開をしてきました。
そのためには<社員が大事>であり、社員第一主義に徹しています。社員がどうしても嫌がるお客様がいたケースではその会社とのビジネスを断ったこともあります。
健康経営はアクサ生命から「社員のためになる」と説明を受け、即決で取り組むことにしました。

安全第一の職場だから、健康管理が大事

「安全第一」の業種柄、社員の健康管理は重要です。
喫煙者が多いためまずは禁煙に取り組みました。推奨や声掛けのほか禁煙にチャレンジする者には「離煙パイプ」を買い与えました。その結果4人が禁煙に成功しました。
新型コロナ予防対策はいち早く取り組みました。事務所用ならびに全ドライバー携帯用に、アルコール、マスク、赤外線検温器を配備・配布し、同時に事務所やドライバー休憩所には業者を入れて消毒をしました。また入手困難な折マスク・アルコールを社員個人に無償配布しました。

社員から感謝され、「仕事が楽しい」の言葉も。

社長の誕生日に社員みんなが誕生パーティーを開催してくれました。社員から感謝のメッセージをもらうと嬉しいものですし、「仕事が楽しい」と言ってくれる社員もいました。

健康経営は、社長の思いの具現化

健康経営は、社員が大事との思いを具現化する手段だと思います。弊社の事業においては安全管理が極めて重要でありアウトソーシングでのサポートを取り入れています。健康経営もアクサ生命のアドバイスを取り入れて、出来ることから少しずつ実践しています。
3月に社員採用を行いましたが、健康経営優良法人の認定は少なからず効果がありました。応募者の家族がホームページを観て弊社への応募を勧めた例もありました。

社員が辞めない会社を目指していきます

社員が辞めずに永く勤める会社をを目指しています。
時には社員を厳しく指導したりもしますが、それは安全に良い仕事をして永く勤め続けて欲しいとの思いから。
そして、徹底した顧客目線でお客様の求めるもの・お困りごとに徹底してお応えしていける企業であるよう社員一丸となって取り組んで参ります。

グリーン物流サービス株式会社

輸送を通じて社会貢献し、全従業員の物心両面の幸福を追求する。

- 代表取締役　榎本興司 氏
- 本社所在地　京都府久世郡久御山町西一口新道裏76
- 主な事業内容　一般貨物自動車運送
- 従業員数　56名(男性:54名・女性:2名)

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020(中小規模法人部門)認定

Voice Report 200th

社員が幸せ・満足できる職場であること

1982年創業以来、企業の発展に欠かせないのはそこで働く社員の成長にあり、働くことで得られる充実感であると考えています。社員が幸せ・満足できる職場であることがお客様への最高のサービスにつながると信じています。
アクサ生命から健康経営の説明をうけて、雇用・育成の一助になると確信し取り組むことにしました。

健康習慣アンケートで健康課題を把握

従業員健康習慣アンケートを実施したことで、健康課題が見える化でき、課題に沿ったセミナーを3か月ごとに開催しました。業務の都合で参加できなかった従業員には、貸与しているスマートフォンに情報を発信する工夫をしました。
またデジタコでの時間管理を強化し、残業時間の偏りをなくし休憩時間を確保しました。
新型コロナ予防対策では、消毒用アルコールが運行前の事前呼気アルコールチェック機に反応してしまい大変でした。そのため呼気チェック機に影響のない消毒液を手配しました。マスクは一週間ごとに配布し、今夏は夏用冷感マスクを配布します。

従業員の明るい笑い声は嬉しいですね

健康経営優良法人認定の後、2回目となる従業員健康習慣アンケートを実施しました。
アンケートの回答率が100%になったことは、従業員の健康意識の「スモールチェンジ」が進んだものと思います。
もともと元気な従業員が多いなか、最近はさらに事務所に明るい笑い声が聞こえてくるようになりました。
従業員が明るいのは嬉しいですね。

自ら考え行動できる人材の育成も実感

運送歴20年以上のベテラン男性ドライバーが多い中、先日22歳の女性ドライバーが入社しました。「自ら考え行動できる人材の育成」において職場環境の効果を期待しています。
また先日、門扉の老朽化に気付いた従業員が自発的に修理・ペンキ塗装をしてくれました。職場を自分のことのように思い、職場を大切にする瞬間に出会えて従業員の成長を実感しました。

今後の展望　社長が考える会社の未来

業種的には３Kと言われていますが、物流は生活にとって欠かせないものであり、我々の暮らしを豊かにする存在です。これからも運輸業を通していかに社会に貢献できるかを、大切な従業員と考え、そこに集う全員と成長していきたいです。

2019年5月社内リクレーション
BBQ　従業員の家族も参加

株式会社西田製作所

代表取締役社長
民　理恵 氏

従業員が社長の想いに進んで応える！
健康経営でワークエンゲージメントをより高い次元で実践！

- 代表取締役社長　民　理恵 氏
- 本 社 所 在 地　京都府向日市森本町高田24番地
- 主な事業内容　精密板金・架台・フレーム製作 ファイバーレーザー加工・大型五面加工
- 従　業　員　数　28名（男性：21名・女性：7名）

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020（中小規模法人部門）認定

「健康経営優良法人」認定を目指して

アクサ生命の健康経営アドバイザーから健康経営の説明を聞き、すぐにいいな！と思いました。これまでも従業員みんなの幸せを考え、様々な取り組みをしてきましたが、まだまだたくさんできることがあるんだと思いました。
みんなと一緒にもっと健康経営に取り組み、優良法人認定を獲りたいと強く思うようになったのがきっかけです。

取り組みの中から、従業員の家族の応援も！

まずは、健康診断の100%完全実施。もう病院に行ってるから・・・という人も含め、2次検診も促していきました。また、禁煙もこの取り組みを始めるまでは強く話をしていませんでしたが、積極的に禁煙を促すようになりました。
担当者の働きかけもあり、従業員の娘さんが「感染防止のポスター」を描いてくれました。それを会社の掲示板に貼ったところ、また別の従業員の娘さんがポスターを作ってくれて、それも掲示しています。従業員が自ら考えて、会社を良くしていこう！と積極的に参画してくれています。

従業員のお子様が描いてくれた、ポスターを社内に掲示
従業員同士のコミュニケーションもよりアップしました！

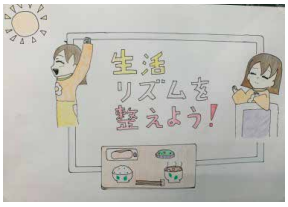
コロナの逆風の中、社員から新商品の提案！

従業員の誕生日には私からご家族分を含めてささやかなプレゼントとお祝いを渡していますが、逆に私の誕生日には従業員みんながすこしずつお金を集めてサプライズパーティーを開いてくれるんです！本当に涙が出るほどうれしいです！
また、当社も新型コロナウイルスの影響を受けていますが、そんな中、社員の発案で自社の高い技術力を活かして「フット式アルコールスタンド」を製作。それに呼応してみんなが一丸となって営業をかけたり、知り合いの会社に売り込みをして、ピンチを乗り切ろうとしてくれています。

社員が自ら高い技術力を活かして「フット式アルコールスタンド」を開発！自動車ディーラーや飲食店からの注文も！

家族的な会社であり続けるために

今後、会社が大きくなっても会社は家族的でありたいと思っています。自分が幸せになりたいなら、まず他人を幸せにすること。人から与えられた幸せはずっと忘れないものだと思います。
その想いを伝えられる会社であり続けたいと思います。



株式会社 西田製作所
N Factory © since 1986

サント機工株式会社

代表取締役社長
山下敬史 氏

健康経営を通して 健康で働き甲斐を持てる会社 そして地域に貢献できる会社を目指す

- 代表取締役社長　山下敬史 氏
- 本 社 所 在 地　京都府綾部市井倉新町16
- 主な事業内容　産業機械等の部品加工から組立完成まで
- 従　業　員　数　61名(男性:53名・女性:8名)

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020(中小規模法人部門)認定

体調不良による突発的な休みが多かった・・・

社員の体調不良による突発的な休みが続くことがあり、その都度急なシフト変更や生産スケジュール調整をする必要がありました。社員が自身の健康問題に向きあってもらい、改善していくことこそが重要だと感じた為、まずは健康宣言をして社内外に発信。スモールチェンジで少しづつ変えていくと決断しました。

知り合いの会社にいい刺激をいただいた！

京都府で健康宣言をされている会社リストを眺めていたところ、知り合いの事業所があるのを発見。同業種で同世代の社長が経営されているという事もあり、いい意味で刺激を受けました。また、なによりアクサ生命が伴走してくれることもあり、ステップアップを目指して健康経営優良法人認定に本気で取り組む事となりました。

健康への意識変化は 仕事への姿勢の変化にも繋がった

以前より社員に健康を意識してもらうため、綾部市の取り組みを活用し健康を啓発してきました。健康経営に取り組み始めてからは、ラジオ体操の励行や健康情報の提供などを行う事で健康経営が社員に少しづつ浸透していっていると感じています。突発の病欠も減少傾向であり、健康経営の取り組みが仕事へ取り組む姿勢にも変化として表れてきていると思います。

地域を守るために永続し発展する会社を目指す

当社の品質方針に「顧客の要望及び顧客に信頼される機械部品、製品を提供することにより、当社の永続的な発展と社会的な貢献を達成する」とあります。社会的な貢献とはお客様の要望に応える事で喜んでいただくという事ですが、地域でいえばしっかり雇用を守っていくという事になると思います。この部分は一番大事だと思います。コロナ禍で非常に厳しい状況ですが、社員一丸となって会社として永続できるように努力していきます。

物心共に社員に満足してもらえる会社を創る

社員として社会人として一人の人間として、この会社でどう自己実現していけるかを一人一人提示していければ、もっともっと働く意欲にも繋がると思います。外国人の方や障害をお持ちの方に対しても、それぞれの置かれた状況を理解し対応しております。会社としても、まだまだこれからと考えておりますので、今後、何のために働き、仕事を通して何を実現したいのかを、社員と一緒に考え実現していきたいと思います。

2020年07月01日アクサ生命による
健康セミナー実施
テーマは健康経営と人生100年時代

日東精工株式会社

代表取締役社長
材木正己 氏

「絆」経営で目指す新しい地方創生
原点は地域の産業振興と雇用創出

- 代表取締役社長　材木正己 氏
- 本 社 所 在 地　京都府綾部市井倉町梅ヶ畑20
- 主な事業内容　工業用ファスナー、自動組立機、計測・検査装置
- 従　業　員　数　1,828名（連結）545名（単独）

健康経営優良法人 2020認定
大規模
健康経営優良法人
2020（大規模法人部門）認定

創業時から 社是により健康経営を実践

1938年の創業以来、「地域産業の振興と地域の雇用創出」を理念として歩んできました。社是「我らの信条」の中に「健康を増進し、品性を養い、明るい職場を作る」というフレーズがあり、当社においては創業当時から健康経営を実践してきたとも言えます。
近年ダイバーシティとインクルージョンを本格的に取り組み始め、その中で「健康配慮型経営」という課題から、改めて健康経営を導入することとなりました。

誰もがいきいきと働ける環境をつくる

「モノづくりは人づくり」をモットーに、創業以来「人財」育成の取り組みを充実させてきました。健康でいきいきと働くことのできる会社、従業員満足度の高い会社づくりを推進しています。
健康経営の外的アプローチとなる健康診断やワークライフバランス、ならびにメンタルヘルス・生活習慣病・感染症等の各種対策は、＜健康経営推進委員会＞を設置して環境をつくることを着実に実践しています。

健康習慣アンケートと
フィードバックセミナー実施

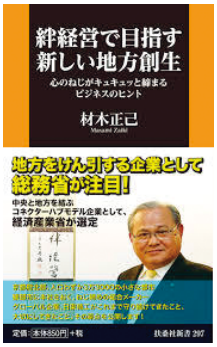
当社が健康経営を取り組み始めたころ、タイミングよくアクサ生命様からサポートの提案を受けました。
健康習慣アンケートを実施したことで従業員の健康課題を把握しました。そして従業員セミナーでは健康の重要性と人生100年時代の金融知識の重要性をテーマに研修いただき、健康経営の内的アプローチである働きかけ・教育機会設定に役立ちました。そのことも「健康経営優良法人」認定に繋がったものと思います。

従業員の健康状態は良くなっています

種々の取り組みが従業員の健康状態の良化に奏功しています。健康診断は100％受診となり、二次検診の受診率は67.5％から86.5％に向上しました。特定保健指導においては実施率3.8％が一挙に100％まで引き上げることができました。またストレスチェックの結果は改善し、長期欠勤者の数は減少しました。
喫煙者も禁煙努力週間の実施等により減少しています。

グローカル企業として地域活性化に寄与

世界中の皆様に「認められ」「求められる」日東精工グループを目指します。人が育てば会社は良くなり、会社が元気になれば地域も元気になります。
現在、前社長が綾部商工会議所の会頭を務めておりますことからも、健康経営において地域のトップランナーとして、当社グループの関係会社のみならず地域企業と一緒になって、地域に貢献すべく取り組みをおこなっていきます。
そして、当社は「ホワイト500」を目指します。



1938年創業以来
京都府綾部市の本社外観

NITTOSEIKO

北陵興業株式会社

代表取締役社長
木下賢一郎 氏

「建設業のイメージを一新！
健康経営でイメージアップを！！」

- 代表取締役社長　木下賢一郎 氏
- 本 社 所 在 地　京都府福知山市厚東町１７０番地
- 主な事業内容　建設業
- 従　業　員　数　16名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020（中小規模法人部門）認定

「健康経営」を採用に対する武器に！

ひと昔前とは時代は変わっており「安心して働ける職場環境」を提供できる事は良い人材を確保する為にも必要不可欠だと感じています。
健康経営の話を初めて聞いた時、会社として従業員の健康を考えた取り組みをしていくことが社外的なアピールポイントになるという点が印象に残り、取り組みをしようと決めました。

健康経営の具体的な取り組みは

もともと社内で実施していた取り組みと健康経営という考え方をマッチングさせる工夫を重ねました。もともと社屋は分煙、社用車は禁煙でした。そして消毒液の設置やトイレにはペーパータオルを常備するなど感染症予防も心がけていました。
新たな取り組みとして、ラジオ体操や月１回の会議に特定保健用食品のお茶を出すなど少しづつ変えていき、ステップアップを目指して健康経営優良法人認定に本気で取り組む事となりました。

社長自らの声掛けで健康管理の推進

健康診断は１００％受診し、社長自ら社員の受診結果に目を通し少しでも異常があれば声かけをし、従業員が休みを取りやすい環境づくりを心掛けています。
また２～３か月に１回、全社員での食事会を実施するなど、体力アップとコミュニケーションアップを図っています。

社内にこんな変化が・・・

健康経営に取り組むようになってから、いろいろな変化が見えてきました。
健康情報の提供などを行う事で健康経営が社員に少しづつ浸透していっていると感じています。従業員同士のコミュニケーションがさらに強化され、職場の雰囲気がより明るくなったようです。

今後の展望　社長が考える会社の未来

企業はただ利益を出していればよいわけではなく、お客様に、地域に、従業員に必要とされる存在でなければ、永続することはできません。
昨今言われている働き方改革に柔軟に対応することが求められています。だからこそ、社員1人1人が健康で活き活きと働ける環境を作る「健康経営」への継続的な取り組みが必要なのではないでしょうか。

136

滋賀県
彦根営業所

Voice Report 200th

株式会社一休庵

代表取締役
上川悟史 氏

滋賀・京都で飲食店を多店舗展開する「株式会社 一休庵」「食」を通じて、たくさんの「幸せ」を作り出すー

- 代表取締役　上川悟史 氏
- 本社所在地　滋賀県犬上郡甲良町池寺1-5
- 主な事業内容　飲食業
- 従業員数　300名（内パート・アルバイト250名）

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020（中小規模法人部門）認定

「健康経営」の話を聞いた時、飛びつきました

昭和54年設立、観光地での郷土料理と土産販売から始め、近年ではお客様ニーズにお応えすべく焼肉・居酒屋等の外食産業を多店舗展開しています。
飲食店は仕事が不規則のせいか肥満や喫煙者など不健康な者が多いと感じていました。数年前に社員が突然倒れ救急搬送・緊急入院を経て他界するという悲しい経験をしたことからも、社員のために何か手を打たないといけないと思っていました。
そんな折、商工会議所とアクサ生命から「健康経営」の提案を受け、「これだ！」と飛びつきました。

心身の健康増進に「懸賞金付きリフレッシュ休暇」

アクサの生活習慣アンケートのフィードバックで、まずは禁煙を取組むことにし、喫煙の店長12人のうち5人が禁煙に成功。
働き方改革を受けて年間休暇を95日に増やし、「仕事と人生を豊かに」をテーマに連続7日休暇取得を推奨しました。休暇内容をレポート提出してもらい、審査して1位には30万円を授与する制度を設けたところ、殆どの社員が1週間の連続休暇を取得し、それぞれの思いのこもった休暇内容の報告をしてくれました。

社員間の交流を深める「ファミリー制度」

一休庵では各店の交流を深める為に、各店の社員をバラバラな組み合わせにしてグループに分かれ、ファミリーというくくりで定期的に集まっています。各店舗の店長がファミリーのリーダーとなり年に数回集まって食事会などを楽しみます。会社から1人当たり年間2万円の予算が出るので。それを使って普段なら絶対に行かないような高額なお料理屋さんに行って勉強したり、旅館で宿泊して交流を深めたりとファミリーごとにそれぞれ違った有意義な時間を過ごします。今年はコロナウイルスの流行でファミリー制度も実施する事が出来ませんが、収束した後には仲間たちが当たり前に集まって楽しい時間を過ごせる世界が来ることを切に願います。

＊一休庵 de まんぷく新聞　6月号からの抜粋
https://www.19an.com/

社員が辞めなくなりました

前述のような取り組みの中で会社と社員が大きく変わりました。
第一に辞める社員がいなくなりました。さらに社員が採用候補者を連れてきてくれるようになりました。それまではしょっちゅう辞める者がいて採用に苦労していましたが、今では採用も欠員待ちの状況です。
また店舗間の応援体制をスムーズかつ積極的にやってくれるようにもなりました。多忙他店への応援派遣を嫌がる者がいなくなり、勤務先の他店異動も嫌がらずに受け入れてくれます。
会社と社員、ならびに社員同士の「一体感」が強くなりました。

地域で一番働きたい会社を作る

「食」を通じて、たくさんの「幸せ」を作り出すー。
この思いを胸に、地域で愛される“店作り”と、
お客様に笑顔を届ける“人作り”に励んでいきます。
夢は、小学生のなりたい職業に「飲食店の店長」が選ばれるように、「外食産業」を一流産業に引き上げることです。

一休庵

ダイイチ・トランスポート株式会社

代表取締役社長
西山千秋 氏

従業員は家族、家族の健康がダイイチ

- 代表取締役社長　西山千秋 氏
- 本 社 所 在 地　滋賀県東近江市妙法寺町947－29
- 主な事業内容　一般貨物自動車運送
- 従　業　員　数　24名(男性:18名・女性:6名)

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
(中小規模法人部門)
2018～2020 3年連続認定

従業員を家族のように大事に思うことから

31歳の時、先代社長である父の急逝により何も分からないまま社長に就任しました。全てが一からの勉強でした。
一番の課題は人手不足で、社員が定着せずに退職してしまうことでした。そこで、従業員を家族のように大事にすることを第一に考え、今日までの26年間なんとかやってきました。
アクサ生命の方から、その従業員思いは健康経営そのもので、優良法人認定を目指したらと申請に向けたサポート提案を受けました。それがきっかけで、健康経営を取り入れることにしました。

肥満予防健康管理士による健康指導を導入

従業員の運動不足解消とリフレッシュのために、運動機具と卓球台を設置しました。これは従業員同士のコミュニケーションの場としても役立っています。コミュニケーションでは、年3回バーベキューやボウリング大会を開きみんなで楽しんでいます。
メタボの社員が多いことから、私の娘に「肥満予防健康管理士」資格を取得させ、運動や食事などダイエットの指導を行わせています。体組成計も購入し全員が毎日計測しています。

交通安全・仕事の安全安心は、健康管理から

まずは従業員の健康が第一です。
私は毎朝おにぎりを作って出社し、朝食を採っていない社員にふるまっています。もう６・7年は続けています。
健康診断は年2回全員受診で、再検査・要精密検査も100％受診を続けています。受診は強制的に私が病院まで連れて行きますし、費用も全額会社で負担しています。
インフルエンザ予防接種も、全額会社負担で全員接種です。
感染症予防のためウイルスブロックとマスクは全員に支給しています。
熱中症予防対策には、経口補水液(OS-1)を支給しています。
喫煙率が80％と高く、禁煙に向けて本数を減らす取り組みを全員で声掛けをしながら続けています。受動喫煙防止対策も兼ねて屋外に喫煙室を設置しました。

従業員のための医療保険・がん治療保険

もしもの病気や事故の時に、経済的にも安心して治療に専念でき会社を辞めることなく職場復帰を目指してもらえるようにと、全従業員に医療保険・がん治療保険を掛けています。

会社思いの従業員、辞めない会社

従業員をダイイチに思うことが、健康経営だと実感しています。
お陰様で従業員は辞めなくなって、従業員同士は仲が良く、みんなが会社思いで、一生懸命に働いてくれています

屋外に設置した喫煙

運動不足解消とリフレッシュのために

138

大阪府
大阪営業所

株式会社高浄

代表取締役
長井正樹 氏

「健幸経営」で、生きがいの連鎖を！！

- 代表取締役　長井正樹 氏
- 本社所在地　大阪府高槻市須賀町47-19
- 主な事業内容　ビルメンテナンス業 他
- 従業員数　約800名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模

健康経営優良法人
2019・2020 2年連続認定

きっかけは、高槻商工会議所　創立70周年の「たかつき健幸経営宣言」

弊社は、1969年の創業以来、住みよい環境づくりを目指して、地元高槻市を中心に地域に密着した事業に取り組んでまいりました。
長年お世話になっている高槻商工会議所様が創立70周年を契機に「たかつき健幸経営宣言」を実施。
「従業員の健康と幸せ」と「健全な経営」の両立を目指すビジョンに代表の長井が感動し、2019年に健康経営の取り組みがスタートしました。

楽しみながらのボランティア。人とのつながりで、心身ともに健康に！

新型コロナウイルス前、定期的に高槻市駅前のボランティア掃除『街かどおそうじ大作戦』を開催していました。
人と話したくて参加する人、健康のために参加する人、環境問題に興味がある人など、老若男女、動機は様々。
社員十数名だけで始めたボランティアが、100人を超す規模にまで・・・。
今は、コロナを踏まえ、心身ともに従業員の健康につながる新しいイベントを企画中です。

課題は、従業員の高齢化と人手不足だからこそ、健康経営の取組みが必要でした。

主力サービスであるビルメンテナンス事業（清掃業務）における課題は、従業員の高齢化と人手不足。
昔から従業員の健康管理には取り組んでいましたが、高齢の従業員が、さらに元気に仕事ができるように、安全衛生活動を強化しました。熱中症対策では、ポスターで注意喚起しながら、経口補水液や冷感タオルなどを配布。歯磨き講習（サンスター様）や交通安全講習（高槻警察様）、ストレッチ講習など専門家による様々な講習会も開催しました。

Withコロナ時代だからこその生きがい

新型コロナウイルスで私たちの世界は、大きく変わりました。しかし、どんな時代でも、お客様に喜ばれ、「私がいて良かった。」と実感できる場所、働きがい・生きがいをつくり続けるという想いは変わることはありません。
その為には、まずは、働く従業員が心身共に健康で、安心して働けること・・・。健康経営に取り組みながら、「従業員の健康と幸せ」と「健全な経営」の両立。
これからも「健幸経営」を目指し続けます。

仕事をやりやすくするための「環境整備」従業員が自主性を持って改善に取り組み始めた！

弊社は、環境整備（整理・整頓・清潔）に力をいれています。点検日には、社長や幹部が各事業所をまわり、従業員が業務改善・取組事例を発表します。
健康経営の取り組み効果として、職場環境の改善、自身の健康推進のために何をするべきかの意識も自然と高まっていると感じます。

環境整備半期計画表

業務改善シート

街かどおそうじ大作戦！ただいまコロナで中断中！
新しいWITHコロナの企画も検討しています！

ハウスあいファクトリー株式会社

代表取締役社長
横塚浩一 氏

３つの”あい”「愛情、ふれあい・助け合いにより、みんなから愛される会社」を目指します

- 代表取締役社長　横塚浩一 氏
- 本 社 所 在 地　大阪府東大阪市渋川町2丁目11番31号
- 主な事業内容　スパイス製品等の製造・包装
- 従　業　員　数　82名(2020年4月1日現在)

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2017より 4年連続認定

誰もが働きやすい職場環境づくりを行うことを目指しています。

弊社では82名(2020年4月1日現在)の社員のうち聴覚障がい者25名 (うち、重度22名)、知的障がい者 15名 (うち、重度2名)、精神障がい者 4名、健常者 38名といった構成で、まさに障がい者と健常者が一体となって”ものづくり”を行っていることが大きな特長です。そこで誰もが働きやすい職場環境を行うことで、食品工場として品質にこだわり安心・安全な製品をお届けすることを目標に取り組んでおります。健康経営の取り組みは当社において必然の項目でありました。

従業員が主体となって発信する健康促進。

健康の促進においては従業員から成り立つ「ハッピー健康ファミリー」という組織で運営しております。月に1回会議を行い運営内容を決めております。これまで①社内に血圧計、体脂肪計、ヘルシーウォーキングマット・足つぼマッサージ機、ぶらさがり器具の設置②若草山ハイキングの開催③健康ポイント制度導入④東大阪健康マイレージへの参加⑤健康経営全体学習会の開催など様々な取り組みを組織で検討したうえで積極的に成果をあげております。

楽しく健康への意識づくりをしています。

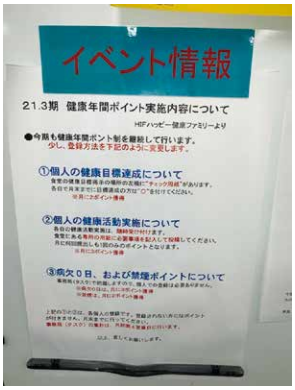
上述の健康ポイント制度は社内外の健康イベントへの参加や個人がたてた健康目標の達成、禁煙期間等の項目毎にポイントを個人に付与し、ポイントに応じた景品と交換できる制度です。食堂に全員のポイントやランキングなど掲示しています。楽しみながら意識して取り組んでいます。

他の健康経営の取り組み

①健康診断
・定期健診の100％実施と人間ドック費用補助
・健康診断有所見者への月一回産業医面談
②ワークライフバランス
・就業時間を15分短縮
（さらに来年4月から10分短縮に向けて計画中）
・パソコンのログイン、ログアウト時間での労働時間管理
③感染症対策
・インフルエンザ予防接種費用の一部負担

今後の展望

障がい者も多く勤務する当社では健康経営と一口で言っても個人の状況にあった健康の取り組みが必要になります。工場内の装置も目で見てわかるように音だけなく光やモニターで知らせるようにしたり、話すと画面に文字が出てトークできるような設備を整え安全に配慮しています。今後も様々な状態の方が自分の能力を100％発揮できるようにそれぞれにあった健康の取り組みを行っていきます。



健康ポイント内容を掲示

食堂に全員のポイント掲示

株式会社CHAMPION CORPORATION

代表取締役社長
水谷昌晃 氏

「社員の満足」「お客さまの満足」「会社の満足」3つの満足を

- 代表取締役社長　水谷昌晃 氏
- 本 社 所 在 地　東大阪市横枕西3番28号
- 主な事業内容　金型用精密部品の製造・販売
- 従 業 員 数　100名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020 認定

社員の健康は何より健康診断。

当社では以前の健康診断で従業員の重大な疾患を早期に発見することができ、大事に至らなかったという経験がありました。そこで、健康診断については特に力をいれており35歳以上の社員には、法定健診項目に加えて胃カメラ、血中腫瘍マーカー検査を全額会社負担にて実施しています。健診の結果「要精密検査」「要再検査」の指摘のあった社員には健康担当者から受診を促し、完了までをフォローアップ。結果報告もしてもらっています。

社内のコミュニケーションの推進によって ワークエンゲジメント高める。

社内のコミュニケーション創出に全社員で社内旅行を年に一回行っています。当社は大阪、松阪、東京、名古屋と拠点が分かれているため、組織拠点を超えて顔を合わせてお互いの理解を深める貴重な場となっております。また、当社ではクラブ活動も活発に行っており規定上5人以上集まると部を発足できることとし、活動費用の半額を会社が補助しております。現在「ソフトボール」「ゴルフ」の各クラブが活発に活動を行っております。最近、空手の元アジアチャンピオンだった社員が「空手部を作りたい！」と部員を集めに奔走しており注目されています。

ワークライフバランスの推進に 力を入れています。

残業が月80時間を超えた場合は産業医による健康チェックの面談は当然行いますが、上長も面談を実施し実際にどの業務に負荷がかかっているのか個別に洗い出し見直しを行います。また、勤務管理システムを導入し時間外労働が80時間に近くなると各自のスマートフォンにアラートによる警告がされるようにしております。有給休暇の未取得者についても同様にアラート機能をもたせました。

食生活の改善も会社からの重要なメッセージ

社員にバランスの良い食生活の大切さを理解させるため当社の社員食堂にて健康面に配慮した弁当を提供しています。すべての弁当にカロリー表示をして健康面の意識を高めております。一人でも多くの人に健康的な食事を摂取してもらいたく会社から費用の補助も行い一食350円で提供しています。

今後の展望

常日頃「社長の仕事は職場環境を作ること」と社員に伝えており、社内の風通しは非常に良いと思います。
コロナ騒動ではマスクや消毒液が全く手にはいらない状況の時も会社の備蓄から家族の分も含めて一人１０枚とスプレー消毒液を配布しました。有言実行を感じてもらえたと自負しています。
今後も健康経営をさらに推進することと同時に地域社会にも健康を推進したいと思っています。具体的には献血運動を社をあげて行い、また周辺の会社にも声を掛けさせていただき地域とともに健康推進したいと考えています。

楽しく明るくのクラブ活動

141

大阪府
大阪東営業所

株式会社八代塗装

代表取締役社長
友田義昭 氏

「社員の健康は当然」「地域にも貢献」を実現するために健康経営に取り組む

- 代表取締役社長　友田義昭 氏
- 本 社 所 在 地　大阪府八尾市高砂町３－５０－２
- 主な事業内容　金属製品塗装業
- 従　業　員　数　78名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020 認定

ワークエンゲジメントを高めるには まず家庭から。

当社ではインフルエンザの予防接種を全従業員に全額会社負担でおこなっておりましたが、ご家族から感染するケースもあったため従業員の家族も全員、費用は全額会社負担で会社に医師をよんで予防接種することにしました。その際せっかく家族の方に会社に来ていただいたので職場見学をしてもらうことにしました。実際にご主人、父親等が働いている姿をみることでご家族の仕事に対する理解が深まっているようで、食卓で会社の話が普通に出るようになったそうです。
また、「ノー残業デー」についても弊社は給料日と定めました。昔は現金の入った給料袋を持って帰る、お母さんがごちそうを準備して待っている、それを見てお子さんは仕事の尊さを感じ取る。そんな家族の一大イベントの日でした。これに少しでも近いイベントデーにしてもらいたく始めました。ご家族の理解と協力があってこその仕事だと思っておりますし、家庭内のストレスは仕事にも影響する健康悪化にもつながります。今後も従業員のみならず家族も含め健康経営を考えていきます。

社員自ら考えチームで社会貢献へ取り組み 楽しく明るくをモットーに。

ワークエンゲジメントを高める運動として１２人一組のチームを作り一年間自分たちで考えた社会活動を行い競争するシステムを作りました。「ペットボトルのエコキャップ運動」するチーム、「バス停をきれいにする運動」チーム、コロナに対策に「近所の保育所に手縫いマスク寄贈する」チームなど　社会貢献も兼ねているため自分たちのやっていることへの誇りが高まり仕事にもモチベーションの高まりにつながっています。何より強制的にやらされているのでなく楽しく明るくやっています。会社にくるのが楽しくなることも効果の一つです

健康の改善取り組みは社長と個人面談で

経営者にとって従業員の健康は最重要な経営課題。健康診断で問題のあった社員は必ず社長が個人面談を実施します。診断結果に基づき改善に向けたアクションプランを該当者と一緒に作成します。その後取り組み状況を逐次確認し、ＰＤＣＡサイクルを回していきます。
また喫煙者には喫煙本数を確認の上、吸ったタバコを金額にして示したり、グラフ化したりし禁煙につながるように促しています。

地域社会も健康経営して貢献できる会社に

将来的には当社の従業員が今後も健康で働き続けていくことも大変重要ですが、それだけでなく地域社会にも健康面の貢献をして行きたい。具体的には社内食堂を拡張し、「一人でお住いの老人」や「金銭的な問題で十分な食事がとれていない子供」に健康的なバランスの取れた食事を提供していけたら素晴らしいと考えています。一日も早く実現できるように社員一丸となって取り組んで参ります。

チームで近隣清掃の取り組み風景

特保健康飲料の自動販売機
（表示価格を100円とし、
差額は会社負担）

142

大阪府
大阪東営業所

Voice Report 200th

象印ファクトリー・ジャパン株式会社

大切な人材に長く勤務してもらい、より成長してもらうために健康経営に取り組む

- 代表取締役社長　治京宏明 氏
- 本 社 所 在 地　大阪府大東市中垣内1丁目2番1号
- 主な事業内容　民生用電気機器製造
- 従　業　員　数　379名（2019年11月21日現在）

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020 認定

従来からの取り組みを採用においてPRできるものがありました。

従来から当社では従業員への健康面に対し取り組みをおこなってきました。これを人材の採用において分かりやすく伝えられるものがないかと模索しておりました。このたび健康経営優良法人というものがあることを知り、認定項目を調べたところ、今取り組んでいることで十分申請できるのではないかと挑戦しました。おかげさまで学生向け会社説明会の案内に認定マークを掲載しPRすることできました。

従業員の健康はまず「健康診断」の実施から

従業員の健康管理はまず健康診断の実施からです。当社では法定項目以上の健診項目を全社員に実施し、検診車を手配して100％実施できるようフォローしています。要再検査、要精密検査については指摘のあった社員には二次検査を義務付け、産業医でもフォローしています。一方メタボ診断を受けた社員全員には専門家による特定健康指導を受けていただいています。メンタルヘルス面でも全社員へのストレスチェックと、必要に応じた産業医面談の実施を行っています。

長時間労働削減および対策を強化しています。

当社では毎週水曜日をノー残業デーとし、長時間労働の防止に努めています。そのため月80時間以上の時間外労働を行っているものはおりませんが、月60時間以上で産業医の面談を実施して健康面でのチェックをおこないます。また、有給休暇については毎月取得計画表を回覧し有給休暇取得を促しています。毎年付与される有給休暇は2年を経過した場合は未使用分が消失しますが消失する休暇日数を別途積みたてる「有給休暇積立制度」（最大60日）を自身の傷病治療、家族の看護・介護などに利用できるようにしております。

治療と仕事の両立支援

傷病により長期の休職を余儀なくされた場合は、有給休暇積立制度にプラスして休職を取ることができるようにしております。勤務年数によって異なりますが、10年以上勤務した社員では、有給期間6ヶ月＋無給期間1年の休職ができます。また傷病から回復して復職する場合は、主治医意見と産業医面談を中心にして復職プランを作成し、段階的計画的に職場への復帰を行います。安心して治療に専念できる環境を整えております。

女性が活躍できる職場づくり

女性が働きやすい職場づくりをしていくことも当社の重大な目標です。女性の健康管理としては健康診断時に乳腺エコー検査や子宮がん腫瘍マーカー検査等のオプション検診について全額会社負担を行っています。また、小学3年生までのお子さんを有する社員が保育所への送り迎えなどのために出勤もしくは退勤時間を2時間短くすることもできるようにして支援しています。

当社の健康宣言

1. 定期健康診断を100％受診します
2. 従業員の健診結果より再検査、要治療者への受診勧奨をします
3. 特定保健指導を100％実施します
4. ストレスチェックを100％実施します
5. 月80時間の時間外従業員に産業医面接を実施します。
6. ノー残業デーを実施します（毎週水曜日）

143

和歌山県
和歌山南営業所

株式会社サンコー

代表取締役社長
角谷太基 氏

社訓「人の心に貯金する」を実践するため健康経営に取り組む！

- 代表取締役社長　角谷太基 氏
- 本 社 所 在 地　和歌山県海南市大野中
- 主な事業内容　総合生活用品製造
- 従　業　員　数　80名（グループ全体125名）

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020（中小規模法人部門）認定

ホワイト500認定制度を知ったことがきっかけ

ホワイト500の認定を受けた取引先様から、制度内容や取り組み内容を聞いたところ、当社でも既に取り組んでいる諸施策もあり、もう一歩進めれば、認定を受けることができるのではないかと感じました。
既に取り組んでいる内容を整理し、不足している部分を計画立てて実行に移していきました。全社員に健康経営に取り組むことを宣言すると同時に、同制度に応募しました。

当社独自のアンケート実施から得たもの

取り組みを始めるにあたり独自の社員向けアンケートを実施し、結果はすべてオープンにしました。社内にどんな課題があるのかを全社員で共有することができ、健康経営を推進する上で大変効果的でした。また、今まで会社としてあまり関与してこなかった心の問題について、ストレスチェックを実施したことで、社員一人ひとりの心の健康への自覚を促すこと、および、各部門の状況を把握することができました。

社内提案制度の実施でより風通しが良くなった

社内の決め事をトップダウンで下すのではなく、社員自ら気づいたことを提案してもらい改善していく制度を始めました。社長が気づいていないことも多く、現場の声を採用することでコミュニケーションのＵＰ、生産性のＵＰにつながってきています。
耳が痛い意見もあるのは事実ですが、今まで見えていなかった問題点も浮き彫りになり、その課題を解決していくことで、会社として良い方向に進んでいます。

全てはSDGs取り組みの一環として

2015年に国連で提唱されたSDGsへの取り組みを考えていた当社は、その一環として、働きやすい職場環境の整備、すなわち「健康経営」から取り組むことを始めました。。
風通しの良い職場風土を醸成することはもちろん、地場産業企業として地域社会とのコミュニケーションを深めることによって、当社の存在価値を認めてもらい、より信頼性の高い企業への発展を目指しています。

今後の展望

会社はヒト・モノ・カネで成り立っていると言われますが、ベースはあくまでヒトであり、従業員が心身共に充実しなければ会社の発展はありません。
強くて、いい会社にしていく為に、皆が当社の社員であることに誇りを持ち続けられるよう努力していきます。そして、当社が地域になくてはならない存在になるよう日々精進し、地域社会の発展に貢献し続けていきたいと思っています。

社内ショウルームにて

144

兵庫県
神戸営業所

Voice Report 200th

株式会社洲本整備機製作所

代表取締役社長
番所利行 氏

「健全な精神は健全な身体に宿る」…健康への原点から健康経営に取り組む

- 代表取締役社長　番所利行 氏
- 本 社 所 在 地　兵庫県洲本市宇山
- 主な事業内容　高圧洗浄機等製造販売
- 従　業　員　数　60名(男性50名、女性10名)

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020(中小規模法人部門)認定

健康がすべての原点

業務用機械器具製造メーカーとして高圧洗浄機をはじめとして様々な商品開発を自前で行っています。
しかし、健康が維持されないと、良い発想も、良い製品も出来ず、「健全な精神は健全な身体に宿る」という発想から健康がすべての原点であると信じていて、この健康経営の取り組みをマスコミから知り、アクサの担当者からその仕組み、やり方を聞いてすぐに始めることにしました。

WEBアンケートで意識向上

従業員の意識調査としてのWEBアンケートを実施しました。アンケートに回答したことで従業員の意識が大きく変わり、飲み物の自販機も糖分控えめの飲料に変えたりして、これまで無関心だった項目に関心を持つようになってくれて、意識が大きく良く変わったと感じています。
健康診断の受診率も100%ですが、2次検診については未受診の従業員もいましたが、今は全従業員が2次検診も含めて100%受診しています。

従業員への取り組み

従業員1人1人が自分自身で日々の管理を行えるよう、血圧計・体温計・顔面ガラスを部署ごとに設置し、次亜塩素酸水噴霧装置(NEO MIST)も常置し、アルコール消毒もどこでも出来るよう複数個所に設置しています。こうした新型コロナ感染予防対策も行うことで、安心して業務に取り組めると従業員から好評を得ています。
また、会社一丸となって年1回の「市民レガッタ」にも参加し、ストレス発散にも役立っています。

新人の採用に健康経営優良認定の威力大

自前で全ての製品を企画・製造・販売まで行う仕事柄、女性の感性による発想力が今は求められており、新しい人材として女性の採用を増やしたいと考えています。
そんな折、健康経営優良法人認定を取得したことで、兵庫県立大学からの新卒の紹介もいただくことが出来、欲しい人材を少しづつ増やすことが出来ていて、認定を取得した効果を感じています。

企業は人なり

「企業は人なり」の信念から、人材を求めるには“健康”が第一であり、“健康”であり続けることが業績向上には不可欠で、大きく役立つと信じています。
そのためにも、従業員の身体を大事にする施策を継続し、市民レガッタもいつかは”優勝”を目指し、楽しく、明るい企業風土を継続していくためにも健康経営を続けていきたいと思います。

工場全景

次亜塩素酸水噴霧装置
NEO MIST

株式会社マルヤナギ小倉屋

代表取締役社長
柳本一郎 氏

伝統食材を活かした　「食育型カンパニー」

- 代表取締役社長　柳本一郎 氏
- 本 社 所 在 地　兵庫県神戸市東灘区御影塚町
- 主な事業内容　豆、昆布、もち麦などの健康価値の高い食材を活かした食品の製造販売
- 従 業 員 数　442名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2019・2020 2年連続認定

従業員の体質改善への取り組みから健康経営に！

「健康経営」という概念が社会に認識される前に、トップから健康食材を販売している会社の従業員が健康でなくては商品の販売はできないとの経営方針から食物繊維を多く含む主力商品である「蒸し大豆」と「蒸しもち麦」の社内販売を格安価格で行っていました。そうしたとき「健康経営」を知り、絶対に必要だと考え、社内に担当部署を設置し、会社としての取り組みを始めました。

「食育カンパニー」を目指した2本軸 “健康経営”と“食育推進”

伝統食材の健康価値を伝える私たち自身が健康でなければ！との思いから“健康経営“と、”食育推進”を2本軸として展開しています。
具体的には地域との連携を意識した子育て世代への“講演会”、市役所での“セミナー”、小学校での“大豆食育授業”、子供向け自立心を育てる“キッチンチャレンジ”、カラダに優しい“だし教室”等の食育活動を通して健康経営を社内だけでなく、学校や地域のあらゆる世代の方々へ様々な切り口から食育を推進しています。

自社で従業員意識アンケートを実施し 課題を明確化！

従業員の健康意識調査をWEBアンケートで実施したところ、「ポッコリおなか」と「血糖値高め」の傾向が、不十分な睡眠、朝食抜き、夕食時間の遅さにあることがわかりました。つまり“ムラのある食生活”と“生活習慣”に課題があることが明確になったので、その改善のため「健康目標」を定め、
①朝食・間食の質を高め、
②糖質の正しい知識を持ち、
③夕食時間を30分早めることで改善をはじめています。

プロジェクト5本柱！

“あなたの健康はあなたがどう動くかで決まる！”を標語として、次の「プロジェクト５本柱」を健康アンバサダーに任命された社員の方を中心に推進しました。
①社内セミナーの実施
②健康づくりニュースの配信
③健康指標の計測
④カラダを動かす環境作り
⑤食生活２級アドバイザー資格対策講座の実施

大規模法人部門認定を目指して！

今後、次の取り組みを行い、大規模法人認定を目指していきます。
①正しい知識を身につける：「健康づくりニュース」の配信、社内「健康セミナー」の実施
②実践する：「食生活アドバイザー検定2 級」の受験と合格（脅威の75％の合格率）、ムギ体操・ストレッチ教室の実践、従業員1人づつの「わたしの健康宣言」の実践！

2019年7月22日加東市との連携協定を締結
豊かな土と人の健康を守る食品を作るため

146

兵庫県
神戸営業所

Voice Report 200th

社会福祉法人千鳥会

理事長
吉村秀樹 氏

個人の尊厳を保持し、地域に貢献し、高品質のサービスを提供します

- 理　事　長　吉村秀樹 氏
- 本社所在地　兵庫県淡路市大町
- 主な事業内容　福祉・介護事業
- 従業員数　300名

健康経営優良法人 2020認定
大規模
健康経営優良法人
2020（大規模法人部門）認定

介護事業は人が命！そのために健康経営

介護の仕事は、「ハードな仕事」というイメージがあり、なかなか仕事として選んで頂けない状況であります。その対応策の1つとして、職員に長く勤めていただくことが最重要課題と考え、そのためにはよりよい職場環境を形成する必要性があり以前から取り組んでまいりました。この度、アクサ生命から健康経営の話があり、「健康」をキーワードとして、更により良い職場環境を形成するため、健康経営優良法人の認定取得することにしました。

健康診断と腰痛検査、そしてセミナー

毎年実施している健康診断、腰痛検査、ストレスチェックでは、再検査の受診確認の実施と自覚症状による専門職・産業医と個別相談を実施できる体制を整え、早期発見・早期対応を心がけています。その結果、体調不調で休職する職員が減少していると実感しています。現在は介護技術などの教育訓練を随時実施し、職員の専門性の向上を重視していますが、今後は健康に関するセミナーも実施していく予定です。

風通しの良い職場

働きやすい環境・風通しの良い職場環境をつくるために、全職員対象に個別面談を年２回実施に加え、月１回以上の部署長面談を増やしました。その結果、どんな些細な事でも相談できる環境が形成されてきました。
一般的には離職率の高い業種といわれていますが、離職者も減り長期勤続者が増え嬉しく感じております。まだまだ人材不足感はありますが、現有力勢力を維持し、元気で明るい職場であってほしいと願っています。

職場環境整備

健康な体を自己管理してもらうために以下の施策を実施しています。
①ウォーターサーバーを設置
②自動販売機に特定保健飲料を導入
③管理栄養士によるおいしくバランスの取れた食事を提供
④健康情報の発信
⑤断続的な運動習慣を目的とした助成金支給
⑥感染拡大防止対策
★これからも職員が健康で成長できる職場環境の整備を行っていきたいと思います。

専門職・産業医との
個別相談

トレーニングルーム設置

管理栄養士献立による
職員食

有給休暇取得によるメリット

働き方改革により年5日間の有給休暇取得が義務付けられました。毎月シフト調整しながら、有給休暇を計画的に組み入れています。年間休日120日にプラス有給休暇の取得により、仕事だけでなく職員のプライベートを充実させることにより、職員の労働意欲がわきそしてやる気のある職員が増えれば、ご利用者満足にも繋がり、そしてそれが生産性の向上に繋がるといったメリットも出てきます。この働き方改革を１つのチャンスとして捉え、職員が成長できる組織作り、働きやすい環境づくりの実現に向けて取り組んでいきたいと思っています。

147

兵庫県
阪神営業所

Voice Report 200th

株式会社ビィー・プランニング

代表取締役社長
達川正美 氏

「お客様以上にお客様のことを考える」　少数精鋭、ヒカル企業

- 代表取締役社長　達川正美 氏
- 本 社 所 在 地　西宮市戸田町5-16
- 主な事業内容　グラフィック・WEB・広告企画制作
- 従　業　員　数　14名(男性:9名、女性:5名)

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020(中小規模法人部門) 認定

少数精鋭主義は・・・健康管理から

地域に根差したデザイン制作会社として事業を展開しています。しかし、現状は少数精鋭主義から一人に掛かる業務負担が大きく、1人でも体調不良となると、他のメンバーに大きな負担がかかっていました。
その時、アクサ生命から、健康経営の話を聞き、従業員の健康を目指すことから健康経営優良法人認定を目指す決意をしました。

健康経営優良法人の認定は、健康に対する意識改革の幕開け

デザイン制作という職業柄、就業時間内に全てが完結することは非常に困難です。しかし、時間の有効活用、業務に優先順位をつけること等で試行錯誤しながら、長時間労働を回避し、有給休暇の取得を推進することで働きやすい環境を作っています。
最近では、ストレスチェックを行うことで心の健康にも気を付けるようになっています。

健康目標を達成するための取り組み

健康診断受診率は100%で、健診結果に指摘があった社員には、特定保健指導を実施し、更に、就業時間内に、健康セミナーと、アクサ生命の健康習慣WEBアンケートを実施し意識改善を図っています。
そして、事務所内に血圧計・スクワット器具を購入し、毎日の隙間時間に使用して好評です。また、毎日全員で、ラジオ体操も実施することで運動不足を解消し、健康サプリの配布を始めました。

地域社会に貢献、SDGｓにも取り組み、感謝の心で誠実な対応を目指します

今般の新型コロナウィルスにより、誰もが経験したことのない世界になっていますが、未来に向かって、社員だけでなく、会社に関わる全てのお客様や取引先と共に、地域社会の発展に貢献できるように、取り組んでいます。
そのためには、一人一人が健康であることが第一条件と考え、会社一丸となって健康経営に取り組んでいきます。

どんな言葉にも耳をかたむけ、心身ともに健康を目指します

毎月必ず「健康状態自己診断カード」を提出していただき健康状態等の変化に気を付けています。
また、毎日の業務日報の細やかな感想にも気を配り、気付いたことがあれば、その時に必ず、個別に声をかけていて、従業員から感謝されています。
“健康“全般についても話す機会が多いので、ダイエットや食事に対しても健康意識が高まっています。

株式会社エムヴイ

代表取締役社長
中西正樹 氏

「大切な時間」を共にする従業員の健康こそ我が社の財産

- 代表取締役社長　中西正樹 氏
- 本 社 所 在 地　大阪市中央区北久宝寺町4丁目
- 主な事業内容　腕時計・宝飾品の販売と修理
- 従　業　員　数　71名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020(中小規模法人部門)認定

「健康経営」の仕組みを知り

我が社は大阪で時計修理専門の会社でスタートし今年で34年を迎えることが出来ました。
お客様と一緒に時を刻み、様々な想いの詰まった大切な「時計」をお預かりし、息を吹き返し、元気にしてお手元にお届する、という幅広い知性と高い技術力、そして常に探求心が必要とされる事業を展開してまいりました。経営の要である高い技術者の健康は最重要課題であり、アクサ生命の「健康経営」のサポートを受ける事にしました。

今まさに健康経営

新型コロナウィルスの影響により、作業場での感染症対策や勤務体制など、昨年より取り組んだ健康経営の実践プログラムに更なる重要性を感じています。
社員一人一人の健康意識が少しずつ変化していくようにするには、小さな取り組みを継続することが一番大切と思います。会社から直接発信することだけでなく、効果的なアクサ生命のサポートにこれからも期待しています。

興味深かった従業員アンケート

業務については技術力と経験に加え、正確さや長時間の集中力が必要とされるため、従業員のコンディションを良好に保つために試行錯誤しています。
従業員アンケートのフィードバックを受け、各々が高いプライドとオリジナリティを大切にして仕事に向き合っていること、
無記名式なのでいろんな角度から今まで知りえなかった意外な発見ができ、今後向き合うべき課題が明確になりました。

これからの想い

2020健康経営優良法人認定を受けることが出来ましたが、最終的な目標は従業員とその家族の健康と安心です。
健康経営を通じて、良いコンディションで仕事ができる環境作りに取り組むことで、今後も我が社の高い技術力とサービスで、末長くお客様に喜んでいただける堅実な経営が継続できるものと確信しています。

アクサの健康経営サポートパッケージの豊富さ

以前メンタル不調の従業員への対応に苦慮したことがありましたが、プライバシー保護を遵守しながら従業員全員が利用できるメンタルサポートサービスを導入出来たことはありがたかったです。他にも24時間電話健康相談サービスや睡眠に関するアプリなど、バラエティ豊富なサービスを無料で導入できるのは驚きました。アナウンスの機会を増やして利用を促進するのが課題です。

金井自動販売株式会社

代表取締役社長
金井勝一 氏

「社員あっての会社」を実現するために

- 代表取締役社長　金井勝一 氏
- 本 社 所 在 地　兵庫県西宮市西宮浜
- 主な事業内容　自動販売機による飲料水・食品等の販売
- 従　業　員　数　25名(男性:24名、女性:1名)

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020(中小規模法人部門)認定

従業員のガン罹患の悲劇から健康経営に！

十年ほど前に従業員がガン宣告を受け、つらく苦しい闘病生活に耐えてきたにも関わらず帰らぬ人となり、その時の悲しみが消えることはありませんでした。それから数年後40代という若い従業員がガンに罹患しましたが、在籍しながらガンと戦ってくれて、今は全快し元気に業務に励んでくれているのが財産です。
他にも、風邪や腰痛等で年に数回、体調不良を訴える社員が比較的多く、従業員の健康管理の重要性を感じていました。そんな折、アクサ生命の担当者から健康経営の話を聞き、この取り組みを始めないとこれから先にまた後悔することになると危機感を感じ、すぐ取り組むことにしました。

健康課題の改善

多くの社員が自動販売機の設置・更新・入替作業等を行う仕事柄、熱中症やインフルエンザ等の感染症の罹患リスクが高く、残業時間が長いことが課題と認識しています。
よって、その予防策として、5年ほど前から、夏季には熱中症予防のため従業員がいつでも飲めるよう多種類の飲料水を常置・配布し始めたところ、熱中症を発症しなくなり、従業員から喜ばれています。
冬季にはインフルエンザ感染症予防のため、マスクの配布を始めたところ、インフルエンザの罹患者が半減しており効果を実感しています。
現在は新型コロナ感染予防策として、冬季ではありませんが、マスクの配布を行っており、従業員からは好評を得ています。
なお、残業時間の長さも課題と認識していて、シフト勤務のローテーション化や、計画的な有給休暇取得を推進することで残業の削減にも取り組んでいます。

従業員アンケートから効果！

アクサ生命の従業員行動意識調査アンケートを行った結果、飲酒習慣に問題があると認識した社員が自ら酒量を減らし、これまで毎週のように訴えていた体調不良を訴える回数が確実に減ってきており、健康意識が醸成されていることを実感しています。
そうしたことから、事務所は明るくなり、元気な会話も増えてきたことから、それまで採用に苦労していた新人の採用も順調になり、人手不足の解消に役立っています。

今後の課題・展望

今後の課題として、従業員は社外での作業が多いことが影響してか喫煙者が多いので、最初に敷地内全面禁煙に取り組みました。その結果、禁煙に取り組む社員も少しづつ増え、事務所内が清潔になったことで体調不良を訴える社員も減り、明るい会社に変貌しました。
まだまだ全社員禁煙となってはいないので、今後は会社で禁煙対策費用を負担したり、禁煙手当を支給する等で更なる意識改革を進めていこうと思います。

優良法人認定を取得して

乙女草株式会社

代表取締役社長
松田信子 氏

“From the sea 海の幸を人の幸に”をモットーに健康経営に取り組む

- 代表取締役社長　松田信子 氏
- 本 社 所 在 地　兵庫県西宮市西宮浜
- 主な事業内容　わかめ・ひじきの加工及び海藻販売
- 従　業　員　数　30名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020（中小規模法人部門）認定

中高年従業員のために始めた健康経営

これまで中高年の従業員は基礎疾患（持病）をもっている方々が多く、通院による休暇が多いことが会社としての課題でした。
そんな現状の中、アクサ生命から健康経営のことを聞いて、手続き等面倒なことも多く感じましたが、従業員の健康維持のためには欠かせない取り組みとして始めました。

規則正しい生活指導

生活習慣アンケートの結果を受けて従業員へのフィードバックセミナーを実施しました。その結果、深酒の回数が激減した社員や、喫煙者が残り4名まで減少しましたが、未だにタバコの臭いに嫌悪感を感じる社員が多いことから空気清浄機を会社で購入し、各部屋に設置しました。この施策は大変好評で喫煙者への隠れたプレッシャーとなり、全従業員完全禁煙に一歩近づいていると感じています。

体調管理は予防から

過去において、インフルエンザに罹患した社員がおり、その際、その社員は出勤停止としましたが、業務を他の社員で分配して行ったところ大きな負荷がかかり、業務に多大な支障を来したことがありました。そのため、インフルエンザの予防接種は毎年会社負担で全社員実施しています。その上、健康診断受診率も100％となっているので皆さん自身の体調管理に関する予防・危機意識は高いと感じています。
また、ワークライフバランスの観点より、年間108日の休日と20日間の有給休暇は取得しにくい雰囲気はなく、みんなで相談しながら、現場はシフト制なので、計画的な休暇取得計画を立てて実行してくれています。おかげで事務所内は大変明るい雰囲気となっています。
更に、健康に関する意識向上のためにアクサ生命から提供を受けて、健康経営ワンポイントアドバイスを毎月の給与明細と一緒に封入し、読んでもらうことで健康意識が向上していると感じています。

今後の取組み

今後については、長く継続させるためにも楽しい企画が必要と思っており、そのために次の取り組みを始めたいと思っています。
＊スマートフォンに搭載されている万歩計アプリを使用して、毎日の歩数競争を実施します。毎週トップ歩数の社員へ賞品を授与し、効果を高める予定です。
＊自動販売機搭載飲料については、糖質の少ない水やお茶に入替える予定です。ただし、少なからず塩分が必要な社員もいることからスポーツドリンクも加える予定です。

主力商品

さしみわかめ

三陸わかめ

花しぶきわかめ

花わかばわかめ

塩蔵わかめ韓国産

出し昆布

味付のり

青さのり

海藻サラダ 松

海藻サラダ 青

ひじき特選

ひじき菊

有限会社丸福運送店

代表取締役
杉本圭也 氏

お客さま第一、感謝・誠実・謙虚の心で最も信頼される物流企業となる！

- 代表取締役　杉本圭也 氏
- 本社所在地　兵庫県姫路市山吹
- 主な事業内容　運送業
- 従業員数　17名(男性:16名、女性:1名)

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020(中小規模法人部門)認定

社員とその家族が幸福となるために『健康経営』の取り組みを開始

現在の社長は会社経営者一族と縁故関係が全くなく、一般のドライバーとして入社しました。その後、頭角を現し、経営の立て直しを期待され、6年前に社長に就任し、V字回復を図りました。社長は従業員の時代から社員とその家族全員が幸福になるために明るく豊かな生活が出来る企業を目指しており、今般アクサ生命の担当者から健康経営の話しを伺い、社員のための取り組みとして健康経営優良法人を目指すことを真っ先に決めました。

全社員が健康診断は年2回！＆人間ドック

定期健診は従業員が病気にかからないための大切な取り組みとして、受診率は100%となっています。
そして、運送業という職業柄、健康には人一倍配慮が必要なため、毎年2回健康診断を実施しています。
更に、今後においては、人間ドックを全社員に受診してもらう予定で、従業員の健康管理には人並みならない気遣いをしています。
なお、検査等に掛かる費用は当然全額会社で負担しています。

透明性の高い企業風土

社長自身が中小企業家同友会の役員や、物流経営士・経営コンサルタント等の資格を有していることから、会社の四半期ごとに毎回、取引金融機関、関与税理士・会計士、取引先、社内管理職従業員等を招待し、決算発表会を実施し、社内外から様々な意見をお聞きし、会社経営に役立てています。
従業員も発表会に参加することで会社経営への参画意識が醸成され、業務に対する責任感も日に日に増してきていて、会社に対する提言も積極的に発信されるようになり、皆さんいきいきと仕事をされています。

“働きやすい・働き甲斐のある会社に！

運送会社のイメージを刷新し、働いやすい・働き甲斐のある会社とするためのイメージ戦略として会社のポスターから改革を実施し、風通しのよい会社を目指しました。一般的な会社ではあまり見かけない表現の仕方なので、社内外から好評を得て、会社内の雰囲気はとても良くなりました。

＜映画のワンシーンのような会社ポスター＞

これからも従業員を含むご縁のある皆さんが、優しく、楽しい人生を歩み、お会いした時の時間を大切にしていただき、会社も健康経営を推進することで、みなさんが楽しく、安心して長く働き続けることのできる会社にしていきたいと思っています。

原田工業株式会社

代表取締役社長
原田信弘 氏

健康経営により会社活力向上で、地元と共に、更なる魅力ある会社となる！

- 代表取締役社長　原田信弘 氏
- 本社所在地　兵庫県姫路市飾磨区上野田
- 主な事業内容　火力・原子力発電所、その他産業機械機器据付、定期検査・各種製缶、配管工事
- 従業員数　153名（男性：144名、女性：9名）

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020（中小規模法人部門）認定

より良い人材確保のため『健康経営』取組みを開始

2018年に開催されたアクサ生命主催の健康経営セミナーを受講し、すでに当時より、より良い人材を採用するために求められるのは給与ではなく、福利厚生制度の内容であると思っていました。「いいと思うことは早く決めて、早く実行する！」という信念と、セミナー及びアクサ生命の営業からの情報を基に、健康経営を推進することを決めました。

充実した福利厚生制度　“従業員は宝”

定期健診は従業員が病気にかからないための大切な取組みとして、受診率は100％となっています。
更に、脳ドックについても40歳以上は必須として実施し、これまで2名が早期発見につながり感謝されています。
なお、検査等に掛かる費用は当然全額会社で負担し、また出勤扱いとしています。
その上、年1回お正月に非喫煙者全員に“お禁玉”と称して禁煙手当を支給し、禁煙した者だけでなく、過去に喫煙したことがない社員にも支給することで大変喜ばれています。

地元に愛される企業・明るい企業風土

地元と共に歩み、地元から愛される企業を目指し、地元で行われている「町民運動会」「秋祭り」「駅伝」「ソフトボール大会」等のイベントには従業員と共に積極的に参加し、地元との関係強化を図っています。
更に、会社内では、「バーベキュー大会」、「餅つき大会」、「ゴルフコンペ」、「婚活パーティー」、「社員旅行」、「スキーツアー」等を企画し、多くの従業員が参加することで、事務所内の明るい雰囲気を醸し出し、従業員のよい気分転換にもなっています。

今回の新型コロナ対策

昨今の新型コロナにより現場作業が減少し、業務に支障を来たしていましたが、従業員や協力会社も状況は同じと考え、国の特別給付金とは別に、会社から1人10万円の現金と、マスク総枚数15,000枚を1人1人に分けて速やかに配布したことで従業員や協力会社から大変感謝されています。こうした対策により、離職者をなくすことで熟練技術者の技術の伝承を続けています。

今後に向けて

今後、更に働きやすい環境を創出し、働き方改革を推し進めるうえで、春と秋の繁忙期は現場作業を行う従業員は大変忙しく、自由に有給休暇を取得することが難しい時期もあります。しかし、閑散期に有給休暇を増やしていくことで満足感の向上に努めています。他にも福利厚生制度を更に充実させ、健康経営を推進することで従業員が安心して長く働き続けることのできる会社にしていくことを目指しています。

本社ビル全景

株式会社平田建設

取締役社長
平田真人 氏

夢をカタチに。
「らしさ・づくり」サポートで人と人を笑顔でつなぐ

- 取締役社長　平田真人 氏
- 本社所在地　兵庫県姫路市広畑区蒲田
- 主な事業内容　建設業及び雑貨事業・就労継続支援事業
- 従業員数　18人（男性6名、女性12名）

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020（中小規模法人部門）認定

お客様と社員・その家族の幸福と健康を実現する

当社は、『お客様と社員およびその家族全員が幸福かつ健康でありつづけること』を理念として日々業務を運営しています。そんな折、アクサ生命の担当者からこの機会に健康経営の取り組みを始めませんかと提案頂きました。
「何事も早く取り組む」をモットーにしていたので即導入を決めました。

健康経営推進

従業員の幸福と健康を実現するために始めた健康経営ですが、何から始めたらよいのかわからず、姫路商工会議所の経営指導員の方々から様々なご意見を頂戴しました。その後、運動機会を増やすよう万歩計を配布し、体幹を鍛えるためにバランスボールを休憩室に常置するようになりました。遊び半分ですが、みんな楽しみながら使っています。他にも、タオルケットの代わりに吸湿性に優れたガーゼケットを配布し、暑い夏に向けて大変喜ばれています。

目指せ！完全禁煙！

まず最初に取り組んだのは禁煙者を増やすことでした。仕事柄、喫煙習慣のある社員が半数以上もいたことから、喫煙者に禁煙に取り組んでもらおうと、事務所を含む館内を完全禁煙にし、喫煙所も事務所から一番遠いところに設置、喫煙のための休憩時間を頻繁に取らないよう注意喚起を続けました。禁煙外来への補助金制度も設けたことでチャレンジする社員が少しづつ増えてきました。今年中には全員達成を目標に禁煙手当の導入も考えています。

今後に向けて

優良法人2020の認定を取得出来、引き続き2021の取得に向けて、障害者を含めた従業員とその家族が幸せな生活ができるよう、職場環境の良化に努め、人間ドックやPET検診の補助金制度を作り、地元と共存しながら健康作りに邁進していきたいと思います。

新1年生へマスク１万枚寄付で貢献！

創業以来、注文住宅建設を手掛ける傍ら、縫製経験のあるスタッフがバッグや木工製品を作製・販売しておりました。こちらも軌道に乗ったため、新たに雑貨事業部として“namioto”（波音）と障害者の就労継続支援事業を設立し、業務運営を行っています。今回、新型コロナの影響でマスクが不足していたことから、自社でマスクを製作し、この4月に新１年生として入学予定の全児童分として１万枚を市教育委員会に寄付致しました。多くの感謝のお言葉を頂け、当社の励みともなりました。（右写真）

マスクでおしゃれ親子
おそろいつけて

マスクを寄付した際の新聞記事

姫路市教育委員会へマスク１万枚寄付

《らしさ・づくり》
独創性あふれた提案で評判

154

兵庫県
東播営業所

株式会社ユーエム工業

代表取締役社長
宮脇昌司 氏

会社の活力が向上し、地元と共に歩み、更なる魅力ある会社となるために、健康経営に取り組む

- 代表取締役社長　宮脇昌司 氏
- 本 社 所 在 地　兵庫県小野市来住町
- 主な事業内容　鋸　製造販売
- 従　業　員　数　59名(男性:30名、女性:29名)

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020(中小規模法人部門)認定

ホワイト企業を目指して『健康経営』取り組みを開始

アクサ生命の担当者から「健康経営」の説明を受け、その必要性をお聞きし、もともと社内福利厚生制度は、法定検診だけでなく、インフルエンザ予防接種、ガン健診、婦人科検診等において全額会社負担で実施していたこともあり、自信があったので、この機会に健康宣言から始めて、優良法人認定を目指すことを目的としてこの取り組みを始めました。

禁煙率100%

新入社員が入社する際には、タバコを吸わないことを条件にしており、既存の社員も誰1人として喫煙者が存在しないので、快適な職場環境が醸成され、禁煙率は15年ほど前から100%となっています。
また、健康診断やがん検診、婦人科検診も全従業員が受診しており、受診率100%となっています。
そして、産業医の見解から2次検診受診率は把握が難しいのですが、注意を促すことで2次検診についても、ほぼ全員が受診しています。

レクリエーションは従業員の総意で決める

一昨年前まで会社で慰安旅行や新年会等の懇親会を実施していましたが、昨今では個人で自由に旅行など楽しめるようになり、昔ながらのルールに乗っ取った慰安旅行は好まれなくなったため、アンケートを実施したところ約70%の社員がこれまでの慣習の継続を望まないことが判明したため、思い切って慰安旅行等を廃止しました。その結果、レクリエーションを担当していた従業員の負担が減り、仕事に集中することができるようになりました。慰安旅行によって社員間の意思疎通を高めるということには役立たないことが確認できました。昔ながらの慣例的な考え方で推し進める事は決して社員の皆さんの為ではないと感じています。

従業員からの意見で働きやすい環境へ

社内では、「職場環境改善」として毎月従業員全員が、自ら問題点を発見し、上司に承認を得て自分自身で改善をおこなっています。自分の職場の問題は自分自身が一番よく分かります。問題の改善を自分で考えて、上司に承認を得て実行することで、職場環境とともに自分の成長の糧としてもらっています。これまで無駄な動作や危険性の排除、仕事効率の改善等、自分たちで出来ることを模索して問題の大小を問わずチャレンジを毎月継続しています。

これまでも、これからも

従業員の皆さんが老後を迎えるまで安心して仕事が出来る環境を作り続けることが最も大事と考え、会社の財務体質を健全に保つために無借金経営を実現・継続している。
従業員の終身雇用も約束し、毎年昇給を実現し、退職金規定も万全とすることで安心感をもっていただき、定年まで安心して全員が働き続ける会社とするために健康経営をさらに推進していきます。

工場全景

有限会社玉木新雌

代表取締役社長
玉木新雌 氏

「社員あっての会社　社員の健康を第一に」
健康経営を通じて地域のために選ばれる企業へ

- 代表取締役社長　玉木新雌 氏
- 本 社 所 在 地　兵庫県西脇市比延町
- 主な事業内容　繊維製品製造業
- 従　業　員　数　40名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020（中小規模法人部門）認定

社員の将来を考え健康経営の導入を決意

弊社は2006年に設立し、先染め技法である播州織の特色を生かした柔らかい触感のショールが特徴です。これからは、健康で愉しく仕事ができないと結果も出せないと思っていた矢先にアクサ生命の担当者から健康経営の話を聞き即導入することを決意しました。

健康経営優良法人認定の取得に向けてスタート！

健康経営優良法人認定を取得するにあたり、先ずは1日の運動量を意識してもらうために会社より従業員全員に「万歩計」を配布しました。
結果、従業員の意識も変わり、今年度に実施した行動変容調査では運動に対する無関心期の割合が38％から21％に大幅に減少しました。禁煙についても15％から10％へと変化が見られました。すごく従業員の意識が変わっていると思います。

食生活改善に向けて現在の取組み

弊社の社内には、食事ができるtabe roomという部屋があり、自分たちで栽培した無農薬の野菜を使って昼食を提供しています。調査後ですが一部取り組みを変更し従業員が食材の持ち合いを行う工夫を行いながら会社が言わなくても従業員自らが食生活の改善に向けて取り組みを行っています。

健康経営の取組みに対する社長の思い

働いている従業員はもちろん従業員の家族が健康で生活を送れることが一番。そのために会社として健康経営の取り組みはとても重要です。弊社はコットンの栽培から糸染め、織り、編み、縫製、販売までを行っています。将来的には地元の西脇市をコットンの町とする夢を実現できるように今後も取り組みを継続して行きます。

今後に向けて

取組みを継続して行くことで従業員の生活習慣はもちろん、仕事に対する意識を高め、将来的には会社から指示をしなくても従業員自らが自発的に行動し、健康についても意識し行動してくれるようになればと考えます。

tabe roomの写真

弊社店内

万歩計

156

兵庫県
東播営業所

中野プランツ株式会社

代表取締役社長
中野哲郎 氏

中野プランツは
”皆さんが幸せになるための道具”です

- 代表取締役社長　中野哲郎 氏
- 本 社 所 在 地　兵庫県高砂市荒井町新浜
- 主な事業内容　プラント建設、他各種工事
- 従　業　員　数　118名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020（中小規模法人部門）認定

高齢化および待遇改善のために健康経営に取り組む必要を感じました。

３年前、従業員の平均年齢が高齢化してきている現状を鑑みて、長期に勤続していただくために、待遇を向上させる必要性を強く感じ、翌年健康宣言を行うことで健康経営としての取り組みをスタートしました。
従業員に健康経営の取り組みを知ってもらい、意識付けするために「健康情報IN YOU」を毎月社内メールを活用して送信するようにして、従業員からもコメントが返信されるようになり、意識付が浸透してきていることを実感しています。

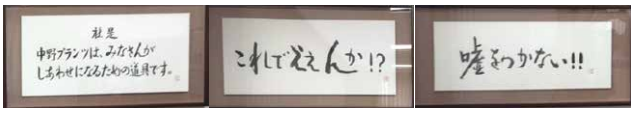
コミュニケーションは大事

コミュニケーションを活性化させるために、地元の駅伝や福井県美浜マラソンに選手としてだけではなく、応援として参加することで一体感を醸成しています。
また、年末の懇親忘年会では、神戸市内のレストランで、福井地区からはバスをチャーターして全員が集合できる環境でランチ忘年会を実施しています。年1回の懇親忘年会は従業員の楽しみになっています。

従業員の子供からのサポート

従業員や協力会社社員の子供から、安全をテーマに新型コロナウイルスや、その他健康に関して、ポスターを作成していただき、会社内のあらゆるところに掲示しています。
これまでに60名にのぼる皆さんの子供が書いたポスターを来訪者をはじめ全従業員が真剣に見つめ、安全・健康について改めて認識してくれています。

こどもたちが書いた安全ポスター



様々な取り組みとリクルート効果

健康経営の取り組みは多岐に渡り、効果も実感しています。
＊健康診断後の2次検診推奨策として、該当者へ受診案内状を送付し、受診結果表を提出してもらっています。おかげで重症化する社員が激減しました。
＊喫煙者対策として、工場内分煙場創設置で喫煙規制を行い、受動喫煙の防止を推進しています。
リクルート効果
＊神戸学院大学での会社説明会で好評をいただきました。
＊ホームページで認証マークをみてからの応募も既に数件ありました。

株式会社宇和島自動車運送

代表取締役社長
和田祥孝 氏

「えひめブランド」を全国に発信！若手ドライバーの育成にも力を注ぐ！

- 代表取締役社長　和田祥孝 氏
- 本 社 所 在 地　愛媛県松山市高岡町
- 主な事業内容　運送業
- 従　業　員　数　306名（男性：279名・女性：27名）

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2017～2020 4年連続認定

業界イメージの改善に向けて！

弊社は社歴も長く、長年に渡り活躍をしてくれている社員やドライバーが多く、年齢層が高いため、従業員の健康管理を行い生産性の低下を抑制したかったこと。併せて、他社との差別化を図り会社イメージや業界のイメージを変え、若い世代の方にも興味をもってもらいたいとの想いから、国策でもある「健康経営」を進めることによって、従業員に対しワークツールの見える化が図れると考えました。

「現場参加型」の取り組みをスタート！

初期段階の取り組みとしては、①「健康経営」を推進するためのリーダーの設定②トップメッセージを現実化するためのワークツールの整理③「健康経営」を運営するための財源確保④「健康経営」を推進することによる会社戦略と計画の作成を行いました。
現場の担当者・リーダーに役割りを持たせることで、社員が積極的に「健康経営」関わる風土ができたことが、「健康経営」の社員への浸透に大きく貢献したのではないかと思います。

「健康経営優良法人認定」へのチャレンジ！

上記の取り組みを進める中で、愛媛県初となる「健康経営優良法人」の認定に向かっての取り組みがスタートしました。まずは、現場責任者へトップメッセージを伝え、問題点の質疑応答を行い、問題点の改善を行いました。また認定項目と現状のワークツールとの比較作業を行い、認定項目を満たしていない事項についての取り組みを即実施致しました。併せて、認定項目以外の事項についても会社として取組むべきと判断した事項についても取り組みを行いました。

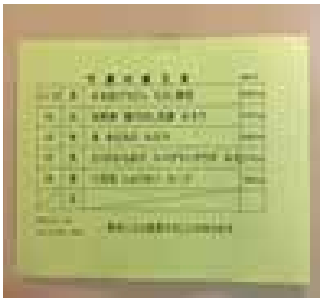
会社は従業員の人生設計のツール

今後の取り組み課題として、「健康経営」社内認知度を１００％にする。若年層社員が地域創生を念頭に、地域に根付いたビジネスワークができる環境と教育を整える。経営側が健康経営を主導するのではなく、従業員自らが健康を維持し会社や社会に貢献できるツールとしていく。ことを挙げられています。
従業員自らが生産性の向上を考え、更に自分の人生の過ごし方を考えられる会社でありたいと考えます。

これまでの取り組み経緯

- 健康診断の受診勧奨
- 感染予防対策として石鹸と消毒薬の設置
- 従業員のボディケア（腰痛対策）としてローリングマッサージを導入
- 運動機会の増加のため、ソフトボール・マラソン部の設置（社内外大会への参加）
- 社員食堂内にカロリー掲示を行い、食習慣に対する意識啓発を行う
- 全社員に対するストレスチェックの実施
- 血圧計の設置
- 健康診断の２次検査に対する事業所の費用負担
  無呼吸症候群検査の受診・治療サポート

2020年2月21日　愛媛県健康経営推進懇談会参加
健康経営の取り組みに関して事例発表スピーチ



カロリー掲示表

158

愛媛県
北四国営業支社

Voice Report 200th

有限会社丸電工業

(有)丸電工業社屋外観

社員とともに進める『健康経営』の実践へ！

- 代表取締役社長　増田敬治 氏
- 本 社 所 在 地　愛媛県大洲市東大洲
- 主な事業内容　電気設備
- 従　業　員　数　5名(男性:4名・女性:1名)

健康経営優良法人 2020認定
中小規模

健康経営優良法人
2018～2020 3年連続認定

『健康経営』取組みのきっかけ

もともとのきっかけは、協会けんぽ愛媛支部様が、送付している資料から『健康経営』の存在を知ったことです。
そこから、いろいろ調べていく中で経済産業省の『健康経営優良法人』認定制度を知り、認定要件を確認。
現在取組んでいる内容でも、概ね認定要件をクリアできていたことから、本格的に認定に向けた取り組みをスタートさせました。
まずは、『健康づくり推進宣言』を行い、社内・外に、取組みを明示するところからがスタートです。

社員意見も取り入れての取り組み！

初期段階の取り組みとしては、①「健康経営」を推進するための担当者の任命②認定基準クリア項目と未クリア項目の洗い出し。上記記載の通り、改めて取り組まなくても、既に達成できている項目が多数ある企業様も多いと思います。
③社員にも、参画意識をもってもらう為の意識共有。社員の望むものを導入することが　「健康経営」の社員への浸透に大きく貢献するのではないかと思います。トップダウンだけではなく、企業と社員が共に『健康』に向かって進んでいく姿勢が重要ではないでしょうか。

「健康経営優良法人認定」へ向けて！

社員の意見も取り入れながら、『健康経営』の取り組みを、スタートしましたが、社員からも好評だった取り組み例として、「水素水」のサーバー設置があります。
業務時間中も日常的に水分の補給は必要ですし、就業時間中でも、食習慣の改善が自然と行えます。
設置以降、社員の間でも軽度な風邪等の発症も減った印象がありますし、健康な状態での就業に、大いに役立っているのではと考えます。

現状の課題と今後の展望

今後の取り組み課題として、健康診断結果の良化・改善等もより進めていきたいと考えますが、その手法として「運動機会」の創出にも取り組んでいきたいと思っています。
年齢や家族構成などもあり、なかなか運動機会が作れていない現実があります。大洲市としてもスポーツ推進に熱心な面がありますので、そういった行政面での支援・協力もあるといいですね。四国は自然豊かな地でもあるため、社員と一緒に『登山』などにも取り組めればと模索中です。(笑)

これまでの取り組み経緯

- 健康診断の受診勧奨
  (検査、再検査、治療に要する時間の出勤認定)
- コミュニケーションの促進に向けた取り組み
  (花見・忘年会等)
- 食生活の改善に向けた取り組み
  (会長の畑で収穫した野菜の提供)
- 感染予防対策(アルコール、マスクの設置)
- 受動喫煙対策(屋内全面禁煙)
- 「水素水」サーバーの設置
- ワークライフバランスの実現(有給休暇の取得促進)

社員にも好評！
『水素水サーバー』

159

愛媛県
北四国営業支社

Voice Report 200th

仙味エキス株式会社

仙味エキス(株) 社屋外観

社員を想い、声を受け止め、ともに進めていく『健康経営』！

- 代表取締役社長　筬島克裕 氏
- 本 社 所 在 地　愛媛県大洲市平野町野田779-2
- 主な事業内容　調味料・食品製造
- 従　業　員　数　187名(男性:127名・女性:60名)

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020 認定

『健康経営』取り組みのきっかけ

現在の従業員含め、採用候補者が安心して長く当社に勤められると感じてもらいたいと思っていますし、県外に就職した大洲市出身者が地元にUターンを検討してもらいたいとも思っております。地元大洲で是非働いて頂きたい！その気持ちから健康経営を取り組み始めました。また、昨今の就職事情から、福利厚生として会社が従業員を大切にしていくという姿勢や想いを内外に発信して伝えることは重要だと感じております。

「目安箱」で現場の声をトップに！

初期段階の取り組みとしては、①社内アンケートを実施して社員の意識を確認、②会社の取り組みを社員に告知、③従業員の意見などをピックアップして各取り組みに反映、といった取り組みを行ってきました。各取り組みの中でも、特に特徴的なのが「目安箱」と言われる「スピークアップボックス」です。スピークアップとは率直に話すという意味ですが、報告すべき問題点や要望があれば記入して投函してもらっています。それだけではなく、現場の声を重要視し、良いこと、感謝したことを伝える(公表可ならば掲示)こともできるようにしています。

「健康経営優良法人認定」へ向けて！

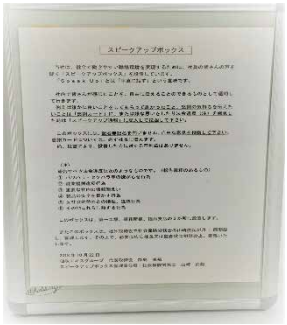
社員の意見を取り入れながら試行錯誤しています。現在、体だけではなく、メンタルヘルス対策にも力を入れており、ストレスチェックの実施、社員が悩みを抱えたままにしないようにしていきたいと思っています。
また、コミュニケーション強化のため各現場のチームごとにミーティングを実施し、有給休暇の積極的な取得、職場環境のより良い改善などを話し合うようにしており、自身が務める会社を仲間同士で話し合い考える、意見を言える機会を設けています。

現状の課題と今後の展望

今後の取り組み課題として、今まで様々な取り組みをしてみましたが、結果、効果が顕著でなかったものや、ニーズとすれ違っていたもので中止した取り組みもいくつかあります。引き続き、社員の声を聞き、内容を精査して実現可能なところから行っていこうと思います。
当社は「味、食品を通して安全と健康を創造していく」理念があります。食べることから健康を実現していき、まずは社員が健康でいられるように今後も取り組んでまいります。

これまでの取り組み経緯

・健康診断の受診勧奨
・コミュニケーションの促進に向けた取り組み
(年数回の食事会機会提供)
・食生活の改善に向けた取り組み
(朝食を社内で無料配布)
(会社指定の健康的なお弁当、食事を利用した際に1食当たりで補助を行った)
・感染予防対策(除菌アルコールの社員配布、マスクを確保して社員向けに定価販売)
運動機会増進のため、指定の運動施設利用料補助
・従業員の意識調査を行うための取り組み
「スピークボックス」の設置



通称「目安箱」
無記名で自由な意見を投函できる。

株式会社フクテコ

代表取締役社長
福頼弘樹 氏

「スピードへの挑戦」　元気を発信し続ける 元気な会社でありたい

- 代表取締役社長　福頼弘樹 氏
- 本 社 所 在 地　島根県松江市東出雲町
- 主な事業内容　機械部品製造修理
- 従　業　員　数　35名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020(中小規模法人部門)認定

トップダウンによる効率化の限界 任せることで社員の自主性を高める

先代の時代は、経営者も現場に入り、社員と一緒に汗を流しながらトップダウンによる効率化を進めて来ました。
しかし、社員数が増えるとともにすべてに目配りをすることがだんだんと難しくなって来ました。
2013年の社長就任を機に、社内制度の変更や会社の進むべき方向の提示を行い、組織改編に着手しました。
まずは、組織図を明確にして３部門に編成。それぞれに部門長を配置しました。その各部門で社員だけの毎月1回1時間の小集団活動（グループミーティング）を開始しました。始めた当初は、会社や他部門への不満や要望が多くなったり、話し合いだけに必要以上の時間がかかったりする傾向にありました。それでも活動の内容を社員に任せていると、徐々に、前向きなアイデア出しや、グループでの改善活動を実施するように変わって来ていました。さらには、業務負荷のばらつきが発生したときに、社員同士が話し合って部門内外の応援体制をとるなど、自主的な行動が増えてきました。

自己啓発ではなく健康はお仕着せ 社長がリーダーシップをもって実践

社員の自主性をさらに高め、コミュニケーション強化をはかるために2018年から健康経営に取り組んでいます。
きっかけは、セミナーに参加したことです。健康経営が生産性向上につながると考え、セミナー参加当日に早速「健康宣言」を行いました。
健康経営に取り組み出した当初は、「また、社長が変なことをやりだした」と思う社員が大半でした。しかし、健康講座の開催・ウォーキング大会の実施・レガッタや駅伝大会への参加など継続的にイベントを行うことで社員間の円滑なコミュニケーションにつながり、生産性の向上に貢献しています。

一層の相互理解を深める場 毎年1回開催の家族工場見学会

若手新入社員の価値観は多様化しており、幅広い世代が全社一丸となって進むためには「相互理解」を深める必要性も高まってきました。社長就任から毎年1回開催している家族工場見学会では、娘の手を引いて職場をまわる“父親”の姿や、妻に加工設備の説明をする“夫”の姿など、“普段の社員”とは違う、“家族の一員としての姿”を見ることができます。家族が参加できない社員も一緒になって同じ時間を過ごし、イベント運営の役割をそれぞれが果たす中で、お互いが色々な一面を見せ合い、理解がふかまります。この相互理解が仕事を進めるうえでのコミュニケーションにつながり、結果、業績もよくなってきました。

家族工場見学会での集合写真

さらなる進化をめざして

社員の自主的行動による「自律型の生産性向上」をめざしています。会社の主役は、社員一人ひとり。それぞれの持ち味を生かした自主的社員づくりを通して、よりよい会社づくりをめざしています。

社内ウォーキング大会の様子

株式会社あおい総合設計

代表取締役
浦川英敏 氏

会社のため、社員のためと取り組んできたことが『健康経営』だった

- 代表取締役　浦川英敏 氏
- 本社所在地　鳥取県米子市皆生
- 主な事業内容　土木建築サービス設計コンサル業
- 従業員数　14名(男性:9名・女性:5名)

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2017～2020 4年連続認定

社員は人財

当社社長の理念は「社員は人財」です。
20年以上前から健康診断は「全社員」「勤務時間中受診」「費用全額会社負担」で行ってきました。
そのような土壌があったので、社員に対して取り組みやすい健康づくりをいろいろと継続してきました。申請にあたり、新たな取り組みをすることなく、ありのままの当社で、健康経営優良法人に認定されました。

取り組みの概要

・健康診断の再検査受診の勧奨。
・特定保健指導の設定。
・休憩室に運動器具を設置。
・会社行事ウオーキング大会、ボーリング大会を開催。
・他の団体主催健康イベントへ参加。
・アクサ生命保険付帯のメンタルサポートサービス等の社員利用を活用。
・全社員へ歩数計の配布。

感染症への対策

毎年インフルエンザ対策をしてきましたので、新型コロナウィルス予防対策も全員の協力で素早く対応できました。
取り組みを通して、自分の体質を知り、家族も気を付けてくれているからこそ、社員が体調不良を原因で休むことはほとんどありません。
それは会社の生産性を上げることに寄与しています。

健康経営の取り組みがコミュニケーション促進へ

歩くことへの意識が高まり、「平成30年度健康づくり鳥取モデル事業」に申込みました。歩くメリット、効果のある歩き方実習、ダイナミックストレッチ、椅子に座ったままの肩こり解消運動等、社員の健康づくりの動機づけになりました。
健康経営に取り組む活動のおかげで、幅広い年齢の社員同士の会話が増え、コミュニケーションが図れています。

ダイナミックストレッチの様子

今後の展望

名刺に「健康経営優良法人」のロゴを記載しています。多くの取引先の方がまずこれに関心を持たれるので、商談のプラスになっていることを実感しています。
会社が評価されていることに社員も誇りを持っています。そんな社員とともに現状の取り組みに満足せず、新しいことにチャレンジしていきたいと思います。

株式会社バイタルリード

代表取締役社長
森山昌幸 氏

「社員の心と体の健康&コミュニケーション向上」をテーマに健康経営に取り組む島根県出雲市にある平成10年創業の建設コンサルタント業

- 代表取締役社長　森山昌幸 氏
- 本 社 所 在 地　島根県出雲市荻杼町
- 主な事業内容　建設コンサルタント
- 従　業　員　数　40名(男性:17名・女性:23名)

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人2020
(中小規模法人部門)認定

コミュニケーション促進のための『健康経営』開始

創業以来、支店・営業所を開設しながら成長拡大し、従業員も増えてまいりました。非常に喜ばしいことですが、少数で経営していた時代と比べ社長の目が届きにくくなり、「従業員同士の連携」がこれまで以上に必要となりました。コミュニケーションを促進させるための取り組みは、そういった意味でバイタルリードが企業理念である「元気で幸せな社会をつくるために、人・物・心を動かす先進的な技術と感動サービスを提供」するために必要不可欠であり、「健康経営」を開始しました。

『健康経営の担当者』を2名体制で任命

バイタルリードは健康経営の担当者を世代・年代の異なる2名体制で任命し、様々な取り組みを展開しています。
拠点ごとに担当者を任命することはよくあることかもしれませんが、1人で思い悩むよりも2人の方がアイディアや知恵も創出され、また何よりもそこでコミュニケーションが生まれます。健康経営の取り組みを考えるにあたり、「私たちの世代ではそれは嬉しくない。」「こういう発信の仕方が心に響く。」などコミュニケーションがあるからこその、気付きや生まれるものはたくさんあります。

『バイタルリードらしさ』の健康経営

健康経営を意識した「コミュニケーション促進」取り組み。
▶「仲良しランチ会」の実施
・・・月に1回、部署を超え従業員同士のランチ会を1人当たり500円を会社負担し、会話の機会を創出しています。
▶「社内SNS」の実施
・・・社内の連絡事項に留まらず、従業員同士の様々な情報共有をしています。「漫画部」や「餃子部」なども立ち上がり、業務を超えてのコミュニケーションがそこで生まれました。
▶「レクリエーション」の開催
・・・毎年、従業員とその家族のBBQ大会を開催し、ご家族にも応援いただく風土を目指しています。

『体の健康』『心の健康』『社会的な健康』

もちろん「社会的な健康」や「心の健康」に必要なコミュニケーションの促進だけがバイタルリードの健康経営ではありません。
デスクワークが中心な従業員のために、卓球台やバドミントンのセットを用意し、休憩中に体を動かしてもらっています。また、近隣のスポーツクラブに通いやすいための支援も行っています。
そのほかにもさまざまな取り組みを創意工夫しながら展開しています。

株式会社バイタルリード様が取り組まれた健康経営活動

2016年1月　スタート
①健康診断受診率は正社員・パートタイマー含め100%実施。健康管理の大切さを全ての従業員に呼びかけ、意識いただいた。
②従業員を対象とした健康セミナーを開催。「スモールチェンジ」をテーマに職場で気軽に出来る健康増進のセミナーをアクサ生命に依頼し実施。
③メンタルヘルス相談窓口を社内外にそれぞれ設置。
④従業員の健康習慣アンケートを実施。「飲み物」「食生活」「運動」「喫煙」「こころの健康」「睡眠」「適正飲酒」の7項目の行動変容を分析し健康増進に向けた課題の洗い出し。(アクサ生命・提供)
2017年/2018年/2019年 健康経営優良法人及びヘルス・マネジメント事業所認定
2019年10月　健康経営優良法人2020を申請

イズテック株式会社

代表取締役
高橋英一 氏
(出雲商工会議所 副会頭)

『全ての社員が健康な状態で定年を』健康経営を通じて選ばれる企業へ

- 代表取締役　高橋英一 氏
- 本社所在地　島根県出雲市浜町
- 主な事業内容　建設コンサルタント
- 従業員数　50名(男性:42名・女性:8名)

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2017～2020 4年連続認定

「健康経営」導入のきっかけは自然災害から

平成25年に大きな自然災害が起きた際の対応で社員の残業が大きく増えた時期がありました。
その結果、健康診断の結果が悪化してしまい会社として何か対策を講じないといけないと考えていた時に「健康経営」の存在を知り、まずは「健康経営を勉強する事」から始めました。
そのステップアップとして「健康経営優良法人」に平成29年より認定され現在4年連続で認定いただけるようになりました。

従業員全員で目標設定

イズテックでは社員全員で「健康に関する個人目標」を毎年3月に策定し春先に全体で発表し社内の掲示板にも載せています。「間食を控える」「体重を減らす」「徒歩通勤を増やす」等、各々が自分に合った目標を定めて実践しています。
また、残業対策として「管理職による労働時間の管理」から「社内全体での見える化」にチェンジをし、誰がどれだけ残業をしているかを誰もが見れるようにしています。誰かが突出して残業しないよう社員同士で業務を分担し「残業の平均化」を目指し、効果も表れてきました。

「見える化」で従業員の家族にも協力いただく

様々な「見える化」によって社内のみならずご家族にも健康経営を理解いただきご家庭からの声かけもあり、従業員の皆様の健康意識は高まっていると感じています。

【社内掲示板】
健康に関する情報コーナーや、個人目標等を掲示しています。

採用(リクルート)でも健康経営の効果発揮

採用時に就活生より「有給の取りやすさ」や「残業」等、働き方に関する質問が増えてきています。
ひと昔前とは時代は変わっており「安心して働ける職場環境」を提供できる事は良い人材を確保する為にも必要不可欠だと感じています。
会社説明会時に「優良法人認定証」も見ていただき、安心して面接に進んでいただいています。

新型コロナウイルス予防対策も健康経営に導入

テレワークが出来る仕組みを整え、採用に関しても非対面でのWEB面接を開始しました。
事務所の出入口にもアルコール消毒液を設置しご利用いただくようにしています。応接では従来は「お茶出し」をさせていただいていましたが、現在は「お茶出し」も控えさせていただいております。
イズテックにご縁があった全ての社員が健康な状態で定年を迎えていただき、有意義な老後を過ごしていただきたいと考えています。お客様にも「さすがイズテック」「仕事を任せて良かった」と思っていただく為にも社員満足度を高め、変化が多い世の中においても常に社会から必要とされる会社を目指していきたいです。

【事務所の出入口】大きくわかるように
アルコール消毒のご協力をお願いしています。

サンベ電気株式会社

代表取締役
安達 昌 氏

「社員は家族」健康経営で想いを形に！

- 代表取締役　安達 昌 氏
- 本社所在地　島根県松江市西津田
- 主な事業内容　一般電気工事業
- 従業員数　60名(男性:48名・女性:12名)

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020 認定

「安全と健康の保持」が会社の基本方針

元々、サンベ電気は基本方針に「安全と健康の保持」というものを掲げています。夏場の従業員の熱中症対策ひとつあげても安全に業務を全うする為には「健康」という観点は欠かせないものと考えています。熱中症対策として社員全員に熱中症計と空調服や水冷シャツを貸与し夏場の業務を安全に遂行する為の取り組みも行っています。
また「社員は家族」と考えている会社なので家族の健康がプラスとなる事はサンベ電気の社風にも適合している事から積極的に取り組む事を決めました。

病気の「早期発見・早期治療」への環境作りが大切な社員の職場復帰に繋がる

サンベ電気では常日頃より社長が「社員の身体が丈夫で、家庭があって、はじめて会社がある」と言葉にしています。
その言葉を実践するように毎年40歳以上の希望者に人間ドッグ受信を費用全額会社負担で実施しており業務時間内に社員が受診出来る環境を作っています。この制度を活用し病気の早期発見・早期治療にて会社を辞めずに無事職場に復帰できた社員もいます。
健康経営と働き方改革はリンクしており土曜日の隔週勤務体制を改め第一土曜日以外は完全休暇体制としました。

社員の意見も尊重し経営に積極的に反映

経営陣や管理職からのトップダウンだけでなく現場の社員からのボトムアップも大切にしています。昨今のコロナ対策においても幅広く社員からの意見・アイディアを集約し、夏場を迎えた際の作業用マスクの在り方や勤務環境など現場にいないとわからない事をしっかり聞き入れて対策を検討しています。
社員自らが自身の健康増進のために何をすべきか考え、会社に意見やアイディアを積極的に提案する事で社員の健康意識も自然と高まってきていると感じています。
社員が働き詰めとなる事による健康を害する事を防ぎたいという考えから「有給取得奨励月間」も設けています。

健康経営に取り組むことで社員同士のコミュニケーションの強化へ

社員同士のコミュニケーションが増え、また社員の定着率も高くなってきました。
年1回全社員で年代別や職種別で研修会を実施しており同時に親睦を深め健康増進にも繋がるレクリエーションを行っており、社内でフットサルチームも結成しています。
スポーツ庁からも「スポーツエールカンパニー」の認定もいただきました。業務以外での社員同士のコミュニケーションのきっかけが与えられる事は社員としてもありがたいと考えています。

お客様の笑顔が我が喜びと感じる会社へ

「社員は家族」という考えを今後も持ち続ける事で社員の健康だけでなく人間力向上と強固なチームワーク作りを目指しています。社員と共に企業を成長させ、より多くのお客様と喜びと感動を一緒に分ち合い地域に貢献していきたいです。

【スポーツレクリエーションの様子】
社員1人1人の意外な一面も発揮！

【事務所入口】
新型コロナウイルス対策も取り入れています。
社員全員にマスクも会社支給しました。

165

島根県
出雲営業所

株式会社シーエスエー

代表取締役社長
和田正志 氏

未来志向で社員と家族の幸福を追求！「五方良し」を実践

- 代表取締役社長　和田正志 氏
- 本 社 所 在 地　島根県出雲市今市町
- 主な事業内容　コンピュータソフトウェア製造・販売
- 従　業　員　数　36名(男性:24名・女性:12名)

健康経営優良法人 2020認定
中小規模

健康経営優良法人
2年連続認定

会社の良いスパイラルは社員と家族の健康から

元々「社員と家族の幸福度を高める」というシーエスエーが考える経営の軸がありました。
「健康経営」という言葉や仕組みが世の中に現れる前より「何を持って幸福か」を考え、「社員と家族の心も身体も健康な状態の実現」がモチベーション高く仕事に取り組める、良いスパイラルを創出するという結論に達し、様々な取り組みを始めました。
健康経営がその様な考えや「働き方改革」等とマッチングする為、積極的に「健康経営」を運営しています。「健康経営推進担当者」も健康経営アドバイザーの資格を取得し、名刺にも「健康経営優良法人」のロゴを入れています。

「健康経営」と「働き方改革」で生産性の向上に！

「健康経営優良法人」に認定いただき、多くの社員が健康面で前進しました。
前述の通り、インフルエンザの感染者が大きく減った事で、業務が非常に円滑に進むようになりました。
また、残業自体も少なくなってきています。「健康経営」と「働き方改革」が相乗効果を生んだ結果として、生産性の向上に結び付いています。

ワークライフバランスは社員１人１人を尊重！

例年、インフルエンザで１週間、仕事を休まざるを得ない社員が出て業務に大きな支障が出ていました。
その為、インフルエンザの予防接種補助金制度（社員とその扶養でない子供まで対象）を設け、周知徹底したところインフルエンザの感染者が０人となりました。
働き方改革の中で「週に１度は定時帰り」を設けました。社員と家族のプライベートにも配慮する為にあえて「毎週〇曜日」と固定せずに毎週月曜日の朝にそれぞれの定時帰りの日を自分で決め発表し、オフィスにその日を掲示しています。
「ワークライフバランス」は社員１人１人異なっている為、「自分で選べる」環境を作っています。
また、社長も社員の健康面に非常に関心が高く、健康診断結果を基に１人１人と社長面談を実施しています。

社員と家族と共に未来を見据えて『五方良し』経営

毎年平均して４人前後の方が健康指導を必要としましたが直近では０人となりました。これは社員の皆様の健康面における意識が非常に高くなり行動に変化をもたらした大きな結果だと感じています。
「方針は社長が決める」「やり方は社員達が皆で考える」そんなサイクルが良い方向に回転しています。
「三方良し」という考えがあります。「買い手良し」「売り手良し」「世間良し」と言われていますがシーエスエーは「五方良し」を目指しています。三方に加え「社員とその家族良し」「未来良し」です。
社員と家族の幸福を高め、未来志向で考えていく。シーエスエーは「五方良し」の実現にて時代に合わせた新しいサービスやシステムの開発を目指していきたいです。

【定時帰りの掲示板】
社員達の考えで「見える化」を
始めました。

【社内ボーリング大会の様子】
部署を超えて社員同士の
コミュニケーションを深めています。

【本社】
写真は現在の本社です。
令和３年には新社屋設立予定！

金田コーポレーション株式会社

代表取締役社長
畑島美緒 氏

全従業員の物心両面にわたる幸福と会社の発展のために

- 代表取締役社長　畑島美緒 氏
- 本 社 所 在 地　岡山県玉野市田井6丁目7番6号
- 主な事業内容　大型鋼構造物製造業
- 従　業　員　数　45名(男性:37名・女性:8名)

健康経営優良法人 2020認定
中小規模

健康経営優良法人
2019・2020 2年連続認定

人材確保が難しい中、働きやすい職場を目指して

きっかけは、協会けんぽから送られてくるお知らせを見て健康経営を知りました。岡山県で行われている「晴れの国から健活企業」に宣言。
人材の確保が難しい今だからこそ、他社との差別化を図る意味で健活企業宣言をし、働きやすい職場づくりを目指して取り組みました！

意外とすでに実践済であったことへの驚き

健康経営に取り組むにあたり、従来から行っている様々な取り組みを再検証したところ、多くの取り組みが健康経営の実践に合致することが分かりました。簡単なこと出来ることから始めていくことの重要性を知りました。

社内で水耕栽培を行っています！

食生活の改善に向け、健康に配慮した仕出し弁当を注文した従業員の費用を会社が3割負担することを実施。また、社内で水耕栽培を行い、無農薬野菜の試食会を実施。食生活の意識向上を行った結果、自宅で家庭菜園を行う従業員が増加しました！

本社内水耕栽培場

女性が活躍できる職場づくりと運動機会の増進

業種柄、男性が多い職場ですが、女性が活躍できる職場づくりへ様々な工夫を実施しています。女性の健康づくり促進のための講師によるストレッチ体操・フラダンス講習会、また、自身も参加する定期的な女子会を開催し、忌憚ない意見をきいています！今では女性が社内的に強くなりました！
また、社内3Fにトレーニングルームを設置しランニングマシン・トレーニングバイク等を導入。各個人で健康な体づくりを目指しています！

本社３階トレーニングジム

今後の展望

今年で創業73年を迎えました。今後100年・200年と続く未来へ、スローガン「馬龍精神」のもと、飛躍を期する心意気を常に持ち続け、健康経営を実践し、従業員の健康を守り健全で革新的な企業を目指します！

株式会社共和工業所

代表取締役
石本隆一 氏

定年を超えても長く働くことができる「活力ある企業」を目指して！

- 代表取締役　石本隆一 氏
- 本社所在地　岡山県倉敷市松江4丁目2番3号
- 主な事業内容　産業用機械器具製造業
- 従業員数　57名(男性:38名・女性:19名)

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020 認定

健康診断で指摘を受ける従業員が増えてきました

弊社の創業は昭和29年です。会社の財産である技術・スキルを持った従業員の平均年齢は上昇し、毎年の健康診断で指摘、治療を受ける従業員が増えてきました。
以前は企業の運動会、ボーリング大会等の体を動かす施策を行ってきましたが、年数を経るごとに自然消滅し、会社の活力そのものが弱まってきたのではないかと不安に感じ始めていました。

「晴れの国から健活企業」から「健康経営」へ

全国健康保険協会岡山支部では「晴れの国から健活企業」という健康宣言事業を行っています。弊社も宣言を行っていましたが、優良法人認定を意識したことはありませんでした。しかし健康経営の理解を深めることで、その取り組みを行うことが会社の発展、従業員とその家族の人生の幸福につながるのではないかと思うようになりました。

優良法人認定に向けた取り組み

優良法人認定に向けて、まず従業員全員を対象とした生活習慣アンケートを実施しました。同時に産業医・メンタルヘルスチェック対応の整備を行った上で、従業員へ説明会を開催しました。
説明会では健康経営への取り組みを宣言した上で、生活習慣アンケートのフィードバックセミナーを行いました。
その後は喫煙場所の再整備と従業員への定期的な情報提供を継続することで、2020年健康経営優良法人認定を初めていただくことになりました。

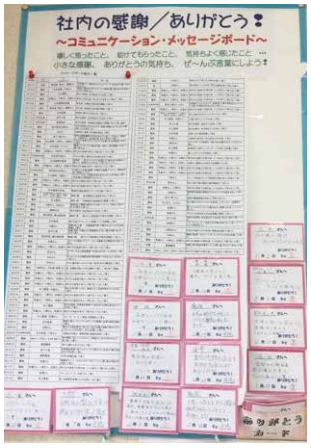
事業所外観と喫煙対策

健康経営も率先垂範

従業員に対して健康経営への取り組みを宣言することで、私自身自分の健康に一層気をつけるようになりました。アクサ生命から紹介頂いたスマートフォンアプリは大変気に入っています。減っていく体重を見ると嬉しくなり、おかげでこの半年間で大幅に減量することができました。(笑)

新型コロナウイルス対策と今後の展望

新型コロナウイルス対策としては、従業員にはマスクを配布するとともに、消毒液を個別配布して感染防止に取り組んでいます。また来社の方々への検温、アルコール消毒のお願いを行うとともに、得意先にはリモートセールス対応をスタートしています。
いずれも健康経営の延長と捉えて、新たな日常にチャレンジして行きたいと思っています。また最近は従業員の休憩室にトレーニング機器を設置しました。将来は会社がトレーニングジムとなり、出勤するたびに従業員が健康になる活力ある企業作りを目指していきます。



社内コミュニケーション向上のため
ありがとうメッセージボードを作成

従業員休憩所へトレーニング
マシンを設置

168

岡山県
倉敷営業所

Voice Report 200th

コンケングループ 株式会社コンケン・藤クリーン株式会社

代表取締役会長
近藤 義 氏

「家族が幸せになれる会社」の実現を目指して！

- 代表取締役会長　近藤 義 氏
- 本 社 所 在 地　岡山県岡山市南区浦安本町133番地２
- 主な事業内容　総合建築物解体工事業、産業廃棄物処理業
- 従　業　員　数　106名（男性:96名・女性:10名）

健康経営優良法人 2020認定
中小規模

健康経営優良法人
2020 認定

脱解体屋・産廃屋を目指して！

解体工事業、産業廃棄物処理業について、世間の方々は何となくグレーなイメージを持たれてるかもしれません。弊社コンケングループは2007年2月の「暴力追放宣言」に始まり、2018年からSDGsの活動を積極的に取り組み、単なる解体屋・産廃屋とは違う「環境価値創造企業」を目指しています。

「再検査率100％を目指す」ことが健康経営のきっかけとなりました

健康診断で再検査となった従業員の再受診率100%を目指すことが健康経営を取り組むきっかけとなりました。再受診の費用を会社負担にする制度作りから始まり、その後、協会けんぽの保健師よりアドバイスをいただき、「晴れの国から健活企業」の健康宣言を行う事になりました。
建設業界は平均年齢が高くなっています。健康でないとパフォーマンスを発揮できないという考えのもと、従業員の健康に更なる拍車をかけるべく、健康経営の取り組みをスタートしました。

禁煙対策として会長自ら従業員1人1人と面談を行いました

健康経営の取り組みをスタートしてから、喫煙者全員と1人1人面談を行いました。なお、2次・3次面談まで行うこともあり大変な労力がかかりましたが、その結果、従業員が健康経営を理解し禁煙に対して協力的になってくれました。
2020年4月からは車内、会社敷地内の完全禁煙を実施し、従業員の健康増進に取り組んでいます。

社内イベントとして健康セミナーを開催しました

年2回、外部講師をお招きし、運動や食事等の健康セミナーを開催しています。従業員2名を健康大使に任命し、セミナーの企画・運営を任せています。
今後も健康に関する社内イベントを開催することで、従業員の健康増進はもちろん、社員間コミュニケーションの活性化にも繋げていきたいです。

今後の展望

女性社員の比率が高まってきているので、「育児休暇明けの働きやすさ」にもチャレンジしている最中です。
また、健康経営の取り組みを継続し、コンケングループの社員だけでなく、その家族の方まで幸せになれる会社の実現を目指していきます。健康経営に留まらず、岡山市との災害時の協力協定、毎年恒例の地域のクリーン作戦等を通じて、地域防災・地域環境への貢献も引き続き積極的に行ってまいります。

運動指導士による健康セミナー

事業所外観

山陽環境開発株式会社・にいみ清掃株式会社

代表取締役社長
岩元達也 氏

ご家族が安心して送り出せる職場環境を目指して！

- 代表取締役社長　岩元達也 氏
- 本社所在地　岡山県新見市高尾2304番地の1
- 主な事業内容　廃棄物処理業
- 従業員数　山陽環境開発株式会社　20名
  にいみ清掃株式会社　39名

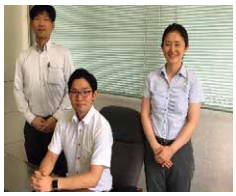
健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020 認定

企業経営における従業員の健康への思い

間もなく創立50周年を迎えますが、創業以来、
「縁あって入社いただいた社員さんに何かできることはないか」
という思いをベースに取り組んできました。
2年前に代表交代しましたが、ベースはしっかりと引き継ぎたいと考えています。
新見市は岡山県の県北に位置し、若い人材もどんどん採用できる環境ではありません。
経験豊かな従業員さんは会社にとって大切な財産です。
健康の問題で退職されることは大切な財産を失うことになります。このようなことの無いように、今いらっしゃる従業員さんを大切にし長く勤めていただける環境作りをする事が「健康経営」だと考えています。

健康経営の具体的な取り組みについて

基本的には今まで実施してきたことを継続しています。
社内報を通じて健康経営に取り組んでいることを伝えてきました。
新型コロナウイルス感染予防については、早い段階で環境大臣より「仕事を止めない事」「感染者を出さない事」が求められました。
そのため、従業員用マスクと消毒液を調達、玄関には来客用マスクと消毒液を設置、従業員のご家族には布製マスクの作成キットと作り方を配布し、感染予防に取り組んでいます。
喫煙については「禁煙サポート」制度を設け、禁煙に成功した方には禁煙外来受診費用を全額会社負担とすることとしました。
この制度を利用し、2名の方が禁煙に成功されました。



健康経営担当 岩元社長
岩元専務補佐 田澤様

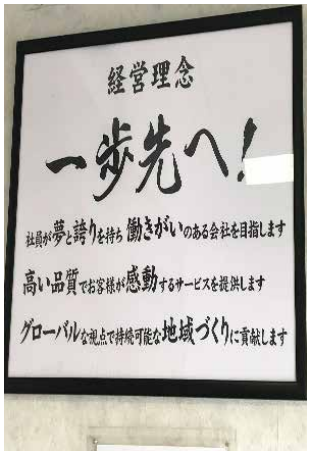
本社社屋

大切な社員とその家族の健康とともに会社も成長していきたい

当社は極力残業時間を抑え、家族と過ごす時間を多くとってほしいと考えています。
その一方で事故の多い業種という面もあり、従業員、そのご家族も不安なく安心して働いていただける環境づくりに努めていきたいと思っています。
従業員の皆さんに「健康」で「安全」に働いていただくことが、今後の会社成長に向けた大きな原動力になると考えています。

今後の展望

今回、従業員を対象とした「生活習慣アンケート」を実施しました。
会社の健康経営に対する考え方、健康経営に取り組む意義など十分に伝わっていない事など課題も見えてきました。
今後具体的に健康経営の取り組み内容をしっかりと伝え、セミナーなどの実施により、独自の認定制度なども考えてみたいと思っています。
そして従業員一人一人が自発的に健康に対する取り組みが出来るような企業、環境づくりを目指していきます。
目標は「ブライト500」です！！



経営理念と2020優良法人認定書

170

広島県
福山営業所

伊豆義株式会社

代表取締役
伊豆田康博 氏

創業100周年をOBと一緒に、「全員健康」で祝いたい！！

- 代表取締役　伊豆田康博 氏
- 本社所在地　広島県福山市新市町新市452
- 主な事業内容　アパレルパーツ（服飾資材）の専門商社
- 従業員数　100名（男性:51名・女性:49名）

健康経営優良法人 2020認定
中小規模

健康経営優良法人
2020 認定

健康経営との出会い

弊社の創業は昭和9年、私の祖父である伊豆田義男が創業しました。お陰様で、86周年を迎え、業績は順調に推移しております。
そんな中、私自身2年前から、体の不調が気になりはじめ、「健康である必要性」を感じ、会社全体で健康活動を行う健康経営に出会いました。

優良法人認定に向けた取り組み①

「ひろしま企業健康宣言」の認定を受け、次のステップとしては「健康経営優良法人」の認定を目指しました。
まず、従業員に対しアンケートを実施し、健康へ無関心な方が多いことがわかりました。
そこでまずは、感染症蔓延防止に向けた取り組みとして、マスク配布、消毒液設置を行いました。さらに、インフルエンザ予防接種の費用を会社が半分負担する取り組みを行いました。

優良法人認定に向けた取り組み②

さらに、健康増進に向けた取り組みとしては、自動販売機の飲み物をノンカフェインや糖質の少ない物に変更しました。
また、従業員の高齢化に伴い、受診推奨を積極的に取り組みました。具体的に胃カメラ受診費用、乳がんや子宮頸がんなどの検診費用を会社負担としました。再検査の際には、出勤扱いにするなど受診しやすい環境作りを行いました。

事業所外観

弊社取り扱い品目の一部

従業員の意識の変化

従業員に対して健康経営への取り組みを宣言することで、様々な変化がありました。今まで再検査に行かなかった従業員が行くようになり、健康に関しての研修を熱心に聞くようになり、健康への意識がとても高まりました。また、今回の新型コロナウイルスの感染防止対策では、従業員全員が接触確認アプリ「cocoa」の登録をしました。また密を避けるために食事する部屋を二つ増やし、さらに対面を避けるため同じ方向を向くことを徹底しました。

社長の想い

弊社はあと15年で100周年を迎えます。私の思いとしては、「みんな健康な体で引退してほしい。そして、100周年にOBを含めたみんなで祝いあいたい。」。そんな思いで、今回の取り組みを行いました。長い歴史の中で、多くの苦難を共にしてきた従業員だからこそ、引退後も責任をもって見守りたいと考えています。
今回、健康経営優良法人を取得し従業員のことを考え直す良いきっかけとなりました。今後も従業員と共に、お客様や仕入先の皆様に満足していただけるファブレスメーカーを目指し、精進してまいります。

感染防止策として
非対面での食事

すべての入り口に「来客者名簿」のノートを用意し、
新型コロナウイルスの感染を防ぐ活動

こだま食品株式会社

代表取締役
児玉昌造 氏

創業以来の精神で、「全員健康」で笑顔をお届けしたい

- 代表取締役　児玉昌造 氏
- 本社所在地　広島県福山市駅家町法成寺1575-9
- 主な事業内容　乾燥野菜加工
- 従業員数　60名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020 認定

創業者の精神を受け継ぎ健康経営を実践

当社は昭和35年に児玉青果店と言う八百屋として創業しました。創業者の精神を受け継ぎ「野菜加興を通じて、お客様の笑顔と健康を念願しつづけよう」を経営理念としています。
食の乱れが指摘される中、私たちは野菜が持つ素材の良さを引き出し、それを提供する事により、健康、安全、安心をお届けしたいと考えています。
日頃から社員の健康について留意していますが、健康経営の取り組みにより生活習慣病改善やメンタルヘルスサポートなど、注力していきたいと思います。

施設内全面禁煙に

喫煙者は数名で喫煙室にて喫煙可能としていましたが、健康経営への取り組みを機会に全面禁煙としました。
喫煙者には健康のためタバコをやめる事を強くすすめ、その結果禁煙をする社員も増えました。

WEBアンケートで社員の意識が向上

アンケートの結果、社員の健康に対する意識が高い事が分かりました。アクサ生命から頂いたワンポイントアドバイスのチラシを配布して、改善意識の向上を図った事で意識を持つようになったと感じます。(飲み物のカロリー等)

新型コロナウイルス感染対策の取り組み

食品会社として日頃から衛生面には特に気を使っていました。
新型コロナウイルスの流行により社員の健康、安心安全に注意を払い、マスクの着用、検温、アルコール消毒、三密をさけるためWEB会議、テレワークを実施しています。
緊急事態宣言時には事務所の勤務者を2部体制として、接触を減らし、万が一の場合にも休業する事のない体制づくりを行いました。
来社の方にも氏名、来社時刻の記入、検温、アルコール消毒をお願いしています。

社長の想い

『一番大切な人に食べて欲しいもの＝安心安全なもの』をお客様にお届けしたいと思い日々商品開発をしております。食べ物が体【健康】を作ります。健康であるために必要である野菜を販売する会社であり、健康経営を宣言し健康経営優良法人に認定された事で、社員の健康意識がより高まりました。これからも食品販売会社のプライドを持って全員で健康経営に取り組む方針です。

事業所外観

取り扱い商品【えごま油】

新型コロナウイルス感染予防のため
サーモセンサーを導入

株式会社中国トラベル

COO 専務取締役
野津山 守 氏

全社員が健康で旅行に行きたいと思える未来を目指して！

- COO専務取締役　野津山 守 氏
- 本 社 所 在 地　広島県福山市南蔵王町5-10-11
- 主な事業内容　旅行業
- 従 業 員 数　29名（男性:16名・女性:13名）

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020 認定

グループの方針もあり健康経営優良法人取得へ

弊社の創業は昭和45年です。グループ企業の観光部より独立し創業しました。
2年前に親会社よりすべての子会社で健康経営優良法人取得を目指す様方針が示され、当社としても何をすべきか協議。健康経営優良法人2020取得に向けてスタートすることとなりました。

禁煙コンテストを実施し意識改革

まずは喫煙者を減らす取り組みとして2ヵ月チャレンジ【禁煙コンテスト】を実施しました。課長以上の役職者は必ずエントリーする事とし、禁煙成功者には表彰をしました。
また、数字の【2】の字が白鳥に似ていることから毎月２２日を【スワンスワンＤＡＹ】とし禁煙にチャレンジする日としました。世界禁煙ＤＡＹの際にも禁煙チャレンジを実施しています。

健康診断後のフォローで従業員の健康管理を徹底

健康診断にて要再検査・要精密検査に該当しても再検査受診しない社員も多かった為、まずは再検査率100％を目指しました。
再検査受診について受診日程を報告。報告受けていない社員に何度も催促し100％受診に成功しました。
また、①血圧②腹囲③血糖④中性脂肪の4項目すべて正常範囲外の社員には改善報告義務を設け生活習慣病の改善に向け取り組みました。

従業員の意識が変化

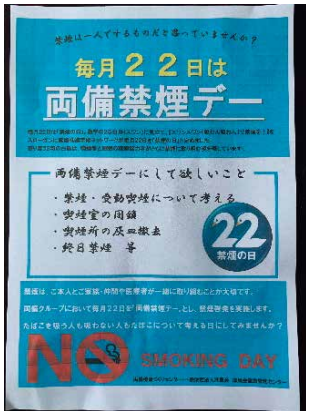
様々な取り組みを会社が真剣にしていくメッセージを発信していったことで従業員の意識が変わってきました。
今まで健康診断後再検査に行かなかった従業員も100％受診を目標にする事で全員が受診。喫煙者もあとわずかとなりました。

今後の展望と夢

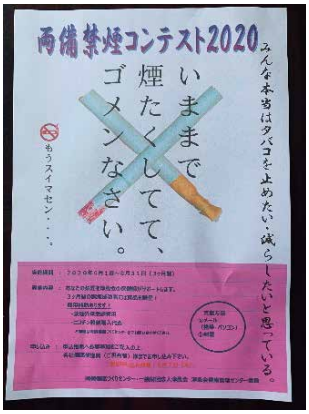
健康で長く勤務することは大切な事であり、これからも継続して取り組んで行きます。
当社は旅行業を営んでおります。
旅行に行く為には条件があります。①旅行に行きたいと思う家族やパートナーがいる②旅行に行く予算がある。そして③健康である事です。
従業員が健康を意識しその意識がお客様にも広がっていく。そして、多くの方が健康になる事で旅行に行きたいという気持ちになって頂ければ幸いです。

会社外観

世界禁煙ＤＡＹに合わせ
禁煙を実施



22日【スワンスワン】を
禁煙ＤＡＹに



2か月間の禁煙チャレンジ

173

広島県
福山営業所

青葉印刷株式会社

代表取締役社長
松浦秀明 氏

それぞれがこの会社で働いて良かったと思える会社に

- 代表取締役社長　松浦秀明 氏
- 本 社 所 在 地　広島県福山市曙町2-11-25
- 主な事業内容　印刷業
- 従　業　員　数　43名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020 認定

社員への思いから健康経営優良法人取得へ

弊社の創業は昭和39年です。現社長は2代目ですが、先代社長含め企業経営は【人が大切】であり、社員を大切にせずして発展はないとの思いを持っています。
特に健康に関して重要視しており、これまでも県や協会けんぽの取り組みに賛同。健康宣言の実施やひろしま企業健康宣言認定・ワークライフバランス認定等取得してきました。この度アクサ生命の勧めもあって健康経営優良法人2020取得に向けてスタートすることとなりました。

従業員の健康に対する意識がさらに向上

元々アンケートを実施した結果も健康に対する意識が高かったのですが、健康経営優良法人への取り組みを実施した事で再検査に行く社員が増加するなどより意識は高まってきました。
会社としても従業員に対するフォローをしていく事の重要性を再認識することが出来ました。

健康に関する社員の意識を向上する取り組み

毎年の全国衛生週間において、当社の健康診断の結果からみる課題と今後の目標について資料を作成し、全社員へアナウンスしています。
また、有所見者には再検査を受診したことを報告してもらうようにし、期限までに受診の報告がない社員には定期的に呼びかけを行い、健康に対する行動意識を高められるよう取り組んでいます。

今後の展望と夢

幸せになる為には自身の心も体も健康であってからこそのものであり、社員とその家族、またご縁が出来たお客様含め当社に関わる皆様の笑顔を創造し続けていける会社でありたいと考えています。社員全員が健康経営を理解し参画していく事で健康で長く勤務し、それぞれがこの会社で働くことが出来て良かったと言ってくれる様これからも健康経営に取り組んで行きたいと思います。

その他取り組み改善事項

始業前任意でのラジオ体操を実施。任意でありながら毎日60％以上の社員が実施しております。その他インフルエンザ予防接種を会社負担で全社員へ実施。この度のコロナウィルス感染拡大の不安から東京在住の5名の社員に抗体検査を実施。アクサ生命作成の健康経営ワンポイントアドバイスをグループウェア掲示板にて毎月掲載し、全社員が閲覧出来るようにしました。

毎年実施しているインフルエンザ予防接種の様子

“笑顔創造カンパニー“という
企業理念のもと取り組みを実施し、
いただいた認定証書

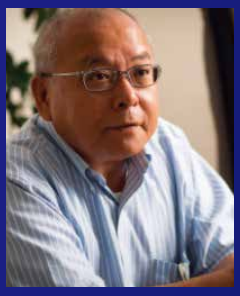
会社外観

174

広島県
府中備北営業所

Voice Report 200th

有木株式会社



代表取締役社長
有木康彦 氏

社員全員が責任感を持って仕事に取り組み、心身共に充実した豊かな人生を過ごせる会社を目指しています

- 代表取締役社長　有木康彦 氏
- 本 社 所 在 地　福山市新市町宮内670
- 主な事業内容　ファッションパンツの製造販売
- 従　業　員　数　81名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模

健康経営優良法人
2020 認定

CHANGE!　取り組みへの思い

弊社は中小企業の中では、働き方改革を先進的に実践してまいりましたが、大企業と比較するとまだまだと感じており更に高みを目指したいと思っております。社内アンケート、面談を実施分析した結果、満足度が低い社員は、社内コミュニケーションの悩みを抱えている事がわかりました。そこで会社と社員の距離を縮める事が先決と考え「コミュニケーション」をキーワードにさまざまな取り組みを進めています。

VOICE!　社員の声

①リフレッシュ、社員交流ができるトレーニングジムが完成。インストラクターを招待してのイベントもあり楽しみながらトレーニング出来て皆の健康への意識が高まっており社内コミュニケーションにも良いと皆さんに好評です。
②会社側が従業員へ寄り添ってくれますので、親の介護など困ったことを相談できます。私は勤続26年ですが、それも相談しやすい職場のお陰です。
③スキルアップのため、会社のサポートを受けてソフトウエア会社が主催するセミナーへ参加しました。会社へ貢献できるだけでなく、自分の成長へも繋がるのでやりがいがあります。
④半日単位で有給休暇の取得や早退もできるので、子供の授業参観などの行事に参加でき、急な子供の送り迎えにも対応できてありがたいです。

ACTION!　私たちの制度・取り組み

①社内コミュニケーション勉強会開催：勤務箇所の違う社員同士が抱えている問題点・課題などを共有することのできるよう勤務時間内に設けている。トレーニングルームを作り、自由にリフレッシュ、社員交流ができる空間を提供しました。インストラクターを招待し皆で楽しい体験をできるように努めています。
②半日単位で有給休暇取得：子育てや介護など様々なライフスタイルに合わせた働き方が可能になっています。
③社内表彰制度：数値化して評しにくい社員も自薦・他薦でお互いを評価し、社員集合時に社長より表彰しています。
④グループウエアによる業務の見える化：社員のスケジュールや会社全体の働き方を共有でき業務の効率化が進んでます。
⑤キャリア面談や社員アンケートでの社員の声を吸い上げる：社員旅行プランや健康づくりなどアンケート実施し、キャリア面談で社員の意向を聞きながら、研修プランを考えてます。

可愛いお子様達へ、手作りマスクを贈りお礼のメッセージを社内へ掲示

澤田建設株式会社

代表取締役社長
澤田健規 氏

「社員が資本である建設会社」
従業員の健康づくりと働きやすい職場づくりへ向け健康経営に取組む

- 代表取締役社長　澤田健規 氏
- 本 社 所 在 地　山口県防府市開出西町23番1号
- 主な事業内容　総合建設業
- 従　業　員　数　87名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2019・2020 2年連続認定

健康経営に取組もうと思った きっかけについて

私自身、幼少の頃に九死に一生の経験があり、
「まず健康が第一！心身共に健康でなければならない。」思いを持っております。建設会社は社員が資本であり、社員1人1人のキャリアで運営されています。経営に「健康」を取り入れないといけない中、「健康経営」の制度を知り、やまぐち健康経営企業認定制度、そして健康経営優良法人認定を導入しました。

健康経営を進めていく上での具体的な 取組み内容について

労働時間の短縮、有給休暇5日以上の取得推進、リフレッシュ休暇の新設、別途積立有給休暇の運用、敷地内禁煙、スポーツジムでの体力測定、従業員との家族状況を含めた面談実施、ストレスチエックの実施、全社員のインフルエンザ予防接種実施、万歩計・スマホアプリを活用した活動状況数値の競い合い・表彰実施等を行い、従業員の健康づくりと働きやすい職場づくりに取組んでいます。

従業員の健康習慣に関する効果について

敷地内禁煙の実施により従業員の喫煙率が低下し、インフルエンザ罹患率も低下しました。従業員本人、家族を含めて「健康管理しないといけない」雰囲気が生まれ、社内では「健康と安全の両輪」が更に進んでいます。
毎年実施している従業員との家族状況を含めた面談を通し、悩みや相談が聴き易くなり、これからはメンタルヘルスにも取組んでいきます。

会社全体に対する効果について

健康経営の取組みと併せて、会社ユニフォームの変更やJリーグ「レノファ山口」スポンサー、山口放送「健康経営企業CM」、地域イベントへの積極的な参加を通し、会社のイメージアップができています。
働きやすさ、働き甲斐のある「澤田」で良かったと全社員が思い、取組む中で、先駆けてやる習慣も生まれ、会社は業績も改善となっています。

今後の展望

この度新キャンパス建設に伴い、協力会である
澤田建設澤鵬会より青少年赤十字のシンボルツリーである「イトスギ」を３本記念植樹して頂きました。
青少年赤十字態度目標である「気づき、考え、実行する」＝自主自立を経営に活かしてまいります。
社員１人１人が自立し、その集合体が会社です。
建設業は社員が全て。健康と安全の両輪を更に進め、健康経営に取組んでいきます。

新社屋近景

植樹頂いたイトスギ

西鉄不動産株式会社

「顧客第一、社員あっての会社」を実現するために健康経営に取り組む

- 代表取締役社長　桜木良平 氏
- 本 社 所 在 地　福岡県福岡市中央区大手門
- 主な事業内容　不動産業
- 従　業　員　数　225名(男性:152名・女性:73名)

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020 認定

健康経営に取り組んだきっかけ

以前から社内において健康に対する取り組みは行ってましたが、2年前に立ち上げた「働きやすい職場環境づくりPJ」を契機に子育て世代・介護世代から要望等のヒアリング行い、要望の多かった短時間・日数減勤務、子の看護休暇・介護休暇の拡充やフレックス制度の導入等、就業規則改定や新規規則の制定を実施しました。保健師の助言もあり、この活動が健康経営認定に繋がる事を知り、社内外への周知を図るため認定取得に向けて動き出しました。

健康経営の取り組み状況

当たり前のことを確実に実施することをモットーに、健康診断、特定保健指導の100%受診を例年達成しています。
現在は再検査の受診率向上を目指しており、その他、毎朝のラジオ体操実施や、協会けんぽメールマガジン掲示による健康啓発、インフルエンザ予防接種補助金(3000円)の支給による疾病管理を実施。コミュニケーション促進のため社内・グループ企業間でのレクレーションの企画や、慰安会や部活動(登山、ランニング)に対しては補助金を支給をしています。

従業員への効果

認定後からの日数は少ないですが、インフルエンザ予防接種受診率は上昇しています。
また当社制度をまとめた“シゴトと子育て・介護の両立ハンドブック”を作成し、会社制度の社内周知に努めています。育児・介護制度の使用率が向上しており、働きやすくなったとの意見もいただきました。
今後はすでに導入している「Web勤怠システム」による労務管理の簡易化や、「フレックスタイム制度」の活用により、時間外労働の削減や有給休暇取得の促進効果を期待しています。

職場への効果

健康経営は従業員の健康保持推進の取り組みですが、本取り組みを会社ＨＰに掲載する等、社内外へ発信することにより企業のイメージアップを図り、今後、少子高齢化が予測される中で、長期的な企業の人材確保や離職率定着率の改善に繋がることを期待しています。

今後の展望

コロナウイルスの影響も考慮し、お客様や従業員が安心できる柔軟な働き方にシフトしています。その為にも健康経営は大切な要素です。
各従業員が結婚・出産・育児・介護といったライフイベントを経験してなお、安心して長期間働くことができる会社を目指していきたいと思います。

2020年7月28日撮影
左“子育て応援宣言登録証”
右“シゴトと子育て・介護の両立ハンドブック”

177

福岡県
福岡営業所

西部電気工業株式会社

「働きやすい職場」を実現するために　健康経営に取り組む

- 代表取締役社長　熊本敏彦 氏
- 本 社 所 在 地　福岡県福岡市博多区
- 主な事業内容　通信建設業
- 従　業　員　数　1,095名(男性:978名・女性:117名)

健康経営優良法人 2020認定
大規模
健康経営優良法人
2020 認定

組織の更なる活性化に向けて、健康経営に取り組む必要性を感じました。

社員の活力や生産性の向上等を図るため、健康経営優良法人認定の取得に向け取り組みました。
健康経営を実践することで、『心と体の健康』の維持増進及び社員が安心できる『働きやすい職場づくり』の実現を目指していきます。

健康経営を通して、取引先企業へのイメージアップへ

企業の採用は年々厳しい状況にあります。
社員は会社の宝です。社員の意見を取り入れ『働きやすい職場づくり』や福利厚生の充実など健康経営を積極的に実践しながら、今まで以上に社員や取引先企業へのイメージアップにつなげていきたいと思います。

『健康経営』の具体的な取り組み内容

まず社員の健康を維持する為に健康診断の受診率100%を目標に、社員約1,100名の全員が受診し目標を達成することが出来ました。
また、健康を目的とした、「卒煙チャレンジマラソン」を企画、10月から3月までで参加者の約半数が完走するとともに、完走者の所属する組織には報奨金を支給し、「卒煙チャレンジマラソン」を盛り上げることができました。
更に、今年度から新たな取り組みとして、喫煙ルームも屋外に設置しました。

今後の展望

健康経営を実践し、社内外に発信することで、社員個々人の健康に関する意識の向上を図っていきたいと考えています。
また、来年以降も継続して認定されるよう、社員一同、健康で『働きやすい職場づくり』を推進していきます。

健康診断後のフォローをしっかり実施していく

健康診断の受診率は100%を達成することは出来ましたが、再検査の受診率は改善の余地があります。
大切な社員が健康に働けるよう、再検査の受診率100%の目標達成と、健康な生活を送れるよう、今後においても、社員に対して各種の情報発信を行っていきます。

以前、屋内にあった２ケ所の喫煙所をなくし
屋外に専用の喫煙所を設置した。

178

福岡県
久留米営業所

Voice Report 200th

株式会社国光産業

(株)国光産業 社屋外観

～社員が心身ともに元気で働ける会社を目指します～

- 代表取締役社長　豊原敏行 氏
- 本 社 所 在 地　福岡県朝倉市馬田3311-1
- 主な事業内容　配合飼料製造
- 従　業　員　数　26名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模

健康経営優良法人
2019・2020 2年連続認定

『健康経営』への取り組みのきっかけ

健康経営優良法人2019の認定以前から認定基準項目には従業員の高齢化もあり積極的に取り組んでいました。
【福岡県協会けんぽ】からの勧めもあり優良法人認定申請の為に担当の社員を任命、2019年、2020年に続き2021年も認定を目指します。

これまでの健康経営への取り組み

・定期健康診断の１００％受診の実施
・再検査社員への受診勧奨
・特別休暇制度の設置
（現病のある社員への通院の場合は有給休暇を適用しない）
・禁煙の勧奨（禁煙者への報奨金の支給）
・受動喫煙の防止（屋外に喫煙所の設定）
・感染症予防対策（除菌アルコールの設置、
社員全員へのマスクの配布）
・インフルエンザ予防接種の費用全額会社負担
（会社指定の病院で接種の場合）
・食生活改善への取り組み
（会社指定の健康弁当を購入の場合の費用補助）
・自社での生産野菜を安価で従業員へ提供
・毎日、朝礼前のラジオ体操の実施
・自転車勤務の社員への健康通勤手当の支給
・毎年納涼会を開催（バーベキューなど）
（社員のコミュニケーションの場の提供）

現状の課題と今後の展開と決意

健康診断で改善指摘を受けた社員には協会けんぽの保険指導員より改善指導を実施。
労働時間に関しては毎朝１時間の早朝出勤（早朝出勤手当の支給）の実施。残業は基本的には行っておりませんので現在は問題はありません。
今後の課題としては女性社員に対し、女性特有の検診を会社負担での受診を検討中です。
毎年の健康診断受診率向上により、現病の早期発見、治療により健康経営の取り組みが社員の命を守ることにより、会社全体の発展に着実に繋がるものと信じて取り組んでまいります。

2019
健康経営優良法人
Health and productivity

認定証
（中小規模法人部門）

法人名　株式会社国光産業

貴法人は、従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践する「健康経営」の取組が優良であると認められました
よって、ここに「健康経営優良法人2019」として認定します
経済産業省及び厚生労働省と共に、今後一層取組を推進されることを期待いたします

2019年2月21日

日本健康会議

2020
健康経営優良法人
Health and productivity

認定証
（中小規模法人部門）

法人名　株式会社国光産業

貴法人は、従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践する「健康経営」の取組が優良であると認められました
よって、ここに「健康経営優良法人2020（中小規模法人部門）」として認定します
経済産業省及び厚生労働省と共に、今後一層取組を推進されることを期待いたします

2020年3月2日

日本健康会議

179

福岡県
柳川営業所

株式会社柳川合同

代表取締役社長
荒巻哲也 氏

「豊かな会社の創造」 ～社員、お客様、社会、すべてを豊かに～
お客様の心を運ぶ会社として健康経営で魅力と希望に満ちた職場を創る

- 代表取締役社長　荒巻哲也 氏
- 本社所在地　福岡県柳川市
- 主な事業内容　家具・食料品・一般物輸送
- 従業員数　348名（グループ計 2020年4月1日現在）

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2019・2020 2年連続認定

「最強・最優の会社を目指す」社長の考える会社の未来とは

私の夢は柳川合同を最強最優の会社にすることです。
この言葉は物流業において最強、そして働く社員は最優、「最も優れている」「最も優しい」人達だと言われるような会社にすることです。
これからも健康経営を継続し、会社創立100年の節目である2054年までに「夢」の実現を目指して、社員とともに頑張っていきたいと思います。

第9回　テッコン杯
新春マラソン大会
令和2年1月19日開催

ガンに罹患した従業員の死をきっかけに健康経営に取り組む必要性を痛感

６年程前、肝臓がんに1名の社員が罹患してしまい、残念ながらお亡くなりになりました。
その時に社員全員が平均寿命まで生きてほしいという強い思いが生まれました。
毎年健康診断を受け、病気を早期発見することで重症化予防ができ、早期治療を受けることで平癒に繋がります。
大切な社員が元気に長生きできるため、そして会社の最も大切な資産である優秀な社員に働き続けてもらうための投資として健康経営に取り組むことを決めました。

働き方改革と健康への投資

働き方改革もあり、ドライバーの長時間労働改善に取り組み始め、月の労働時間が2ヶ月平均60時間を超えないよう管理し、超えそうな社員には管理職の面談による指導を行っています。
社員の健康知識を高めるため、産業医の活用も積極的に行っています。労災事故の多いメタボリックシンドロームの社員への指導や新型コロナウイルス対策、肩こり・腰痛の改善指導などを随時実施しています。
また、女性社員には乳がん検診を会社負担で受診してもらうようにしています。
検診の際に、胃カメラを推奨しており、初期の胃がんが見つけることができ軽症のうちに治療し、寛解できた社員が4名います。
健康経営の取り組みが社員の命を守ることに着実に繋がることを強く感じています。

社員の健康増進を通じてコミュニケーション促進へ

関東にある事業所では、会社のイベントとして年1回30kmウォーク大会を開催しています。
柳川市の本社では社員はもちろん、一般参加者も募りマラソン大会を開催しています。
(参加者が増え過ぎたため、30kmウォークへ変更予定)
社員やその家族の運動機会増進にもなりますが、なによりも社員同士のコミュニケーション促進に繋がっています。
昨年もお互いに励ましあいながら全員がゴールできたことは健康への自信と、みんなの笑顔に繋がりました。
その他にも社内ソフトボールチームを結成し、お昼休みにキャッチボールを楽しむ社員もいます。
運動を通じて若手からベテランまで、世代を超えたコミュニケーションが活発となり、円滑な業務遂行に大いなる効果を感じています。

ソフトボール大会

お昼休みのキャッチボール

身体の資本は「食事」から みんなが集まれば美味しく食べられて活力アップ

毎週月曜日のお昼は会社負担で全員分のお弁当を準備しています。
また、月1回はカレーの日として全員に振舞います。前日から仕込みをする本格派で、NHKの「サラメシ」で取り上げられたこともあります。
いずれの日もいつもは外でお昼を済ませることが多いドライバーや営業社員も時間に合わせて戻ってきてますので、賑やかな楽しいひと時を社員同士共有できています。

健康への行動変容 たばこの減煙から禁煙へ向けた環境整備

職業柄、運転中のストレスからたばこの喫煙率が高くなかなか禁煙が進まない状況が続いていました。
健康経営の取り組みを進める中で、敷地の屋内禁煙に続き、8月1日からはトラック車両内も禁煙にすることを決めました。まずは「減煙」から始め、最終的には禁煙できるような仕組みづくりを推進しています。
社長自身も愛煙家でしたが、禁煙に成功して現在も維持しています。

サラメシに紹介されたオリジナルカレー

カレーの日のお昼休み

株式会社マエダ

健康経営担当者
原木取締役

工業の街北九州を支える鉄鋼材料専門の運送会社
健康経営で運送業界のイメージ刷新

- 代表取締役社長　門倉洋平 氏
- 本 社 所 在 地　福岡県遠賀郡遠賀町
- 主な事業内容　一般貨物自動車運送業
- 従　業　員　数　23名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020(中小規模法人部門)認定

健康経営に取り組むきっかけ

従業員の平均年齢が高いため、若い方を採用して社内の活性化を図ろうと考えていましたが、この人材不足・採用難の最中、なかなか採用は上手くいきませんでした。
そんな中、健康経営に取り組むことで企業のイメージアップができることを知り、運送業界のイメージを明るいものにしたいとの思いから、この健康経営への取り組みを全社員でスタートしました。

従業員アンケートで健康課題を把握

会社が目標を一方的に定めてしまうと実効性が薄くなり、取り組みが意味の無いものになってしまうことは自明でした。そこで、アクサ生命が提供する健康習慣ウェブアンケートを活用することにしました。忙しい長距離ドライバーも休憩時などに回答を依頼。アンケート結果は社内研修として周知しました。意識の高い従業員が意外に多いことが分かり、良いコミュニケーションの材料になっています。
現状を把握することで課題が明確になり、根拠のある目標設定ができました。

従来の取り組みに加え、無理なく継続できる“プラスワンアクション”で優良法人認定取得へ

長距離運転が主な仕事であり、体調・休養が重視される職場であることから、健康診断で指摘を受けたり、また体調不良で休んだりする人数を減らすための健康増進の取り組みには以前から力を入れてきました。
アクサ生命の健康経営アドバイザーに相談し、現状に加えて負担の少ないアクションを追加で実施していくことになりました。
結果として今回優良法人認定を取得できましたので、大変嬉しく思っています。

「健康第一」＝「安全第一」の意識付けに

健康経営に取り組み、従業員の健康に関する意識が高まるにつれて、より一層安全への意識も高まったように感じています。健康に関する内容で社内のコミュニケーションが生まれ、健康経営が社内の共通言語として定着しつつあります。
まだまだ課題は多いですが、運送業界のイメージアップのために今後も継続して取り組んでいきます。

具体的な取り組み内容

○定期健康診断の再検査受診率100％
○3ヵ月に1度の健康に関する社員研修
○休憩室・事務机上に食品のカロリー表を配置
○始業時の血圧測定・体調の相互確認
○車両用GPSで過労防止のモニタリング
○インフルエンザ予防接種費用の会社負担
○新型コロナウイルス感染拡大防止対応
など

2021年度も認定取得を目指して
従業員一同　がんばります!!

直方商工会議所

会頭
谷 弥壽彦 氏

健康経営を会員企業の経営支援の一環としてとらえ、みずから実践！

- 会　　頭　谷 弥壽彦 氏
- 本 社 所 在 地　福岡県直方市殿町7-50
- 主な事業内容　総合経済団体
- 従 業 員 数　15名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020(中小規模法人部門)認定

健康経営の取り組みのきっかけ

会員企業の経営力強化、成長のための経営支援として、健康経営の取り組みがそのメニューのひとつとなり得ると判断し、まず会議所みずからが取り組むこととしました。
健康増進の取り組みを通じて、ワーク・エンゲージメントの高い組織を目指しています。

健康経営の取り組み
できることからスタート、続けていくことを大切に

健康診断の受診徹底に取り組み、結果をもとに全国健康保険協会福岡支部より派遣された保健師による生活習慣病の予防、健康相談・指導を毎年実施しています。
受動喫煙対策として、屋内全面禁煙を行いました。
健康増進・生活習慣病予防対策など健康に関する情報提供を随時行い、健康を意識しやすい環境づくりを行なっています。

もたらされた効果
健康意識の向上と参画意識の醸成

健康に関する会話が増え、職場の雰囲気も以前にも増して明るくなりました。
職員の健康経営への取組の理解がすすみ、意識と行動が前向きに変わっていきました。
定期健康診断時に再検査等指摘があった職員の再検査受診率が大幅に向上しました。

感染症予防対策
率先する取り組みを実践

館内入口、会議室、相談室、エレベーターにはすべて消毒液を設置しています。
飛沫防止の為のアクリル板パーテーションを相談室や職員のデスクに設置しました。
ローテーション制による在宅勤務も導入しました。
職員のインフルエンザ予防接種費用を全額負担しています。

今後の展望

労働生産人口の減少、働き方の多様化などにより、会員企業の人材確保、定着は大きなテーマに位置付けられますが、従業員が心身ともに健康で活き活きと働く人財マネジメントでもある健康経営の取り組みをさらに推し進め、会員企業にその情報を積極的に発信していきたいと思います。

エレベーター入り口
エレベーター内の感染症予防対策

飛沫感染予防用
アクリルパーテーションを
受付カウンター等に設置

株式会社シンク

取締役社長
丸山秀明 氏

社員の幸せ＝健康×能力×やる気＋夢
健康であることが全ての源！

- 取締役社長　丸山秀明 氏
- 本社所在地　福岡県福岡市博多区博多駅前2-19-24
- 主な事業内容　滞納整理システムの開発・販売
- 従業員数　103名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020(中小規模法人部門)認定

健康経営の取り組みのきっかけ

弊社は1985年に福岡県田川市で設立、地方自治体向け「滞納整理システム」パッケージ開発を柱とし、全国に販売展開しています。2013年10月、株式会社両備システムズの資本参加により両備システムズグループの一員となりました。
グループ社員の幸せの方程式である『社員の幸せ＝健康×能力×やる気＋夢』の実現のためには、まず第一に健康であることが大切です。健康への意識・行動がなければ何も成し遂げられないとの思いで、健康経営の取り組みをはじめました。

健康経営の具体的取り組み事例

両備グループ内で、毎年実施されているウォーキングキャンペーンに複数のチームが参加しています。1チーム5人ほどでチームをつくって、キャンペーン期間中の合計歩数で競い合っています。個人賞、チーム賞が設けられており、個人賞では弊社の社員がぶっちぎりの結果で優勝しました。
また、感染症予防の取組として、インフルエンザの予防接種の費用を会社が負担しています。社員は全額、社員の家族は一部を負担する取り組みを長年続けており、感染症予防に努めてきました。
そのほかにも、定期健康診断で再検査指摘があった社員に対して、社長自ら再検査実施を促す取り組みや、Web上で行うストレスチェックを定期的に全従業員が実施するなどの取り組みを行っています。

PCでストレスチェックを実施する社員

取り組んだ結果、もたらされた効果

健康診断で指摘があった社員の再検査受診率は、年々確実に上昇してきています。
また、社員の健康に対する意識、行動も変容がみられ、例えば定期健康診断時にオプションメニューの検査を自発的に受診する社員が増えてきています。

今後の展望・目標

健診の再検査・要精密検査の指摘率はこれまでの取り組みにより社員全体で20％以下になっていますが、ゆくゆくは0％にしていきたいと思っています。
今後の会社の展望としましては、現在地方自治体のトップシェアになっている弊社の滞納整理システムが日本の標準システムになり、その後は世界の滞納整理システムになる事を目指していきたいと考えております。
また、来年4月から自治体向けにファイナンシャルプランナーによる生活・経営改善支援の受託事業を開始いたします。これは収入減少などで借入金の返済、税金の支払いに困っている住民や個人事業主の方と直接話し合い、生活状況に応じた最適かつ具体的な生活改善計画を提案し、計画実践と継続したアドバイス業務を行うものです。相談者の方の安定した生活、経営立て直しの実現を目的としたサービスの提供であり、相談者の方の社会的健康を促進していくものと考えています。

ウォーキングキャンペーンで
使用された万歩計
今年からはグループ内で
開発されたアプリを活用します

現在の本社所在地である
福岡市博多区の
大博センタービル

183

長崎県
長崎営業所

Voice Report 200th

崎永海運株式会社

(左)崎永会長 (右)北川社長

「海に　道を拓く！」牽引分野の西日本No.1を目指す 社員の働く姿に共感を

- 代表取締役社長　北川栄太 氏
- 本 社 所 在 地　長崎県長崎市浪の平町
- 主な事業内容　沿海貨物海運業
- 従　業　員　数　80名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模

健康経営優良法人
2019・2020 2年連続認定

「社員の働く姿」に共感を持つ人が1人でも多く増えてほしい。従業員の意識も変えていきたい。

人・仲間が集まる会社にしていきたいと思っていますが、従業員の健康に関しては、常日頃気になっていました。海、船上での仕事が多いので、従業員の健康は一番重要だからです。また、昔のイメージから飲酒も喫煙も自由に好きなだけという雰囲気がありました。そのイメージを変えたい、社員の意識も変えていきたい。そういう思いからこの健康経営を取り組みたいと思いスタートしました。

きっかけは、まずは健康宣言から。取り組めそうな活動を。

健康経営を始めるきっかけは、まずは健康宣言をしたことですが開始するにあたり、費用や何か大変な作業が伴うことは無かったので、まずは健康宣言してみようという気持ちからでした。
従業員に対しては、大上段に構えずに、従業員の健康をより良くするために会社として取り組むことを説明しました。毎朝のラジオ体操などもその一例です。その結果、従業員からも特に反対もなく、スムーズに開始することができたと思います。

一番の課題は、毎年の健康診断とその2次検査の実施。健康診断をより実効性あるものに。

船員手帳の更新時に健康診断受診は必須となっております。そのためにまずは健康診断受診率100%にこだわりました。現在はそれを達成し、そのあとの2次検査で必要な人への対応が中心です。検診結果で指摘を受けた項目はマーカーで色を塗ったものを本人に渡しています。これで本人も一目瞭然となり意識は高まったかと思います。1年に1度1週間分の食事を全て報告させ栄養指導も行っています。

喫煙時間の設定。喫煙率が下がった！社員全員に理解してもらえました。

健康診断の受診率は100%を達成することができましたが喫煙に関しては、健康維持には非常に重要なことなので喫煙時間の設定を行いました。10時、昼休み、15時の1日3回の時間のみ喫煙を可としました。また、喫煙場所も指定しました。(事務所から離れた外に設置。雨でも外で！)
その結果、自然と喫煙率を減らすことができました。

現状の課題と今後の展望

成人病予防検診の受診率はまだ低い。
理由の一つとして可能な病院が市内1か所しかなく、予約制。急な予定変更が日常なので、休暇の日程をあらかじめ決めにくいのですが、会社としては、従業員の健康には絶対に必要であると感じているので、全員の受診を達成したいと思っています。また、喫煙率がどれくらい下がったかを数値で「見える化」することが今後の課題であると考えています。

喫煙時間の掲示

毎朝の朝礼時のラジオ体操

184

長崎県
佐世保営業所

Voice Report 200th

大瀬戸造船鉄工株式会社

(左)﨑永会長 (右)徳永社長

「安全第一、健康第一の会社」を実現するために健康経営に取り組む

- 代表取締役社長　徳永 智 氏
- 本 社 所 在 地　長崎県西海市大瀬戸町
- 主な事業内容　船体ブロック製造
- 従　業　員　数　31名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2019・2020 2年連続認定

「健康経営」に取り組んだきっかけ

以前より社長は、「従業員の健康無くして会社は成り立たない」、「怪我なく健康でいられるからこそ、品質も納期も守られる」という考えを大切にされていました。そして今でも社長は、数年前の出来事を忘れることが出来ないと語る。若く技術力も優れ将来を嘱望されていた社員がある日、突然の病魔に襲われ亡くなってしまうことを経験。常に社員達には健康であり続けてほしいと願っており、その想いを形にできると健康経営を知り、すぐに取り組むことを決断。

「健康経営」の取り組み状況

定期健診受診率100％は当然のこととして、健診結果で「要治療」や「要精密検査」の項目があった場合は、放置しない。せっかく受けた健診を無駄にせず、社員の健康を守るため、社員任せにせず再受診するまで健診後のフォローを実施。また、作業現場に飲み物用の冷蔵庫を設置し、無糖や微糖、特定保健用食品（トクホ）などの健康飲料を中心に準備。中身は全て社長自らが仕入れ、金額も市場の半値程で販売。

従業員の健康に関する効果

特定健診、いわゆる『メタボ健診』の結果、生活習慣の改善が必要な従業員には、特定保健指導を受けてもらうこと、また最後まで終了することに力を注いだ結果、保健指導を必要とする従業員が半減した。

会社全体に対する効果

健康経営は、会社が従業員の健康を守ること。それを社内外へアピールする取り組みだが、この取り組みを会社HPやハローワークなどに掲載するなど、社内外へ発信することも大切。少しずつではあるが取引先などに認知されてきた。今後、少子高齢化が進み日本の生産年齢人口は大きく減少していく。会社が長期的発展していくためには従業員が心身ともに健康で長く働けるための、人材マネジメントを推進していく。

現状の課題と今後の展望

現在の課題は、喫煙者の減少。現在の喫煙率は約70％と高い。喫煙者の数を減らそうと、朝礼や会議時など折に触れて喫煙による健康への影響を訴えている。そして4年前には、先ず社長自身が禁煙し範を示した。また禁煙を宣言して1年以上の禁煙に成功した従業員には報奨金を支払うなど、インセンティブも用意。この取り組みの結果、実際禁煙に成功した社員も出た。今後さらなる成果を上げるため、外部の知恵や力も借り健康に関するセミナーや啓蒙活動などの機会を増やしていきたい。そして将来的には「喫煙者０」を実現したい。

2020年8月28日撮影
右)健康に配慮した飲み物
下)毎朝のラジオ体操風景

185

佐賀県
佐賀営業支社

Voice Report 20th

株式会社篠原建設

社屋の前で社員と一緒に
(左から3番目が篠原社長)

がんばっている社員の健康と豊かさを目指して

- 代表取締役社長　篠原隆行 氏
- 本 社 所 在 地　佐賀県鳥栖市蔵上町
- 主な事業内容　土木工事業
- 従　業　員　数　22名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模

健康経営優良法人
2020 認定

健康診断を毎年受けるから その結果を受け止めて改善してほしい。

社員が毎年受診している健康診断は、結果でA～Eと判定される。次回健診時は、前回より良い判定結果が出るように、結果の悪い社員には生活習慣を変えてほしいと思っていた。そのためには社員各々の意識変革が必要であり、そこにはなかなか踏み込めずにいました。そういう時にアクサ生命さんから健康経営の話を聞いて、これは社員の意識変革に繋げられるかもと思ったことがきっかけでした。

健康経営の取り組みを 会社として実践していたことがあった。

アクサ生命の推進員から健康経営優良法人認定を目指す取組事例を教えていただくなかで、既に当社が取り組んでいることがありました。それは35歳以上が対象になる胃カメラ検査を、対象外含め全社員に実施することでした。実際、胃ガン早期発見された社員がおりましたので、大変有効でした。また、インフルエンザ予防接種を会社負担で全社員接種も実施していました。その結果、昨年のインフルエンザ罹患者は０でした。

健康習慣アンケートを実施して 社員の健康課題が「見える化」できた。

アクサ生命の推進員のお奨めで、当社社員の生活習慣アンケートを実施したところ、健康無関心層が多いことには驚きました。その後アンケートのフィードバックセミナーを開催していただき、会社の真剣な取り組みを全社員が理解してくれたことで、健康経営が浸透したと感じました。また、給料日にあわせて各種健康情報を継続して提供いただき、回覧することで社員の健康意識は向上している実感があります。

社長自身がストレスなく健康管理することに 取り組んでいる。

篠原社長は小学校、高校、大学生で野球、中学校の時は陸上をやっていたスポーツマンで、健康には自信がありましたが、ある時期体重が10キロ太ってしまったそうです。その際、食事のコントロールで体重を戻す中で、最も気を使ったことは、ストレスを抱えイライラすることがないようにすることでした。また、家族団欒の時間も大切にしたいという思いがあり、夕食は抜かずに減量に取り組んだとのことでした。社員にも自らの健康と、家族との時間は、常に大切にしてほしいと考えられています。

がんばっている社員の健康と豊かさを目指して

今がんばってくれている社員と、今後入社してくるかもしれない人に向けて、「社員健康に気を遣っている会社」とPRしたいと考えています。そのため、社員とその家族が使えるトレーニングジムを近々作る構想があります。また佐賀県が作ったウォーキングアプリ「SAGATOCO」の企業登録をしているので、全社員が登録し、歩数に応じてプレゼントするなど独自企画を行いたいと考えています。

協会けんぽ佐賀支部の「がばい健康企業宣言」宣言証と
SAGATOCO

伊万里商工会議所

専務理事
松永 亨 氏

率先して健康経営に取り組み、伊万里を元気に！

- 会　　頭　古賀富男 氏
- 本 社 所 在 地　佐賀県伊万里市新天町
- 主な事業内容　総合経済団体(1304会員 令和2年7月1日現在)
- 従 業 員 数　16名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020 認定

会員事業所の事業承継の為にも社員の健康は重要な資源ととらえました

会議所の重要な事業である「事業承継」や「人手不足の解消」は各種支援策がありますが、現在勤務されている従業員さんの心身における健康は重要な経営資源と感じました。また2017年にアクサ生命さんから健康経営セミナーのご提案があった時にこれからは重要な事業の一つだと感じ、ぜひ率先して取り組もうと思いました。

まずは「健康宣言」を行い、やる気を起こしました

アクサ生命さんのセミナーに参加し、取り組みの必要性を理解、まずは協会けんぽ佐賀支部が取り組まれている「がばい健康企業宣言」を行い公にすることで、やる気をアップしました。実践プログラムの中から現在出来ているところと、すぐにやれそうなところをチェック、毎年テーマを決めました。

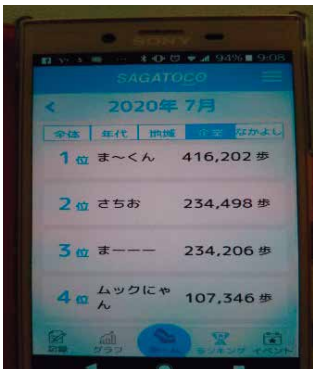
1年目＊健康診断2次検診受診率100%達成
　　＊自動販売機の商品を健康的なものに入れ替え
2年目＊職員が個人で日々の目標を掲げ自己採点する
　　＊所内に体重計の設置
3年目＊佐賀県公式ウォーキングアプリ
　　「SAGATOCO」に「企業」として登録
　　＊商工会館　館内を禁煙とし、館外に喫煙所を設置

健康経営への取り組みでチェンジ出来ました

職員一人一人が運動への興味、意識が高くなり、以前は近距離でも車を使っていましたが、「歩く」ことを優先するようになりました。
また、会員事業所の皆様へ率先して取り組むことにより、見本となることが出来ました。
健康経営セミナー＆ゼミを3回開催し、毎回違った講師の先生から分かりやすいお話があり、参加者の皆さんは熱心に受講、質問をされていました。

現状の課題と今後の展望

職員が抱えている問題点、自身の持病・介護・出産・育児などを一人の問題とせずみんなで取り組み、勤めやすい環境整備を優先課題とし、地元企業の模範となるよう、サポートできるように努めていきたいです。



「SAGATOCO」で
データの見える化を図り、
日々個人のランキングを競っています。

2019年11月14日健康セミナー&ゼミ実施
講師は吉武氏、テーマは「課題発見ワークショップ」

187

沖縄県
那覇営業所

Voice Report 200th

株式会社東洋企画印刷

(右)大城 孝 代表取締役社長
(左)大城佐和子 専務取締役

「社員が生き生き働くことができる職場づくり」を実現するために健康経営に取り組む

- 代表取締役社長　大城 孝 氏
- 本 社 所 在 地　沖縄県糸満市西崎町
- 主な事業内容　商業印刷全般、書籍の印刷・出版・販売
- 従 業 員 数　41名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020(中小規模法人部門)認定

ものづくり産業だからこそ、健康経営に取り組む必要を感じた

創業当初は人材・設備・資金に乏しく、一人で二役も三役も担い、深夜におよぶハードワークをこなしている状況でした。それから23年経過した今日では、設備が向上し安定性が保たれるようになりました。現在は技術の継承を始めとする人材育成に力を入れています。ものづくり産業は、「発想(アイデア)をカタチに変える仕事。心身とも健康でなければいいアイデアは出ない。体の健康は心の健康と直結している。」と感じ体を動かす恒例行事を多く行っていたところ、アクサ生命さんより健康経営について情報提供をいただき、これなら今やっていることをベースにプラスアルファで取り組めると感じ健康経営をスタートしました。

健康経営活動の様々な取り組み

また、アクサ生命による健康経営サポートを受け、健康習慣アンケートを全従業員に実施し、アンケート結果を元にしたフィードバックセミナーや健康運動指導士によるストレッチ体操講座、メンタルヘルスセミナー及び過重労働防止に向けた具体的目標の設定など、様々な取り組みを行っています。
それ以外では、年間を通してボウリング大会や社内駅伝大会、自社栽培した野菜の収穫祭など様々な恒例行事を行っています。
収穫祭(栄養会)では、社員全員で収穫したジャガイモをその場で下ごしらえ、調理を行い「カレー」「豚汁」「マッシュポテト」に姿を変え、全員で美味しくいただきました。

1日2回のうちなーぐち体操

沖縄県職場の健康力アップ補助金を活用し、体幹トレーニング器や体組成計を設置したと同時に、全従業員にスマートウォッチを配布し、日々の歩数と体重をデータで管理することで、各々の健康について意識づけを行っております。就業日には1日2回の“うちなーぐちラジオ体操”も実施しています。

業務効率が上がり、楽しく仕事が出来る

健康経営を実践することで、心身ともに健康になり、仕事の効率が上がり、お客様のニーズに応えるだけでなく、喜んでもらえる提案ができています。楽しく仕事ができる環境を作るためにも常に健康を保っていきたいです。こうした行事を維持していくことで、仲間意識も高まり、生産性のアップにもつながります。今回の健康経営宣言を機にさらなる健康促進を図るため、今年は若手メンバー主体でフットサル大会にも参加しました。

強い会社づくりのためにも健康を保っていきたい

今後の課題と展望は、多様化する特殊印刷の対策と付加価値商品の課題があります。印刷市場の要望がマーケティング形式に変化しているため、積極的に対応できるチームづくりを強化したいと考えています。
強い会社では、個々の能力だけでなく事業に対する想いの度合いが組織を左右すると思っています。社員同士が技術を高め合い、お互いの役割を最大限発揮することで会社全体の活力につながると信じています。より斬新なアイデアと最先端の技術で社会から必要とされる企業を目指すためにも、健康を保っていくことが重要です。

健康経営優良法人認定証

本社ロビーで認定書を手に撮影

1日2回のうちなーぐち体操

有限会社三崎工業

代表取締役
知念秀明 氏

「働くこと」「学ぶこと」「健康なこと」は最高の財産！

- 代表取締役　知念秀明 氏
- 本社所在地　沖縄県那覇市
- 主な事業内容　管工事
- 従業員数　16名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模

健康経営優良法人
2019（県内建設業界初）・
2020 2年連続認定

社員には健康で明るい笑顔を持ち続けてほしい

「働くこと」「学ぶこと」「健康なこと」は最高の財産である、という事を会社理念としています。新しい生活様式を取り入れ、社員には健康で明るい笑顔を持ち続けてほしいと考えています。

設立当初より、社員の健康づくりには力を入れてきました

健康増進に向けたあらゆる取り組みをすることを宣言し、全国健康保険協会沖縄支部「福寿うちな～健康宣言」、沖縄労働局「ひやみかち健康経営宣言」を事務所内に掲示し、全社員で「健康経営」に取り組んでいます。健康経営優良法人（中小企業法人部門）では、2019年・2020年と2年連続で認定を頂きました。

様々な取り組みを「見える化」

既に実践していることを「見える化」することで、社員への情報共有を図っています。
禁煙の促進の為に敷地内禁煙を徹底し、非喫煙者と節煙者の増加に繋がりました。
また、体力づくりの為にスポーツクラブの回数券を配布したり、トレーニングマシンを社内に設置しています。
健診受診を業務と位置づけ、出勤扱いにすることで受診率100％を継続しております。二次検診の受診率も上がり、健康上の理由での休暇・欠勤が減りました。
沖縄県産業保健総合支援センターの協力を得て、保健師の派遣や産業医の意見書等をもとに、健診結果と対策をフィードバックし、健康管理の重要性を意識づけています。
また、外部からの表彰や認定を受けることにより、お客様からの信頼度もアップし、業界からも高い評価を得る事により、社員自身の健康に対する自覚や取り組みもますます高まっています。

2020年以降の取り組み

「新型コロナウイルス感染症リスクと熱中症リスクから社員とその家族とお客様の健康を第一に守る」をテーマとし、新しい生活様式を踏まえた取り組みを導入致しました。
具体的には三密を避けるために、毎朝8時からの会議を中止し、SNSを活用した情報共有へ変更しました。現場からの問い合わせや確認もSNSで画像共有する事で、効率化も図っています。また、夏が長い沖縄では感染症対策だけではなく、熱中症対策の両立が求められています。当社ではリフレッシュしたい場合には「沖縄産かりゆしマスク」を使用し、業務中は「涼感素材マスク」を着用するなど、場所や状況に応じた使用方法を推奨しています。

今後の展望

沖縄県は2040年までに「男女とも平均寿命日本一復活」を目指して、関係団体などと共に様々な取り組みや健康経営に対する情報提供・啓蒙を行っています。弊社としましても自社だけの健康増進を行うのではなく、健康に関する最新情報や知識をいち早くとらえ、自社の取り組みを発信します。
(https://misakikg.jp)

スタッフみんなでおそろいのTシャツを着て
健康行事にも積極的に参加

株式会社金沢電気設備

代表取締役社長
金澤吉剛 氏

≪安全・人・発展≫の基本理念のもとに健康経営に取り組む

- 代表取締役社長　金澤吉剛 氏
- 本 社 所 在 地　熊本県熊本市西区松尾2-2-52
- 主な事業内容　電気・空調・弱電設備工事
- 従　業　員　数　32名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020 認定

健康経営に取り組んだきっかけ

当社は1977年に創業した電気・空調・弱電設備工事会社です。時代の変化に対応しつつも、「安全第一」を最優先に、顧客ニーズと信頼に応えられる技術力を提供できるよう取り組んでおります。日々の仕事をする上で、健康でなければ家族のために働くことも出来なくなり、夢や目標を叶えられないということを考え、健康経営に取り組むことに決めました。

健康経営の具体的な取り組み

これまでは取り組むべき課題が明確では無かった為、まずはアクサ生命のWebアンケート(＊)を利用する事にしました。その結果、社員の運動不足、喫煙、異なる部署のコミュニケーション不足に課題があることが分かりました。そこから毎週月曜日にラジオ体操の実施、喫煙対策セミナーの開催、年４回の社内イベント(社員旅行やボウリング大会等)の取り組みを始める事にしました。
＊アクサ生命保険(株)の健康習慣に関するWEBアンケート

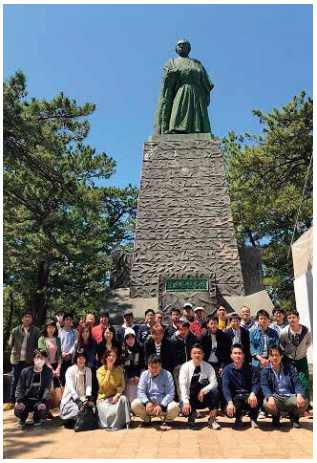
取り組みからの効果　(禁煙と採用について)

社内においては、アクサ生命の健康経営セミナーを受講してから禁煙ブームが起こり、喫煙者を１割減らすことに成功しました。禁煙への取り組みは、今後も継続して取り組んでいきたいと考えています。また、採用に関する効果として、優良法人認定企業であることをHPに掲載してから応募者が増え、優秀な人材を採用する機会が増えました。あらためて健康経営優良法人認定の効果を感じています。

今後の展望

健康経営を通じて、心と身体が健康で長く働ける環境づくりを心掛けていきたいと考えています。また、これからは働き方改革への取り組みや、コロナ対策などに対応していけるように社内のペーパーレス化、テレワークの導入、システム開発なども積極的に取り組みたいと思います。
健康経営に取り組みながら、全員の健康と夢の実現が叶えられる企業に成長していきたいと考えています。

毎週月曜日に実施しているラジオ体操



高知県への社員旅行

社内ボウリング大会

株式会社田中材木店

代表取締役副社長
田中信敏 氏

「企業は人なり」という信念のもと社員の成長が会社の成長へ
事業を通じてお客様に貢献していくために健康経営に取り組む

- 代表取締役社長　田中信敬 氏
- 代表取締役副社長　田中信敏 氏
- 本 社 所 在 地　熊本県熊本市
- 主な事業内容　木材・建材・サッシ等 住宅資材卸売り
- 従　業　員　数　106名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人2020
(中小規模法人部門)認定

代表取締役 田中副社長からのメッセージ

会社の未来～社員と会社の健康を目指して

当社は明治38年に木材業として創業し、大正10年には丸鋸を設置し、製材業を始めました。
昭和40年代の高度成長期より、住宅様式の変化に合わせて、木材だけでなく新建材、住宅機器、サッシ・木材プレカットなど、時代の変化に合わせて取り扱う商品も、数多くなってきました。
不易流行という言葉がありますが、木材という商品に根を張りながらも、時代の要請によって取り扱う商品も変えていく柔軟性を持った企業というのが、当社の大きな特徴です。
そしてそれを支えてくれたのは、今まで働いてくれた、そして現在働いている数多くの社員の力とそれにより培われた会社の信用力です。
当社が次の100年を目指すためにも、今後も社員が健康で生きがいを感じられるような会社の環境を作りながら、健全な経営のもと成長していくことが必要だと思っております。

2018年度　熊本県ブライト企業認定を取得
地場企業として利益を還元できるよう邁進する

当社は創業から110年余り、地場・熊本の老舗企業として建設・建築・住宅産業全体に貢献していくことが当社の使命だと考えております。
今後は住宅産業からの需要はもちろん、公共施設や教育・福祉施設など非住宅産業の需要にも応えていきます。
こうしたビジョンを実現していくのは、すべて人の力です。
当社の経営方針・従業員満足度・地域貢献度などは自治体からも評価され、2018年度には「熊本県ブライト企業」に認定されました。

産業医からの勧めで『健康経営優良法人認定』
取得を目指す

求人を出してもなかなか応募がない状況が続き、人手不足に陥っていたところ、桜十字病院の産業医から健康経営優良法人認定取得を目指してみてはどうかという話をいただきました。
従業員の健康やワーク・ライフ・バランスを重視した働き方、また安心して働けるように福利厚生を充実させるなどの取組みを経済産業省の認定を受けることで、わかりやすく求職者に伝えられると考え桜十字病院・アクサ生命にサポートを依頼し優良法人認定を目指すこととなりました。

健康習慣アンケートで健康課題を把握
産業医・保健師・健康経営アドバイザーがサポート

まず当社の生活習慣についての現状を把握するため、アクサ生命保険の健康習慣アンケートを全従業員向けに実施しました。その結果、食事と運動に関する関心度が低い従業員が多いことがわかりました。
アクサ生命の健康経営アドバイザーによる健康に関するセミナーで従業員の意識を高めたり、桜十字病院の産業医・産業保健師と社内の安全衛生委員会で対策を検討し、食事については減塩やヘルシー弁当の注文を増やしました。
運動については、産業理学療法士による当社オリジナルの体操を創り、昼休みに従業員が集まって縄跳びやストレッチをするなど、身体を動かすと共に従業員同士のコミュニケーション活性化にも繋がっています。

2019年8月7日開催　健康セミナー(本社)
講師: アクサ生命　健康経営アドバイザー 藤井 斉
テーマ: われわれが目指すべき健康とは

人手不足だからこそ、健康経営に取り組む必要を感じた

健康経営を始めてから、課題の１つであった離職者が少なくなりました 。
当社は年齢層の幅が広く、従業員同士のコミュニケーションが難しいこともありましたが、近隣住民を招待して開催する木愛祭や社員旅行をはじめ、ウォーキング大会やクリーン活動など様々なイベントを通じて交流を深めてきました。
健康経営を通じて、朝礼やお昼休みなど日常的に一緒に取り組める簡単な運動の中で、会話が生まれ笑顔が増えました。共に働く仲間との繋がりが働きがいや生きがいをうみ、それが会社の成長や生産性に繋がります。
当社は人口減少、高齢化が進む厳しい社会の中でも、地場企業として成長し続け社会的使命を果たしてまいります。

健康経営の効果 新規採用と従業員のヘルスリテラシー向上

現在、HPでは継続して採用について掲載していますが優良法人認定取得後に新しい社員が入社し、人手不足は解消されつつあります。
健康経営を通じて始まった運動習慣も、新型コロナウイルス感染症対策として集まることはできないものの、昼休みは敷地内に音楽を流し、運動する時間をという認識を共有しながら各々で縄跳びやストレッチを継続して行っています。
健康管理については定期健診100％受診に加え、桜十字病院の産業理学療法士による運動機能測定を追加し、外出自粛で運動不足になりがちな従業員への新たな対策を検討しています。
日々従業員の健康に対する関心度の高まりを感じています。

産業理学療法士による運動機能測定(左)と社内体操の開発
企業ロゴマーク(カネタ)に合わせた肩こり(中)・腰痛対策(右)
桜十字病院　産業理学療法士　小田川　泰之

産業保健師による健康相談・指導風景
桜十字病院　産業保健師　椎屋 香織

お昼休みの運動風景

踏み台昇降

縄とび

191

熊本県
熊本城北営業所

有限会社アース・クリーン

代表取締役
小柳祐輔 氏

地域社会・顧客・社員から選ばれる企業へ…「地球環境保全」

- 代表取締役　小柳祐輔 氏
- 本社所在地　熊本県荒尾市大島字松原
- 主な事業内容　アスベスト除去・処理工事、解体工事
- 従業員数　26名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020(中小規模法人部門)認定

先代の思いを受け継ぎ、人材を大事にする経営を実践する中で、健康経営と出会いました

創業者である先代の社長から経営を引き継ぎ、平成30年から代表を務めています。会社の仲間・社員は家族同様であるとの先代の思いを受け継ぎ、また、企業が人を選ぶのではなく、「人が企業を選ぶ時代」であると感じ、会社に魅力を感じてもらえるよう色々な施策に取り組んでいます。その中で、アクサ生命より健康経営を紹介され、これまでの取り組みの延長であると感じ、実践しました。

「体が資本」の仕事、会社の発展は、従業員の健康があってこそ

仕事柄、体が資本であり人が動かないと仕事になりません。そのため、社員の健康には特に気を使っています。以前、従業員の半数以上がインフルエンザに罹患してしまったことがあります。その時の反省を踏まえ、毎年、全社員が会社負担で就業時間中に予防接種を受けられるよう医療機関と提携いたしました。その経験が、新型コロナウイルス対策においても従業員の行動変容につながりました。

社員全員で健康づくり、絆づくり

女性スタッフも社員の健康に気を使ってくれており、手作りで健康に関する情報紙を作成、社内に掲示しています。また、社内に運動器具（ウオーキングマシン等）を設置し、休憩時間に自由に使用できるようにしています。会社でチームを作り、地域のソフトボール大会に毎年参加しており、練習も月に一回定期的に実施するなど、運動機会をつくり、健康増進することで病欠者はほとんどいません。

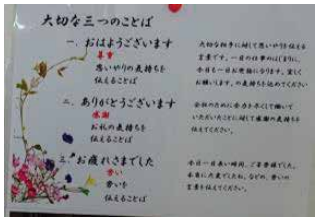
体の健康だけでなく、会社内・社員間の連帯意識を高め、ワークエンゲイジメントの実現を

社内コミュニケーションを円滑にするため、社内イベントとして従業員の誕生日に会社からプレゼントを進呈しています。全員でお祝いをすることを恒例行事としています。また、社員旅行やバーベキュー大会は家族の参加も恒例となっています。社員一人一人の「体の健康」と「心の健康」の両方を大切にすることで、業績の拡大や離職率の低下、社員の純増を実現できています。

会社と社員の未来のために

順調に社員が増えているおかげで20代、30代の若手社員も多く勤務しています。若年層・ベテラン層ともに長く勤めてもらうために、健康経営を実践します。社員達の10年後、20年後のことを考えると、年齢を重ねた時に、それぞれの体力・技術に応じた業務内容や勤務形態を整えなければなりません。現在実践していること以外に何かできることはないか、模索を続けていきます。

社員と家族が勢揃い、恒例の社員旅行で、絆を強め、親睦を深めます



スタッフ手作りの情報紙を掲示し、健康意識を高め、
コミュニケーションの促進を図っています

192

大分県
大分営業所

Voice Report 200th

有限会社富城物産

代表取締役社長
劉 懿喆 氏

健康のまま、元気のままでいきいきと100年過ごすために健康経営に取り組む

- 代表取締役社長　劉 懿喆 氏
- 本 社 所 在 地　大分県大分市政所3684番地
- 主な事業内容　ペット関連商品の輸入・卸
- 従　業　員　数　36名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020 認定

大切な従業員の発病が、健康経営に取り組むきっかけとなりました。

ある従業員が、健康診断では異常が見つからなかったが、その後体調不良で再検査したところ、胃がんが発見されました。治療も回復には叶わず、7か月後に亡くなってしまいました。大切な従業員が病気で亡くなったという辛い経験から、健康であることの重要性を認識し、3年前から健康経営に取り組むこととなりました。

まずは会社が取り組めることから始めました。

元気に見えていても、健康とは限りません。当社では、健康診断時に全従業員ががん検診を受けています。個人費用負担だと受けたくてもなかなか受けられないと思い、会社が全額費用負担しています。現在までに2名早期発見ができ、多くの従業員から感謝されています。
大変な病気であっても早期発見が可能になることにより、従業員は安心して働くことができ、会社も安心して雇用できます。

楽しく健康な体づくりを社員の健康は会社の健康につながる

協会けんぽ大分支部主催の健康ウォーキングに、従業員と従業員家族を誘い、3年連続参加しています。体を動かすことで、気分転換が図れます。また家族ぐるみの参加で、その人の意外な一面を知ることができます。それによってコミュニケーションが取りやすくなり、今まで以上に仕事が円滑に進んでいます。イベントの参加は健康になるだけでなく、社内の人間関係向上につながる良い取り組みだと思います。

健康経営を取り組んだことで、職場が段々と変化していきました。

現在は、健康診断の後に、相談医が事務所に来て、勤務時間中に相談医と社員が話す場を設けています。当初、健康に問題があった社員も多く相談件数も多くありましたが、健康経営に取り組むことで、今は健康に問題がある社員は2～3人程度になっています。
また、以前は社員の半数が喫煙していましたが、健康経営を取り組み始めて禁煙者が増え、喫煙者はごく僅かになりました。皆の健康意識が高まりつつあることを感じます。

今後の展望

従業員の皆さんが、安全に事故もなく健康で仕事を続けられる環境づくりが、企業にとって最も重要だと思います。人生100年時代。最後だけ気を付けてもだめなのです。
『健康のまま、元気のまま100年を！』を合言葉に、従業員とともに頑張っていきたいと考えています。

2020年8月5日健康セミナー実施。
講師は沖倉功能社会保険労務士、
テーマは「退職金・健康経営」です。

アボック株式会社

代表取締役社長
柊山菜穂子 氏

元気で楽しい会社作りをしたいから健康経営に取り組む

- 代表取締役社長　柊山菜穂子 氏
- 本 社 所 在 地　宮崎市城ケ崎
- 主な事業内容　産業用電気機器卸
- 従　業　員　数　18名(男性:13名・女性:5名)

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020 認定

体を動かす仕事ではないので、健康経営に取り組む必要性を感じました。

仕事上、あまり体を動かすことがなく、社員の健康診断の結果もあまり良くありませんでした。体調不良で休暇をとったりすれば、お客様にも他の社員にもご迷惑をおかけすることになります。企業の継続的な成長の為には、社員の健康増進が必要不可欠だと感じておりました。そんな中、アクサ生命の担当者から健康経営の話を聞き、会社にとってメリットばかりだと思い、取り組むことを決めました。

社員の中からリーダーを決め、主体的に行動することを意識づける。

まずはじめに、社員にリーダーを決めて、健康増進にむけ何をすべきかなどを話し合いをしてもらいました。その結果、社員同士でコミュニケーションが良くとれるようになりました。また、社員が疲れているときに、軽いストレッチなど、息抜きをするように私から率先して声かけを行っております。私自身の意識改革から、管理職、社員の意識を変えていこうと思います。

今までの活動＋αで更なる強化を

以前から、社員の健康診断100％受診、インフルエンザ予防接種の全額補助等の取り組みを行っておりました。
この度、アクサ生命の健康経営をしり、更に取り組みを強化すべく、健康診断の二次検診、セミナーへの参加、従業員への定期的なアンケート実施、その後のフィードバック等を進めています。健康増進に積極的に取り組むために何をすべきか話し合い、会社から補助を出すなどをし、社員全員で活動していきたいと考えています。

コロナ禍の中でも取り組めることを

新型コロナウイルス感染予防で、アルコール消毒の徹底、マスクも会社で用意しております。在宅勤務ができる仕組みを整え、会議もオンラインでできるようにしました。社員のことを第一に考えながら、柔軟性をもって業務を行っております。

今後の展望

ストレスの溜まりやすい仕事ですので、健康経営を継続して実施することで、社内のコミュニケーションを大切にして元気で楽しい会社作りをしていきたいと思います。
そして、100年続く企業を目指します!!

194

宮崎県
宮崎営業所

Voice Report 200th

株式会社New Create

代表取締役社長
時任博之 氏

従業員が健康で笑顔でいられることが会社の財産!!

- 代表取締役社長　時任博之 氏
- 本 社 所 在 地　宮崎市花ヶ島入道2230-4
- 主な事業内容　老人福祉事業
- 従　業　員　数　45名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模

健康経営優良法人
2020 認定

1人1人の健康が最高のパフォーマンスになる

弊社は介護職ということで、社員一人一人の体が資本です。お客様へ最高のパフォーマンスで対応するためにも社員の健康が最も大切であり重要です。アクサ生命より紹介頂いた、健康経営に取り組むことで、社員のパフォーマンス向上にもつながり、また、人材不足で困っている中、求職者にアピールできるということも取り組むきっかけになりました。

社員の意識改革

社員の健康に対しての意識が高まり、病欠が減りました。また、スポーツジムへいく社員も増え、各々が健康に向けて進んで取り組みをするようになりました。社員同士の会話のネタも健康に関することが増え、お互いにアドバイスもしているようです。

社内での取り組み

弊社の社員は、主に訪問介護が中心ため直行・直帰が多く、社員全員がそろって何かをすることができないので、まずは健康に関する意識付け・健康行動に取り組んでいます。

①アクサ生命さんより提供頂く「健康経営ワンポイントアドバイス」シリーズのチラシを全員で回覧して意識の向上に努めています。

②会社の玄関から各自の机までの導線上に、体重計や健康グッズ、健康マシーンを配置して健康行動を促すようにしています。

このように健康に対する意識の向上と日常的な健康行動を促すことを行っています。

今後は会社の玄関に足つぼ石を置き、歩きながらマッサージができるようにもしたいと思っています！

今後の展望

健康経営に取り組むことにより、会社のイメージアップにつながりました。また、他社からの評価も上がっています。健康経営に取り組むことで、社員が健康で笑顔でいられることが会社の財産であり、それによってお客様に対しても高いパフォーマンスが発揮できるようになってきました。社員の心身の健康が企業の発展につながると捉え、社員とともに安心して長く務めることができる会社を目指していきたいと考えています。

195

宮崎県
宮崎営業所

Voice Report 200th

第一建設株式会社

代表取締役会長
橋邉忠司 氏

『有言実行』 社員と企業の健康第一!!
健康経営で夢の実現

- 代表取締役会長　橋邉忠司 氏
- 本 社 所 在 地　宮崎市花ヶ島町小無田662番地5
- 主な事業内容　総合建設業
- 従 業 員 数　15名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020 認定

きっかけ

当社は建設土木を事業としている会社です。
仕事内容は、体を動かすことが多く、会長自身が『働いている人が健康的に長く働いてほしい』と考えていたことから、従業員の健康管理に積極的に取り組んでいました。
2年ほど前に健康経営セミナーに参加し、会社が従業員の健康に配慮することによって、経営面においても大きな期待ができること。そして、顧客に安心を届け、選ばれ、成長し続ける会社であるためには、その原動力となる社員の健康は重要なテーマであったこと。
さらに今般、70歳までの就業機会の確保が企業の努力義務とされたこともあり、経営者も社員も互いに健康に対する意識を変える必要があると感じたからです。

従業員の健康管理に関する効果

健康経営を行うことを社内に宣言してまだ日も浅いので、目に見えた効果は表れていませんが、健康に無関心な従業員や、仕事に追われてストレスが溜まっている従業員が担当者に対し、聞きなれない「健康経営」という言葉の意味を尋ねてくるようになりました。
従業員が健康について今以上の関心を持つように、実益と話題性を期待して禁煙に対する一年間の金銭的インセンティブ制度を導入しました。一年間という長期にわたる支給に魅力を感じたものは多く、機会があれば禁煙したいと思っていた者は、これを機に禁煙を始めました。一年というインセンティブ期間は、禁煙の維持率、禁煙成功につながるものと思っています。

具体的な取り組み内容

①禁煙対策
喫煙に対する従業員の反発をできるだけ減らし、喫煙対策を円滑に進めるために、事前に喫煙対策や禁煙の必要性を啓発(禁煙は1年程度ですぐに実現できるものではないので、令和2年7月1日から3年ほどの期間で段階を経て実施計画をスタートさせる)
目標設定:初年度20% 2年目10% 3年目に限りなくゼロを目指す
●禁煙の雰囲気づくり:禁煙の日を設定して、禁煙・受動喫煙の害についての情報共有を行う
●タバコが吸えない環境づくり:作業場を含む敷地内禁煙を徹底。就業時間における喫煙に対してペナルティを設ける
●サポーター制度:禁煙挑戦者一人に、数人の仲間が付いてサポーターとして応援。仲間同士で共通の目的を達成しようという連携が高まる
●禁煙実施者へのインセンティブ:禁煙手当として月額3,000円を一年間支給
②始業前のラジオ体操
全拠点一斉に始業時に実施し、健康の維持・増進を図っている。日報でラジオ体操の参加状況を記載する
③検温票の記載
自宅で出勤前に検温を行い記録させる

会社全体の効果

健康経営により社員の体調がよくなり、欠勤率や長期休業者の低下といった効果を期待しています。また、健康経営優良法人に認定されたことで、社員の健康維持・増進を経営的な視点で戦略的に取り組んでいる法人として社会的な評価を受けること、さらに認定企業であることを社内外に発信することで求職者から評価され、人材の獲得や定着につながる効果も期待でき、企業のブランドイメージ向上にもつながるのではないかと思っています。

196

宮崎県
日向営業所

株式会社ふくじゅそう

代表取締役社長
江藤貴樹 氏

「みんなの笑顔」が健康のバロメーターとして健康経営に取り組む

- 代表取締役社長　江藤貴樹 氏
- 本 社 所 在 地　宮崎県日向市大字日知屋14693-1
- 主 な 事 業 内 容　介護保険サービス（特定施設、通所、居宅介護支援）
- 従　業　員　数　45名（男性:8名・女性:37名）

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020 認定

健康経営と出会うまで

「介護で困っている人を助け、地域に愛される企業になりましょう。」を企業理念として平成１８年９月設立から健康経営（アクサ生命）と出会うまで、様々な経営セミナーに参加し、経営コンサルからのアドバイス等により経営理念、その他の経営手法を職員の離職防止や経営改善にと試みてきました。
職員の心身の健康管理に面談や忘年会、日々の健康状態の管理を行い、「家庭と仕事の両立応援宣言」（宮崎県）をしたり、職員の教育・研修に力を入れたりと、職員が働きやすい職場づくりに努めてまいりました。

健康経営（アクサ生命）との出会い

設立当初から取り組みはエビデンスのない成果であり、根拠のない成果としか捉えられませんでしたが、アクサ生命の担当者より健康経営の提案を受け、健康経営のメソッドは、今まで多くの経営セミナーで学んだことが網羅されていると感じ、自分自身の頭の中がクリアーになり、やるべき課題や目標が明確になりました。
何よりも取り組んでいることの成果がＷＥＢアンケートにより数値化されることにより、会社の状態が見える化されることは会社にとってとても有益なものになると考え、健康経営の手法を取り込むことにしました。

健全な経営は、職員の笑顔から

健康経営を行うに当り、職員の健康管理は以前から取り組んでいましたのでそれは継続しながら、新たな取り組みとして職員数名とアクサ生命担当者で健康推進委員会を設立し、委員会の意義や組織体制など会議を行い、委員である職員が健康経営についてよく理解してくれたおかげで、他の職員への周知・理解が拡がり、離職率の改善だけでなく多くの成果を得ることが出来ました。
健康推進委員会の目標は「職員の笑顔」としました。委員会の積極的な意見やアイデアにより、委員会が活発に機能することで、笑顔を忘れない健康な経営を風土とすることが出来ました。

健康経営が生み出す成果

アクサ生命の健康経営を推進した結果、それまで多かった遅刻や早退、病欠などが明らかに減少し、人間関係による離職やメンタルヘルス不全になる者を未然に防ぎ、安定した経営が行えるまでになり、その結果職員の笑顔も増え、良質の雰囲気が社風となり、多くの相乗効果を得ることが出来ました。
また、健康経営優良法人（中小規模法人部門）認定を受けることできたことは、委員会にとっても会社にとってもとても良い自信へとなりました。
新型コロナウイルス感染防止のため、人との繋がりを遮断しなければならない状況の中で、マスクの下に笑顔の良好な人間関係の維持が図られていることにも、健康経営の生み出す成果を感じます。また、コロナ禍であるが健康経営により増収増益となっていることに大変感謝です。

新たな取り組み

当社にとって、健康経営を進める上で健康推進委員会の存在は大変貴重であり重要な役割を担っていると同時に経営手法の一つとなっています。今後は、健康推進委員会の委員の増員や委員主導による健康推進行事（社内ボウリング大会など）を開催したいと委員長から積極的な新たな取り組みの申し出があり、委員会にとても期待しています。
また、この健康経営を進める手法が健康推進委員会を設立するきっかけとなったことからも、今後は健康推進委員会以外の新たな委員会も設立して、会社の活性化や職員の業務以外の交流及び視野拡大を図り、心にゆとりと業務に幅を作り、生産性の向上が図られ更なる増収増益を生み出してくれるのではと大変楽しみにしています。
最後に、現在ＳＤＧｓの17の目標について興味があり、個人的に勉強しているところです。日本だけが幸せになるのではなく、世界の人びとが健康な笑顔の絶えない豊かで平和な世の中になれるよう、今後も健康経営の考えを源に社会への貢献活動をより深めていけたらと思っています。

197

宮崎県
都城営業所

株式会社九南

代表取締役社長
黒川浩之 氏

「安全と健康は全てに優先する」を経営方針に掲げ健康経営に取り組む

- 代表取締役社長　黒川浩之 氏
- 本 社 所 在 地　宮崎県都城市都北町5070番地
- 主な事業内容　総合電気工事業
- 従　業　員　数　444名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020(中小規模法人部門)認定

健康経営に取り組もうと思ったきっかけとして

経営方針の中に「安全と健康は全てに優先する」という経営者が会社を守る、社員と家族を守るという責任を持って取り組んでいた中、その思いを具現化する為に都城商工会議所の勧めとアクサ生命保険の担当者からのアドバイスを頂き取り組みの強化を図っていこうと考え開始致しました。
会社経営方針である安全と健康について、まずは現状を把握し具体的な取り組み内容について様々なアドバイスを頂いており大変感謝しております。

「健康経営」を進めていく上での具体的な取り組み内容について

社員の労働時間や有給休暇の取得状況を見える化するために日報システムを導入し日々の業務の明確化と有給休暇を取得しやすい仕組みづくりを実践。
特に有給休暇の取得推進を図るためにリフレッシュ休暇制度を導入しました。
メンター制度を設け離職率も改善しております。
作業服を改良し労働環境の改善にも積極的に取り組んでおります。作業服は社員からの反応も良好であります。

従業員の健康習慣に関する効果として

リフレッシュ休暇、ノー残業デーを活用して、余暇を楽しみ心と身体のリフレッシュが図れており生活習慣の改善に繋がっております。
また従業員個人個人が、生活習慣を見直すきっかけとなり生活習慣病予防に対し関心を高めております。そして取り組みの効果も目に見えて現れてきております。
アクサ生命の担当者より飲・食・運動等健康に関する情報誌の配布を受け各家庭に持ち帰ってもらい家族も含め健康経営に理解頂いているように感じます。

会社全体に対する効果として

健康経営に対する積極的な取り組みにより日々の作業の効率化及び生産性の向上に繋がっております。
また、企業としても業績の向上に繋がっていると判断しており地元企業の手本となる様に務めてまいります。
社員の名刺にも優良認定法人のロゴを乗せ社内外に対しての企業イメージの更なるアップに繋がっております。
毎年の認定取得に向け従業員向け習慣Webアンケートの再度の実施を行ないました。

今後の展望

社員を気遣い、働きやすい職場環境づくりを通して心も身体も健康で良い仕事が出来る事が企業の業績にも繋がり社員の生活が豊かになると考えます。すなわち働く人の視点にたった「働き方改革」と元気な社員と元気な会社を作る「健康経営」はセットでなければならないと思います。社員の安全と健康の確保は企業の根幹であり、企業存続と成長に欠かすことのできない要素なので、今後もより魅力ある企業を目指して健康経営を推し進めていきます。

創立70周年記念大運動会
2018.7.28 開催

198

宮崎県
都城営業所

都城商工会議所

会頭
安田耕一 氏

「会員企業、地域経済の発展」を実現するために健康経営に取り組む！

- 会　　頭　安田耕一 氏
- 本社所在地　宮崎県都城市姫城町4街区1
- 主な事業内容　総合経済団体
- 従業員数　18名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020(中小規模法人部門)認定

都城商工会議所会員企業の発展のため、『健康経営』を実施

・都城商工会議所会員企業の発展のために、経営指導の1つとなると思ったから
・社員の健康づくりに関して、会社としても、何か取り組みたいという思いがあったから
・社員の福利厚生、定着率を上げるため
・県や市などの行政、協会けんぽと連携を図り、都城を盛り上げていくPRになると思ったため

健康経営への取り組み

・アクサ生命の健康習慣アンケートに答え、課題を把握し、ヘルスリテラシーの向上を図るため、セミナー、勉強会を実施した
・感染症予防対策として、各フロアへアルコール消毒液の設置やマスクの提供を行った
・コミュニケーションの促進、組織力向上のため、ボーリング大会開催を行った
・運動機会の創出のため、朝礼時のラジオ体操を行った

従業員の健康習慣に関する効果

・自然と健康に関する会話が増え、自身だけでなく家族の健康にも関心を持つ社員が増えた
・感染症予防のため、マスクをつける社員が増え、マスクを手作りする社員もいた
・コロナの影響に負けないために、都城の飲食店でテイクアウトした料理をSNSに投稿する“＃都城エール飯”が好評で、食の分野での健康意識が高まっているだけでなく、都城産宮崎牛や地鶏、チキン南蛮などのプロモーションにもなっている

健康経営による会社への効果

・健康診断100％実施により、社員の健康への課題や健康への関心が向くようになった
・病気休暇者が対前年比10％減少することができた
・会話が増え、仕事への取り組みが増した
・インフルエンザの罹患率0％
・イメージアップ

都城商工会議所の今後の展望

・この先何十年後も、地域社会になくてはならない存在でいたい。そのためには、今いる社員も今後入社される方も、長く働ける環境を作っていく必要がある
・社員が健康で幸せでなければ、このような取り組みには意味がない。社員の幸せが一番だと考えている
・今後とも、アクサ生命と一緒になって、地域経済が発展していくために、健康経営を進めていく

入口にアルコール消毒の設置

株式会社ブンカ巧芸社

代表取締役社長
峯元信明 氏

「顧客第一、社員あっての会社」を実現するために健康経営に取り組む

- 代表取締役社長　峯元信明 氏
- 本 社 所 在 地　鹿児島県鹿児島市石谷町3655
- 主な事業内容　看板企画・製作・施工
- 従　業　員　数　70名

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020(中小規模法人部門)認定

安心して働ける環境づくり

ストレスチェックを実施いただいた業者から健康経営と優良法人認定について説明を聞いていました。その際、家族の病気が原因で元気のない社員の様子を見て、社員とその家族が安心して働ける環境を作るため①配偶者の健康診断②社内へ血圧計の設置③インフルエンザの予防接種費用を家族分まで負担する取り組みをスタート。2020健康経営優良法人の認定を頂きました。

離職率が改善し生産性も向上

前述の取り組みを行うことで離職率が改善しました。特に入社10年以上で技術を覚えた優秀な社員の退職に悩んでおりましたが、健康経営に取り組むことで大幅に離職率が低下しました。また病気やインフルエンザを原因とした休暇が少なくなったことで、工程が予定通りに進むようになり、生産性が向上しました。

楽しみながら社員参加型の健康づくり

社員参加型の健康経営を浸透させるため健康推進委員会を設置しました。毎月委員会を開催し社員への健康に対する情報発信やイベントを企画。ダイエット企画やウォーキンググランプリ、健康器具の社内交換など各種イベントを開催することで社員全体で楽しみながら健康管理に取り組んでいます。

コミュニケーション向上を目的として「ありがとうの木」を作成。日頃の感謝をポストイットに記入し貼り付け。感謝の気持ちと前向きな言葉を伝えられるようになり職場の雰囲気が明るくなりました。

社員と共に発展する企業を目指す

お客様に最良の価値を提供するためにも、明るく活気あふれ社員と共に成長する企業でありたいと考えています。地域社会に貢献し、お客様の商売繁盛に寄与するためにも一歩一歩たゆまぬ情熱で歩み続けてまいります。そのためにも社員個人の個性と能力を惜しみなく発揮し、安心して働ける環境を引き続き健康経営を通じて構築してまいります。

社屋を上空から撮影

株式会社宇都電設

代表取締役社長
宇都健三郎 氏

社員も会社も末永く、心身ともに健康でいて欲しい

- 代表取締役社長　宇都健三郎 氏
- 本 社 所 在 地　鹿児島県鹿屋市新川町
- 主な事業内容　電気工事業
- 従　業　員　数　21名(男性:19名・女性:2名)

健康経営優良法人 2020認定
中小規模
健康経営優良法人
2020 認定

地域と社員に必要とされる会社NO.1を目指して

当社は昭和57年に生まれ故郷の高山町で創業しました。意気揚々とスタートしましたが、当初は苦労が続きました。
そんな中で電球1個の注文から色々な仕事に繋がった経験をしました。
それ以来社員雇用をして30年が経ちますが、顧客から「電球1個の注文でもあなたにお願いしたい」と思っていただけるよう、どんな仕事でも心を込めて行うよう社員に伝えています。
「心して取り組め」の社是を軸に地域と社員に必要とされる企業No.1を目指しています！

健康経営を取り入れたきっかけ

健康経営を始める前から社員の健康に対しては、意識していました。健康維持と体質改善のために水素水の機器の設置や熱中症対策などを行ってきました。
施工者や近隣の建設会社社長様から、健康経営についての話を聞いており、興味を持っていました。
そんな折アクサ生命の担当者より健康経営のサポートができるということを聞き、社員の健康への取り組みを加速させるために健康経営をスタートさせました。

自らが模範となることが大切

私自身が模範となることが重要だと考えウォーキングを始めました。結果として10ケ月で10kgの減量に成功しました。
社員に取り組んでいただく前に、まず自身が先頭を切って結果をだしました。
自らが率先垂範で健康経営に取り組んでおります。

健康経営で社員の健康意識に変化が

会社負担で万歩計を購入し、歩数競争を行いました。
4カ月に1回歩数を集計し、上位5名と前回より躍進をした社員を表彰しました。
この企画によって、社員たちが1日に一歩でも多く歩くこと、そしてそれを積み重ねていくことの大切さ意識し始めてきています。

今後の展望

言ったことはする。常に先頭を走り続ける。
この姿を社員や後継者に見せていきたい。健康経営優良法人も鹿屋市の電気工事業者として認定第1号となりました。
将来的には新社屋を作りルームランナーや筋トレ器具を設置し、健康部屋を作りたいと考えています。
私は「会社とはなにか？」と聞かれた時に、「続けること」と答えます。そういった意味で健康経営を通じて、社員も会社も末永く心身ともに健康にしていきたいです。

本社の外観

www.axa.co.jp

アクサ生命保険株式会社

〒108-8020　東京都港区白金1-17-3
TEL 03-6737-7777（代表）

www.axa.co.jp/

Form No.0T0441(1.0)　AXA-A2-2010-0537/C0T　2020.11.01